

スピークス SPEEX N25 CL SPEEX N26 WCL

取扱説明書

待ち合わせの地図は
ファクス
で送るわ
➔ 41ページ

-Eメールに
加入すれば
電子メールが送れる
のか!
➔ 77ページ

このメモを
HANDSCANNER
でとっておこう
➔ 47ページ

ご案内って
声もプリントも
でてくるよ!
➔ 26ページ

留守電
聞いたわ...
げんき?
➔ 53ページ

0077 77セレクトイ.....72ページ
SELECTIVE

id ナンバー・ディスプレイ.....97ページ

📞 キャッチホン/
ダイヤルイン104ページ

Atermとの接続.....108ページ

注意

製品をご使用前に必ず本書をお読みください。
本書はいつでも活用できるように大切に保管ください。

準
備

電
話

ファクス/
コピー

HANDSCANNER

留守電

便利に使う

77セレクトイ

Eメール

ナンバー・
ディスプレイ

キャッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

はじめに

このたびは、コードレス留守番電話付きファクシミリ「speax（スピークス）N25CL / N26WCL」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

品名	機器構成	備考
speaxN25CL	親機（本体）と子機1台	増設できる子機の台数は最大3台まで 簡易子機間通話（トランシーバー方式）
speaxN26WCL	親機（本体）と子機2台	増設できる子機の台数は最大2台まで 子機間通話（双方向）

なお、本書ではspeaxN25CLについて子機を増設した場合を含めて説明しています。

この取扱説明書で使われているマーク



……… 気を付けていただきたいことが書かれています
この注意を守らないと、操作がうまくできなかつたり、思うように進まないことがあります。注意は必ず守ってご使用ください。



……… 親機の手話器を取る操作を表しています。



……… 充電器から子機を取る操作を表しています。



……… 親機の手話器を戻す操作を表しています。



……… 充電器に子機を戻す操作を表しています。

操作手順中にある    などのボタンの絵は、そのボタンを押す操作を表しています。

文章中にある [<] [>] は、親機の [電話帳] ボタンを押す操作を表しています。

文章中にある [] [] は、親機または子機の [電話帳] ボタンを押す操作を表しています。

ご注意

本製品の故障・誤動作、停電あるいは天災などによって本製品が使用できなくなった場合、それに付随して生じる損害（通信・録音等上に生じる機会損失など）に対しては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品を改造しないでください。改造・回路変更などを行った場合、当社は一切責任を負いません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い

本製品のご使用にあたって、NTT東日本またはNTT西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT東日本またはNTT西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番無しの116番（無料）へお問い合わせください。

安全に正しくご使用いただくために - 必ずお読みください -

本製品を安全に正しくお使いいただくための表示について
本書では本製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を表示や図記号で示しています。表示や図記号の意味は次のとおりです。

-  **危険** : 人が死亡するまたは重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** : 人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

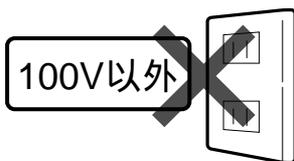


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

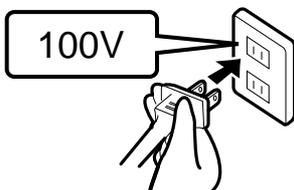
設置についてのご注意

警告

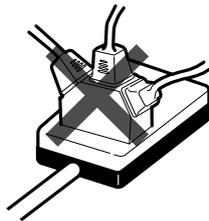
AC 100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



電源プラグはAC 100Vコンセントに差し込んでください。やむを得ず、同じコンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、電流値の合計がコンセントの最大値を超えないようにしてください。火災の原因となります。



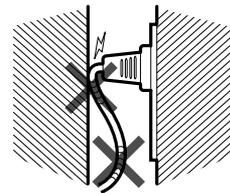
本体の電源コードはたこ足配線にしないでください。テーブルタップ等が過熱・劣化し、火災の原因となります。



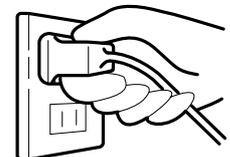
電源プラグおよび子機充電器用ACアダプタの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。



電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、ひっぱったりしないでください。火災・感電の原因となります。



電源プラグおよび子機充電器用ACアダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。



⚠ 注意

安全にお使いいただくために、アース接続をしてください。アース線が取り付けられるところは次の部分です。



必ずアース線を接続せよ

- ・電源コンセントのアース端子
 - ・銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
 - ・接地工事（D種）が行われている接地端子
- 次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。
- ・ガス管、電話専用アース線、避雷針、水道管や蛇口

直射日光の当たるところや温度が高いところに置かないでください。



禁止

- ・内部の温度が上がり、火災の原因となります。
- ・変色の原因となります。
- ・コピーやファクスの記録のかすれの原因となります。

移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認の上行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。漏電して、火災や感電の原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。



禁止

ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。装置の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙が詰まって、故障の原因となります。



禁止

漆など、高温で変色する可能性のある材質の台の上には置かないでください。変色の原因となります。



禁止

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



禁止

極端に暑い場所（35℃以上）や寒い場所（5℃以下）では使用しないでください。誤動作・故障の原因となります。



禁止

使用するときのご注意

⚠ 警告

本機の上や近くに、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などが入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



禁止



開口部から内部に金属類を差し込んだり落したりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。



禁止



本機、充電器、および子機充電器用ACアダプタを分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



分解禁止



警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。



ぬれ手禁止



本機に水が入ったりしないように、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。



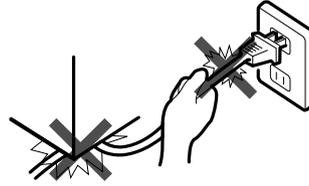
水ぬれ禁止



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、ひっぱったりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



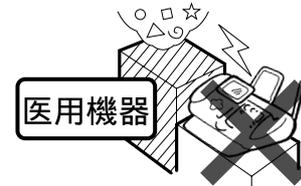
禁止



病院内などで使用される場合には、医用電気機器に、電波による影響を与えることも考えられますので、医用電気機器の近く（例えば、手術室や集中治療室内など）ではご使用にならないでください。



禁止



注意

本機のアンテナを誤って目にささないように注意してください。



電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間本機をご使用にならないときは安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードをひっぱると、コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



通信やコピー中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。



禁止

落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。



禁止

ハンズキャナを落としたり、固いものにぶつけないでください。ガラスが破損してけがをしたり、故障の原因となります。



禁止

親機または子機のモニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳に負担となる場合があります。



禁止

ゴミブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。



ハンズキャナをコードレスでご使用になる場合、ハンズキャナ用コードを強くひっぱった状態でのプラグの抜き差しは危険な場合がありますのでご注意ください。



⚠ 注意

インクフィルム交換および記録紙セットなどで開閉部を閉めるときは、指挟み、指のけがにご注意ください。



インクフィルム、インクフィルムカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。



インクフィルムカートリッジは、指定の取り外し箇所以外を分解しないでください。



インクフィルムは開封した状態で放置しないでください。



もしもこんなときは

⚠ 警告

万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



万一、本機を落としたりカバーを破損した場合や、電源コードが傷んだ場合（芯線の露出、断線など）は電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。



⚠ 注意

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。



雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。



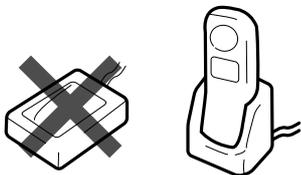
子機を使用するときのご注意

⚠ 危険

付属の充電器以外を使用しないでください。火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



禁止



電池はコネクタの向きを間違えないように機器内に挿入してください。間違えると、電池の破壊・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



向きを正しく

⚠ 警告

充電器にコインなどの金属物をのせないでください。発熱・やけどの原因となります。



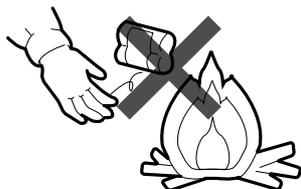
禁止



電池パックを廃棄する場合は火の中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となることがあります。



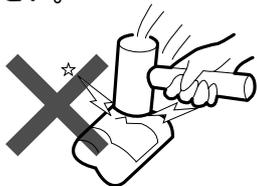
破裂注意



電池パックは、水や火の中に入れてたり、加熱や分解をしたりしないでください。



禁止



本機で指定されていない電池パックは使用しないでください。電池の破壊、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



禁止



電池パックのコードはショートさせないように注意してください。



子機をねじったり、重いものをのせたりポケットに入れたまま椅子などに強く押しついたりして圧迫しないでください。子機が破損し、火災・けが・やけどの原因となることがあります。



禁止



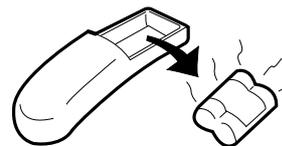
電池パックから液漏れしたり異臭がしたりするときは、ただちに火気から遠ざけてください。



万一、電池パックが液漏れして、液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水でよく洗ったのち、ただちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。また、漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。



電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し、使用を中止してください。



⚠ 注意

子機を壁掛け用に取り付ける場合は機器の重みにより落下しないよう、堅固に取り付け、設置してください。けがの原因となることがあります。



目次

はじめに	
この取扱説明書で使われているマーク	
安全に正しくご使用いただくために	1
目次	6
speax でこんなことができます	8

準備

はじめにご確認ください	9
各部の名称	10
記録紙について	15
インクフィルムの保管について	15
作業の流れ	15
親機を組み立てる	17
インクフィルムのセット	17
ハンドスキャナ用電池パックの取り付け	19
記録紙のセット	20
かんたん時刻セット	21
組み立ての確認	22
子機を組み立てる	23
電池パックの取り付け	24
電話回線につなぐ	25
契約しているサービスの確認	26
お買い上げ時の状態について	26
操作を間違えたときは	26
ご案内機能について	26

電話

電話をかける	27
ワイワイトークで電話をかける	28
同じ相手にもう一度かける<リダイヤル>	28
電話を受ける	29
保留する	29
転送する	30
親機と子機で通話する<内線通話>	32
子機と子機で通話する	33
子機と子機で簡易に通話する<簡易子機間通話>	33
子機と子機で会話する<子機間通話>	33
らくらく電話帳で電話をかける	34
らくらく電話帳に登録する	35
親機で登録する	35
子機で登録する	36
親機の電話帳を子機に転送する<電話帳転送>	38
通話中の会話を録音する<通話録音>	39
トーン信号に切り替える	39
音量を調整する	40

ファクス/コピー

ファクス/コピーの前に	41
原稿セットのしかた	41
ファクスを送る	42
ファクスを自動で送る<自動送信>	42

相手と話してから送る<手動送信>	42
みんなに送信する	43
ファクスを受ける	44
自動で受ける<電話/ファクス自動切替>	44
手動で受ける	44
送られてきた文書をメモリが記憶する<メモリ代行受信>	45
ファクス情報サービスを利用する	45
コピーを取る	46

ハンドスキャナ

ハンドスキャナの取り外し/取り付け	47
ハンドスキャナの使いかた	48
コードをつけたままコピーする	48
コードをつけたままファクスを送る	49
コードレスでコピーする	49
メモリに記憶されている原稿を送る	50
メモリに記憶されている原稿をプリントする	51
メモリに記憶されている原稿を消す	51
読み取り時のメロディを流す/止める	52
原稿を拡大/縮小する	52

留守電

「留守」を設定すると	53
「留守」の設定/解除	54
録音された用件を聞く	54
不要な用件を消す	55
自作応答メッセージを録音/消去する	55
外出先から留守番電話を操作する<外線リモート>	56
外出先から用件を聞く	57
用件が録音されたら外出先に通知する<用件転送>	57
おやすみモードのセット/解除	58

便利に使う

操作について	59
いろいろな設定	59
回線種別の自動/手動設定	59
自分の電話番号の登録	59
自分の名前や電話番号などを相手の記録紙に プリントさせる<発信元記録>	60
用件の有無を外出先から簡単に確かめる<トルセイバ>	60
時計を合わせる<時刻セット>	61
電話に出て相手がファクスだったときは簡単に 受信する<ファクスかんたん受信>	61
おやすみモードの開始時刻と終了時刻を設定する	61
いつも電話で受ける、またはファクスで受ける <着信モード>	62
着信ベル回数を変える	62
呼出ベル回数を変える	63
保留メロディを変える	63
ベルの音色/メロディを変える	63
電話をかけてきた相手にメッセージを流す	64
着信メロディを自分で作る<オリジナル着信メロディ>	64

メロディ入力のしかた	65
海外にファクスを送るとき	66
受信したファクスを縮小する<定型受信>	66
ファクスやコピーの読み取り濃度を変える	66
ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積する<メモリ受信>	67
記録紙モードの設定	67
不達レポートを出力する	67
子機のベルを優先して鳴らす<子機優先着信>	68
子機の送話音量を大きくする	68
子機の受話音量を全体的に大きくする	68
子機のキータッチトーンを設定する	68
電話番号リストなどをプリントする	69
親機の電話帳の登録内容(電話番号リスト)をプリントする	69
ナンバー・ディスプレイの着信データをプリントする	69
オリジナル着信メロディの登録内容をプリントする	70
本機の設定状態(システムリスト)をプリントする	70
通信管理レポートをプリントする	70
Eメール登録リストをプリントする	71

77 セレクティ

利用できるサービスについて	72
77 セレクティを開始する	73
77 セレクティ利用時の設定	74
77 セレクティを利用しない/再び利用する	74
77 セレクティを利用する	74
おトクな市外回線を利用する	74
001 国際電話を利用する	75
着信メロディを取り込む<えらんでメロディ>	75
マイラインについて	75
電話番号が変わったら	76
オンライン通信について	76

-E メール

利用できるサービスについて	77
申し込みと登録のしかた	78
-Eメールを送信する	79
手書き原稿をかんたんに送信する<メールかんたん送信>	80
-Eメールを受信する	83
-Eメールを返信する	85
-Eメールのアドレス帳に登録する	86
親機で登録する	86
子機で登録する	87
親機のアドレス帳を子機に転送する<アドレス帳転送>	90
自由定型文を登録する	91
メールアドレスを変更する	91
-Eメールでの文字入力一覧表	93
-Eメール利用時の設定	94
-Eメールを作成する際の文字入力モードを設定する<送信文入力モード>	94
添付ファイルを自動で受信する/しない <添付ファイル自動受信>	94
子機にメールアドレスを設定する	95
メールアドレスを追加登録する<サインアップ>	95
-Eメールの各種機能を設定する	96

ナンバー・ディスプレイ

利用できる機能について	97
-------------	----

表示の見かた	97
必要な設定	98
ナンバー・ディスプレイの設定	98
いろいろな設定	98
おやすみモード中にベルを鳴らす相手を選ぶ<とくていコール>	98
電話帳に登録している相手にだけ自作応答メッセージを流す	98
かけてくる相手によって着信ベルを変える <着信鳴り分けとプライベートコール>	99
電話番号を通知してこない相手にメッセージを流す<番号リクエスト>	99
電話を受けたくない相手を設定する<着信拒否>	100
着信データの活用	101
過去にかかってきた相手を確認する<着信データの表示>	101
着信データを消す	101
着信データを使って電話をかける<コールバック>	102
着信データを電話帳に登録する<かんたん登録>	102
留守中にかけてきた相手を確認する<留守録着信データ>	102
キャッチホン・ディスプレイについて	103
キャッチホン・ディスプレイを設定する	103

キャッチホン / ダイヤルイン

キャッチホンを利用する	104
ダイヤルインサービスを利用する	104
ダイヤルインの登録	106

こんなときは

パソコンやモデムにつなぐには	107
INS ネット 64 を利用するには	107
NEC の Aterm シリーズと接続するときの設定	108
ドアホンを使うとき	110
“記録紙がつかまりました”と表示されたとき	112
“原稿確認”と表示されたとき	114
子機について	115
電池パックを交換する	115
子機の電池パックを交換する	115
ハンドスキャナの電池パックを交換する	116
インクフィルムを交換する	116
お手入れのしかた	117
親機・子機の外装の清掃	117
ハンドスキャナの清掃	117
記録紙カセットの清掃	117
原稿送り用ローラの清掃	117
記録紙送り用ローラの清掃	118
記録ローラの清掃	118
記録紙給紙用ローラの清掃	118
“通信できませんでした”または“通信異常” が表示されたとき	119
停電したとき	119
困ったときは(Q&A)	120
オプション品・消耗品のご案内	126
お客様ご相談窓口などのご案内	126
仕様	128
操作早わかりガイド	129
機能設定 / 登録早見表	132
索引	133
文字入力一覧表	136

speaxでこんなことができます

子機間で交互に話したり会話ができる

子機間の内線通話ができます
N26WCLは、子機間（双方向）通話になります
N25CLは、子機を増設した場合、簡易子機間通話（トランシーバー方式）になります



子機と子機で通話する ▶ p33

操作を案内してくれる

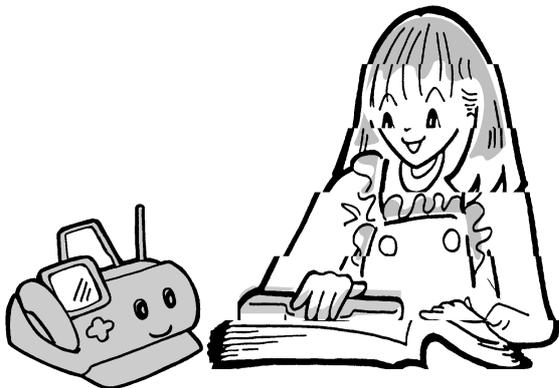
簡単な音声案内を聞いたり、操作手順をプリントアウトできます



ご案内機能について ▶ p26

ハンズキャナはコードレス

コード付でもコードレスでもコピーがとれます
《2WAY》コピー/ファクス送信



ハンズキャナ ▶ p47

親機でも子機でもEメールが送れる

KDDIの「77セレクトィ」と「-Eメール」に加入すると送れます



-Eメール ▶ p77

電話に出る前に相手を確認

電話がかかってくると、相手の名前や電話番号を表示してくれます



ナンバー・ディスプレイ ▶ p97

おトクな回線選びはおまかせ

通話料のおトクな回線を選べます



77セレクトィ ▶ p72

お使いになる前に

ここでは、本機の各部の名称や
組み立てかたなどを説明しています。

はじめにご確認ください

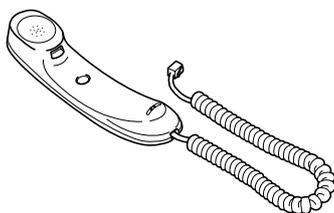
付属品はすべてそろっていますか？

欄にチェック“✓”し、確認してください。

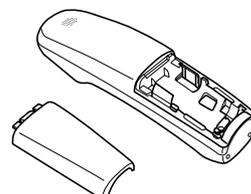
親機（本体）1台



受話器 1個



子機 1台（電池カバー付）

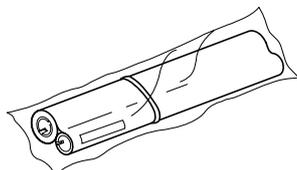


speaxN26WCLでは2台

電話回線接続コード 1本
（2m）



インクフィルム 1本
（10m）

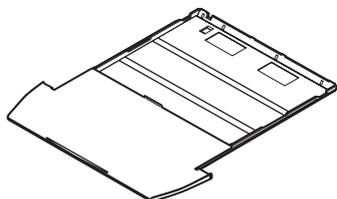


子機充電器 1台
（壁掛け用ネジ2本付）

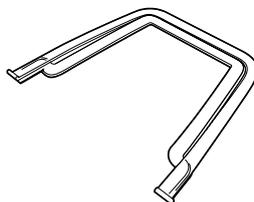


speaxN26WCLでは2台

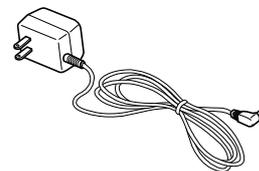
記録紙カセット 1個



原稿セット台

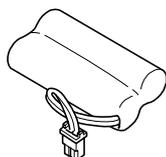


ACアダプタ 1個
（子機充電器用）



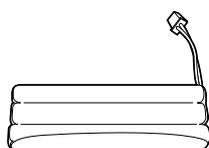
speaxN26WCLでは2個

電池パック 1個（子機用）



speaxN26WCLでは2個

電池パック 1個
（ハンドスキャナ用）



KDDI 77セレクトイ
ご利用申込書 一式

取扱説明書（本書）1冊

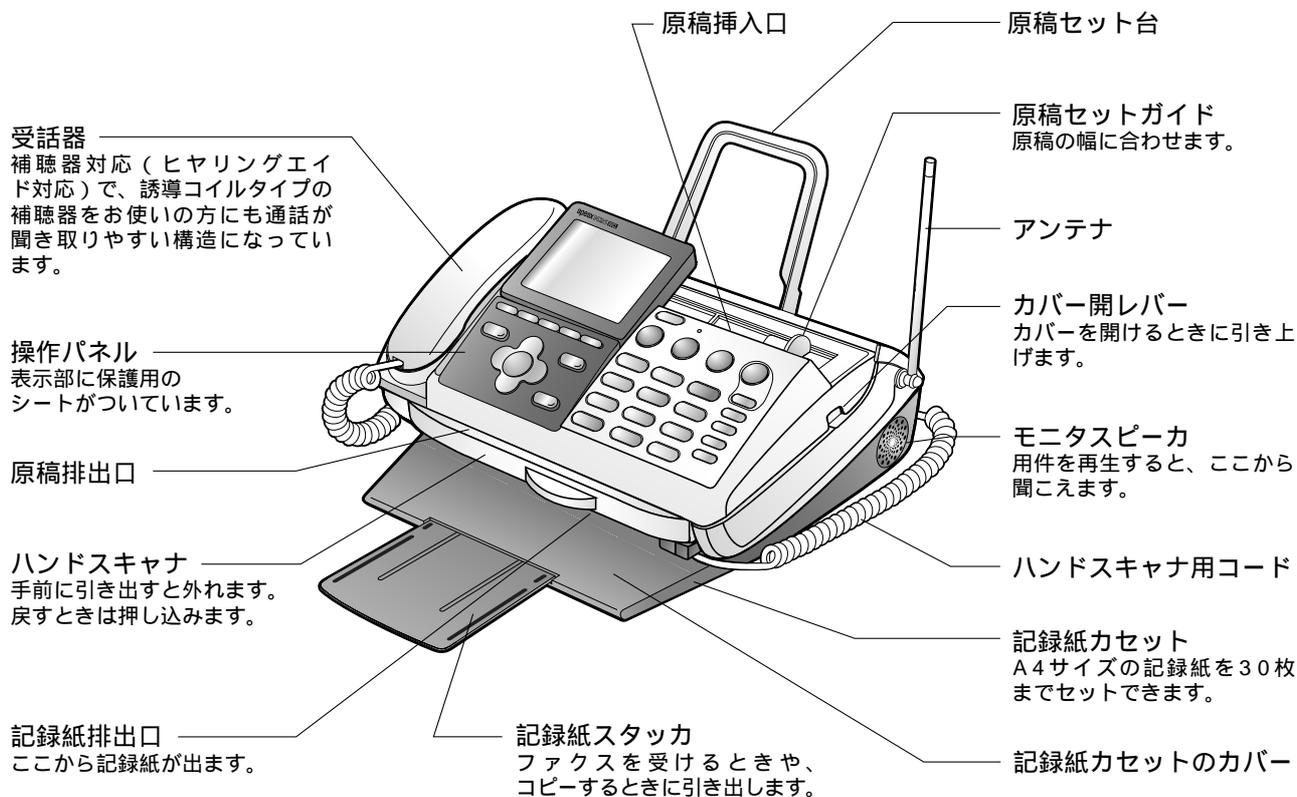
記録紙（A4サイズ5枚）

保証書 1枚 保証書は大切に保管してください。
保証期間やご購入店名などの記載事項をご確認ください。

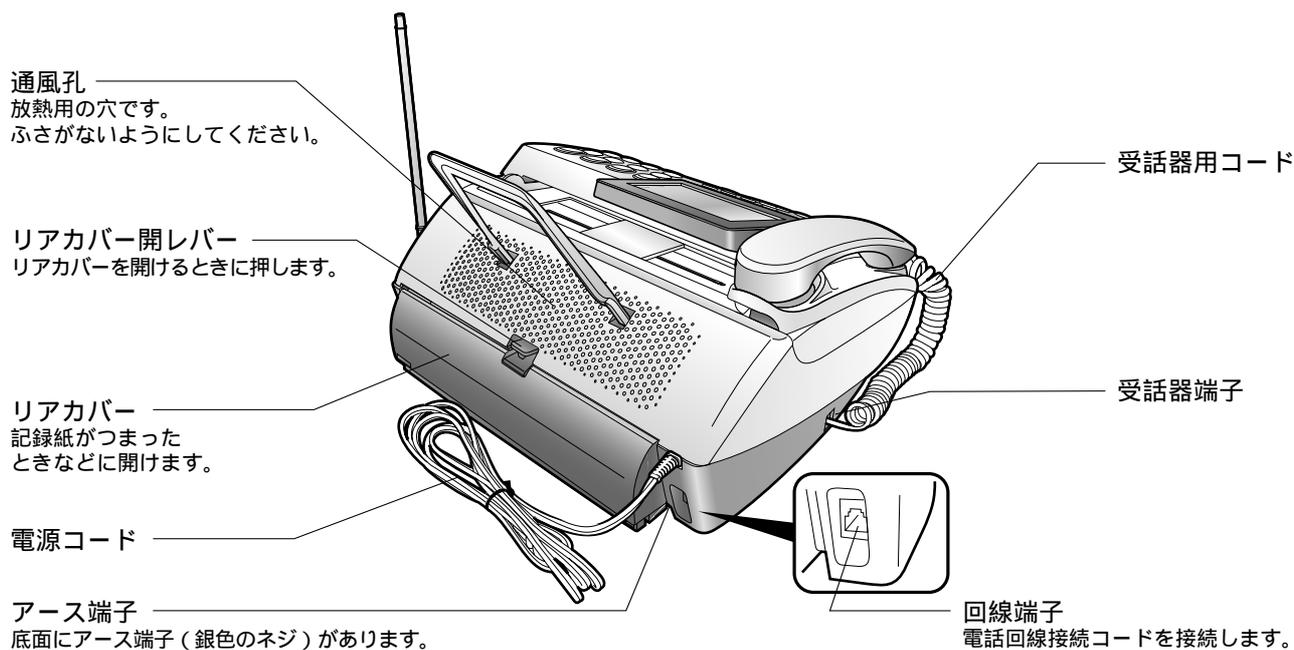
各部の名称

本機を組み立てたあとの各部の名称です。

親機の前面



親機の背面



本機のプラスチックの一部に、光の具合によってキズに見える部分があります。これはプラスチック製作過程で生じるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

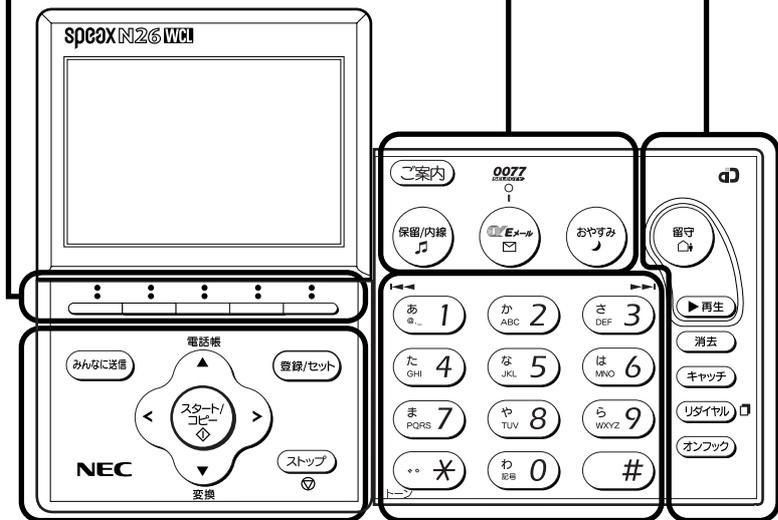
親機のボタンの名称と使いかた (操作パネル)

各種ボタンの使いかたを簡単に説明しています。

- ご案内** ... 本機の簡単な音声案内を聞いたり、操作手順をプリントすることができます。
ご案内機能について ▶ p26
- 保留/内線** ... 子機との内線通話や、電話を保留する、ドアホン通話などに使います。
- 0077** ... 77セレクティが利用できるときは緑色、利用できないときは赤色に点灯します。
- Eメール** ... Eメールを送受信するときに使います。77セレクティを利用するときに使います。
- おやすみ** ... おやすみモードに設定するときなどに使います。電話がかかってくると点滅します。

- 留守** ... 留守設定するときなどに使います。
- 再生** ... 用件の再生に使います。
- 消去** ... 用件を消去するときなどに使います。各種の登録時、入力内容を消去するときに使います。
- キャッチ** ... キャッチホンが入ったときに使います。
- リダイヤル** ... 電話をかけた相手にもう一度かけるときに使います。
- オンフック** ... 受話器を置いたまま電話をかけるときに使います。

これらのボタンはディスプレイ表示と連動しています。
ボタンの詳しい機能については ▶ p14



ディスプレイ表示について ▶ p14

- みんなに送信** ... 同じ原稿を複数の相手先へ一度に送るときに使います。
- スタート/コピー** ... 電話帳またはアドレス帳に登録されている相手先を選ぶときや、反転表示を左右に移動させるときに使います。
- スタート/コピー** ... ファクスの送受信や、コピーなどに使います。
- 登録/セット** ... 電話帳またはアドレス帳の登録や、各種設定のときに使います。
- ストップ** ... 送信やコピーを途中でやめるとき、登録や設定を途中でやめるときなどに使います。セットした原稿を排出するときに使います。

- あ 1** ... ダイヤルボタン
ダイヤルするときや文字入力などに使います。
- あ 1** ... 再生中の用件をもう一度聞いたり、ひとつ前の用件を聞くときに使います。
- さ 3** ... 再生中の次の用件を聞くときに使います。
- トーン** ... ダイヤル回線を使用している方が、トーン(プッシュ)信号を送りたいときに使います。

子機のボタンの名称と使いかた

< 前面 >

ディスプレイ表示について → p14

1 あ 2 が 0 わ

... ダイヤルボタン
ダイヤルするときや、文字入
力などに使います。

← トーン

* ... ダイヤル回線を使用している
方が、トーン（ブッシュ）信
号を送りたいときや、カーソ
ル移動、キータッチトーンの
ON/OFF設定に使います。

呼出音 →

... ベル音量を切り替えるときや
カーソル移動に使います。

メール
キャッチ ... キャッチホンを受けるときに
使います。
-Eメールを送受信するときに
使います。
簡易子機間通話の送受話の切
り替えに使います（N25CLの
み）。

削除
保留 ... 電話番号や文字の入力を間違
えたときに使います。
電話を保留するときに使います。

ワイワイ
トーク ... 子機を持たずに電話するとき
などに使います。



受話口
補聴器対応で、誘導コイルタイプ
の補聴器をお使いの方にも通話が
聞き取りやすい構造になっていま
す。

外線 ... 電話をかけるときや受けるとき、
通話を終了するときなどに使
います。

機能 ... 各種の設定や登録のときに使
います。また文字入力で確定
するときに使います。

機能 ... 電話帳を使って電話をかける
ときなどに使います。

機能 ... 電話帳を使って電話をかける
ときなどに使います。また漢
字変換を行うときに使います。

機能 ... 受話音量を調整するときに使
います。

グループ
内線 ... 内線通話やドアホン通話、電
話帳のグループを選ぶときに
使います。

送話口

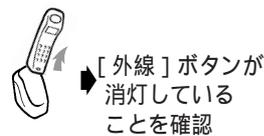
待機中の状態について

子機を充電器から取り上げたあと、以下の操作をして [外線] ボタンが消灯している状態を「待機中」といいます。

< クイック通話ONのとき >



< クイック通話OFFのとき >



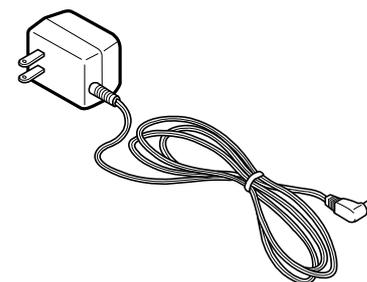
クイック通話 → p27

子機の背面と子機充電器と子機充電器用ACアダプタ

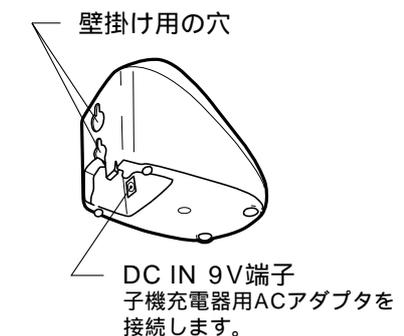
< 背面 >



< 子機充電器用ACアダプタ >



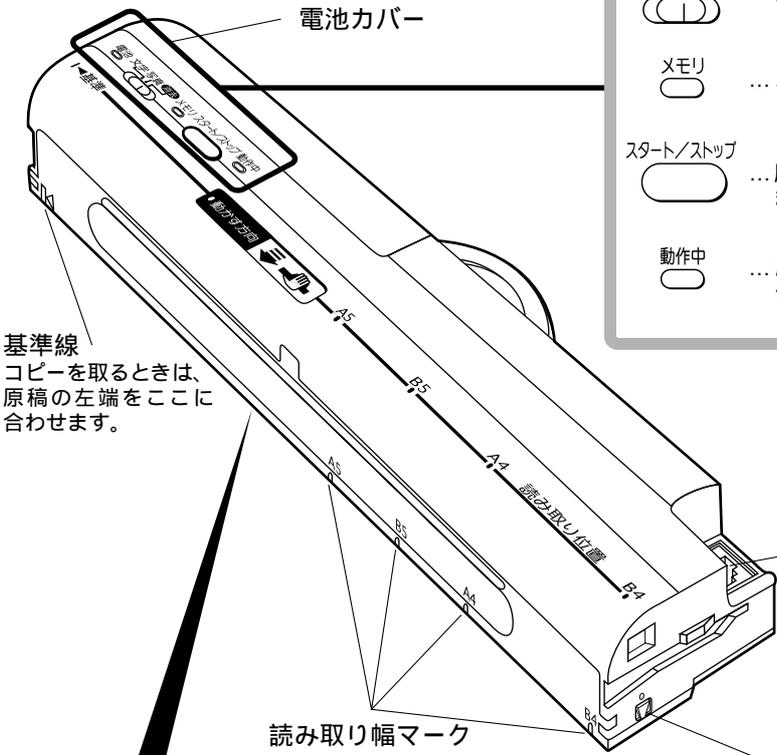
< 子機充電器 >



ハンドスキャナのボタンの名称と使いかた

親機から取り外した状態です。

-  **電池** ... ハンドスキャナの電池の状態を示します。
電池ランプについて ▶ 下記
-  **文字 写真 消去** ... 画質を選択したり、読み取った原稿を消去したりするときに使います。
-  **メモリ** ... ハンドスキャナのメモリ容量の状態を示します。
メモリランプについて ▶ p51
-  **スタート/ストップ** ... 原稿を読み取り始めるときや、終わるときに使います。
-  **動作中** ... 原稿読み取り中、メモリ書込中、プリント中、送信中に緑点灯します。

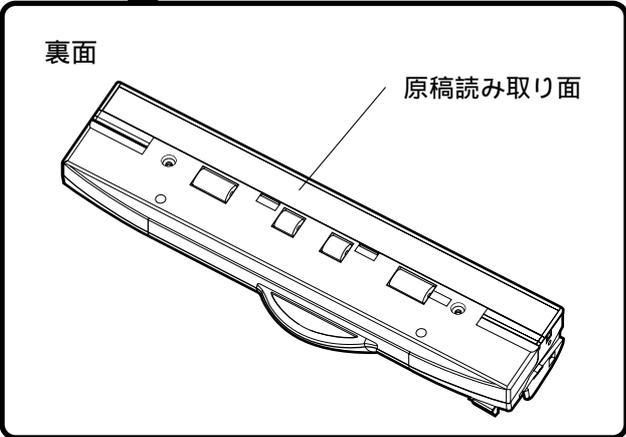


基準線
コピーを取るときは、原稿の左端をここに合わせます。

ハンドスキャナ用コード端子
本体に取り付けるときまたはコードを付けて使用するときには、ハンドスキャナ用コードを必ず接続してください。

読み取り幅マーク

読み取りマーク
実際に読み取る位置を示しています。



電池ランプについて

電池ランプはハンドスキャナの電池の状態を示します。

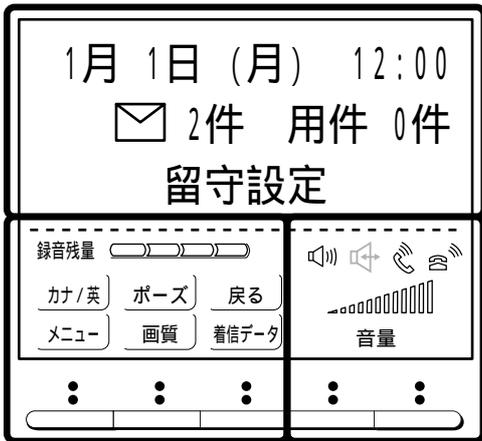
	電池ランプの状態	ハンドスキャナの状態
コードレス時	点灯	電池が十分にあります。
	点滅	電池が少なくなってきています。ハンドスキャナ用コードを接続し、充電してください。
	消灯	電池がなくなっています。ハンドスキャナ用コードを接続し、充電してください。
コード接続時	点灯	ハンドスキャナが使用できます。
	点滅	急速充電中です。ハンドスキャナ用コードを接続していれば、ハンドスキャナを使用できます。

ディスプレイ表示について

本文中にあるディスプレイ画面は、操作上必要と思われるものだけを表示しています。絵表示（ピクト）や各操作間の画面については省略されていますので、ご了承ください。

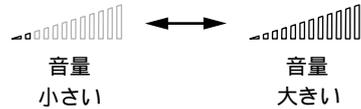
< 親機 >

ピクトは全点灯時を表示しています



漢字などの全角は10文字（半角は20文字）×3行まで表示します。何も操作をしていないときは、日時とEメールの件数、留守録の件数が表示されています。

音量表示



- ... 留守録の再生音量などのスピーカ音量を示します。
- ... 通話時の受話音量を示します。
- ... ベル音量を示します。
- ... 本機では点灯しません。

録音残量表示

録音残量 ... 録音時間の残り時間を示しています。

録音残量 (消灯) ... 用件が30件または残りの録音時間が20秒以内となり、録音できないことを示しています。

メモリ代行受信 (▶ p45) した文書が残っていると録音できる時間は短くなります。

ボタンの有効表示と機能

ピクトのすぐ下にあるボタンの機能を表示しています。

- | | | | |
|--------------|--|--------------|--|
| カナ/英
メニュー | ...[カナ/英] ボタン : 文字入力時の文字の種類(かな/カナ/英)を切り替えるときに使います。 | カナ/英
メニュー | ...[メニュー] ボタン : 各種設定や登録のときに使います。 |
| ポーズ
画質 | ...[ポーズ] ボタン : ポーズを入力するときに使います。 | ポーズ
画質 | ...[画質] ボタン : 画質モードを設定するときに使います。 |
| 戻る
着信データ | ...[戻る] ボタン : 登録や設定を中止し、前のメニューに戻るときに使います。 | 戻る
着信データ | ...[着信データ] ボタン : かかってきた相手の電話番号を表示させたり、電話をかけるときなどに使います。(ナンバー・ディスプレイ契約時) |

- ・バックライトは、機能選択中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約3秒で消灯します。
- ・バックライトの点灯が約5時間続いたときは、ディスプレイ保護のため消灯します。

< 子機 >



... ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、電話帳にグループ登録した相手から電話がかかってきたときに、登録したハート、クローバー、ダイヤ、スペードのいずれかのマークが表示されます。

漢字英

... 電話帳に文字を入力するとき“漢”“カナ”または“英”のいずれかが表示されます。

漢字などの全角は6文字（半角は12文字）×3行まで表示します。何も操作していないときは、内線番号が表示されています。またベルやキータッチトーンをOFFに設定しているときは“ベルOFF”“タッチトーンOFF”“タッチ&ベルOFF”を表示します。

通話時間表示について

電話中は、ディスプレイに通話時間が表示されます。表示される通話時間はあくまでもめやすとしてご利用ください。

親機 通話時間 0分35秒 ... ダイヤル後、約10秒経つと表示され、相手が出ると再度0秒から表示し直されます。

子機 0'15 充電器から取ると通話時間表示が始まり、相手が出てからも続けて表示されます。また相手が出なくても表示されます。



- ・受話器や子機を戻したあとも約5秒間、通話時間が表示されます。
- ・通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示し直されます。

記録紙について

推奨紙

型名	サイズ・数量
普通紙	
FUJIFILM 熱転写用紙 ファクス用普通紙 FAX A4×100	A4・100枚
感熱紙	
FUJIFILM Economy リボン不要のワープロ用感熱紙 EC A4×100 C	A4・100枚

推奨紙以外の記録紙をお使いになる場合、A4サイズ、紙厚0.07～0.09mmで表面にオーバーコートなどの処理をしていない普通紙をお使いください。このページの紙の厚さは約0.08mmです。

- 表面がオーバーコートされた普通紙や厚い記録紙は、使わないでください。記録紙給紙不良の原因となります。
- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度プリントした紙の裏面などは使用しないでください。記録紙給紙不良や紙づまりの原因となります。
- 表面に光沢のある紙やOHPフィルムは使用できません。
- 記録紙は、セットした分を使い切ってから補充してください。途中で追加すると、記録紙給紙不良、紙づまりの原因となります。
- 記録紙の品質はメーカーにより異なります。記録紙の品質によって画像の品位が変わる場合があります。記録紙を大量に購入される前に、一度テストプリントすることをおすすめします。
- 感熱紙を高温で湿度が高い場所で使用することは避けてください。記録紙給紙不良の原因となります。

記録紙の保管について

記録紙は記録紙カセットに長期間セットしたままにしたり、湿気を含むと品質が劣化して先端が波打った状態になります。

日光の当たる場所、湿気の多い場所、高温になる場所を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。

- 0～35℃で保管する
- 結露した場合は、乾燥後に使用する

- 品質が劣化した記録紙は使用しないでください。記録紙給紙不良の原因となります。

インクフィルムの保管について

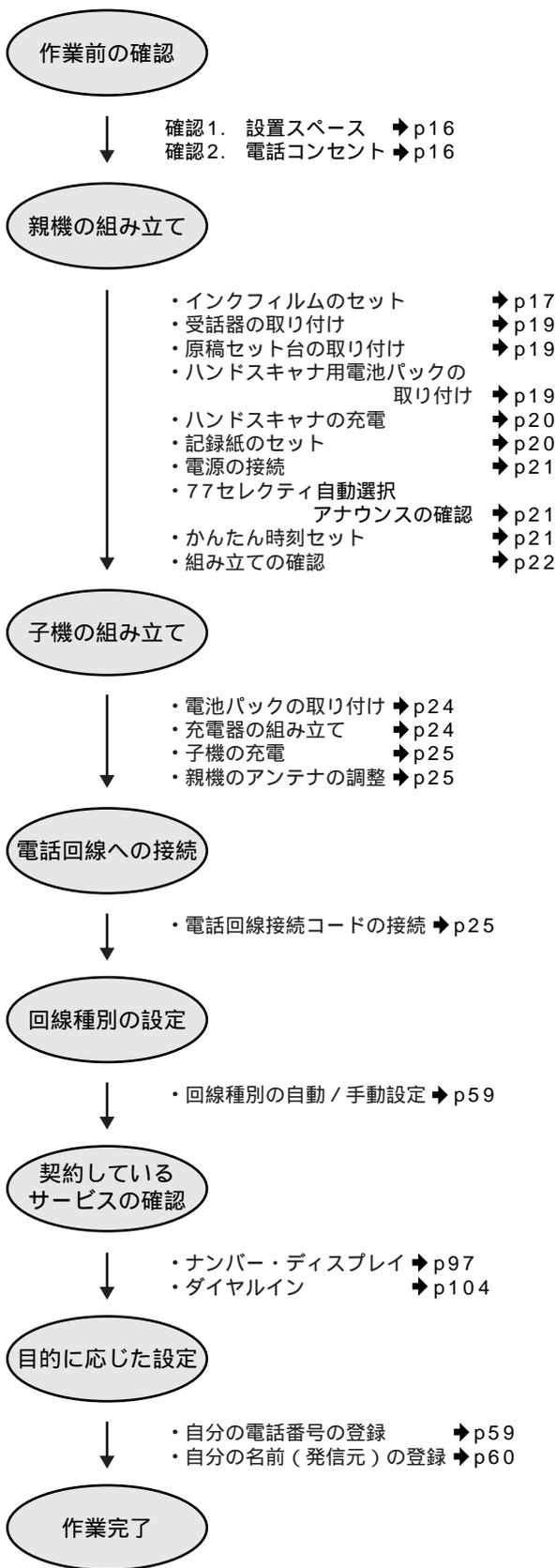
カートリッジにセットする前のインクフィルムは、袋に入った状態（お買い上げのときの状態）で保管してください。カートリッジにセットしたインクフィルムは、カートリッジにセットしたまま乾いたビニール袋などに入れて保管してください。

どちらの場合も、以下のことに注意して保管してください。

- 直射日光が当たらない場所に保管する
- 0～35℃で保管する
- 結露した場合は、乾燥後に使用する

作業の流れ

本機を組み立て、使えるようになるまでの全体の流れは、次のようになります。



本機を自由にご活用ください

準備

電話

ファクス/
コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77セレクトィ

・Eメール

ナンバー・
ディスプレイ

キヤッチホン/
ダイヤルイン

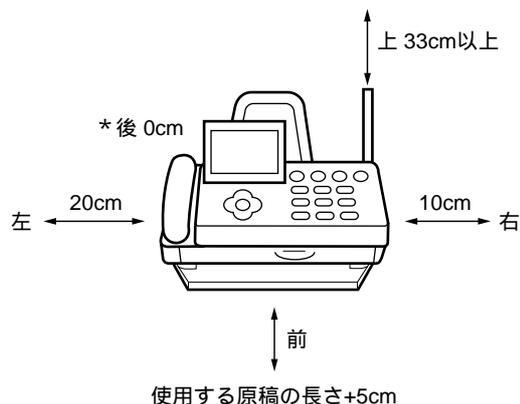
こんなときは

確認1 設置スペース

本機を置く場所には十分なスペースがありますか？
操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うため、
必要なスペースを確保してください。

- ・親機は壁に掛けての使用はできません。
- ・水平な場所に設置しないと、正常に使えないことがあります。

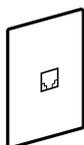
*本機は後背面を壁につけて使用することができます。ただし、記録紙送り用ローラを清掃する場合や、つまった記録紙を取り除く場合など、リアカバーを開ける際には、十分なスペースがある場所に移動してください。



確認2 電話コンセント

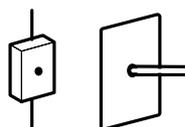
電話コンセントは、どのタイプですか？
コンセントのタイプによって、そのまま接続できないことがあります。コンセントの形を確認してください。

モジュラ式



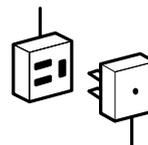
そのまま接続できます。
カチッと鳴るまで差し込んでください。

直接配線（ネジ止め式）



このままでは本機を接続できません。
NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにご相談ください。

3ピンプラグ式



このままでは本機を接続できません。
市販のモジュラ付電話キャップをお買い求めください。

- ・接続工事には、工事担任者の資格が必要です。

INSネット64を利用している → p107

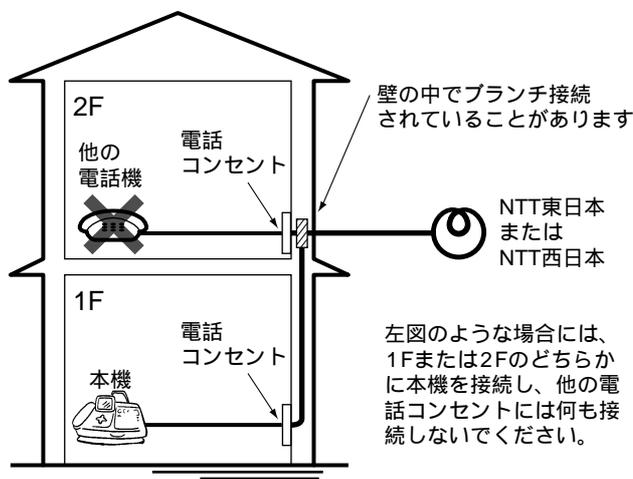
パソコンやモデムと接続したい → p107

- ・他の電話機と本機をブランチ接続（並列接続）にしないでください。
- ・家の中に2つ以上電話コンセントがある場合、壁の中で配線がブランチ接続になっていることがあります（右図）。NTTに確認してください。

ブランチ接続をすると、こんなことが起こります。

- － 電話がかかってきたとき、ブランチ接続されている電話機の呼出ベルが途中で鳴り止むことがあります。
- － ファクスを送受信しているときに、ブランチ接続されている電話機を受話器を上げると、ファクスの画像に異常が起きます。
- － 相手がファクスを送信したとき、ファクスが受信できないことがあります。
- － ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイ、77セレクトが利用できません。

ブランチ接続（並列接続）



親機を組み立てる

感熱紙を使用する場合には、インクフィルムのセットは行わないでください。次の受話器の取り付け（▶p19）に進んでください。

インクフィルムのセット

インクフィルム1本でプリントできる枚数のめやす

- ・お買い上げのときに付属のインクフィルム : 約 30枚
- ・消耗品（▶p126）のインクフィルム : 約130枚

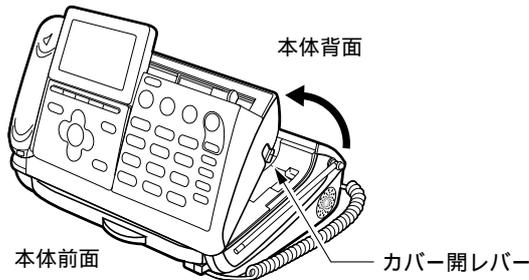
インクフィルムカートリッジ（以降カートリッジと略す）の取り外し

1 カバーを開ける

本体右側面にあるカバー開レバーを引き上げて開きます



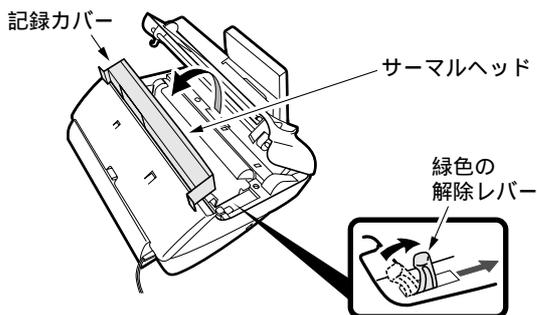
- ・受話器が本体に付いている場合は、受話器を手で支えてからカバーを開けてください。そのまま勢いよくカバーを開けると、受話器が落ちる場合があります。
- ・作業中に指をはさまれないように注意してください。



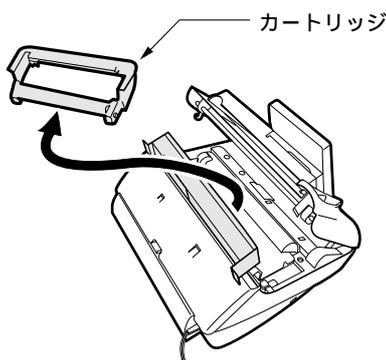
2 緑色の解除レバーを矢印の方向に倒し、記録カバーを開く



- ・サーマルヘッドに貼られている黒いフィルムは、絶対にはがさないでください。記録紙づまりの原因になります。



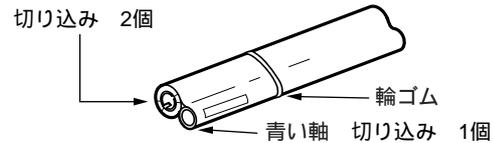
3 カートリッジを取り外す



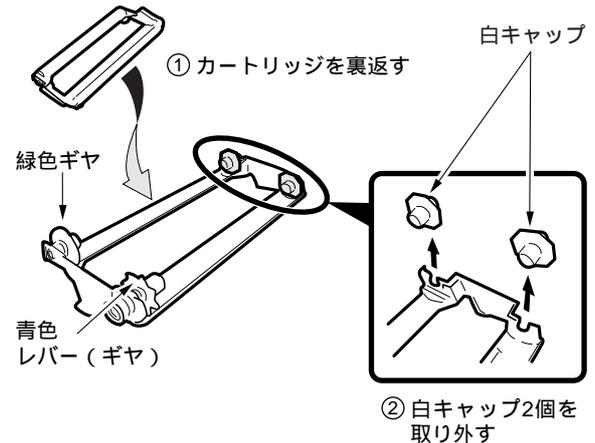
インクフィルムの取り付け

1 新しいインクフィルムを用意する

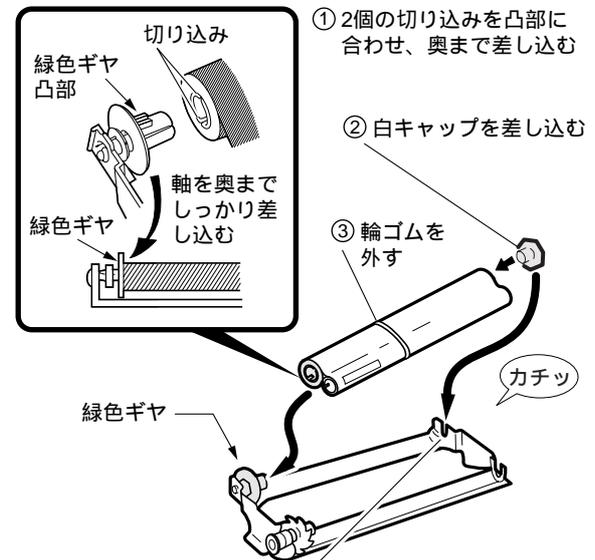
袋から取り出します
輪ゴムは、まだ外さないでください



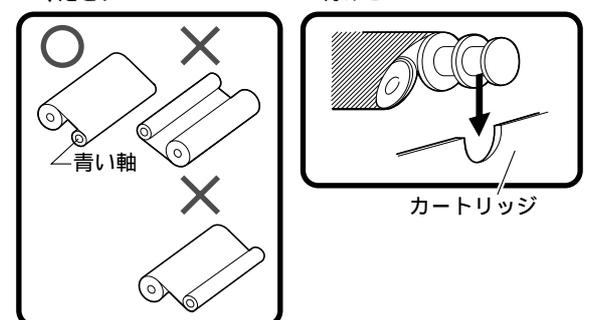
2 カートリッジを裏返し、白キャップ2個を取り外す



3 インクフィルムの軸（2個の切り込みのある側）をカートリッジ（緑色ギヤ）の凸部に合わせ、奥まで差し込む



④ カートリッジに「カチッ」と音がするまで確実に取り付ける



（次ページへ続く）

準備

電話

ファクス/
コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77セレクティ

・Eメール

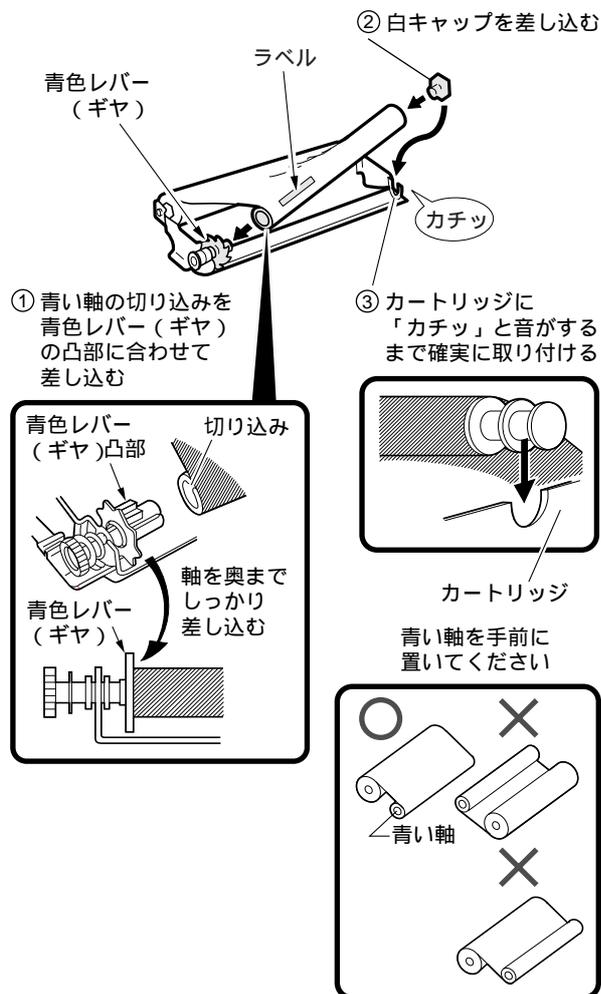
ナンバー・
ディスプレイ

キヤッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

4 青い軸の切り込みをカートリッジ（青色レバー）の凸部に合わせ、奥まで差し込む

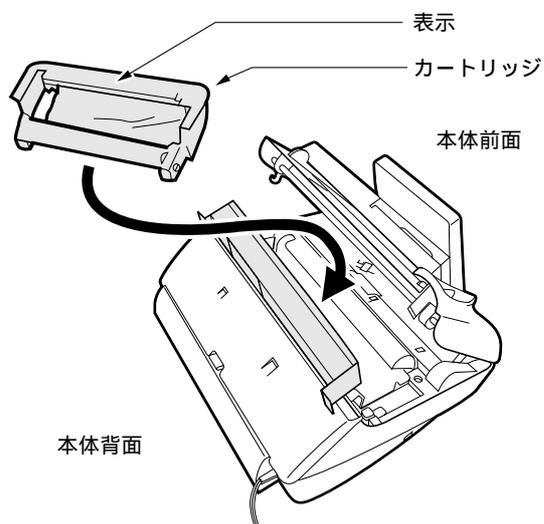
・インクフィルムが奥まで差し込まれたことを確認してください。奥まで差し込まれていない場合、取り付け不良や破損の原因となります。



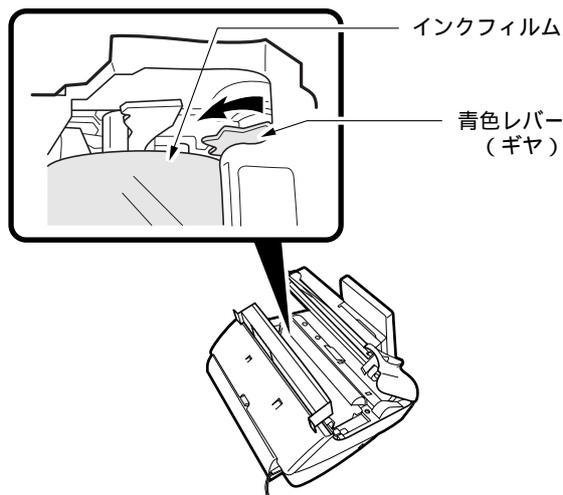
カートリッジの取り付け

1 カートリッジを取り付ける

フィルム面が下側になるようにカートリッジを裏返し、表示がある側を本機の前面側に向け、後方から先に取り付けます



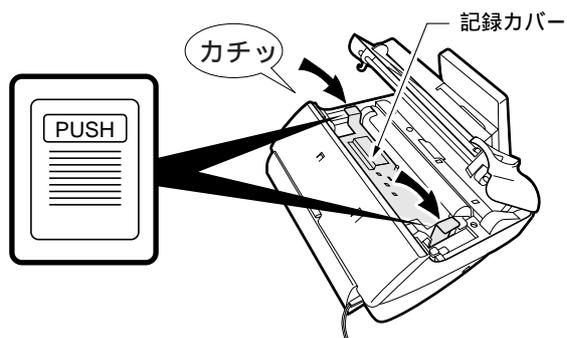
2 青色レバーを回し、インクフィルムのたるみを取る



3 記録カバーを閉じる

記録カバーの両端（[PUSH]部）をカチッと音がするまでしっかり押し込みます

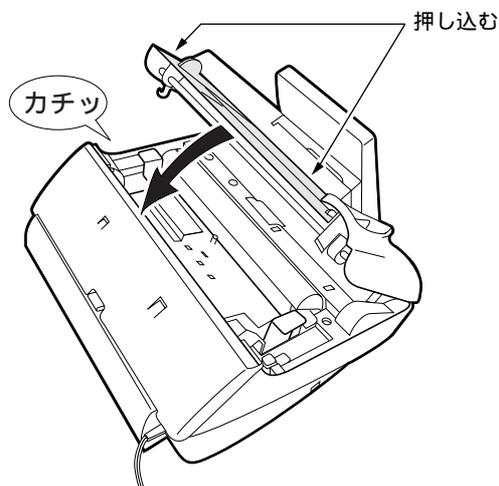
・記録カバーは確実に閉じてください。記録カバーを確実に閉じていないと、電源が入っているときはディスプレイに“記録カバー確認”と表示されます。



4 カバーを閉じる

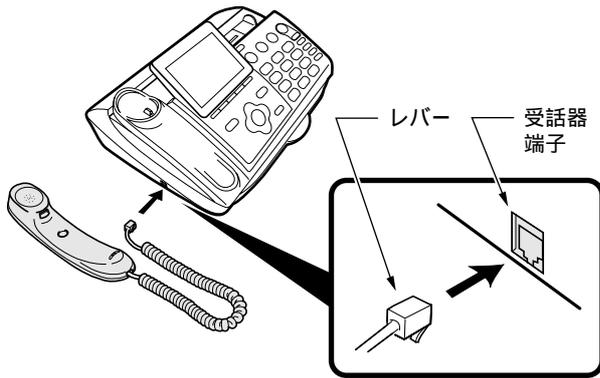
カバーの両端を、カチッと音がするまで押し込みます

・カバーは確実に閉じてください。カバーを確実に閉じていないと、本機を使用できません。電源が入っているときはディスプレイに“カバー確認”と表示されます。押し込んだとき、ディスプレイに無理な力がかからないようにしてください。



受話器の取り付け

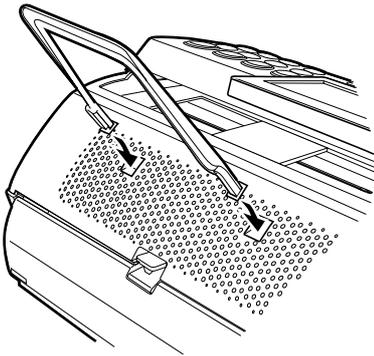
受話器端子に受話器用コードをカチッと音がするまで差し込みます。



受話器用コードを抜きたい レバーを押さえながら引き抜いてください。

原稿セット台の取り付け

- 1 原稿セット台の下側にある位置決めを、本機の溝に合わせる



- 2 固定されるまで本機に押し込む

原稿セット台を外したい

原稿セット台を軽く指でつまんで、外してください。

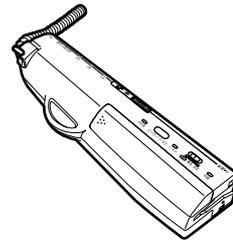
ハンズキャナ用電池パックの取り付け

- 必ず本体の電源プラグを、電源コンセントから外した状態で行ってください。
- 電池パックのビニールカバーをはがさないでください。

- 1 ハンズキャナを手前に引き抜く

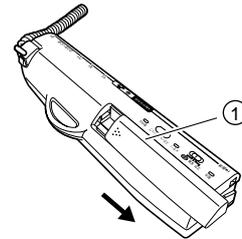


- 2 ハンズキャナを裏返す



- 3 電池カバーを取り外す

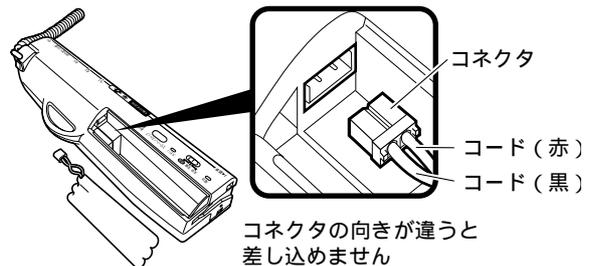
①の部分を押しながら、矢印方向へ引きます



ハンズキャナ用電池パックの取り付け

- 1 ハンズキャナ用電池パックを取り付ける

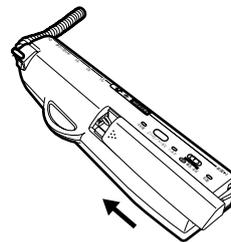
- コードをはさまないようにしてください。
- 電池パックのコネクタは、奥まで確実に差し込んでください。



- 2 電池カバーを取り付ける

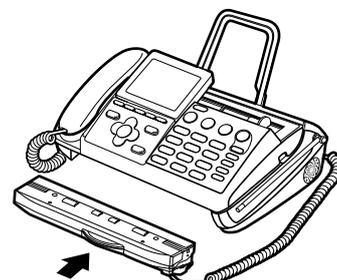
ツメを穴に合わせ、矢印方向に押します

- コードをはさまないようにしてください。



- 3 ハンズキャナを元通りに取り付ける

原稿読み取り面を上に向けて、本体に押し込みます



準備

電話

ファックス/コンピュータ

ハンズキャナ

留守電

便利に使う

77セレクティ

・Eメール

ナンバー・ディスプレイ

キャッチホン/ダイヤルイン

こんなときは

ハンズキャナの充電

お買い上げのとき：充電されていません

本体の電源を接続した状態でハンズキャナ用コードを取り付けると充電されます。コードレスで使用する場合は、6時間以上充電してください。ハンズキャナ用コードをつないであれば、充電されていなくてもハンズキャナを使用することができます。

ハンズキャナを使わないときは、必ず本体に取り付けて充電してください。ハンズキャナは、本機の原稿読み取り用としても使います。

コードレスでの使用可能時間（フル充電時）

約1時間です。

充電しても、すぐ電池がなくなって使えなくなる

電池パックの寿命かも知れません（通常の使用で約2年）。新しい電池をお買い求めください。
オプション品・消耗品のご案内 ▶ p126

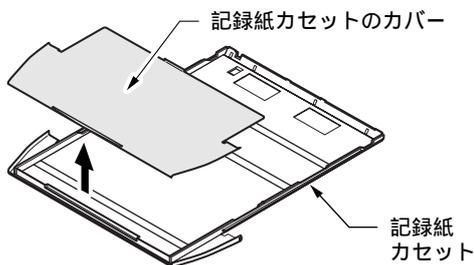
コードレスで長期間使わないときは

ハンズキャナをコードレスで使用しない、または旅行や引越など長期間充電しないときは、電池パックのコネクタを抜いて保管してください。そのまま放置すると、電池パックが劣化して使えなくなることがあります。

記録紙のセット

- 必ず推奨の記録紙をお使いください。記録紙について ▶ p15
- 感熱紙を使用のときはフィルムカートリッジを取り外して使用してください。フィルムカートリッジの取り外し ▶ p17
- 普通紙モードで使用するときは、必ず普通紙をセットしてください。感熱紙をセットすると故障の原因になることがあります。

1 記録紙カセットのカバーを取り外す



2 記録紙をさばく

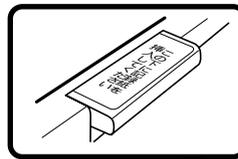
- 記録紙をさばかずにはセットすると、1度に複数枚の記録紙が送られることがあります。



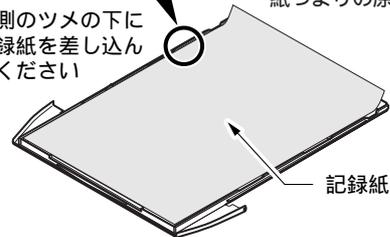
3 記録紙を入れる

感熱紙は印刷する面を「裏向き」にセットしてください

- セットできる枚数は普通紙、感熱紙とも、30枚までです。
- 普通紙と感熱紙を混ぜてセットしないでください。
- 感熱紙を使用する際に裏表を間違えてセットすると、白紙でプリントされます。また、この場合メモリにも残りません。
- 記録紙がカールして記録紙カセットの壁より高く浮き上がるときは、枚数を減らすか、カールを取り除いてください。記録紙づまりの原因となります。



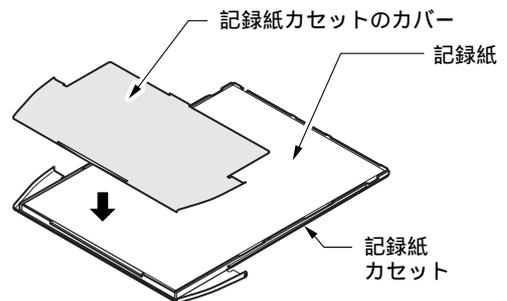
左側のツメの下に記録紙を差し込んでください



- 記録紙は30枚までです。
- セット後、記録紙がツメの下を前後にスムーズに動くことを確認してください。動かないときはセット枚数を減らしてください。記録紙づまりの原因となります。

4 記録紙カセットのカバーを取り付ける

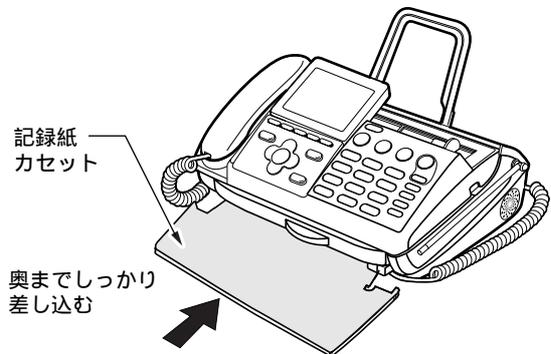
必ず取り付けてください。取り付けないと、記録紙づまりの原因になります



5 記録紙カセットを取り付ける

本体の設置底面に置いた状態で、平行にしっかり奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分な場合、記録紙づまりの原因になります

また、記録紙カセットを差し込む際は、ハンズキャナのコードをはさまないように注意してください



記録紙がなくなったら

記録紙がなくなると、ディスプレイに“普通紙を入れて下さい”または“感熱紙を入れて下さい”と表示されます。そのときは、記録紙を補充してください。

記録紙について ▶ p15

感熱紙を使いたい ▶ p67

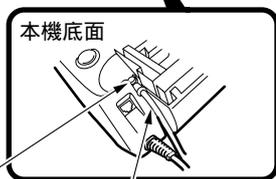
電源の接続

△注意

特に湿気が多い場所で本機を使用する場合は、必ずアース接続をしてください。アース線は付属していませんので、ご用意ください。



アース接続は、本体を裏返して行います（その際、本体およびディスプレイに無理な力がかからないように布などを敷いてください）。プラスドライバーとアース線を準備してください。

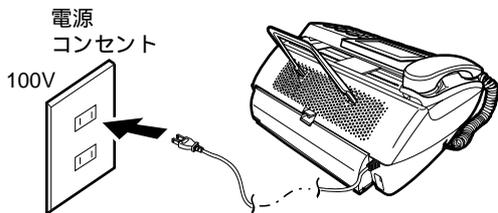


アース線の端子
(銀色のネジ)

アース線

電源プラグをコンセントに差し込む

77セレクトィ自動選択アナウンスが流れます



電源を接続してから回線接続までに10分以上経過すると、デモモード（宣伝用自動表示）が始まります。その場合、回線接続を行うとデモモードは終了します。

電話回線につなぐ ▶ p25

0077
SELECTY

77セレクトィについて

77セレクトィ搭載!

0077市外電話へ自動接続

0077
SELECTY

- 本機には、**0077 SELECTY**（77セレクトィ）が搭載されています。
- 回線の接続（▶ p25）を行うだけで、約1時間後そのまま自動的におトクな0077市外電話サービスをご利用いただけます。
電源を接続したとき、次のようなアナウンスが流れます。
「このファクシミリは、取り付けて頂くだけで、KDDIのおトクな0077市外電話を自動的に選択します。ご利用を希望されないお客様は、次の操作を行ってください。[77セレクトィ]ボタン[] [77セレクトィ]ボタンと押し、77セレクトィランプが消灯したことを確認してください」
- 市外電話をかけると、ダイヤルした相手先の電話番号、曜日、時間帯によって、KDDIの0077市外電話サービスとNTT回線のうち、通常通話料金のお得な回線を本機が自動的に選択してくれる機能です。
- 登録料金はかかりません。0077市外電話をご利用になった通話料金のみKDDIから請求されます。
- ご利用を希望されない場合には、アナウンスの内容に従って「77セレクトィを利用しない/再び利用する」（▶ p74）の操作を行ってください。

もっと詳しく知りたい

77セレクトィ ▶ p72

77セレクトィについてのお問い合わせ

KDDIカスタマサービスセンター



フリーコール 0077-772（無料）

受付時間 9:00~21:00（土・日・祝日も受付）

かんたん時刻セット

電源プラグをコンセントに差し込むと、ディスプレイに「しばらくお待ち下さい」と表示されます。続いて、現在の時刻をセットしてください。

- 1 ディスプレイの表示が切り替わるまで待つ

しばらくお待ち下さい



時刻設定します
セットを押して下さい

- 2 **登録/セット** を押す

年01月01日00:00
完了はセットを押す

反転されている文字を修正
できます

- 3 年月日・時刻を入力する

'年02月16日13:30
完了はセットを押す

- 年：西暦の下2桁
- 月日：1~9は01~09と入力
- 時刻：24時間制
1~9は01~09と入力

この例では
「0102161330」と
入力します

入力を間違えた [<] または [>] を押し、間違えた文字を反転させ、入力し直してください。

- 4 **登録/セット** を押す

設定しました

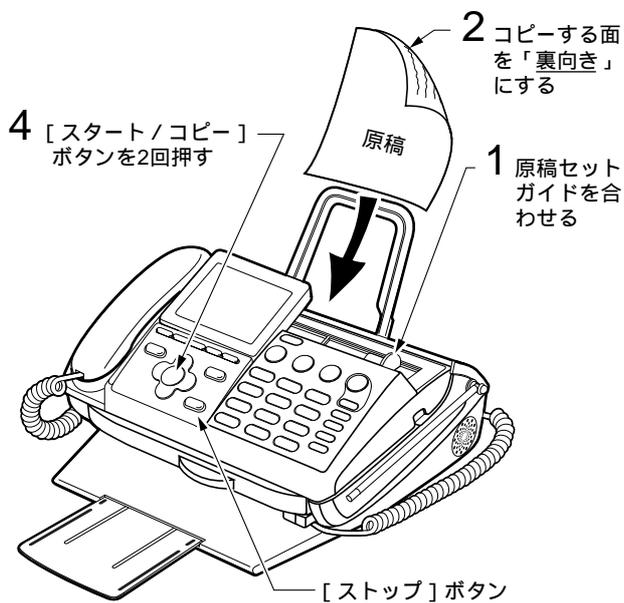
組み立ての確認

組み立てが正しくできたことを確認するため、コピーを取ってみましょう。

 ・感熱紙を使用する場合は、記録紙モードの設定を行ってください。記録紙モードの設定 ▶p67

- 1 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせる
- 2 コピーする面を「裏向き」にして、原稿を軽く差し込む
- 3 原稿が約3cm引き込まれる

- 4  を2回押す



コピーが終わると「ピー」という音がします。

コピーを途中で止めたい [ストップ] ボタンを押してください。

白紙が出てきたとき

- ・原稿の裏・表を、逆にセットしたことが考えられます。コピーする面を必ず「裏向き」にセットし、もう一度コピーしてみてください。
- ・記録紙として感熱紙を使用する際に裏・表を逆にセットしたことが考えられます。印字面を「裏向き」にセットし直してください。

紙が詰まったとき

- “原稿確認”と表示されたとき ▶p114
- “記録紙が詰まりました”と表示されたとき ▶p112

子機を組み立てる

ここでは、子機の通話範囲や、使用するときのご注意、組み立てかたなどを説明しています。

通話範囲について

子機を親機から離しすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。使用できる範囲は親機と子機の間に障害物がない状態で、約100mです。



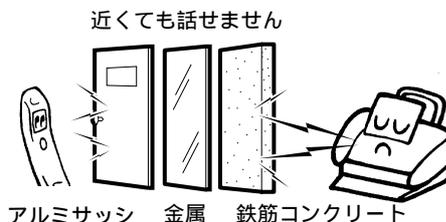
子機と子機で通話（N25CLは簡易子機間通話）するときも、お互い親機と通話できる範囲でご使用ください（上記）。

子機同士が近くても、どちらかが親機と通話できる範囲から外れると、子機同士の通話はできなくなります。

建物内の異なる階層（上下）や屋外を経由すると、通話できないことがあります。

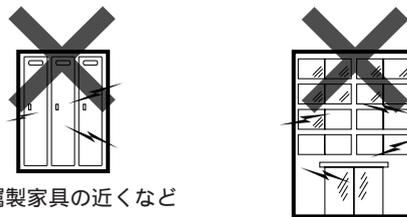
親機のアンテナは、まっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。

親機と子機の間に鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシなどの障害物がある場合は、電波が届きません。



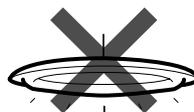
近くても話せません

親機と子機の間に何も障害物がなくても、次のような場合は、電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。



・金属製家具の近くなど

・マンションなど鉄筋コンクリートの壁や金属製のドアなどが使用された建物の場合



・蛍光灯などの電気製品の近くなど

子機使用上のご注意

子機は電波を使っているため、特殊な装置により盗聴される恐れがあります。大切な話は親機を使用するなど、注意してお使いください。

通話中に「ピーッ、ピーッ...」という音がしたときは、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外のままですと、約5秒後に親機側で保留になります。さらに1分経過すると電話が切れます。

通話中に「ピッピッピッ...」という音がしたときは、電池の充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると、約3分後に電話が切れます。

近隣で他のコードレス電話機を使っていると、まれに誤動作する場合があります。子機で電話が繋がらない、通話の途中で切れたなどの場合は、いったん切ってもう一度かけ直してください。

車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。

次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。

- ・ビジネスホン、モデム、パソコン、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
- ・携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器、およびACアダプタ
- ・テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
- ・自動車、オートバイ、ネオンサインなど

ふる場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。

自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」したときなど、雑音が入ることがあります。

ぬれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。本製品の子機には防水機能がありませんので故障の原因となります。

電池パックの取り付け

△注意

充電器に置いたままで行わないでください。故障の原因となります。

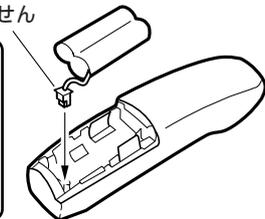
● 電池パックのビニールカバーをはがさないでください。

1 電池パックのコネクタを差し込む

コネクタの向きが違くと差し込めません

△注意

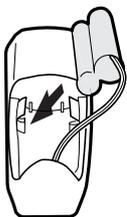
コネクタの向きが合わない状態で、無理に差し込まないでください。発煙、故障の原因となります。



2 電池パックを取り付ける

電池パックを斜めに差し込みます

上から押します

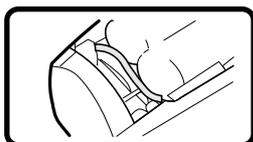


△注意

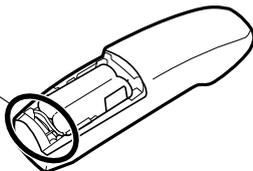
電池パックを上から無理に押し込まないでください。取り付け先のツメが壊れる原因となります。



3 コードを収納する

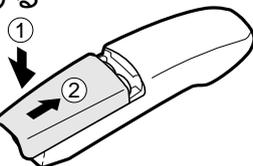


コードを無理に折り曲げないでください



4 電池カバーを取り付ける

子機の溝に合わせ、奥に押し込んでください

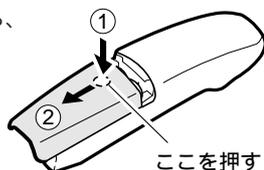


△注意

電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線・故障の原因となります。

電池カバーを外したい

電池カバーを下に押しながら、手前に引くと外れます。



充電器の組み立て



・テレビやステレオなどと同じコンセントに子機充電器用ACアダプタをつなぐと、雑音の原因となることがあります。できるだけ、別のコンセントにつないでください。近くにコンセントがない場合は、テレビやステレオなどから充電器を離してください。

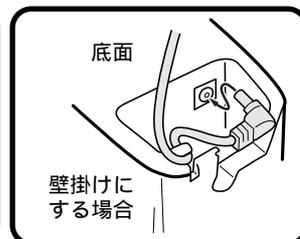
△危険

付属の充電器および子機充電器用ACアダプタ（AD910A）以外を使用しないでください。火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

△注意

コードを収納する際は、無理に折り曲げないでください。コードが傷つき、断線・故障の原因となります。ぬれた手で子機充電器用ACアダプタを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。子機充電器用ACアダプタ、充電器および子機をぬらしたり、水を入れたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

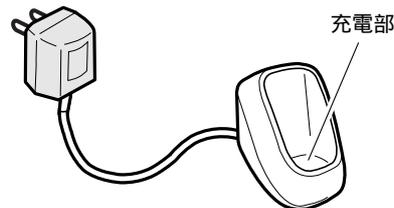
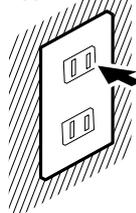
1 充電器にACアダプタを接続する



コードは上図のようにしっかり固定してください

2 ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む

100V



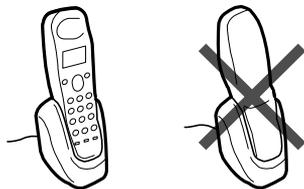
子機の充電

お買い上げのとき：充電されていません

子機を使わないときは、できるだけ充電器に戻しておいてください。

1 ボタン面が前になるように置く

裏返しに置くと、正しく充電されません



2 [外線] ボタンと [グループ/ドアホン/内線] ボタンが赤く点灯し、充電が始まる

充電時間について

初めてご使用のときは、9時間以上充電することをおすすめします。十分に充電されていないと、子機を使おうとしたときに「ピーッ、ピピッ」という音がして電話が切れます。このときは、しばらくの間充電すると使えるようになります。

子機の使用可能時間（フル充電時）

- ・連続通話時： 約7時間
- ・連続待受時：約200時間

[外線] ボタンと [グループ/ドアホン/内線] ボタンがずっと赤く点灯している

充電が完了しても、充電器に置いている間は赤く点灯しています。過充電になることはありません。

⚠ 警告

充電器の充電部に、金属物をのせないでください。発熱・やけどの原因となります。

子機を長時間使わない、または充電できないときは

旅行や引越などで、子機を長時間使わない、または充電できないときは、子機の電池パックのコネクタを抜いて保管してください。子機充電器用ACアダプタをコンセントから抜いておいたり、子機を充電器から外して充電しないまま放置すると、電池パックが劣化して使えなくなることがあります。

充電しても、すぐ電池がなくなって使えなくなる

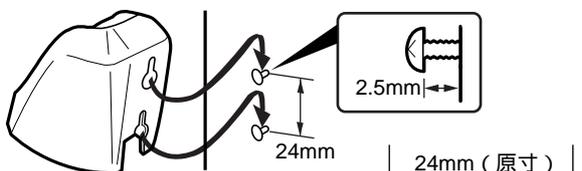
電池パックの寿命がもれません（通常の使用で約2年）。
電池パックを交換する ▶ p115

子機を増設するとき ▶ p115

充電器を壁掛けにしたい

充電器は付属のネジを使うと壁に掛けることができます。

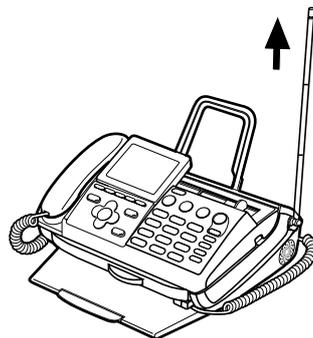
- 1 付属のネジ2本を壁などに取り付け、ネジの頭を2.5mm程度出したままにする（定規として下図をご利用ください）
- 2 充電器の壁掛け用穴をネジに引っかけて、少し下に引く



充電器が固定されたことを確認してください

親機のアンテナの調整

親機のアンテナをまっすぐ立て、のばしてください。アンテナを倒したままでは、子機の通話範囲が狭くなったり、通話中に雑音が入ることがあります。

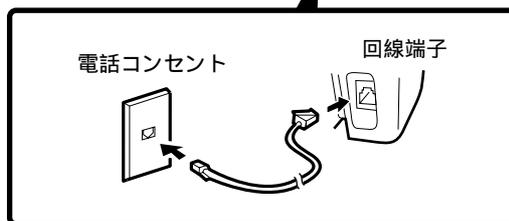


電話回線につなぐ

電話回線接続コードで本機を電話コンセントにつなぎ、電話がかけられることを確認します。

電話回線接続コードの接続

付属の電話回線接続コードの片方を本機背面に差し込み、もう片方を電話コンセントに差し込みます。



INSネット64を利用している

INSネット64を利用するには ▶ p107

回線種別の設定

電話回線接続コードの接続が終わると、本機が自動的に回線種別を選びます。

- ・ISDNターミナルアダプタに本機を接続している場合は、自動設定できない場合があります。その場合は、手動でPBに設定してください。

回線種別の自動/手動設定 ▶ p59

準備

電話

ファクス/
コピー

ハン
ドス
キャ
ナ

留守
電

便利
に使
う

77
セ
レ
ク
テ
ィ

・E
メ
ー
ル

ナン
バー
・
デ
ィ
ス
プ
レ
ィ

キャ
ッチ
ホ
ン/
ダ
ィ
ヤ
ー
ル
ィ
ン

こ
ん
な
と
き
は

電話ができることを確認する

電話をかけたり、受けたりできることを確認してください。

電話をかけられない

困ったときは ▶ p120

電話をかけられるが、受けられない

ナンバー・ディスプレイの契約と設定が一致しているかどうかを確認してください。

- ・契約している場合 「利用する」(お買い上げのときのまま)
- ・契約していない場合 ... 「利用しない」に変更が必要
ナンバー・ディスプレイの設定 ▶ p98

ダイヤルインを契約している場合は、次のことを確認してください。

- ・ダイヤルインを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約していない場合 「利用しない」に変更が必要
ナンバー・ディスプレイの設定 ▶ p98
- ・モデムダイヤルインを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約していない場合 ... 「利用する」(お買い上げのときのまま)

契約しているサービスの確認

NTTサービスなどを契約している方は、設定が必要な場合があります。

にチェック“✓”し、設定が必要なときは該当ページを見て設定してください。

NTTサービスの契約をしていますか？

- ・キャッチホン
キャッチホンを利用する ▶ p104
- ・ナンバー・ディスプレイ
設定が必要です
ナンバー・ディスプレイの設定 ▶ p98
- ・ダイヤルイン
設定が必要です
ダイヤルインの登録 ▶ p106

お買い上げ時の状態について

お買い上げ時の本機は、ファクスを自動で受けられるように設定されています。自動で受ける ▶ p44

また、お買い上げ時の本機の設定状態については「機能設定 / 登録早見表」で示しています。
機能設定 / 登録早見表 ▶ p132

操作を間違えたときは

・親機の場合

〔ストップ〕 [ストップ] ボタンを押すと、操作 / 設定がキャンセルされ、待機状態またはひとつ前の状態に戻ります。

・子機の場合

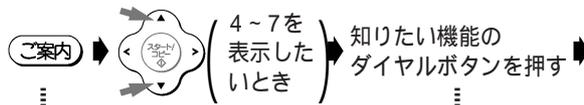


〔機能〕 ボタンを2秒以上押し続けると、ディスプレイがひとつ前の状態に戻ります。すべての操作をやり直すときは、充電器に戻すか [外線] ボタンを押してください。

ご案内機能について

本機の簡単な音声案内を聞いたり操作手順をプリントすることができます。

操作のしかた



- 1 : ファクス送信
- 2 : コピー
- 3 : ハンドスキャナ(コピー)

- 1 : 案内プリント
- 2 : 音声案内

案内プリントは **あ 1**

音声案内は **か 2**

“2 : 音声案内”が表示されず“0 : 中止”が表示された

案内プリントのみ出力され、音声案内は流れない機能があります。▶ 下記

ダイヤルボタンを押したら、さらに項目が表示された

「留守電」については、[4]を押したあと、さらに“1 : 応答メッセージ録音” “2 : 全用件消去”が表示されます。知りたい項目番号を押してください。

ご案内一覧

ダイヤルボタン	機能	案内プリント	音声案内
あ 1	ファクス送信		
か 2	コピー		
さ 3	ハンドスキャナ(コピー)		
た 4	留守電		
な 5	らくらく電話帳(登録)		×
は 6	電話		×
ま 7	ナンバー・ディスプレイ		×

電話として使うには

ここでは、電話のいろいろな使いかたを説明しています。

電話をかける



親機で



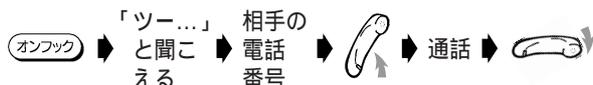
- ・子機で電話中は、かけられません。ディスプレイに“内線2 使用中”と表示されます。
- ・ファクス受信中やコピー中には、電話をかけられません。

受話器を取ってかける



受話器を置いたままかける

オンフックダイヤル



番号を押し間違えたら [オンフック] ボタンを押し、最初からやり直してください。

番号を確認してからかける



番号を押し間違えたら [消去] ボタンまたは [ストップ] ボタンを押し、最初からやり直してください。



[オンフック] ボタンの使いかた (親機のみ)

- ・ [オンフック] ボタンを押すと受話器を持たずに電話がかけられます (オンフックダイヤル)。
- ・ 通話中に [オンフック] ボタンを押してから受話器を戻すと、通話が切れずにスピーカから相手の声が聞こえます。
- ・ オンフック中は、こちらの声は相手に聞こえません。



子機で



- ・ 親機を使用中には、電話できません。電話をかけようとするとき「ピーピーピー」と音が鳴ります。
- ・ 他の子機 (N25CLは子機を増設しているとき) で通話中は、電話できません。

充電器に置いてあるとき



番号を押し間違えたら [外線] ボタンをゆっくり2回押し、「ツ…」という音を確認してから相手の電話番号をダイヤルしてください。

「ツ…」と聞こえないとき [外線] ボタンを押してください。

充電器に置いていないとき

[外線] ボタンの代わりに [ワイワイトーク] ボタンを押してもかけられます。



番号を押し間違えたら [外線] ボタンを押し、最初からやり直してください。

番号を確認してからかける



番号を押し間違えたら [削除/保留] ボタンを押すごとに、1文字ずつ取り消すことができます。間違えた番号まで戻ってやり直してください。

充電器に置いていないとき そのまま相手の電話番号をダイヤルし、確認してから [外線] ボタンを押してください。

相手の声を大きくしたい

受話音量 → p40

クイック通話とは

お買い上げのとき : OFF

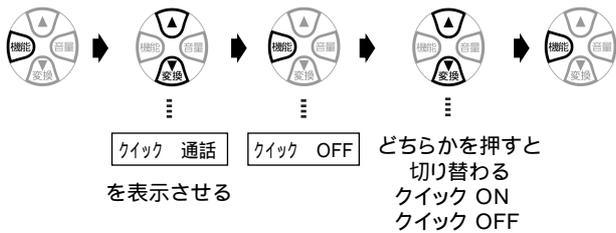
クイック通話がONのとき

電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機を取ると [外線] ボタンまたは [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押さずに相手と話ができます。

クイック通話がOFFのとき

電話がかかってきたとき、相手を確認してから、外線の場合は [外線] ボタン、内線の場合は [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押して、相手と話することができます。

クイック通話のON/OFFの切り替えかた



- クイック通話がONのときに、充電器から子機を取ったあと何もしないで約25秒経つと、待機中に戻ります。

ワイワイトークで電話をかける

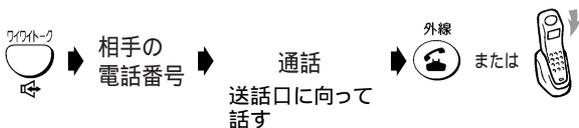
ハンズフリー通話

子機だけの機能です。

子機を持たずに電話ができます。両手がふさがっているときや、みんなで話をしたいときに便利です。ワイワイトークは周囲の雑音がない静かな場所で行ってください。

- 話し始めたときや、相手が話している間、または周囲の雑音が大きいときは、相手に声が聞こえにくくなります。このようなときは、送話口（子機）に近づいて話してください。
- 次のようなときは異常音（ハウリング音）が起こりやすくなります。
 - 一 反響音が大きい所に設置したとき
 - 一 相手から音声以外の信号（保留音やトーン信号など）が入ってきたとき

- 子機で
 - 送話口から約50cm以内の範囲で話してください。
 - ワイワイトーク音量を「大」にすると、音が割れたり、歪んだりすることがありますので「標準」にしてください。
ワイワイトーク音量 ▶ p40



充電器に置いているとき [ワイワイトーク] ボタンの代わりに [外線] ボタンを押すこともできます。

ワイワイトークをやめたい

[ワイワイトーク] ボタンを押してください。充電器に置いているときは、充電器から取ると、切り替わります。

ワイワイトークに切り替えたい

[ワイワイトーク] ボタンを押してください。

異常音がする

「ピー」、「キー」などの異常音（ハウリング音）が聞こえたときや、スピーカの音量が不安定になったときは、次のようにしてください。

- [音量] ボタンを押して、ワイワイトーク音量を「標準」にする
- [ワイワイトーク] ボタンを押して、子機を持って話す

同じ相手にもう一度かける

リダイヤル

以前かけた相手に簡単にかけ直すことができます。



- 最大10件まで記憶できます。
- 以前かけた相手には、ファクスを送った相手や、話中で通話できなかった相手も含まれます。
- 子機で電話をかけた相手に、親機でかけ直すことはできません。
- リダイヤルできる桁数は40桁までです。
- 受話器を取ったあと、または [オンフック] ボタンを押したあと [リダイヤル] ボタンを押したときは、最後に電話をかけた相手に自動的にリダイヤルします。
- [] [] を押し続けると早送りされます。



ファクスを送信したい

原稿をセットしてから、送信したい相手を表示させ、[スタート/コピー] ボタンを押してください。

以前かけた電話番号を消したい

記憶した相手先を1件ずつ消去することができます。



消したくないとき 確認のメッセージを表示中に [<] または [>] を押し、「中止」を選んで [登録/セット] ボタンを押してください。

途中で操作をやめたいとき [ストップ] ボタンを押してください。



- 1件のみ記憶できます。
- 親機で電話をかけたり、ファクスを送ったりした相手に、子機でかけ直すことはできません。
- リダイヤルできる桁数は32桁までです。
- [] を1秒以上、押し続けしないでください。[] を押し続けると、リダイヤル、着信データ（ナンバー・ディスプレイ契約者のみ）、電話帳に登録している相手の順に表示が変わります。



リダイヤル
0120200940

最後にかけた相手の電話番号が表示されます

最後にかけた電話番号を消したい



電話帳 消去
を表示させる

リダイヤル 消去
すでに消去済みの場合は表示されません



消去しますか

確認のメッセージが表示されます

消したくないとき 確認のメッセージを表示中に [] または [] を押し、“中止しますか”が表示されたら [機能] ボタンを押してください。

途中で操作をやめたいとき 充電器に戻してください。

電話を受ける



電話がかかってくると [おやすみ] ボタンが点滅します。



子機のベルは、親機より少し遅れて鳴ります。
電話がかかってくると [外線] ボタンと [ワイワートーク] ボタンが点滅します。

充電器に置いてあるとき



充電器に置いていないとき



相手の声を大きくしたい

受話音量 → p40

ベルの音量を変えたい

ベル音量 → p40

ベルの音を変えたい

着信時の、ベルの音色を変えることができます。また、ベルの代わりにメロディを流すこともできます。
ベルの音色 / メロディを変える → p63

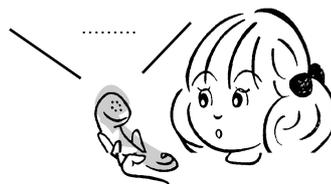


ボーンという音が聞こえたら



・「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れたら、受話器を戻してください。子機の場合は [外線] ボタンを押してください。
・ファクスかんたん受信を「しない」に設定したときは、メッセージが流れません。このときは、下記の「無音だったら」と同じ操作をしてください。

無音だったら



・ファクスかも知れません。[スタート/コピー] ボタンを押してみてください。子機の場合は [グループ / ドアホン / 外線] ボタンを押してから [6] を押してください。

保留する

通話の途中で相手を待たせるときに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。

・10分以上保留にしたまましていると電話は切れます。
・内線通話の保留はできません。



保留中に受話器を戻すと 電話は切れません。受話器を取ると保留が解除され、話ができます。

保留のあと子機で話をするとき

親機で保留したあと、受話器を戻して子機を取ると、子機で通話できます。



保留中に充電器に戻すと 電話は切れません。クイック通話がONのときは充電器から取る、クイック通話がOFFのときは充電器から取り [外線] ボタンを押すと保留が解除され、話ができます。

保留のあと親機で話をするとき

子機で保留したあと、充電器に戻して親機を受話器を取ると、親機で通話できます。

保留中のメロディを変えたい

保留メロディは、「聖者の行進」または「茶色の小瓶」のうち、いずれかを親機で選べます。

保留メロディを変える → p63

転送する

かかってきた電話を親機から子機に、または子機から親機に転送することができます。



内線番号について

親機や子機には、内線番号が割り当てられています。

- ・内線1：親機
- ・内線2：付属子機1台目
- ・内線3：増設子機1台目（N26WCLの場合は付属子機2台目）
- ・内線4：増設子機2台目（N26WCLの場合は増設子機1台目）
- ・内線5：増設子機3台目（N26WCLの場合は増設子機2台目）
（増設子機は別売です）

親機、子機すべてを呼び出すには、内線番号の代わりに[*]を押します。

親機から子機に転送する



親機



子機

1 外線と通話中

2 保留/内線 を押す

外線が保留され、相手にメロディ音が流れます

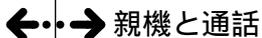
3 かABC 2 を押す

子機が2台以上ある場合は、該当する内線番号を押します
内線番号について→上記

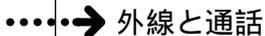


4 子機と通話

用件を伝えます



5 受話器を戻す



子機が出ない

[保留/内線] ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。

子機に切り替えたい(1人で転送したい)

手順2で[保留/内線] ボタンを押し、受話器を戻してから子機を取る、または[外線] ボタンを押すと、子機で外線と通話ができます。

子機から親機に転送する



子機



親機

1 外線と通話中

2 グループ/ドアホン/内線 を押す

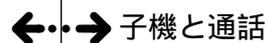
3 1あ を押す

外線が保留され、相手にメロディ音が流れます



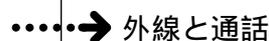
4 親機と通話

用件を伝えます



5 充電器に戻す

または



親機が出ない

[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。

親機に切り替える(1人で転送したい)

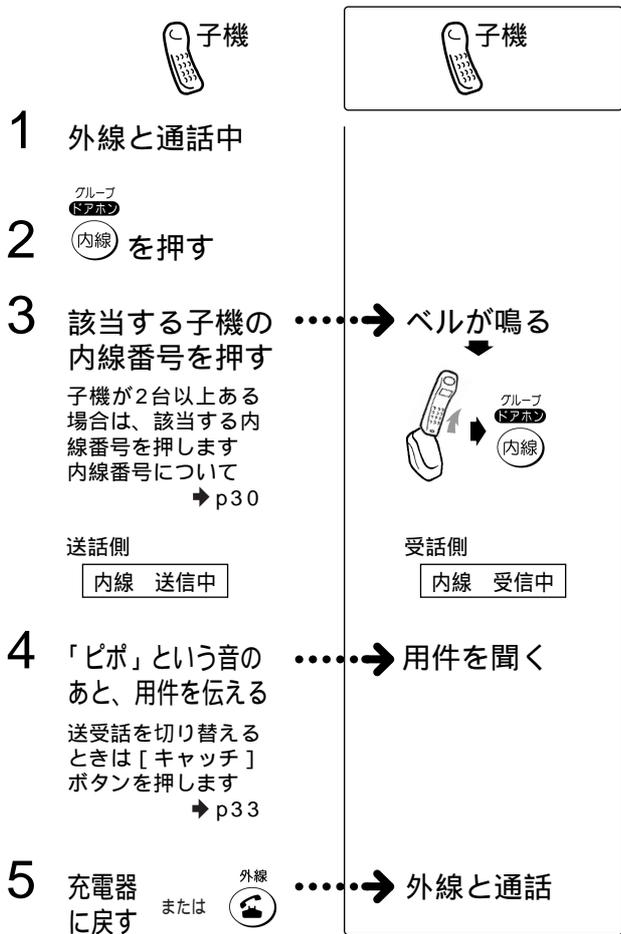
外線と通話中に[削除/保留] ボタンを押し、子機を充電器に戻すか[外線] ボタンを押したあと、親機の受話器を取ると、親機で外線と通話ができます。

子機から子機に転送する

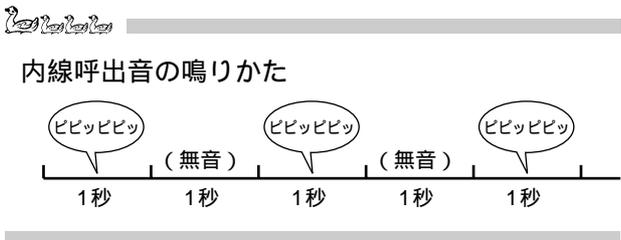
speaxN25CL

子機を増設された方だけお読みください。

- ・相手と同時に話すことはできません。送話側が話したあと[キャッチ]ボタンを押すと、送話と受話が切り替わります。
- ・送受話の切り替えおよび転送は、送話側の子機のみ行えます。
- ・送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、自動的に外線が転送されます。

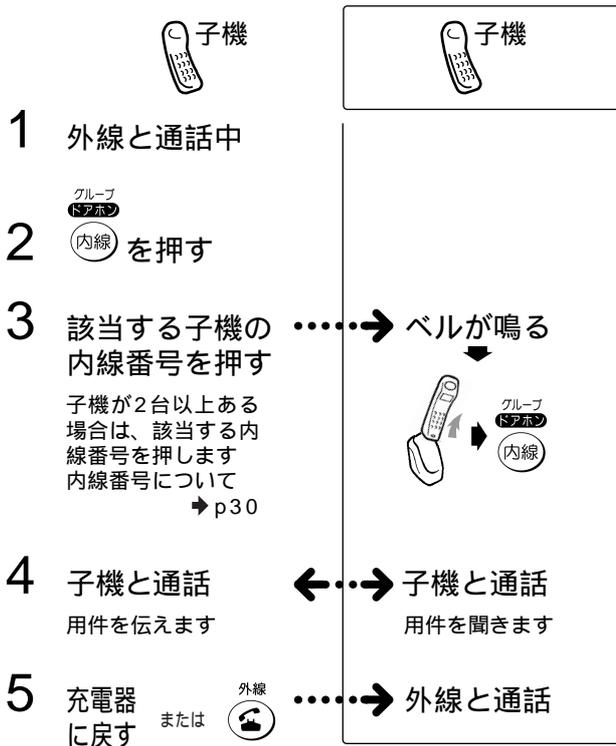


子機が出ない
 [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。



speaxN26WCL

- ・子機2台と親機を近くに設置している場合、子機から子機への呼び出しができないことがあります。
- ・一方がハンズフリーで話していると、もう一方の子機はハンズフリーで話せません。



他の子機が出ない
 [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押すと外線との通話に戻れます。

他の子機に切り替えたい(1人で転送したい)
 手順2で[削除/保留]ボタンを押し、充電器に戻す、または[外線]ボタンを押してから他の子機を取る、または[外線]ボタンを押すと、他の子機で外線と通話ができます。

- 異常音がする**
- 「ピー」「キー」などの異常音(ハウリング音)が聞こえたときや、スピーカの音量が不安定になったときは、次の操作を行ってください。
 - ・[音量]ボタンを押して、ワイワイトーク音量を「標準」にする
 - ・[ワイワイトーク]ボタンを押して、子機を持って話す

親機と子機で通話する

内線通話

親機と子機で通話をすることができます。



- ・内線通話は保留できません。
- ・どちらかが外線通話中のときは、内線通話はできません。
- ・内線の呼出中や、内線通話中に外線がかかってくると、内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴ります。外線に出るときは、親機はいったん受話器を戻し再度取る、子機は [外線] ボタンを押すと外線に出られます。
- ・三者通話はできません。
- ・親機をオンフックにすると、子機側に親機側の声が聞こえません。 [オンフック] ボタンの使いかた → p27

親機から子機にかける



親機



子機

- 1 を押す
- 2 を押す→ ベルが鳴る
子機が2台以上ある場合は、該当する内線番号を押します
内線番号について → p30
- 3 受話器を取って→ 親機と通話
子機と通話
- 4 受話器を戻す
充電器に戻す または

子機から親機にかける



子機



親機

- 1 待機中
→ p12
- 2 を押す
- 3 を押す→ ベルが鳴る
↓
受話器を取る
- 4 親機と通話→ 子機と通話
- 5 充電器に戻す または

子機と子機で通話する

準備

電話

ファックス/コピー

ハンズキャナ

留守電

便利に使う

77セレクトイ

Eメール

ナンバーディスプレイ

キャッチホン/ダイヤルイン

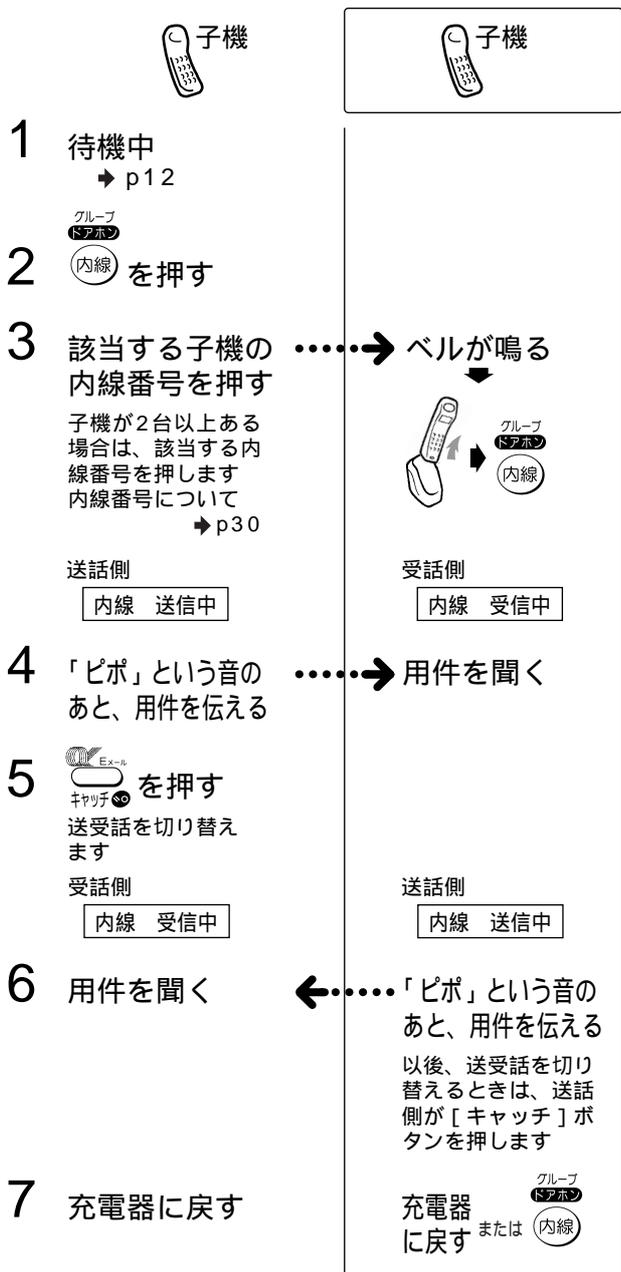
こんなときは

子機と子機で簡易に通話する (N25CL)

簡易子機間通話：トランシーバー方式

N25CLで子機を増設した方のみお読みください。子機と子機でトランシーバー方式の会話を行うことができます。

- ・簡易子機間通話は保留できません。
- ・親機または子機が外線通話中のときは、簡易子機間通話はできません。
- ・内線の呼び出しや、内線通話中に外線がかかってくると、内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴ります。
- ・三者通話はできません。
- ・相手と同時に話すことはできません。送話側が話したあと [キャッチ] ボタンを押すと、送話と受話が切り替わります。
- ・送受話の切り替えおよび終話は、送話側の子機のみ行えます。
- ・送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、簡易子機間通話が自動で終了します。

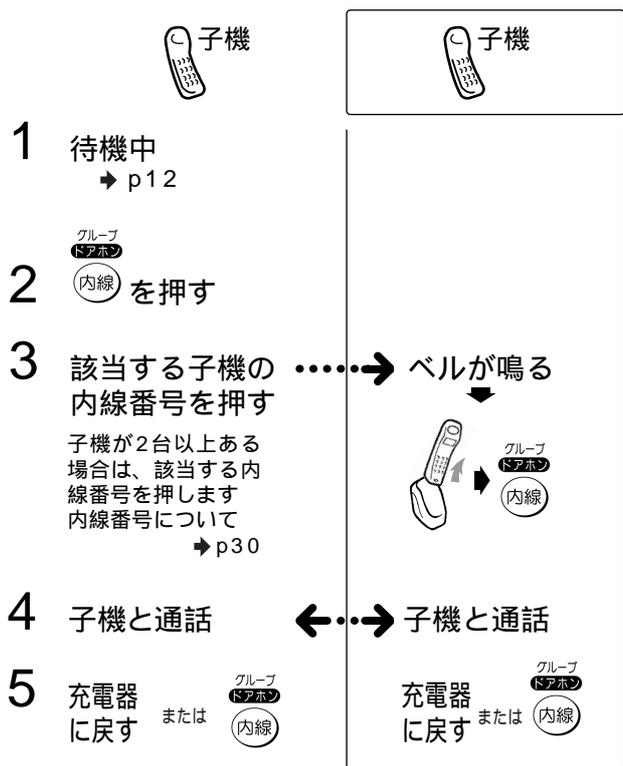


子機と子機で会話する (N26WCL)

子機間通話：双方向

N26WCLの場合、子機と子機で双方向の会話を行うことができます。

- ・保留はできません。
- ・親機または他の子機が外線通話中のときは、通話できません。
- ・内線の呼び出しや、内線通話中に外線がかかってくると、内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴ります。
- ・三者通話はできません。
- ・子機2台と親機を近くに設置している場合、子機から子機への呼び出しができないことがあります。
- ・一方がハンズフリーで話していると、もう一方の子機はハンズフリーで話せません。



異常音がする

- 「ピー」「キー」などの異常音(ハウリング音)が聞こえたときや、スピーカの音量が不安定になったときは、次の操作を行ってください。
- ・ [音量] ボタンを押して、ワイワイトーク音量を「標準」にする
 - ・ [ワイワイトーク] ボタンを押して、子機を持って話す

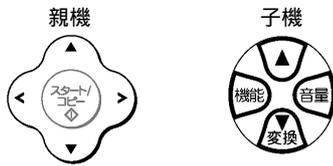
らくらく電話帳で電話をかける

あらかじめ電話帳に登録しておく、かんたんに電話をかけることができます。

らくらく電話帳に登録する ▶ p35



[電話帳] ボタンの使いかた



- ・親機
[] [] ...登録されている先頭の相手先が表示されます。
- ・子機
[] ...リダイヤル、着信データの新しい順(ナンバー・ディスプレイ契約者のみ)、電話帳に登録されている末尾からの順で相手が表示されます。
[] ...電話帳に登録されている先頭から、着信データの古い順(ナンバー・ディスプレイ契約者のみ)、リダイヤルの順で相手が表示されます。
リダイヤル ▶ p28
ナンバー・ディスプレイ ▶ p97

- ・親機・子機 共通
[] または [] を押しごとに相手先が切り替わります。
[] または [] を押し続けると早送りされます。

例: 「伊藤」「加藤」「菊尾」が登録されているとき



電話帳の相手先名は読みカナの50音順に表示されます

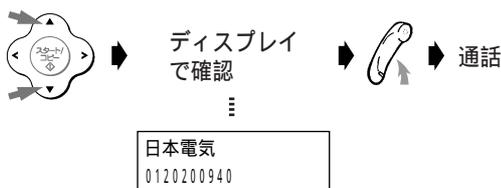
登録するとき相手先名の読みカナの前に空白を入れたり、アルファベットや数字などを入力すると次の順で表示されます。

空白+文字 数字 カナ(50音順) アルファベット
記号 相手先名のない電話番号



- ・子機に登録してある電話帳は使用できません。

相手先を確認してからかける



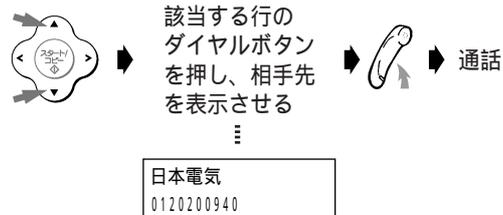
[電話帳] ボタンを押す前に受話器を取った

相手先を表示させたあと[スタート/コピー]ボタンを押すとかけられます。ただし[スタート/コピー]ボタンを押すまでに時間がかかると、電話をかけられない場合があります。受話器を置いたまま、先に相手先を表示させてからかけることをおすすめします。

相手先を素早く探してかける

- ・ディスプレイに相手先が表示されているときにダイヤルボタンを押すと、ボタンに割り当てられているカナの行の名前が表示されます。
(例: [3(さ)]を押すと「佐藤」)
また、ダイヤルボタンを押すたびに、その行の相手先が順番に表示されます。
(例: [3(さ)]を押すたびに「佐藤」「鈴木」...)
- ・読みカナが記号で始まる場合は[0]を押すと、「-」や「(」、「*」などで始まる読みカナが表示されます。記号で始まる相手先を表示中には[]を押すと次の相手先が表示されます。

- ・該当する行に一人も登録されていないときは、ダイヤルボタンを押しても表示は変わりません。



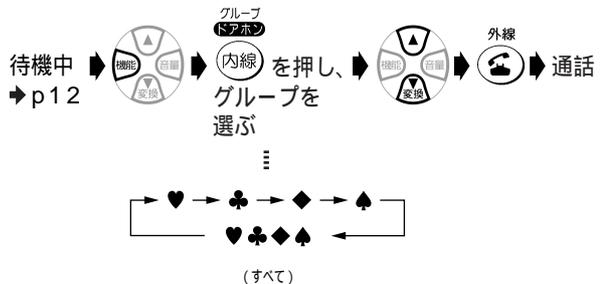
- ・親機に登録してある電話帳は子機の電話帳に転送しなければ、子機では使用できません。電話帳転送 ▶ p38

50音順で探してかける



グループで探してかける

グループに分けて登録しておく、グループごとに相手先を探してかけることができます。子機で登録する ▶ p36

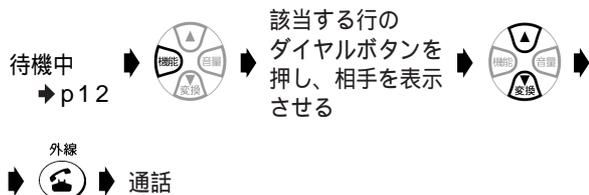


“登録なし”と表示された

グループが登録されていません。

相手先を素早く探してかける

ダイヤルボタンを押すと、ボタンに割り当てられているカナの行の名前が、50音順に表示されます。
(例: [1(あ)]を押すと「阿部」)



読みカナが英数字や記号で始まっている

素早く探せるのはカナで始まる名前だけです。英数字や記号で始まる名前のときは[] または [] を押し続け、早送りして探してください。

らくらく電話帳に登録する

よく電話したり、ファクスを送ったりする相手先の名前や電話番号を登録できます。

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

必ず市外局番から登録してください。また[*][#][-](ポーズ)は入力しないでください。▶p99

国際電話の番号を登録したい

手順6で国際電話番号を入力したあと[ポーズ]ボタンを2回押してください。そのあと、残りの電話番号を入力してください。

入力例: 001 - - 1 [相手の番号]

[ポーズ]ボタンを2回押す(合計6秒のポーズが入る)
(ポーズ1回ごとに3秒の間があきます)

ただし、ターミナルアダプタに本機を接続している場合は、ポーズを入れると電話をかけられなくなることがあります。
INSネット64を利用するには▶p107

親機で登録する

登録できる件数は200件までです。相手先名は10文字まで、読みカナは12文字まで、電話番号は32桁まで登録できます。

1 を押す

電話番号だけ入力したい 手順5に進んでください。

-Eメールを契約している “登録先 電話帳/アドレス帳” と表示されたら[<]または[>]で「電話帳」を選び[登録/セット]ボタンを押してください。 -Eメール▶p77

電話帳登録
> 名前?
かな

2 相手の名前を入力する

文字入力一覧表▶p136

文字入力を間違えた [<] または [>] で間違えた文字を反転させ [消去] ボタンを押してください。

読みカナ?
 ズキマサユキ

3 を押す

「カナ」入力モードになり、漢字変換時に入力した「読み」がカタカナで表示されます

4 読みカナを確認する

修正したい [<] または [>] で修正したい文字を反転させ、新しい文字を入力してください。

5 を押す

6 相手の電話番号を市外局番から入力する

途中で登録をやめたい [ストップ] ボタンを押してください。

鈴木正幸
電話番号?

鈴木正幸
0120200940

鈴木正幸
0120200940
登録しました

7 を押す

続けて登録したい 手順2からくり返してください。

8 登録を終了するときは を押す

“電話帳がいっぱいです” と表示された

相手先が200件登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。
親機の電話帳の登録内容を消去する▶p36

登録した内容を確認したい

親機の電話帳の登録内容をプリントする▶p69

親機の電話帳を子機で使いたい

親機の電話帳を子機に転送する▶p38

親機の電話帳の登録内容を変更する

1 を押し、変更したい相手を表示させる

2 を押す

消去 / 変更

3 を押し、 “変更” を選ぶ

消去 / 変更

4 を押す

鈴木正幸

名前を変更しないとき 手順7に進んでください。

5 を押し、 変更したい文字を 反転させる

鈴木正幸

6 名前を入力し直す

[消去] ボタンを押すと、反転している文字が1文字消えます

7 を押す

読みカナ?
 ズキマサユキ

読みカナを変更しないとき 手順10に進んでください。

8 を押し、 変更したい文字を 反転させる

読みカナ?
 ズキマサユキ

9 読みカナを入力し直す

[消去] ボタンを押すと、反転している文字が1文字消えます

(次ページへ続く)

準備

電話

ファクス/
コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77セレクティ

Eメール

ナンバー・
ディスプレイ

キャッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

10 を押す

鈴木正幸
0120200940

電話番号を変更しないとき 手順13に進んでください。

11 を押し、変更したい数字を反転させる

12 番号を入力し直す

[消去] ボタンを押すと、表示されているすべての数字が消えます

13 を押す

変更しました

親機の電話帳の登録内容を消去する

1 を押し、消去したい相手を表示させる

2 を押す

消去 / 変更

3 を押し、“消去”を選ぶ

4 を押す

鈴木正幸
0120200940
消去 / 中止

5 を押す

消去しました

途中で消去をやめたい

手順3のあと“中止”を選び [登録 / セット] ボタンを押してください。

子機で登録する

登録できる件数は160件までです。相手先名は6文字まで、読みカナは12文字まで、電話番号は16桁まで登録できます。

♥♣♦♠の4種類のグループに分けて登録しておくと、電話をかけるときにグループで探してかけることができます。

例：♥... 親しい友人 ♣... 家族・親戚
♦... 会社関係 ♠... 公共施設

・各ボタンは60秒以内に操作してください。60秒経過すると「ピーピーピー」という音がして登録が中断されます。中断されたときは、手順1からやり直してください。

1 を押す

電話帳登録
残り 160件

2 を押す

漢
名前?

3 相手の名前を入力する

文字入力一覧表 ▶ p136

漢
鈴木正幸

文字入力を間違えた [削除 / 保留] ボタンを押し、入力直してください。

4 を押す

カナ
読みか?
スズキマサキ

「カナ」入力モードになり、漢字変換時に入力した「読み」がカタカナで表示されます

5 読みカナを確認する

修正したい [*] または [#] で修正したい文字にカーソルを合わせ、新しい文字を入力してください。

6 を押す

鈴木正幸
電話番号?

7 相手の電話番号を市外局番から入力する

- ・12桁を超えて入力したときは末尾から12桁が表示されます
- ・ポーズを入れるときは [音量] ボタンを押してください

グループ登録しないとき 手順9に進んでください。

8 を押し、グループを選ぶ

◆
鈴木正幸
電話番号?
0120200940

[グループ / ドアホン / 内線] ボタンを押すごとに切り替わります

9 を押す

鈴木正幸
登録しました
残り 159件

あと何件登録できるか表示されたあと、登録した名前と電話番号が表示されます

ひとつ前の手順に戻りたい

[機能] ボタンを2秒以上押し続けてください。

通話中の相手を電話帳に登録したい

通話の途中でも、上記と同じ手順で登録できます。

“登録不可”と表示された

相手先が160件登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。

子機の電話帳の登録内容を消去する ▶ p37

途中で登録をやめたい

充電器に戻すか、または [外線] ボタンを押してください。

子機の電話帳の登録内容を変更する

1  を押す

電話帳 登録
残り 145件

2  を押す

電話帳 変更
現在 15件

3  を押す

阿部太郎
0312345678

4  を押し、変更したい
相手を表示させる

鈴木正幸
0120200940

5  を押す

漢
鈴木正幸

名前を変更しないとき 手順8に進んでください。

6  または  を押し、変更したい文字
にカーソルを合わせる

7 名前を入力し直す(挿入)

- ・[削除/保留] ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字消えます
- ・[削除/保留] ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消えます

8  を押す

読みか?
ス キマサキ

読みカナを変更しないとき 手順11に進んでください。

9  または  を押し、変更したい文字
にカーソルを合わせる

10 読みカナを入力し直す

- ・[削除/保留] ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字消えます
- ・[削除/保留] ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消えます

11  を押す

NEC
電話番号?
0120200940_

電話番号を変更しないとき 手順14に進んでください。

12  を押し、番号を消す

- ・[削除/保留] ボタンを押すごとに表示されている番号が後ろから1つずつ消えます
- ・[削除/保留] ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての番号が消えます

13 番号を入力し直す

グループを変更しないとき 手順15に進んでください。

14  を押し、グループを変更する

[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押すごとに、グループが切り替わります

15  を押す

NEC
変更しました
現在 15件

子機の電話帳の登録内容を消去する

1  を押す

電話帳 登録
残り 145件

2  を押し、“電話帳
消去”を表示させる

電話帳 消去
現在 15件

3  を押す

阿部太郎
0312345678

4  を押し、消去したい
相手を表示させる

鈴木正幸
0120200940

5  を押す

鈴木正幸
消去しますか

6  を押す

消去しました
現在 14件

電話帳の内容をすべて消去したい

手順4で[]または[]を押し“電話帳全消去”を表示させたあと、[機能] ボタンを押してください。確認のメッセージが表示されたら、もう一度[機能] ボタンを押してください。

途中で消去をやめたい

手順5で[]または[]を押し“中止しますか”を表示させたあと、[機能] ボタンを押してください。

親機の電話帳を子機に転送する

電話帳転送

電話帳の転送のしかたには、次の2つがあります。

- ・電話帳の内容を一度に全部転送する 一斉転送
 - ・1件ずつ転送する 個別転送
- 転送した内容は、子機の電話帳に追加されます。



- ・子機から親機には電話帳転送できません。
- ・子機に同じ相手先名と電話番号が登録されているときは転送されません。
- ・子機の電話帳がすでに160件登録されていると、転送できません。また登録数が160件になった時点で転送は終了します。
- ・17桁以上の電話番号は、転送できません。
- ・転送中に着信があったり、エラーが発生したときは、その時点で転送を終了します。
- ・転送中、相手の子機は使用できません。ディスプレイに“電話帳転送中”と表示されます。

一度に転送する 一斉転送

1 を押す

2 を押す

3 を押す

転送方法
一斉 / 個別

4 を押し、“一斉”を選ぶ

転送を開始します
スタートを
押して下さい

5 を押す

内線2
電話帳転送中
1/45件

6 を押す

「転送件数 / 登録件数」が数字で表示されます

電話帳転送
転送終了しました

7 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する

待機中に [] または [] を押すと、登録してある電話帳が表示されます

“電話帳転送 転送終了しました XX件転送できません”と表示されたとき

17桁以内の電話番号で、子機の電話帳が160件登録されていないか確認し、手順7のあと、転送されなかった電話帳の内容を1件ずつ転送<個別転送>か、再度一度に転送<一斉転送>し直してください。個別転送 → ページ右側

子機が2台以上あるとき

手順5のあと“転送内線番号 内線2 <>で選択”と表示されたら [<] または [>] を押し、転送したい子機の内線番号を表示させ [登録/セット] ボタンを押してください。
内線番号について → p30

1件ずつ転送する 個別転送

1 を押す

2 を押す

3 を押す

転送方法
一斉 / 個別

4 を押し、“個別”を選ぶ

転送方法
一斉 / 個別

5 を押す

鈴木正幸
0120200940

6 を押し、転送したい登録内容を表示させる

転送を開始します
スタートを
押して下さい

7 を押す

8 を押す

内線2
電話帳転送中

電話帳転送
転送終了しました

鈴木正幸
0120200940

続けて転送したい 手順6からくり返してください。

9 終了するときは を押す

10 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する

“転送できません”と表示されたとき

登録内容が転送できないと、手順7で [登録/セット] ボタンを押したあと“転送できません”と表示されます。手順6に戻って転送したい登録内容を表示し直してください。

子機が2台以上あるとき

手順7のあと“転送内線番号 内線2 <>で選択”と表示されたら [<] または [>] を押し、転送したい子機の内線番号を表示させ [登録/セット] ボタンを押してください。
内線番号について → p30

通話中の会話を録音する

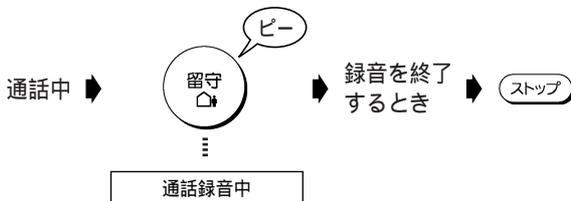
通話録音

通話中の会話を録音することができます。注文受付やインタビューなど、メモの代わりにご利用ください。また、録音した用件を相手に聞かせることもできます。

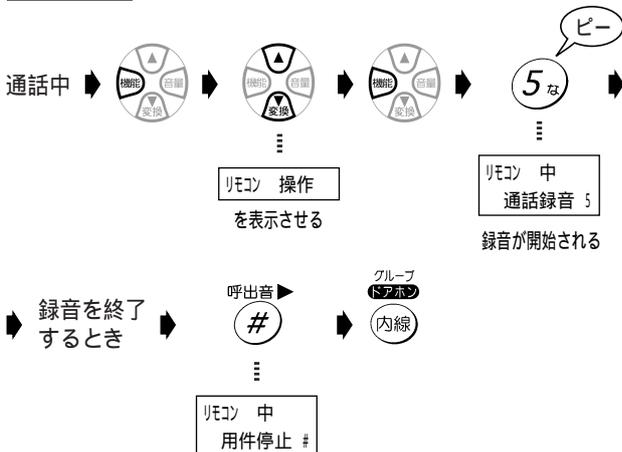
- 録音できる時間は最大約15分です。ただし、自分で録音した応答メッセージや留守電の用件、受信したファクスのメモリが残っていると、録音できる時間が少なくなります。
- 通話録音の1件は留守電の用件1件分としてカウントされます。留守電の用件と合わせた合計が、約15分または最大30件まで録音できます。
- 留守電の用件が30件録音されているときや、残りの録音時間が約20秒以内のときは、通話録音できません。
- 内線通話は、通話録音できません。



録音開始時の「ピー」という音は、相手側にも聞こえます。これは、無断で通話を録音すると、プライバシーの侵害となることがあるためです。



録音開始時の「ピー」という音は、相手側にも聞こえます。これは、無断で通話を録音すると、プライバシーの侵害となることがあるためです。



通話を保留したい

通話録音中(上記操作中)は保留できません。上記操作を終了してから保留してください。

メモリがいっぱいになった

「メモリがいっぱいです」というメッセージが流れます。このとき、親機のディスプレイに「メモリがいっぱいです」と表示され、録音が中断されます。

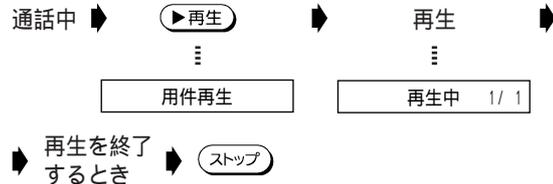
録音した内容を聞きたい

通話録音した内容は、留守電の用件を聞くときと同じ操作で、再生したり消去したりできます。

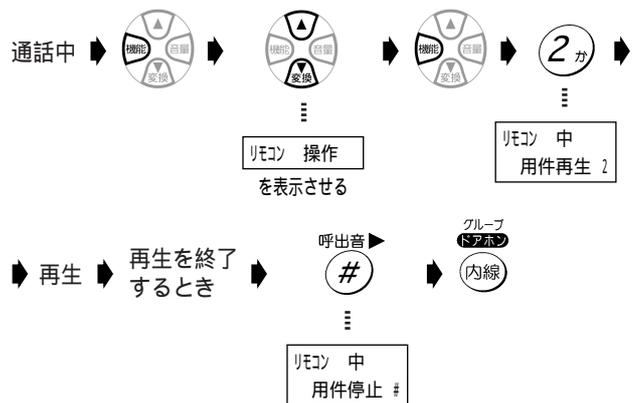
録音された用件を聞く → p54
不要な用件を消す → p55

通話中の相手に録音内容を聞かせる

通話録音した内容を再生し、相手に聞かせることができます。このとき、留守電に録音されている用件があると、その内容も再生されます。



親機で再生中のボタン操作 → p55



子機で再生中のボタン操作 → p55

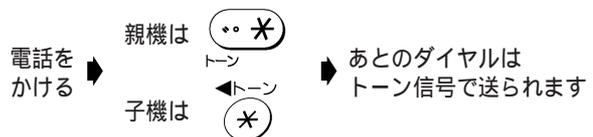
通話を保留したい

通話録音中(上記操作中)は保留できません。上記操作を終了してから保留してください。

トーン信号に切り替える

ダイヤル回線をご利用の方だけお読みください。ポケベルにメッセージを送ったり、テレホンサービスやファクス情報サービスなどを利用するときに操作してください。

- この操作は、一時的にトーン(プッシュ)信号を送出するための操作です。電話を切ると元に戻ります。



準備

電話

ファクス/コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77セレクトイ

Eメール

ナンバーディスプレイ

キャッチホン/ダイヤルイン

こんなときは

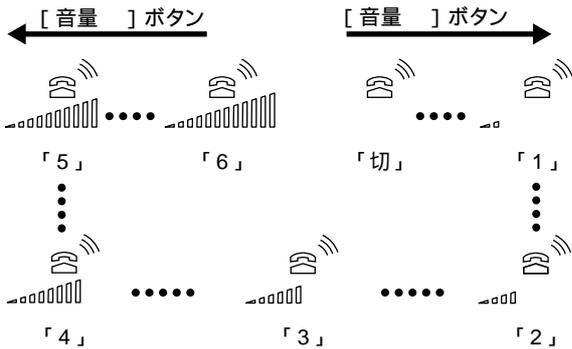
音量を調整する

操作後、目的の音量が鳴った時点で設定されます。



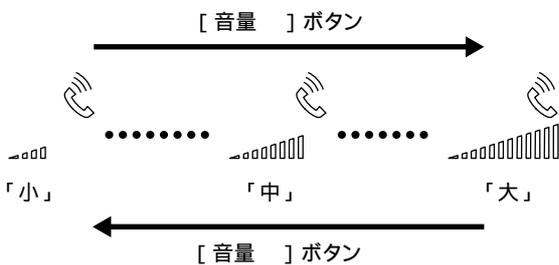
ベル音量

待機中に操作します。
 [音量] または [音量] ボタンを1回押すと、現在のベル音量が鳴り、「切」に設定してあるときは鳴りません。もう一度 [音量] または [音量] ボタンを押すと切り替わります。



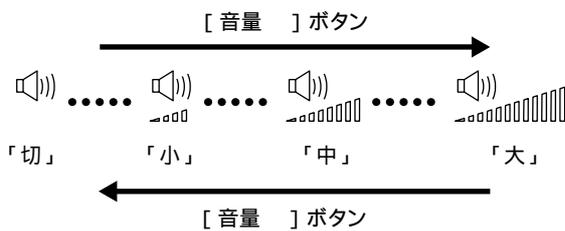
受話音量

通話中に操作します。



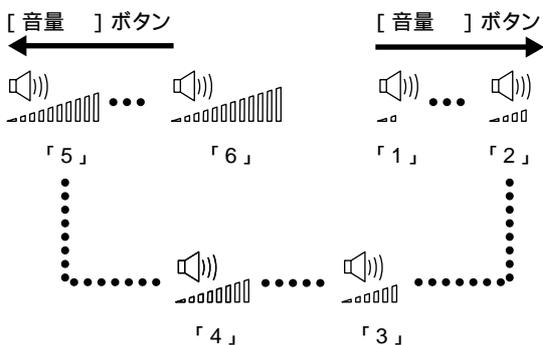
留守電の再生音量

用件再生中に操作します。



モニタスピーカ音量

[オンフック] ボタンを押し「ツー」と言う音が聞こえている状態で操作します。

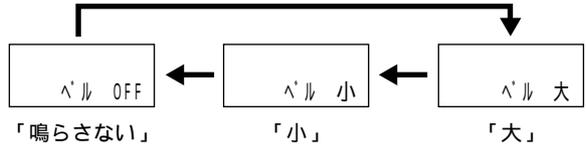


ベル音量

- ・「ベルを鳴らさない (OFF)」に設定したときでも内線呼出のベルは鳴ります。

待機中に操作します。

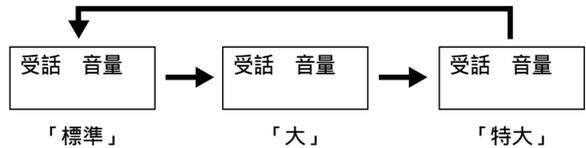
[#] を2秒以上押すたびに「ピッ」または「ピー」(OFFのとき)と音がして、次の順番で音量が変わります。



受話音量

充電器から取るか、または [外線] ボタンを押し「ツー」という音が聞こえている状態で操作します。

[音量] ボタンを押すたびに、次の順番で音量が変わります。



通話中に受話音量を調整したい

通話状態のまま [音量] ボタンを押してください。押すたびに音量が変わります。

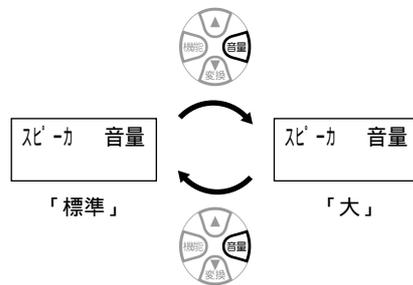
音量を「大」にしても音が小さい

受話音量を全体的に大きくすることができます。
 子機の受話音量を全体的に大きくする ▶ p68

ワイワイトーク音量

- ・ワイワイトーク音量を「大」にすると、音が割れたり、歪んだりすることがあるので「標準」にしてください。

ワイワイトークで通話中に調整します。



ファクスやコピーとして使うには

ここでは、ファクスやコピーの使いかたなどを説明しています。

ファクス/コピーの前に

読み取れる原稿のサイズと厚さ

1枚だけセットする場合と2枚以上セットする場合で、読み取れる原稿の長さや厚さが異なります。

	1枚だけセットする場合 (幅×長さ)	2枚以上セットする場合 (幅×長さ)
最大	257 × 1000 mm*	257 × 364 mm (B4サイズ)
最小	128 × 128 mm	128 × 128 mm
厚さ	0.05 ~ 0.15 mm	0.065 ~ 0.10 mm

*コピーの場合はB4サイズまで

この取扱説明書本文の紙の厚さは、約0.08mmです。

そのままでは読み取れない原稿

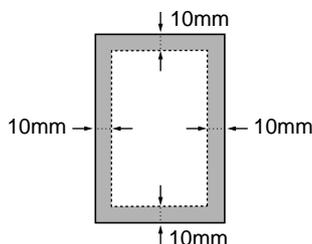
次のような原稿は、あらかじめ普通紙に複写機でコピーしておくか、またはハンドスキャナを使ってください。ハンドスキャナを使うには▶p47

読み取れない原稿	複写機でコピーした原稿	ハンドスキャナ
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの		*
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙		
感熱紙、感圧紙、裏カーボン紙などの化学処理した紙		
ノリやテープで貼り合わせた紙		×
小さすぎる紙 (128×128mm未満)		*
薄すぎる紙 (0.05mm未満)		*
厚すぎる紙 (0.15mmを超える)		

*白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

読み取れる範囲

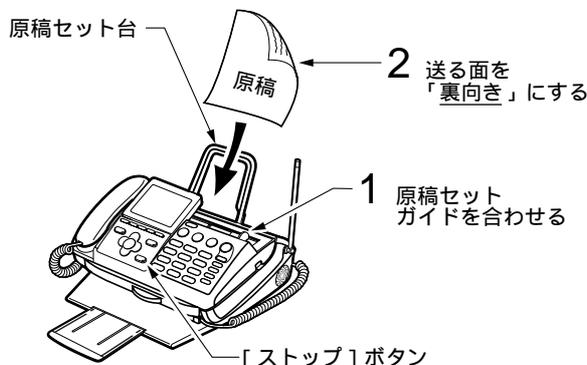
原稿の縁から10mm以内の範囲にある文字などは、読み取れない場合があります。



原稿セットのしかた

- クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。故障の原因となります。
- インクや修正液、ノリなどが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。
- 幅や厚さが異なる原稿を一緒にセットしないでください。原稿がつまったり、送信もれが出たりする原因となります。

- 1 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせる
一度にセットできる原稿枚数は、お買い上げ時に付属されている記録紙と同じくらいの厚さで10枚までです。原稿セットガイドは、原稿の幅にきちんと合わせてください。原稿が斜めに入ったり、つまったりする原因になります。
- 2 送る面を「裏向き」にして、原稿を軽く差し込む
- 3 1番下の原稿が自動で約3cm引き込まれる
- 4 これで原稿がセットできました
ファクスを送る▶p42 コピーを取る▶p46



セットした原稿を取り除きたい

[ストップ]ボタンを押すと、原稿が排出されます。無理に原稿を引き抜かないでください。原稿読み取り部に傷がつく場合があります。

11枚以上の原稿を送りたい

何回かに分けて送ってください。コピーやファクス送信中に原稿を追加すると、原稿がつまったり送信もれが出たりする原因となります。

コピーしてはいけないもの

個人で使用するための法律でコピーが禁止されているものがあります。▶p46

準備

電話

ファクス/コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77セレクティ

・Eメール

ナンバーディスプレイ

キヤッチホン/ダイヤルイン

こんなときは

写真や小さい文字の原稿のとき

画質モード

文字の小さい原稿や、写真のように濃淡のある原稿を鮮明にファクスしたりコピーをとったりすることができます。送信やコピーの前に画質モードを設定してください。

画質モードの決めかた

下の表を参考に、画質モードを決めてください。

お買い上げのとき：ふつつ

画質モード	原稿の状態
ふつつ	文字がこのくらいの
小さい	文字がこのくらいの大きさの
細かい	文字がこのくらいの大きさのときに
写真	写真のとき
64階調 ハーフトーン	

- 「細かい」「写真」に設定すると「ふつつ」や「小さい」に比べ送信に時間がかかります。また、黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿は送信に時間がかかります。
- 色地の原稿を送るときは「ふつつ」または「小さい」に設定してください。「細かい」「写真」で送ると送信時間が極端に長くなる場合があります。
- 「細かい」に設定した場合、相手機種によっては「小さい」で送信することがあります。
- 「写真」に設定したとき、白い部分にゴマ模様の記録が出たら、読み取り濃度を薄くしてみてください。
ファクスやコピーの読み取り濃度を変える ▶ p66

画質モードを選ぶ

- コピーのときは「ふつつ」に設定しても「小さい」でコピーされます。

1 原稿をセットする

画質 : ふつつ

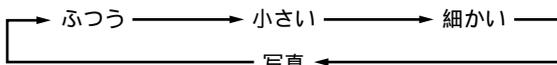
現在の画質モードが表示されます

原稿セットのしかた 前のページを参照してください。

画質

2 を押すごとにモードが切り替わる

原稿をセットしていない状態で [画質] ボタンを押したときは、2秒以内にボタンを押して画質モードを選んでください。2秒を過ぎると時刻表示になり、最後に表示されていた画質モードに設定されます



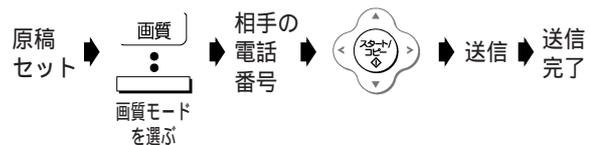
ファクスを送る

いろいろなファクスの送りかたがあります。

- 原稿は自動的に排出されます。一時的に止まる場合がありますが、無理に引き抜かないでください。
- 相手がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズ原稿を送信すると、A4サイズに縮小して送信されます。
- 相手の機種によっては送信時間が長くなる場合があります。

ファクスを自動で送る

自動送信



番号を押し間違えたら [消去] ボタンを押し、最初からやり直してください。

電話帳またはリダイヤルを使って相手先を選びたい

相手の電話番号を入力する代わりに [] [] または [リダイヤル] ボタンを押して相手先を選びます。
らくらく電話帳で電話をかける ▶ p34

途中で送信をやめたい

[ストップ] ボタンを押してください。もう一度押すと、原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。

“リダイヤル待ち1回目”と表示された

オートリダイヤルが働き、1分間隔で5回まで自動的にかけ直します。それでも送信できないときは不達レポートがプリントされます。送信できなかった ▶ p43

自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントさせる

発信元記録 ▶ p60

海外にファクスを送りたい

海外にファクスを送るとき ▶ p66

相手と話してから送る

手動送信



送信したあと、続けて話をしたい 受話器を戻さないでください (相手も)。

相手が受信操作するより先に [スタート/コピー] ボタンを押した

相手が受信操作をすれば送信できます。

相手が電話に出ず、受話器から「ピーヒョロヒョロ」という音がした

相手のファクスが自動受信になっています。そのまま [スタート/コピー] ボタンを押せば送信できます。

みんなに送信する

同じ原稿を複数の相手先へ1回の操作で送ることができます。相手先は最大10件まで指定できます。メモリに蓄積できる原稿は、画質モード(▶p42)が「小さい」のとき、A4判(700字程度)原稿で約10枚です。

- フルダイヤルで入力した場合は[みんなに送信]ボタンを押すと自動的に原稿をメモリに蓄積し、宛先のメモリ送信を行います。
- 指定できるのは、らくらく電話帳に登録している相手先だけです。らくらく電話帳に登録する▶p35
- ハンドスキャナで読み取った原稿は「みんなに送信」はできません。

1 原稿をセットする

画質 : ふつう

画質

2 を押し、画質モードを選ぶ



3 で相手先を表示させる

4 を押す

みんなに送信 1
相手先件数

相手先を間違えた[<]または[>]を押し、取り消したい相手先を表示させ[消去]ボタンを押してください。

5 手順3~4をくり返し、送りたい相手先をすべて選ぶ



6 を押す

セットした原稿をいったんメモリに記憶して、指定した順に送信を開始します

7 送信が終わると、「みんなに送信レポート」が出力される

レポートプリント中

“通信できませんでした”と表示された

“通信できませんでした”と表示された相手先への送信をやめ、次の相手先へ送信を開始します。

“メモリ フル”と表示された

原稿を読み取り中にメモリがいっぱいになると「ピー・ピー…」と音がして“メモリ フル”と、読み取り中のページが表示されます。読み取りが終わったページまでを送信するときは[スタート/コピー]ボタンを押してください。何もしないまま60秒経過すると自動で送信します。送信をやめるときは[ストップ]ボタンを押してください。

1枚目の原稿を読み取り中に“メモリ フル”となった場合は、みんなに送信はできません。自動または手動で送ってください。
ファクスを自動で送る▶p42
相手と話してから送る▶p42

みんなに送信レポート

宛先が1カ所だけのとき

- みんなに送信レポートは出力されません。
- 送信できなかったときは、不達レポートが出力されます(下記)。

宛先が2カ所から10カ所のとき

- みんなに送信レポートが出力されます。
- 送信できなかったときは、みんなに送信レポートに通信結果としてプリントされます。不達レポートは出力されません。

プリント例

みんなに送信 レポート			
2001年 1月 1日 13時52分			
日本電気			
受付日時	相手先数	枚数	
1月 1日 13時43分	10	03	
ファクス送達先			
[伊藤]]O.K.	[佐藤]]O.K.
[加藤]]O.K.	[田中]]O.K.
[菊尾]]O.K.	[山本]]O.K.
[30]]O.K.		
ファクス不達先			
[和田]]話し中	[小林]]中断
[西村]]通信異常		

送信できなかった(不達レポート)

自動で不達レポートがプリントされます。不達レポートを出力「する」「しない」を設定できます。▶p67

プリント例

不達 レポート					
2001年 1月 1日 14時33分					
日本電気					
以下の文書が送信できませんでした。					
送信開始日時	送信時間	相手先	モード	枚数	通信結果
1月 1日 14時33分	0:16	加藤	G3	0	通信結果 通信異常
					通信結果
					通信異常

通信結果の意味

話し中

- 相手先が通話中である

呼び出し

- 相手先から通話予約などで呼び出しを受けた

中断

- 通信中に(自分が)中断操作をした

無応答

- 相手先が受信できない状態になっている
- 相手先が電話に出ない
- 電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線している恐れがある

通信異常

- “通信できませんでした”または“通信異常”が表示されたとき▶p119

ファクスを受ける

ファクスは、設定によって自動で受けたり、通話のあとに手動で受けたりすることができます。

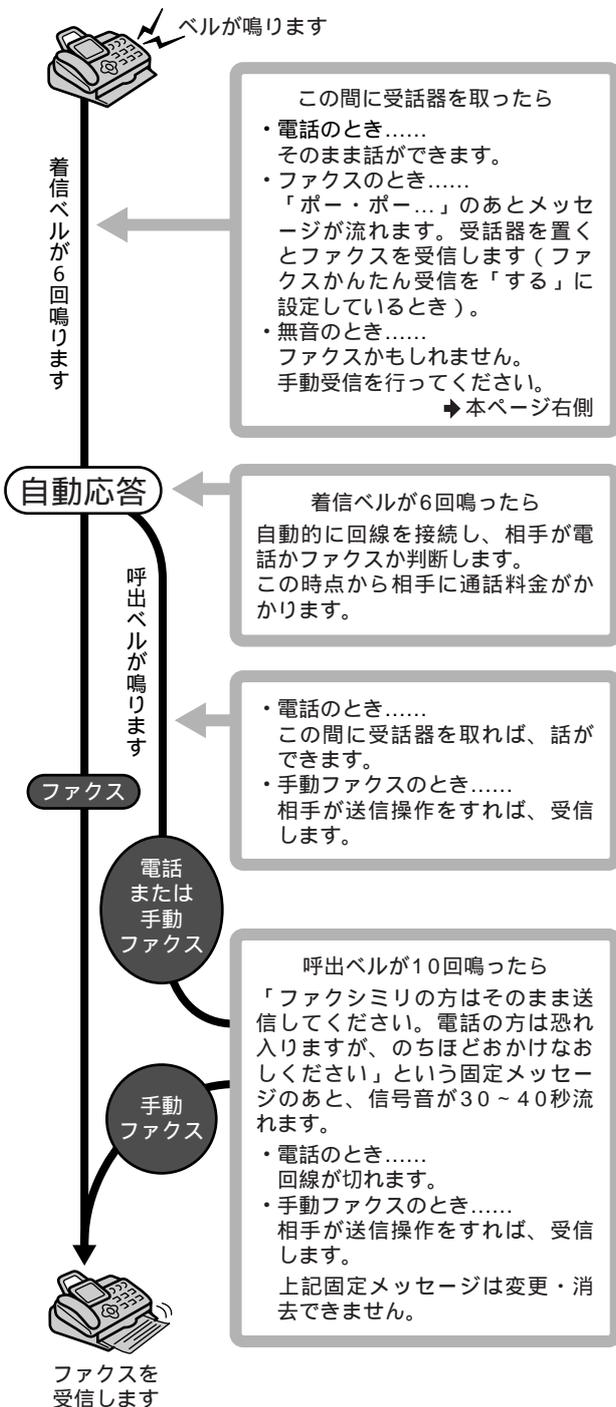
- 受信した文書は、記録紙スタックに10枚以上ためないでください。また、記録紙カセットのカバーに、シールなどを貼り付けしないでください。記録紙づまりの原因になります。

自動で受ける

お買い上げのとき：電話／ファクス自動切替する

本機が自動で電話をつなぎ、相手が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信します。電話のときは呼出ベルが鳴ります。

電話／ファクス自動切替のしくみ



- 「留守」や「おやすみモード」に設定したときは、電話のつながりかたやベルの鳴りかたが異なります。「留守」を設定すると▶p53
- 自動応答すると、相手の受話器から聞こえる呼出音が少し変わり、ここから相手に通話料金がかかります。また、つながった時点でメッセージを流すことができます。電話をかけてきた相手にメッセージを流す▶p64

ベルの回数を変えたい

- 着信ベル回数を変える▶p62
- 呼出ベル回数を変える▶p63

ベルを鳴らさないで受信したい

- 着信ベル回数を0回にしてください▶p62

自動切替をやめたい

- いつでも電話で受けたい方や、いつでもファクスで受けたい方
着信モード▶p62

メモリーオーバーによる通信異常が多発するとき

本機は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリー代行受信が働くように、いったんメモリーに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリー容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリーオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。

- 不要な用件を消す(▶p55)
- メモリー受信「しない」に設定する(▶p67)

手動で受ける

ファクスかんたん受信を「しない」に設定したときは、手動で受信してください。



ファクスかんたん受信とは...

電話に出たとき、相手がファクスだった場合には「ポー・ポー...」という音が聞こえたあと「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れます。メッセージに従い親機は受話器を置く、子機は充電器に戻すか[外線]ボタンを押すと、自動的にファクスを受信できる機能です。メッセージが流れる前に受話器を置くと、回線が切れて受信できません。メッセージが流れてから受話器を置いてください。ただし、以下の場合には、ファクスかんたん受信できません。手動で受信してください。

- 相手が無音のとき
- こちらから電話をかけたとき

ファクスかんたん受信▶p61



- ファクスがかかってくると[おやすみ]ボタンが点滅します。

ファクスがかかってきたとき



話をしてから受信するとき

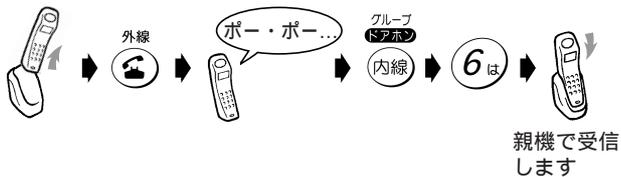


- 受信したあと、続けて話したい 受話器を戻さないでください(相手も)。

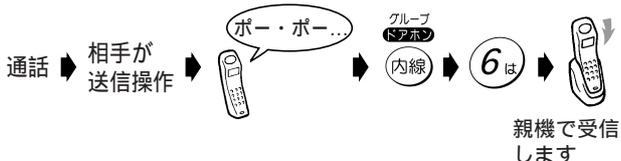


・受信したあと、続けて話をするにはできません。

ファクスがかかってきたとき



話をしてから受信するとき



「ポー・ポー...」という音が聞こえない

相手の機種によっては聞こえないことがあります。手動受信をしてみてください。手動で受ける ▶ p44

「ポー・ポー...」のあとメッセージが流れる

「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れるときは、ファクスかんたん受信が働いています。自動でファクスを受信しますので、受話器を戻してください。お買い上げ時はファクスかんたん受信を「する」に設定されています。ファクスかんたん受信 ▶ p61

相手が送信する前に受信操作をした

相手が送信操作をすれば、受信できます。

送られてきた文書をメモリが記憶する

メモリ代行受信

こんなときにメモリが代わって受信します。

- ・記録紙がセットされていない
- ・インクフィルムがない
- ・記録紙がつまっている
- ・カバーが開いている



- ・メモリの残りが少ないと、文書を記憶できないことがあります。
- ・メモリがいっぱいのときは着信ベルが鳴り続け、メモリ代行受信できません。不要な用件などを消してください。不要な用件を消す ▶ p55

メモリ代行受信されると、ディスプレイには下記のように表示されます。

表示例

普通紙モードのとき

普通紙を入れて下さい

↓ 交互に表示

メモリ受信文書あり

感熱紙モードのとき

感熱紙を入れて下さい

↓ 交互に表示

メモリ受信文書あり

記憶された文書は、新しい記録紙をセットしたり、紙づまりを直すと、自動的にプリントされます。

記憶できる文書量

相手が画質モードを「普通」で送信したとき、A4(700文字程度)の原稿を約20枚(最大30文書)記憶できます。ただし、原稿の内容によっては少なくなることがあります。

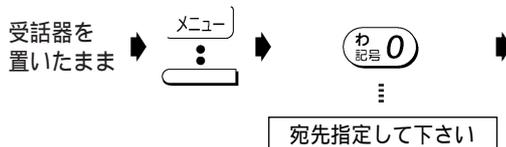
ファクス情報サービスを利用する

色々な情報をファクスで取り寄せることができます。



・ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

提供元がポーリング方式のとき



ポーリング方式とは...

相手先にあらかじめ用意されている原稿を、受信側から操作して受信する機能です。

提供元がガイダンス方式のとき

ガイダンス方式には、次の2つの利用方法があります。

- ・ガイダンスが流れている間に情報番号などを入力できる方法
- ・ガイダンスのあと「ピッ」という音が聞こえてから情報番号などを入力する方法

利用するファクス情報サービスの利用方法に合わせて入力してください。



ダイヤル回線を使っている

情報番号などをトーン(プッシュ)信号で入力する必要があるときは、トーン信号に切り替えてください。トーン信号に切り替える ▶ p39

準備

電話

ファクス/コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77セレクティ

Eメール

ナンバーディスプレイ

キヤッチホン/ダイヤルイン

こんなときは

コピーを取る

- プリント中に記録紙カセットを引き抜かないでください。記録紙づまりの原因となります。
- 原稿は自動的に排出されますので、無理に引き抜かないでください。

1部コピーしたい シングルコピー _____

1 記録紙スタッカを引き出す

2 原稿をセットする

3  を押し、画質モードを選ぶ

4  を押す
この状態で約5秒間何もしないと、自動的にコピーを開始します

5 もう一度  を押す コピー中 P01

2部以上コピーしたい マルチコピー _____

1 記録紙スタッカを引き出す

2 原稿をセットする

3  を押し、画質モードを選ぶ

4  を押す コピー部数 :01

5 ダイヤルボタンを押し、コピー部数を入力する コピー部数 :03
2～30部まで入力できます。入力後、約5秒間何もしないと、自動的にコピーを開始します

6  を押す 原稿読取中 P01
コピー中 P01

B4の原稿をコピーすると

A4に縮小してコピーされます。

A4 / B4の定型を超える長さの原稿の場合

定型を超えた部分はプリントされません。原稿が縦方向に長い場合は、ハンドスキャナを使い、コピーしてください。
コードをつけたままコピーする ▶ p48

途中でコピーをやめたい

[ストップ] ボタンを押してください。

コピーしてはいけないもの

個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。

- 貨幣、紙幣、公債証券、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。絶対にコピーしないでください。
- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真の著作物は、個人的にまたは家庭内などの限られた範囲内で使用するなど、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーが禁止されています。
- パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

ハンズキャナを使うには

ここでは、ハンズキャナを使ったコピーやファクスのしかたを説明しています。

準備

電話

ファクス/
コピー

ハンズキャナ

留守電

便利に使う

77
セレクトイ

・Eメール

ナンバー・
ディスプレイ

キャッチホン/
ダイヤルイン

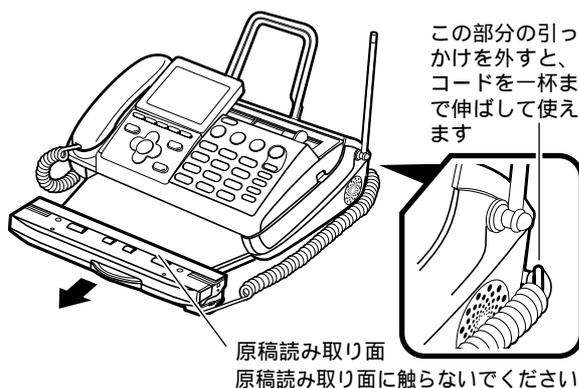
こんなときは

ハンズキャナの取り外し/取り付け

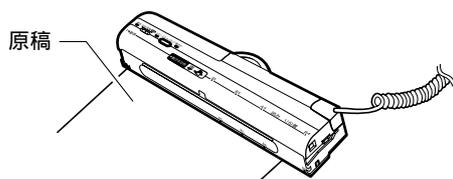
- 使用したあとは、必ず本体に戻してください。ハンズキャナは、本機の前稿読み取り用として使います。
- ハンズキャナを落としたり、固いものにぶつけないでください。
- 前稿読み取り面は汚さないでください。汚れたら清掃してください。ハンズキャナの清掃 ▶ p117

取り外しかた

1 ハンズキャナを手前に引き抜く



2 ハンズキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる



取り付けかた

- ハンズキャナ用コードをはさまないようにしてください。断線の原因となります。

原稿読み取り面を上に向けて、本体に押し込む



コードレスで使うとき

- お買い上げのときは充電されていません。まず充電してからご使用ください。ハンズキャナの充電 ▶ p20
- 使用したあとは、動作中ランプが消灯していることを確認し、ハンズキャナ用コードを接続してから本体に取り付けてください。電池ランプについて ▶ p13
- ハンズキャナ用コードを接続しないと、ファクスやコピーなどの機能が使えなくなるほか、ハンズキャナの充電もされません。

ハンズキャナ用コードの取り外しかた

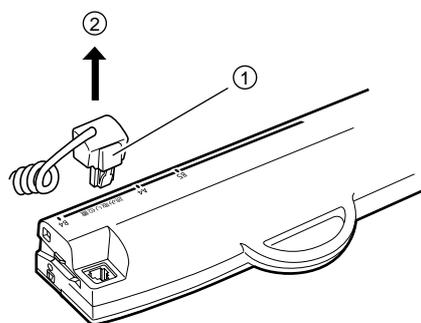
1 ハンズキャナを取り外す

▶ ページ左側

- 原稿を拡大または縮小したい場合は、ハンズキャナ用コードを外す前に設定してください。原稿を拡大/縮小する ▶ p52

2 ハンズキャナ用コードを取り外す

①のボタンを押しながら、②の方向へ引き抜きます

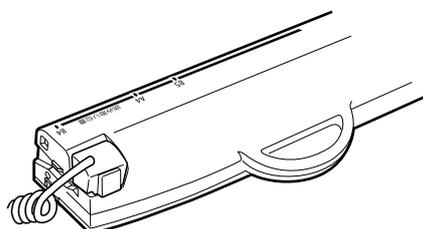


ハンズキャナ用コードの取り付けかた

- ハンズキャナ用コードを取り付けると、新しく読み取った原稿が自動的にプリントされます。

1 動作中ランプが消灯していることを確認する

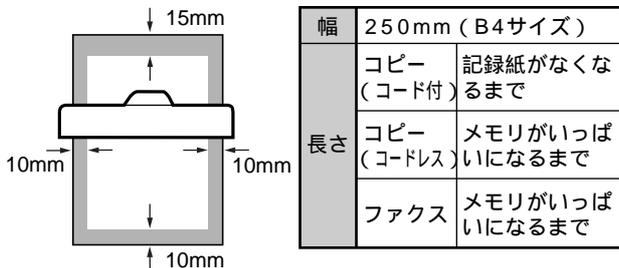
2 ハンズキャナ用コードを取り付ける



ハンスキャナの使いかた

本や、親機にセットできない原稿（→p41）などをコピーしたり送信したりできます。

読み取れる原稿サイズ

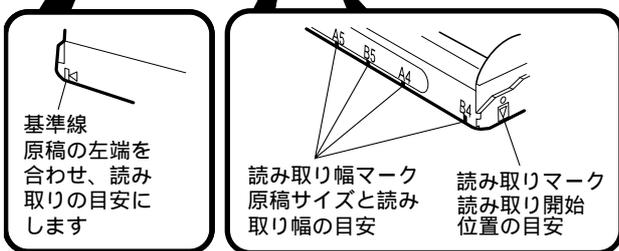
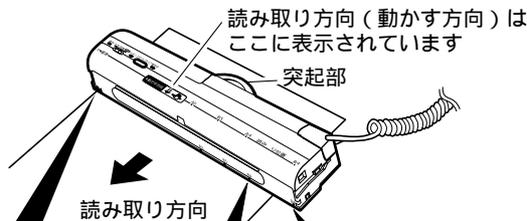
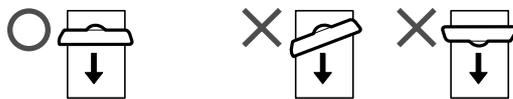


読み取りマークを原稿の先端に合わせて読み取りをしても、図の部分は読み取れないことがあります。

- 次のような原稿には使わないでください。きれいに読み取れなかったり、本機が故障する原因となります。
 - 表面に凹凸のある原稿
 - コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
 - 表面が汚れている原稿
 - インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿
- コピーしてはいけないものがあります。→p46
- 読み取り濃度を設定するときは、ハンスキャナを取り外す前に設定してください。
ファクスやコピーの読み取り濃度を変える→p66

ハンスキャナの置きかた / 動かしかた

- ハンスキャナは、斜めや逆に動かすとうまく読み取れません。読み取り方向に、まっすぐ動かしてください。



下が透けて見える原稿を読み取りたい

フィルムやトレーシングペーパーなどは、白い紙の上に置いてから読み取ってください。

画質の選びかた

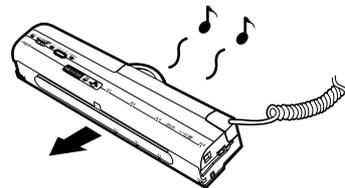
ハンスキャナの [画質選択 / 消去] スイッチ（→p13）で切り替えます。本体の [画質] ボタンは使えません。

- 文字：文字原稿のとき
- 写真：写真のとき（64階調ハーフトーン）

コードをつけたままコピーする

- 1 ハンスキャナを取り外す
原稿を拡大 / 縮小することもできます → p52
- 2 ハンスキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる
- 3 原稿に合わせて画質を選ぶ
ハンスキャナの [画質選択 / 消去] スイッチ（→p13）で文字または写真を切り替えます
- 4 ハンスキャナのスタート/ストップ を押す コピー中 A4 A4
または本体の [スタート / コピー] ボタンを押します

5 ハンスキャナを動かす



動かすと、スピードを表すメロディが流れます。メロディを止めたいため → p52

- 20秒以上動かさないと 読み取りを中断します。
 - メロディが流れているときは メロディの速さに関係なく正常に読み取れます。
 - 「ピッピッ...」と音がする 正常に読み取れていません。
- 6 読み取りが終わったら スタート/ストップ を押す
または本体の [ストップ] ボタンを押します

[ストップ] ボタンを押さないままハンスキャナを取り付けると ハンスキャナのローラが回り、記録紙の后端に原稿とは違うものをプリントする場合があります。必ず [ストップ] ボタンを押してください。

7 プリントが終わるまで待つ

8 ハンスキャナを元通りに取り付ける

ブザーが鳴り「メモリ フル」と表示されたら
しばらくするとコピーが可能になります。

A4 / B4の定型を超える長さの原稿の場合

記録紙がなくなるまで読み取り、プリントされます。コードをつけたままファクスを送る（→p49）ときも同様です。

コードをつけたままファクスを送る

- 電話で話したあとに、続けてハンドスキャナで読んだ原稿を送ることはできません。
- 送信が終わると、メモリの内容は消去されます。
- 送信中に通信異常が起きた場合、メモリの内容は消去されます。このときは最初からやり直してください。

1 ハンドスキャナを取り外す

原稿を拡大/縮小することもできます ▶ p52

2 ハンドスキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる

3 原稿に合わせて画質を選ぶ

ハンドスキャナの [画質選択/消去] スイッチ (▶ p13) で文字または写真を切り替えます

4 相手先の番号をダイヤルする

- 受話器を置いたままダイヤルします
- 電話帳を使って相手先を指定することもできます
らくらく電話帳で電話をかける ▶ p34



5 を押す

コピー中 A4 A4

6 ハンドスキャナを動かす

動かすと、スピードを表すメロディが流れます

20秒以上動かさないと 読み取りを中断します。

「ピピピッ...」と音がする 正常に読み取れていません。

7 読み取りが終わったら、ハンドスキャナのスタート/ストップ

を押す

または本体の [ストップ] ボタンを押します

8 プリントが終わるまで待つ

9 プリント内容を確認する

1:送信 2:消去 3:継続

10 送信して良ければ ① を押す

読み取り直したい [2] (消去) を押し “消去しました” “読取待ち A4 A4” と表示されたら、手順5からやり直してください。

複数枚の原稿を送信したい [3] (継続) を押し “読取待ち A4 A4” と表示されたら、手順5からやり直してください。

送信をやめたい [ストップ] ボタンを押してください。

11 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

送信中に取り付けても中断はされません

B4サイズの原稿を送りたい

相手がB4の用紙を使っている場合、ハンドスキャナでB4サイズの原稿を等倍で送ることはできません。A4サイズに縮小して送信されます。あらかじめ複写機でコピーしておき、親機にセットして送信してください。

“リダイヤル待ち1回目” と表示された

オートリダイヤルが働き、1分間隔で5回まで自動的にかけ直します。それでも送信できないときは不達レポートがプリントされます。送信できなかった (不達レポート) ▶ p43

コードレスでコピーする

自動プリント

- コードレスで使用可能な時間は、フル充電時で約1時間です。
- 電池ランプが点滅したら、電池の残量が少なくなっています。作業を終了し、ハンドスキャナ用コードを接続してください。
- 電池ランプが点灯していないときは、コードレスでコピーできません。
- コードレスでコピーした原稿はハンドスキャナのメモリに記憶され、消去を行わない限り残っています。
メモリに記憶されている原稿を消す ▶ p51

1 ハンドスキャナを取り外す

原稿を拡大/縮小したい場合は、ハンドスキャナ用コードを取り外す前に設定します
原稿を拡大/縮小する ▶ p52

2 ハンドスキャナを裏返し、ハンドスキャナ用コードを取り外す

コードレス スキャナ
ハンドスキャナ用コードの取り外しかた ▶ p47

3 ハンドスキャナの原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる

4 原稿に合わせて画質を選ぶ

ハンドスキャナの [画質選択/消去] スイッチ (▶ p13) で文字または写真を切り替えます

5 ハンドスキャナの スタート/ストップ を押す

動作中ランプが点灯します

6 ハンドスキャナを動かす

コードレスで使用しているときは、メロディが流れません

「ピピピッ...」と音がする 正常に読み取れていません。

7 読み取りが終わったら スタート/ストップ を押す

続けて原稿を読み取りたい 手順3に戻って、操作してください。

8 動作中ランプが消灯したことを確認する

9 ハンドスキャナ用コード を取り付ける

しばらくお待ち下さい



新規読取データ:01

- 動作中ランプが点灯しているときにハンドスキャナ用コードを取り付けると、最後に読み取った原稿がメモリに記憶されず、コピーできません。

10 読み取った原稿がプリントされる

11 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

プリントを確認したら

メモリを消去することをおすすめします。そのままハンドスキャナのメモリに記憶が残っていると、読み取れる容量が少なくなります。メモリに記憶されている原稿を消す ▶ p 51

「ピー」という音が鳴り、メモリランプが点滅した

ハンドスキャナのメモリがいっぱいになり、原稿を読み取ることができません。メモリを消してください。
メモリに記憶されている原稿を消す ▶ p 51

本体の電源が入っていない状態でハンドスキャナ用コードを取り付けた

電源を入れてから約10秒後に自動プリントされます。
読み取りデータがないときは“新規読取データ：00”と表示されたあと、3秒後に通常表示になります。

メモリに記憶されている原稿を送る

コードレスでコピーした原稿は、ハンドスキャナのメモリに記憶されています。このメモリに記憶された原稿はファクス送信できます。以前に読み取った原稿も、消去しない限り残っているので、送信することができます。

- 相手がB4の用紙を使っている場合、B4サイズ原稿を等倍で送ることはできません。A4サイズに縮小して送信されます。

1 を押す

2 8 を押す

1:メモリ送信
2:メモリプリント
3:メモリ消去

3 1 を押す

1:全ページ
2:指定ページ
3:新規ページ

- 全ページ.....メモリに記憶されている原稿をすべて送信します
- 指定ページ...メモリに記憶されている原稿を1ページだけ指定して送信します
- 新規ページ...直前に読み込んだ原稿を送信します

“3：新規ページ”が表示されない 新規に読み取った原稿がありません。

4 送信したいページのメニュー番号を押す

[2]を押した場合は、ページを指定します
ページ指定のしかた ▶ p51

5 相手先の番号をダイヤルする

- 受話器を置いたままダイヤルします
- 電話帳を使って相手先を指定することもできます
らくらく電話帳で電話をかける ▶ p34

6 を押す 送信を開始します

手順3で“読取ページなし”と表示された

メモリに何も記憶されていません。

送信できたら

メモリを消去することをおすすめします。そのままハンドスキャナのメモリに記憶が残っていると、読み取れる容量が少なくなります。メモリに記憶されている原稿を消す ▶ p51

メモリに記憶されている原稿をプリントする

ハンドスキャナのメモリに記憶されている原稿を、プリントすることができます。

1  を押す

2  を押す

1:メモリ送信
2:メモリプリント
3:メモリ消去

3  を押す

1:全ページ
2:指定ページ
3:新規ページ

- 1: 全ページ.....メモリに記憶されている原稿をすべてプリントします
- 2: 指定ページ...メモリに記憶されている原稿を1ページだけ指定してプリントします
- 3: 新規ページ...直前に読み込んだ原稿をプリントします

“3: 新規ページ”が表示されない 新規に読み取った原稿がありません。

4 プリントしたいページのメニュー番号を押す

[2]を押した場合は、ページを指定します
ページ指定のしかた → 本ページ下

5 プリントが始まる

手順3で“読取ページなし”と表示された
メモリに何も記憶されていません。

ページ指定のしかた

“2: 指定ページ”を選ぶと、メモリに記憶されている原稿のうち、何枚目の原稿を送信またはコピーするかを指定できます。
たとえば5枚の原稿がメモリに記憶されていて、その3枚目を送信またはプリントする場合は、次のように指定します。

- 1 [3]を押す
- 2 [登録/セット]ボタンを押す
- 3 ファクス送信またはプリントされる

指定ページ 03/05

送信する原稿  メモリに記憶されている原稿枚数

プリントを確認したら

メモリを消去することをおすすめします。そのままハンドスキャナのメモリに記憶が残っていると、読み取れる容量が少なくなります。

メモリに記憶されている原稿を消す → 本ページ右上



メモリランプについて

消灯.....ハンドスキャナのメモリに、何も記憶されていません。

点灯.....ハンドスキャナのメモリに、記憶されている原稿があります。

点滅.....ハンドスキャナのメモリがいっぱいです。

メモリに記憶されている原稿を消す

コードレスで読み取った原稿は、プリントや送信が終わっても自動で消去されません。そのままハンドスキャナのメモリに記憶が残っていると、読み取れる容量が少なくなります。保存しておく必要のない原稿は消去しましょう。

 ページごとの消去はできません。消去すると、読み取ったすべての原稿のデータが消去されます。

ハンドスキャナで消去する

ハンドスキャナ用コードは、接続していても接続していなくても、どちらでも消去することができます。コードを接続しているときは、親機が待機中に操作してください。

1 [画質選択/消去]スイッチを「消去」に合わせる

2 ハンドスキャナの  を「ピッ」のあと「ピー」と音がするまで押し続ける
「ピー」という音がすると消去が完了して、動作中ランプとメモリランプが消灯します

親機で消去する

ハンドスキャナ用コードを接続し、本体に取り付けた状態で操作してください。

1  を押す

2  を押す

1:メモリ送信
2:メモリプリント
3:メモリ消去

3  を押す

メモリ消去確認

消去 / 中止

消去をやめたい [>] で“中止”を選んでください。

4  を押し、“消去”を選ぶ

5  を押す

消去しました

読み取り時のメロディを流す / 止める

お買い上げのとき：流す

コードを接続した状態で原稿を読み取るときに、スピードを表すメロディを流したり、止めたりすることができます。
コードレスのときはメロディが流れません。

1  を押す

2  を押す

3  を押す

メロディスキャナ

 / 

手順2に戻りたい [戻る] ボタンを押します。

4  を押し、どちらかを選ぶ
 する : メロディを流す
 しない : メロディを流さない

5  を押す

6  を押す

メロディの音量を調整したい

メロディが流れているときに調整します。



メロディを「流す」にしたのに鳴らない

留守電の再生音量 (▶ p40) を「切」にしていると、メロディ音も鳴りません (上図を参照)。

原稿を拡大 / 縮小する

ハンドスキャナで送信やコピーをするときは、原稿を拡大または縮小することができます。

 ・ここで設定した倍率は、次に変更するまで残っています。

コード付ハンドスキャナを取り外した場合

1 ハンドスキャナを取り外す



2  を押し、倍率を選ぶ

等倍 100% : A4 A4
 拡大 115% : B5 A4
 拡大 141% : A5 A4
 縮小 82% : B4 A4

3  を押す

4 ファクス、またはコピーする

コードをつけたままファクスを送る ▶ p49
 コードをつけたままコピーする ▶ p48
 コードレスでコピーする ▶ p49

コード付ハンドスキャナが本機に取り付けてある場合

1  を押す

2  を押す

3  を押す

読み取り記録幅
 A4 A4 等倍:100%

手順2に戻りたい [戻る] ボタンを押します。

4  を押し、倍率を選ぶ

等倍 100% : A4 A4
 拡大 115% : B5 A4
 拡大 141% : A5 A4
 縮小 82% : B4 A4

5  を押す

6  を押す

留守電を使うには

ここでは、留守電のいろいろな使いかたやおやすみモードについて説明しています。

「留守」を設定すると

外出して電話に出られないときなどに、相手の用件を録音することができます。相手がファクスのときは自動で受信できます。



着信ベルが鳴ります

この間に受話器を取ったら……

- 電話のとき……そのまま話ができます。
- ファクスのとき……「ポー・ポー…」のあとメッセージが流れます。受話器を置くとファクスを受信します（ファクスかんたん受信を「する」に設定しているとき）。
- 無音のとき……ファクスかもしれません。手動受信を行ってください。▶ p44

おやすみモードのときは着信ベルは鳴りません。

自動応答

ファクス

電話
または
手動
ファクス

着信ベルが設定回数*鳴ったら……相手に留守番電話の応答メッセージが流れます。

*留守設定時の着信ベルが鳴る回数は、トールセイバの設定により変わります。

- トールセイバ「しない」……お買い上げのときの状態です。着信ベル回数で設定した回数だけ鳴ります。
- トールセイバ「する」……用件が録音されていると2回、用件がないと5回鳴ります。

手動
ファクス

- 電話のとき……相手の用件が録音されます。この間に受話器を取れば話ができます。録音が終わると「留守」ボタンが点滅します。
- 手動ファクスのとき……相手が送信操作をすれば受信できます。



ファクスを受信します。おやすみモードのときはメモリに記憶され、解除するとプリントされます。

着信ベルの鳴る回数が違う

トールセイバを「する」にしているときは、すでに録音された用件があるとベルが2回鳴り留守機能が働きます（用件がないときは5回）。

トールセイバを「しない」にしているときは、用件の有無にかかわらず、着信ベルが設定されている回数だけ鳴ります。ただし着信モードを電話専用でお使いのときにトールセイバを「しない」にしていると、着信ベルが5回鳴って留守機能が働きます。

トールセイバ ▶ p60
着信モード ▶ p62
着信ベル回数を変える ▶ p62

外出先から操作したい

外出先から「留守」を設定する ▶ p56
外出先から用件を聞く ▶ p57

用件が録音されたら、すぐ知りたい

用件が録音されたら外出先に通知する ▶ p57

録音できる時間

1件につき最大3分、合計で約15分まで録音できます（合計15分を超えない限り最大30件）。この時間には、自分で録音した応答メッセージの時間も含まれます。

着信モードをファクス専用にすると

留守設定が優先されます。着信モード ▶ p62

本機の固定応答メッセージの種類

応答メッセージは、電話がかかってきたときの本機の状態によって異なります。

• 通常

「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は、そのまま送信してください」

通常の応答メッセージだけは、自作応答メッセージに変えることができます。

自作応答メッセージを録音 / 消去する ▶ p55

以下の応答メッセージは固定応答メッセージのため、変更・消去できません。

• 用件は録音できないが、ファクスは受信できるとき

（用件がいっぱいするとき）

「ただいま留守にしております。ファクシミリの方は、そのまま送信してください。電話の方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください」

• 用件は録音できるが、ファクスは受信できないとき

「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください」

• 用件の録音も、ファクスの受信もできないとき

（メモリがいっぱいとき）

「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください」

「留守」の設定 / 解除

「留守」を設定しようとしたらメッセージが流れる

「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください」と流れたときは「留守」を設定することができません。
「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」と流れたときはすぐに用件がいっぱいになります。不要な用件を消去してください。不要な用件を消す ▶ p55



「留守」を設定する



▶ [留守] ボタンが点灯し、
応答メッセージが聞こえる
用件が残っていると点滅します

応答メッセージ固定 留守設定

「留守」ボタンを押してもメッセージが聞こえない

用件再生時の音量が「切」になっていませんか？
モニタスピーカと留守電の再生音量 ▶ p40
応答メッセージが正しく録音されていないことが考えられます。もう一度録音し直してください。
自作応答メッセージを録音 / 消去する ▶ p55

応答メッセージを選びたい

固定（通常）または自分で録音した2種類の応答メッセージのいずれかを選びたいときは、応答メッセージが流れている間に [<] または [>] を押し、応答メッセージを選びます。

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

らくらく電話帳に登録している相手にだけ、自作メッセージで応答できます。▶ p98

「留守」を解除する

- ・録音された用件が自動で再生されます。
- ・用件が1件再生されるごとに、録音された月日と時間が音声で流れます（タイムスタンプ）。
- ・用件が全部再生されると、自動的に止まります。途中で止めたいときは [ストップ] ボタンを押してください。

用件があると
[留守] ボタンが
点滅しています



用件再生

10月 1日 (火) 12:00
用件 5件
留守設定

用件の件数

▶ 「用件は 件です」
用件が再生される

再生中 1 / 2

▶ 「用件は以上です」
[留守] ボタン
が消灯する

再生終了***...

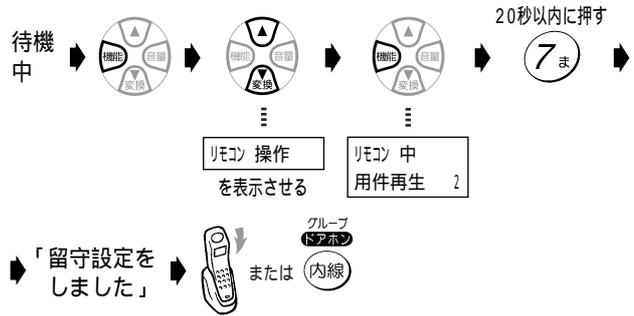
1秒ごとに“*”が表示されます

用件がないときは「用件はありません」というメッセージが流れます。



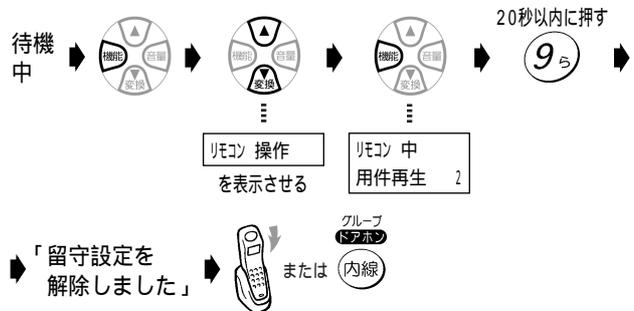
・子機で「留守」設定するときは、自作応答メッセージを変更することはできません。

「留守」を設定する



[7] を押す前に「ビッピッピ」と音がして待機状態に戻った
最初から操作し直してください。また [機能] ボタンを押してから20秒以内に [7] を押してください。

「留守」を解除する



[9] を押す前に「ビッピッピ」と音がして待機状態に戻った
最初から操作し直してください。また [機能] ボタンを押してから20秒以内に [9] を押してください。

録音された用件を聞く

録音された用件は、消去するまで何回でも聞くことができます。
通話録音した内容も、同時に再生されます。また、留守設定中でも用件を聞くことができます。



・モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえません。
モニタスピーカと留守電の再生音量
▶ p40

▶再生

用件が
再生される

...

用件再生

再生中 2 / 3

...

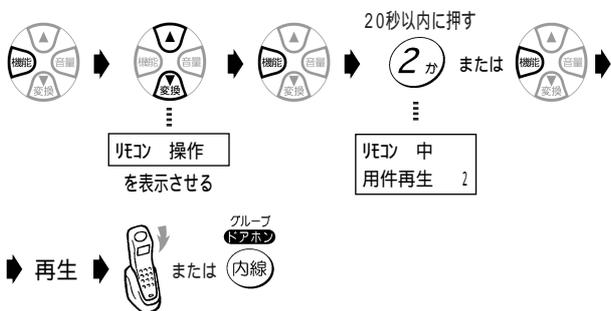
再生終了***...

通話中の相手に用件を聞かせたい

通話中の相手に録音内容を聞かせる ▶ p39

親機で再生中のボタン操作

ボタン	本機の動き
	高速で再生します。高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
	再生を止めます。(そのあとに[再生]ボタンを押すと、1件目から再生します)
	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後「消去しました」というメッセージが流れます。



子機で再生中のボタン操作

ボタン	本機の動き
	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
	高速で再生します。高速再生中に押すと、通常の再生速度に戻ります。
	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後、「消去しました」というメッセージが流れます。
	再生を止めます。(そのあとに[2]を押すと、1件目から再生します)

不要な用件を消す

用件は、消去するまで何回でも聞くことができます。ただし、用件を残したままにしていると、録音できる時間が短くなります。不要な用件は消去しましょう。



特定の用件だけを消す



聞き終わった用件を一度に消す

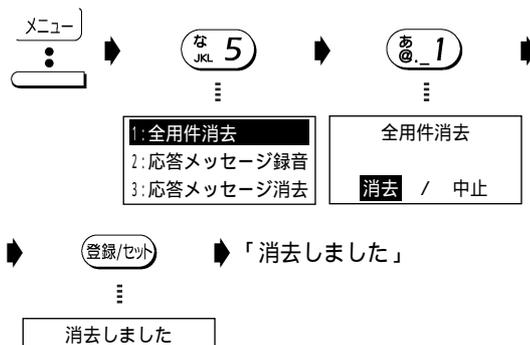
一度も再生しなかった用件は消去されません。少しでも再生した用件は消去されます。

再生終了後“*” → [消去] → 「再生済みの用件が表示中(6秒間以内)」 → 「再生済みの用件を消去しました」

再生終了***...

すべての用件を一度に消す 全用件消去

一度も再生していない用件もすべて消去されます。



特定の用件だけを消す

消去したい用件を再生中 → [8] → 「消去しました」

聞き終わった用件を一度に消す

再生終了後、「ピッピッ...」(6秒間) [8] → 「再生済みの用件を消去しました」と聞こえている間に

自作応答メッセージを録音 / 消去する

「留守」を設定したとき、相手に流す応答メッセージを自分で録音したり、消去したりできます。

- 2種類の自作応答メッセージを録音できます。録音時間は、それぞれ最大20秒までです。
- 留守設定中でも自作応答メッセージを録音できます。
- 録音していないときは、本機の固定応答メッセージが流れます。→ p53

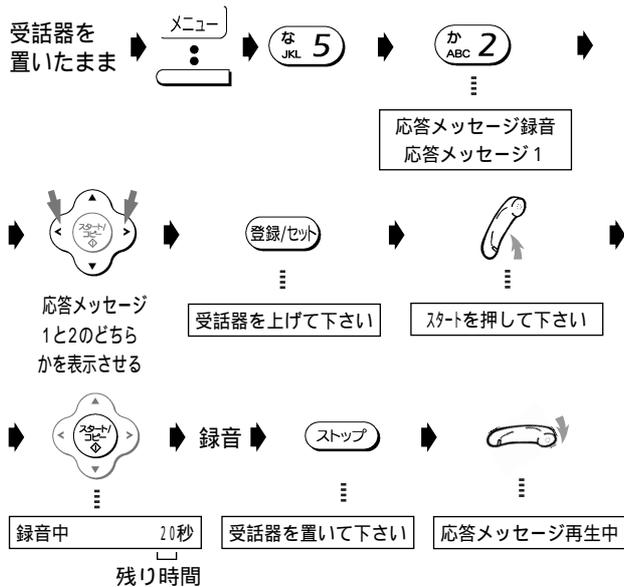
- 本機の録音方式は、人間の声の音域に合わせた設定になっています。いっしょに音楽を録音することはおすすりできません。
- 本機の固定応答メッセージは消去できません。
- 「ご案内」機能を利用して録音したときは、応答メッセージ1に録音されます。ご案内機能について → p26

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

相手に応じて応答メッセージを変えることができます。電話帳に登録している相手にだけ自作応答メッセージを流す → p98

録音する

親機で録音します。子機では録音できません。



- ・ 応答メッセージ録音を終わるとき [ストップ] ボタンを押さずに受話器を置くと「ガチャン」という音が録音されてしまいます。先に [ストップ] ボタンを押してから受話器を置いてください。
- ・ 応答メッセージ録音が終了すると、「留守」設定したときの応答メッセージに設定されます。

録音中に電話がかかってきた

録音が中断されます。最初からやり直してください。

録音の途中で止まった

録音残り時間が“0”になると、自動で録音が止まります。20秒以内で終わるように自作応答メッセージを変え、録音し直してください。

録音し直したい

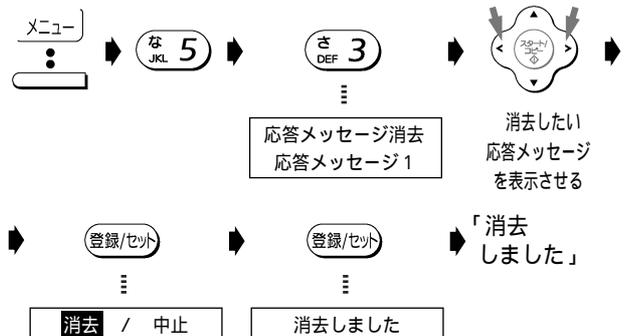
最初からやり直してください。録音し直すと、前に録音していた自作応答メッセージは消去されます。

メモリがいっぱいで録音できない

不要な用件を消す ▶ p55

消去する

自作応答メッセージだけ消去できます。本機の固定応答メッセージは消去できません。



外出先から留守番電話を操作する

外線リモート

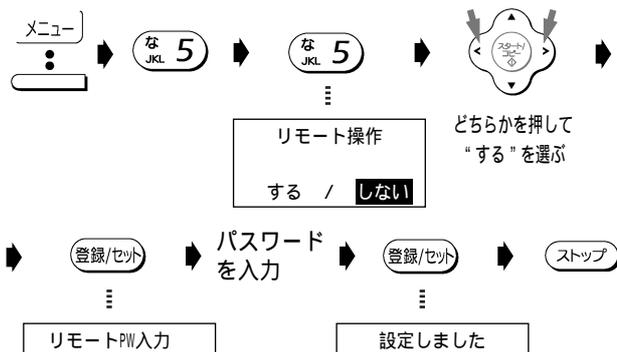
リモート操作の設定とリモートパスワードの登録をしておく、留守設定中に録音された用件を、外出先から聞くことができます。

- ・ パスワードは大切な番号です。他人に知られないようにしてください。

リモート操作の設定とパスワードの登録

お買い上げのとき：リモート操作しない

リモートパスワードは4桁の数字を登録します。



パスワードを間違えた [消去] ボタンを押し、入力し直してください。

すでにパスワードが登録されている

新しいパスワードを入力すると、前のパスワードは消去されます。

外出先から「留守」を設定する

- ・ プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
- ・ 着信モードを電話専用に設定時は、外出先から「留守」を設定することはできません。着信モード ▶ p62
- ・ ダイヤルインをご利用の場合は、親機用の番号に電話をかけて下記の操作をしてください。

本機に電話をかける ▶ 呼出音が変わる ▶ [#] ▶ [パスワード] ▶ 回線が接続されます

▶ [#] ▶ 「パスワードが一致しました」 ▶ 「留守設定をしました」

「パスワードを入れ直してください」とメッセージが流れる

[#] [パスワード] [#] と入れ直してください。3回間違えると電話が切れます。もう一度、電話をかけ直してください。

外出先から用件を聞く

- ・プッシュ信号を出せる電話機で操作してください。
- ・用件再生終了後、何もしないで20秒経つと、電話が自動的に切れます。
- ・外出前に「留守」を設定しておいてください。
- ・携帯電話やPHSから用件を聞くときは、雑音が入らないように送話口を手でおおって操作してください。
- ・リモート操作で用件を聞いても、留守番電話の用件は消去されません。

本機に電話をかける → 応答メッセージ → [#] → 応答メッセージが止まる →

パスワードを入力 → [#] → 「パスワードが一致しました。用件再生は 件です」 → 用件再生 → 電話を切る

応答メッセージが止まらない パスワードを入力する前に、もう一度 [#] を押してください。

外出先から用件の有無をかんたんに知りたい

ツールセイバを「する」に設定してください。▶ p60

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

用件が再生されたあと、相手の番号が音声で聞こえます。

再生中に早送りや巻戻しをしたい

[リモート操作コード](下表)を押してください。

再生以外の操作をしたい

上記の操作の「パスワードを入力」 [#] 入力後、[リモート操作コード](下表)を押してください。

操作	リモート操作コード	本機の動き
巻き戻し	# 1 #	再生中に押すと、ひとつ前の用件を再生します。先頭の用件を再生中は、再生中の用件を再生します。
用件再生	# 2 #	用件を先頭から再生します。再生中に押すと、高速で再生します。高速再生中に押すと、通常の再生速度に戻ります。
早送り	# 3 #	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	# 6 1 #	用件転送を設定します。▶ p58
用件転送解除	# 6 2 #	用件転送を解除します。▶ p58
「留守」設定	# 7 #	「留守」を設定します。
用件消去	# 8 #	再生中に押すと、再生中の用件が消去されます。用件をすべて聞いたあと「ピピピピッ…」と音がしている間(約6秒間)に押すと、再生済みの用件がすべて消去されます。
「留守」解除	# 9 #	「留守」を解除します。

リモート操作コード表を持ち歩きたい

p131の「外線リモート」の表をハンドスキャナでコピーし、ご活用ください。コードをつけたままコピーする▶ p48

用件が録音されたら外出先に通知する

用件転送

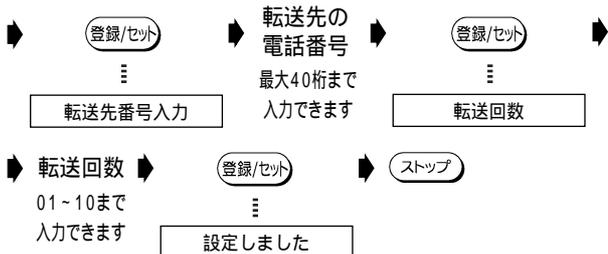
留守設定中に用件が録音されたとき、あらかじめ登録した携帯電話や外出先の電話機に通知することができます。

通知先を登録する

お買い上げのとき：しない

- ・通知先は1カ所だけ登録できます。
- ・通知先につながらなかったのために、用件転送を行う回数を指定できます(最大10回まで)。

- ・用件転送するときは、リモート操作の設定とパスワードの登録を必ず行ってください。▶ p56
- ・プッシュ信号が出せる電話機を通知先に指定してください。
- ・転送先がPHSの場合には、電波の届く範囲が狭いため、転送されないことがあります。
- ・録音された用件が6秒未満のときは転送されません。



転送先の電話番号を間違えた [<] または [>] で反転表示を移動するか [消去] ボタンを押し、入力し直してください。

登録した電話番号や転送回数を変えたい

最初から登録し直すと、新しい登録内容に上書きされます。

ポケベルにメッセージを表示させたい

ポケベルのディスプレイにメッセージを表示させたいときは、転送先の電話番号を入力するとき、次のように入力してください。

- ・ダイヤル回線のとき

ポケベル番号 ▶ [ポーズ] ▶ [*] ▶ メッセージ番号 ▶ [# I #]

- ・プッシュ回線のとき

ポケベル番号 ▶ [ポーズ] ▶ メッセージ番号 ▶ [# I #]

ポーズ：ポケベルのサービス会社につながったとき、音声案内が終わるまでの待ち時間を作るために必要です。音声案内の長さは、各サービス会社にお問い合わせください。[ポーズ] ボタン1回で約3秒間のポーズが入ります。

- ・NTT DoCoMo... [ポーズ] ボタン4~5回
- ・テレメッセージ... [ポーズ] ボタン3回

メッセージ番号：ポケベルの説明書を参照してください。
登録できる桁数：ポケベル番号から最後の [#] までの合計が40桁までです。ポーズは [ポーズ] ボタン1回で1桁に数えます。

用件転送をセット / 解除する

「用件転送先の登録」をすると「留守」の設定、解除と同時に用件転送がセット、解除されます。

用件が転送されない

次のようなことが考えられます。

- ・録音した用件が6秒未満だった
- ・おやすみモードになっている
- ・用件が録音されてから用件転送するまでの間に、停電などで本機の電源が切れた

用件転送をやめたい

用件転送「しない」を設定してください。
通知先を登録する ▶ p57

外出先から用件転送だけを解除したい

リモート操作コード [# 62 #] を押してください。
外出先から用件を聞く ▶ p57

用件転送先での受けかた

 ・あらかじめリモート操作の設定と、リモートパスワードの登録が必要です。
リモート操作の設定とパスワードの登録 ▶ p56

1 ベルが鳴ったら電話に出る

2 「用件転送をします。パスワードを入れてください」というメッセージが聞こえる

パスワードを入力しないとメッセージが5回流れてもパスワードを入力しないと、自動的に電話が切れます。

3 メッセージが聞こえている間か、またはメッセージのあと3秒以内に [#] を押す

4 メッセージが止まる

メッセージが止まらない もう一度 [#] を押してください。

5 リモートパスワード（4桁の数字）を入力し、最後に [#] を押す

6 「パスワードが一致しました。用件は 件です」というメッセージが聞こえる

「パスワードを入れ直してください」とメッセージが流れる
[# I パスワード I #] と入れ直してください。3回間違えると電話が切れます。

7 用件が再生される

8 用件が終わったら電話を切る

再生中に早送りや巻き戻しをしたい

リモート操作コードを押してください。▶ p57

再生以外の操作をしたい

手順5で [パスワード] [#] 入力後 [リモート操作コード] を押してください。▶ p57

くり返し用件転送される

パスワードを入れる前に電話を切ると、回線によってはこのようなことが起こります。このときは左記の手順を最後まで行ってください。

転送先が話中のときやだれも電話に出ないとき

5回までは1分間隔、以降は30分間隔で、設定した回数まで自動的にかけ直します。それでもつながらないときは、用件転送が止まります。
また、自動的にかけ直そうとしている間の待機中に別の用件が録音されたときは、最初に録音された用件に対する用件転送の回数分だけかけ直します。

おやすみモードのセット / 解除

おやすみモードにすると、留守設定したときの動作となります。ただし着信ベルは鳴らず [おやすみ] ボタンが点滅します。またファクスを受信するとメモリに記憶されます。
時間帯を設定しておく、毎日自動的におやすみモードに切り替えることができます。▶ p61

 ・おやすみモードのときは、留守電着信時のモニタ音やファクス受信終了時の「ピー」という音も出ません。また、キータッチトーンも鳴りません。▶ p68

- ・子機優先着信が設定されている場合には、子機の着信ベルが5回鳴ります。
- ・メモリ残量を超える量の文書が送られてくると、残量を超えた分は受信できません。
- ・メモリに記憶された文書は、おやすみモードを解除するとプリントされます。

特定の人からかかってきたときだけ着信ベルを鳴らしたい

(ナンバー・ディスプレイを利用している場合)
とくていコール ▶ p98

「おやすみモード」をセットする



▶ [おやすみ] ボタンと [留守] ボタンが点灯する



留守設定

おやすみモードにしようとしたらメッセージが流れる

「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください」や「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れたら、不要な用件を消去してください。不要な用件を消す ▶ p55

「おやすみモード」を解除する



▶ ・用件があれば再生される
・受信したファクスがあればプリントされる
・[おやすみ] ボタンと [留守] ボタンが消灯する

「留守」を設定したあと、おやすみモードにした

おやすみモードを解除しても、留守設定は解除されません。[留守] ボタンを押したときは、おやすみモードと留守設定の両方が解除されます。

もっと便利に使うには

ここでは、もっと便利に使うためのいろいろな機能の登録や設定について説明しています。

操作について

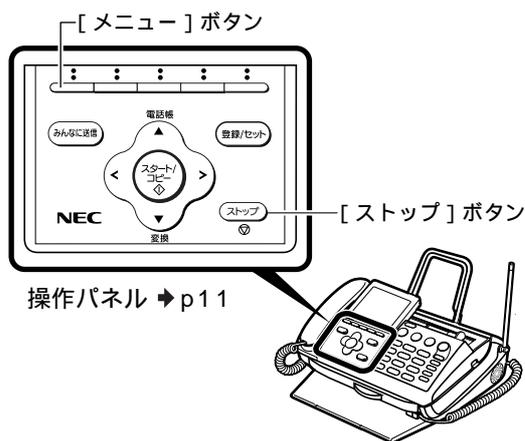
本機の設定や登録は、ディスプレイの表示を見ながら行います。まず[メニュー]ボタンを押し、次に設定項目の番号を入力して各設定を行います。くわしい手順は各設定ごとの説明をお読みください。

受話器を置いたままで操作してください。

- 設定や登録を行う途中で、約90秒以上何も操作しなかったときは、待機状態に戻ります。

設定を途中でやめたい

[ストップ]ボタンを押してください。

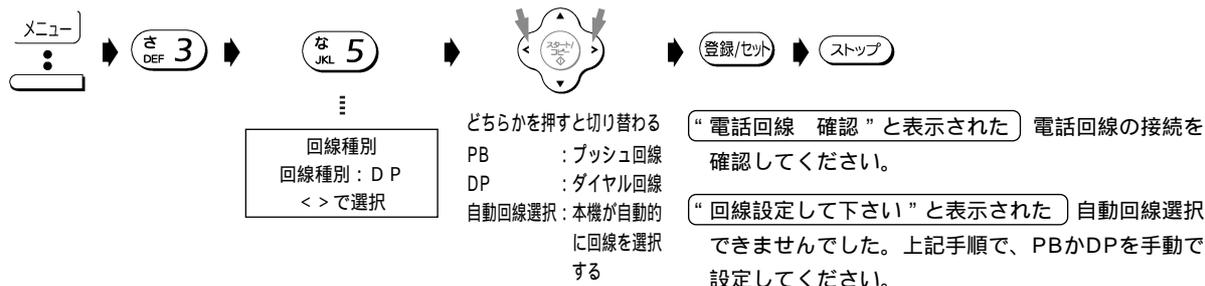


いろいろな設定

回線種別の自動/手動設定 (お買い上げのとき: ダイヤル回線 (DP))

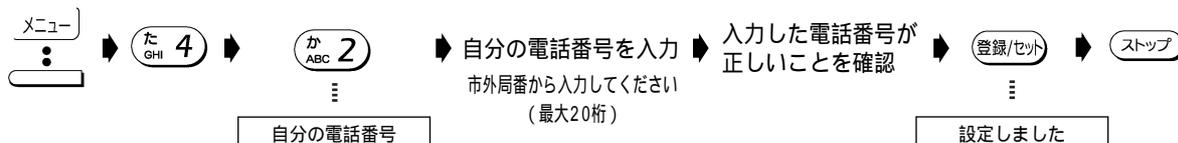
- 使用している電話回線種別 (プッシュ回線、ダイヤル回線) を自動または手動で設定します。
- INSネット64を利用して、ターミナルアダプタに本機を接続する場合は、プッシュ回線 (PB) に設定してください。

- 以下の場合は、本機が自動で「自動回線選択」を行います。
 - お買い上げ後、最初に回線を接続したとき
 - 36時間以上の停電後に回線を接続したとき



自分の電話番号の登録

ここで登録した電話番号は、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示されたり、相手の通信管理レポートなどにプリントされます。



自分の電話番号を消したい



- ここで登録した電話番号は、相手の記録紙にはプリントされません。発信元を相手の記録紙にプリントさせる → p60
- 相手機種によっては、相手先のディスプレイなどに表示されないことがあります。
- 引越などで電話番号が変わったときは、もう一度登録をやり直してください。

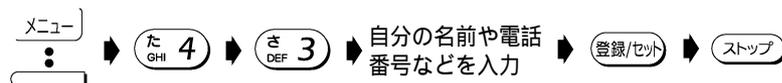
自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントさせる <発信元記録>

(お買い上げのとき：する(発信元未登録))

ファクスを送ったとき、相手の記録紙の各ページの最上部に、自分の名前や電話番号など(発信元)を自動的にプリントさせることができます。発信元をプリントさせると、相手側はどこからファクスがきたのかを簡単に知ることができます。

- ・発信元をプリントさせるには、発信元の登録と発信元を相手の記録紙にプリント「する」の設定が必要です。
- ・発信元に登録できる文字は、カナ、数字、アルファベット、記号です。最大40文字(空白を含む)まで入力できます。

発信元を登録する



文字入力のしかたがわからないとき 文字入力一覧表 ▶ p136

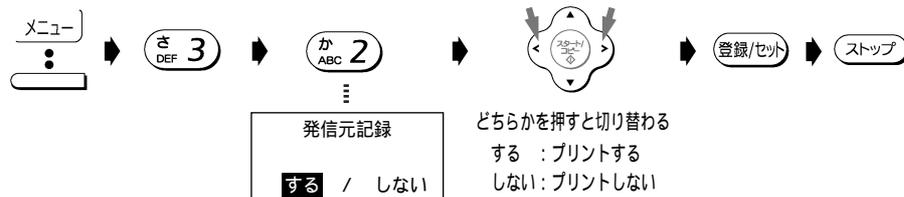
発信元を削除または変更したいとき 発信元を削除するときは、上記操作の「自分の名前や電話番号を入力」で登録した内容を[消去]ボタンですべて消してから[登録/セット]ボタンを押してください。変更するときは、手順で変更したい箇所を[<][>]で反転させ[消去]ボタンで消し、修正してから[登録/セット]ボタンを押してください。

自分の電話番号もプリントさせたいとき 数字もすべて文字として入力してください。自分の電話番号の登録(▶ p59)を行っても、相手の記録紙にはプリントされません。文字入力一覧表 ▶ p136

登録できたか確認したいとき システムリスト(▶ p70)をプリントしてください。

発信元をプリントする/しないを設定する(お買い上げのとき：する)

・「しない」を設定すると、日付・時刻やページ番号もプリントされません。

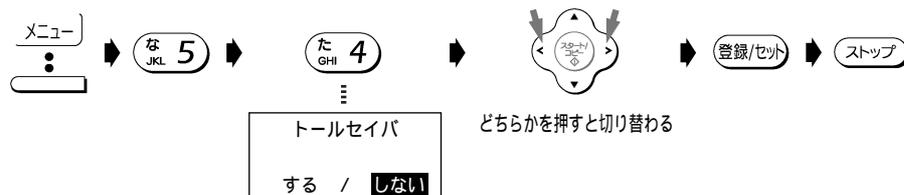


相手先でのプリント例



用件の有無を外出先から簡単に確かめる <トールセイバ> (お買い上げのとき：しない)

トールセイバとは留守番電話が応答するまでのベルの回数が、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回になる機能です。トールセイバを利用すると、留守設定時に外出先から用件の有無を簡単に確かめることができます。用件が録音されていないときは、呼出音を3回聞き終わってから電話を切ると、通話料金がかりません。



- ・一度聞いた用件でも、残っていると(消去しない限り)トールセイバが働きます。
- ・子機は親機より遅れてベルが鳴り始めるため「する」に設定して留守番電話の用件が録音されているときは、子機が鳴る前に着信して留守応答になることがあります。

時計を合わせる<時刻セット>

- 時刻がずれてきたときや「かんたん時刻セット」をしなかったときに行ってください。(時計の精度は平均月差±60秒以内)
- 時刻は24時間制で、年は西暦の下2桁を入力してください。月日や時刻が1桁のときは頭に0をつけてください。(例: 2001年1月6日6時5分 0101060605と入力)

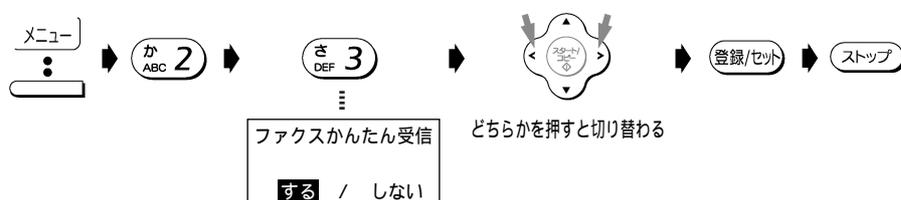


修正したいとき [<] または [>] を押して修正したい箇所を反転させ、入力し直してください。

電話に出て相手がファクスだったときは簡単に受信する<ファクスかんたん受信>

(お買い上げのとき: する)

電話に出て相手がファクスのときは「ポーポーポー...」という音が聞こえ「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」とメッセージが流れます。このときは、受話器を戻すだけでファクスを受信できます。



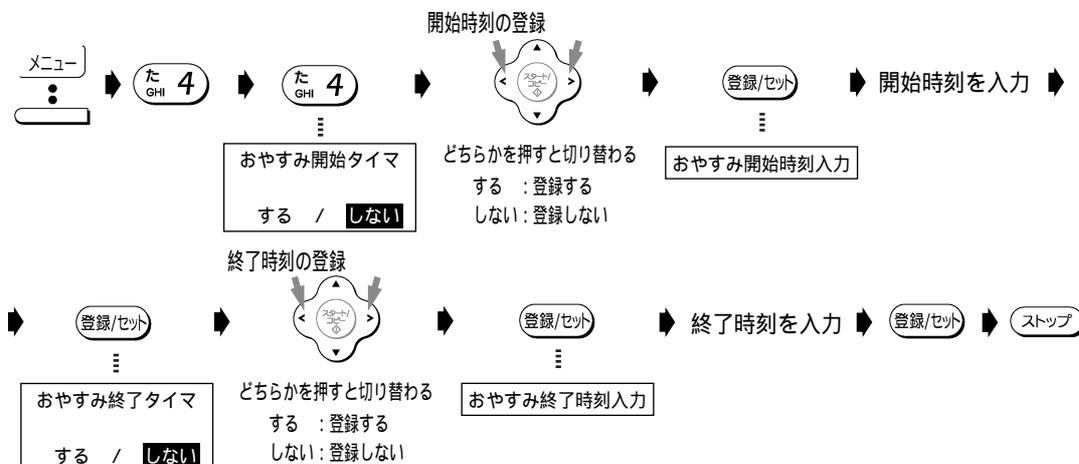
- 相手が電話の場合でも、声質や音によってファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合はファクスかんたん受信を「しない」に設定してください。
- ファクスかんたん受信を「しない」に設定した場合は、相手がファクスだったら親機では[スタート/コピー]ボタン、子機では[グループ/ドアホン/内線]ボタンを押したあと[6]を押すと受信できます。

いたずらファクスでお困りのとき

ファクスかんたん受信を「しない」に設定してください。

おやすみモードの開始時刻と終了時刻を設定する (お買い上げのとき: 未設定)

- おやすみモードに自動で切り替わる時刻(開始時刻)と自動で解除される時刻(終了時刻)を設定しておく、毎日自動的におやすみモードに切り替わります。
- 時刻は24時間制で入力し、1桁のときは頭に0をつけてください。(例: 6時 06と入力)



時刻の入力を間違えたとき [消去] ボタンを押し、入力し直してください。

- 開始時刻だけを設定した場合、解除は手動で行ってください。終了時刻だけを設定した場合、手動でおやすみモードに切り替えてください。おやすみモードのセット/解除 → p58
- 留守録の用件がいっぱい(メモリフル)のときは、おやすみモードに切り替わりません。不要な用件を消去してください。不要な用件を消す → p55

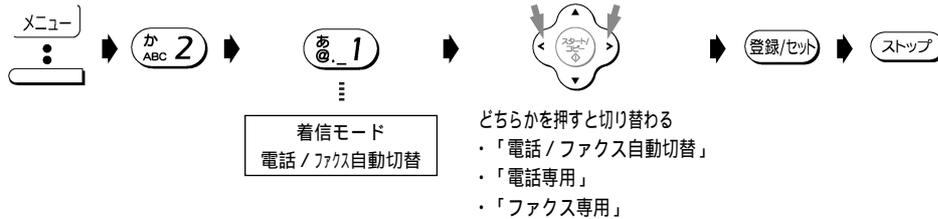
いつも電話で受ける、またはファクスで受ける <着信モード>

(お買い上げのとき：電話/ファクス自動切替)

着信モードを設定すると、いつも電話で受けたり、ファクスで受けたりできます。

- ・電話/ファクス自動切替 ... 設定回数着信ベルが鳴ると、本機が自動で電話をつなぎ、相手が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼出ベルが鳴ります。
- ・電話専用 ... ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なかったとき、通話料が相手にかからないようにしたい場合など、普通の電話と同じように使うことができます。ファクスを受信するときは手動で行ってください。
- ・ファクス専用 ... 設定回数着信ベルが鳴ったあと自動的にファクスを受信します。相手からかかってくるのがファクスだけとわかっているときにご利用ください。着信ベルが鳴っている間に電話に出たとき、相手が電話ならば話ができます。

手動で受ける ▶ p44



- ・電話専用モードに設定し、トールセイバを「しない」に設定 (▶ p60) している場合、留守設定中は、着信ベルが5回鳴ったあと留守番機能が働きます。
- ・ファクス専用で着信ベルを0回に設定すると、相手がファクスのときは着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。この場合は電話が受けられません。
- ・留守設定中は、ファクス専用モードの設定をしても留守設定が優先されます。留守電を使うには ▶ p53

着信ベル回数を変える (お買い上げのとき：6回)

- ・電話/ファクス自動切替、またはファクス専用に設定されている場合、自動的に回線が接続されるまでに鳴る着信ベルの回数 (0 ~ 19回) を設定できます。
- ・入力する回数が1桁のときは、頭に0を付けて2桁にしてください。(例：8回 08と入力)



着信ベル回数の入力を間違えたとき [消去] ボタンを押し、入力し直してください。

ベルを鳴らさずにファクスを受けたい (無鳴動着信)

- ・着信ベルの回数を0回に設定してください。
- ・相手が電話だったときは、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴ります。
- ・相手がファクスを手動送信したときは、呼出ベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください。

手動で受ける ▶ p44

- ・着信ベルが設定された回数鳴ると、回線が接続され、相手側に料金がかかります。
- ・着信ベルの回数は、なるべく9回以下で設定してください。10回以上に設定すると相手がファクスを自動送信したとき、受信できないことがあります。
- ・KDDIの77セレクトィや -Eメールを利用するときは、9回以下に設定してください。10回以上に設定するとオンライン通信ができないことがあります。
- ・「トールセイバをする」に設定していると、留守設定中は着信ベルの設定に関わらずトールセイバのベル回数が優先されます。留守設定中もここで設定したベル回数で回線を接続したいときは「トールセイバをしない」に設定してください。トールセイバ ▶ p60
- ・子機の着信ベルは、親機よりも遅れてベルが鳴り始めるため、設定した回数より少なくなります。

呼出ベル回数を変える (お買い上げのとき：10回)

- 電話/ファクス自動切替で、自動的に回線が接続されたあとに鳴るベルの回数(1~19回)を設定できます。
- 入力する回数が1桁のときは、頭に0をつけて2桁にしてください。(例：8回 08と入力)

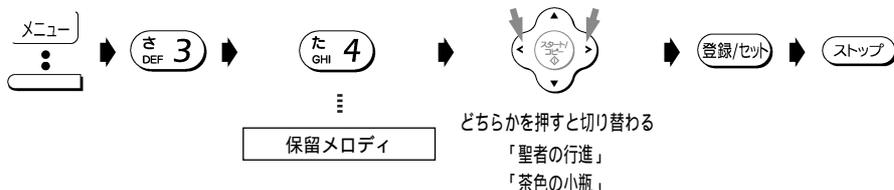


呼出ベル回数の入力を間違えたとき [消去] ボタンを押し、入力し直してください。

- 回線が接続された時点から相手側に料金がかかります。呼出ベルが鳴っているときは、すでに料金がかかっています。

保留メロディを変える (お買い上げのとき：「聖者の行進」)

電話を保留したときに相手に流すメロディ音を「聖者の行進」または「茶色の小瓶」から選べます。

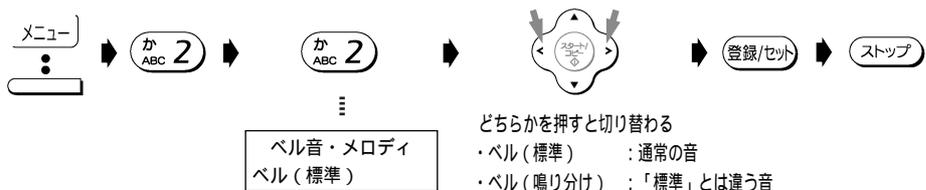


設定した保留メロディを確認したいとき

[<] または [>] で保留メロディを選択しているとき、親機の [音量] または [音量] ボタンを押すと、選んだメロディが鳴ります。

ベルの音色/メロディを変える (お買い上げのとき：ベル(標準))

着信ベルの音色を変えることができます。また、ベルの代わりにメロディを流すことができます。親機のベル音を変えると、子機のベル音も親機と同じ音に変わります。自分の好きなメロディ(オリジナル着信メロディ)を入力して鳴らしたり、77セレクトイを利用している場合、メロディを取り込んで(えらんでメロディ)鳴らすこともできます。



- ナンバー・ディスプレイを契約し、着信鳴り分けを設定している相手からの電話は、着信鳴り分けで設定した着信音が鳴ります。
- オリジナル着信メロディを登録していないとき、オリジナルメロディを選択すると「ドレミファソラシド」と鳴ります。
- 77セレクトイにより着信メロディを取り込んでいないときは「えらんでメロディ」は表示されません。

現在の着信ベルを確認したい

[<] または [>] で着信ベルの音色/メロディを選択しているとき、または設定終了後、親機の [音量] または [音量] ボタンを押すと、選んだ音が鳴ります。このとき、音量も調整できます。音量を調整する → p40
子機の [音量] ボタンでは確認できません。

電話をかけてきた相手にメッセージを流す (お買い上げのとき：しない)

電話 / ファクス自動切替で自動的に回線が接続されたときに、相手が電話だった場合「お呼び出しいたしますので、しばらくお待ちください」というメッセージを流すことができます。



・メッセージの内容は変更できません。

着信メロディを自分で作る <オリジナル着信メロディ>

自分の好きな曲を登録し、着信メロディとして利用できます。登録できる曲数は1曲で、音符 (休符も含む) の数で128音までです。

・オリジナル着信メロディは「ベルの音色 / メロディを変える」や「着信鳴り分け」で、着信メロディとして選ぶことができます。

ベルの音色 / メロディを変える ▶ p63
着信鳴り分け ▶ p99

登録する



何も登録されていないときはすぐにメロディが入力できる状態になります

▶ 曲の速さ (テンポ) を入力
登録/セット ▶ ストップ

テンポは3桁の数字 (060~186) で入力します
数が小さいと曲の速さは遅くなり、大きいと速くなります

テンポの入力を間違えたとき [消去] ボタンを押し、入力し直してください。

途中でメロディの確認をしたいとき [音量] または [音量] ボタンを押してください。入力中のメロディがくり返し再生されます。再生を止めるときは [ストップ] ボタンを押してください。

登録されているメロディを確認したいとき 「登録」を選んだあと [音量] または [音量] ボタンを押すと、メロディが再生されます。再生を止めたいときは [ストップ] ボタンを押してください。

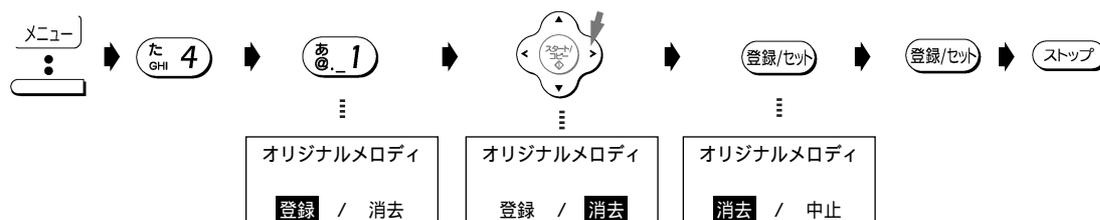
登録されているメロディを修正したいとき 「登録」を選ぶと、すでに登録されているメロディが表示されます。[<] または [>] を押し、修正したい音を表示させてから [消去] ボタンを押すと、音が消去されます。そのあと新しい音を入力してください。

新しいメロディを登録したいとき すでに登録されているメロディを消してから、登録し直してください。

入力した着信メロディをプリントしたい

同じ曲をもう一度登録する場合に使うと便利です。オリジナル着信メロディの登録内容をプリントする ▶ p70

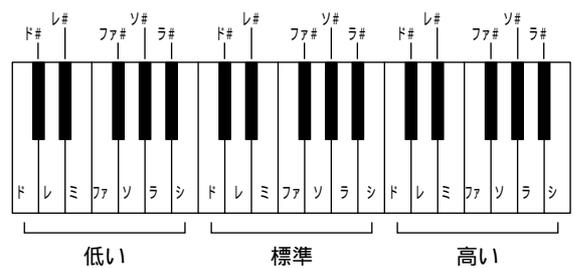
消去する



消去をやめたいとき 「中止」を選んでください。1つ前の表示に戻ります。

メロディ入力のかた

使用できる音程



入力できる音程は、低い「ド」(ド)から高い「シ」(シ)まで3オクターブです。ただし、再生できる音程は低い「ソ」(ソ)から上3オクターブの範囲となります。低い「ド」から「ファ#」を入力した場合は、自動的に入力した音程を転調して再生します(入力した「ド」~「ファ#」の範囲のうち、最も低い音が「ソ」となるように、メロディ全体を転調します)。

同じ列の音符を続けて入力するとき「ド」「ド#」のように同じ列の音符を続けて入力するときは「ド」を入力したあと[>]を押してから次の音符を入力してください。「ド」「ミ」のように異なる列の音符を入力するときは[>]を押さなくても入力できます。

続けて同じ音符または休符を入力するとき[8]を押します。

音の長さとおボタン入力順

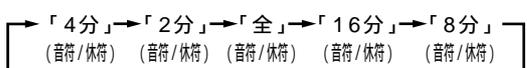
[*] を押したとき

[*] を押すたびに以下の順番で音の長さおよび休符が変わります。



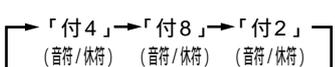
#[] を押したとき

#[] を押すたびに以下の順番で音の長さおよび休符が変わります。



[9] を押したとき

[9] を押すたびに以下の順番で音の長さおよび休符が変わります。



<オリジナルメロディ入力例> 曲名：歌劇「魔笛」より「パパゲーノのアリア」

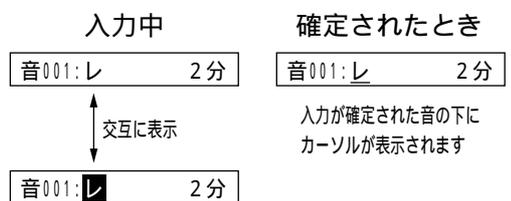
[1][4][*][0][*][4][5][*][0][*][5][6][9][9][8][6][*][*][>][6][9][9]
 ド ファ(8分音符) 8分休符 ファ ソ(8分音符) 8分休符 ソ ラ(付点8分音符) ラ#(16分音符) カーソル移動 ㄨ(付点8分音符)
 [5][*][*][4][*][0][*][4][6][6][*][0][*][6][6][>][6][9][9][5][*][*]
 ソ(16分音符) ファ(8分音符) 8分休符 ファ ラ#(8分音符) 8分休符 ラ# カーソル移動 ㄨ(付点8分音符) ソ(16分音符)
 [6][9][9][8][6][*][*][5][9][9][9]
 ㄨ(付点8分音符) ラ#(16分音符) ソ(付点2分音符)

音程とおボタン入力の対応表

押す回数	ボタン							
	1	2	3	4	5	6	7	0
1回	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	(休符)
2回	ド#	レ#	ミ	ファ#	ソ#	ラ#	シ	
3回	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	
4回	ド#	レ#		ファ#	ソ#	ラ#		
5回	ド	レ		ファ	ソ	ラ		
6回	ド#	レ#		ファ#	ソ#	ラ#		

入力中のディスプレイ表示

ディスプレイに音程と が交互に表示されているときは、その音の入力はまだ未確定状態です。同じダイヤルボタンを押して同じ列の音に変更したり、音の長さを変更したりできます。



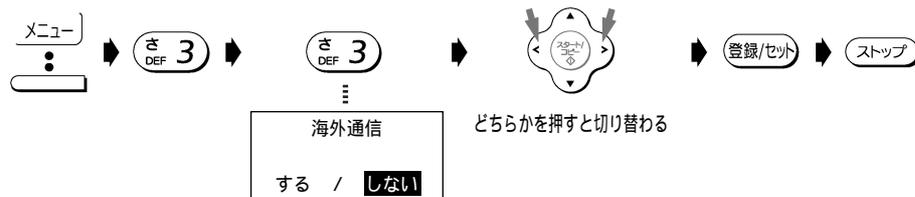
オリジナルメロディリストの見かた

オリジナルメロディリストには、テンポ、入力した音程と音の長さ、および入力時に押したボタンの種類と回数 がプリントされます。

- [#] を押して音の長さを入力した箇所は、その長さを [*] によって入力した場合に換算し、その回数分だけ [*] がプリントされます。([#] を1回押して4分音符から2分音符に変更した場合「****」とプリントされます)
- [9] を押して付点音符の長さを入力した箇所は、押された回数分だけ「9」がプリントされます。([9] を3回押して4分音符から付点2分音符に変更した場合「999」とプリントされます)
- [8] を押して同じ音符を入力した箇所は、[1] ~ [7] [9] [*] で入力した場合に置きかえてプリントされます。([1] [*] [8] を入力した場合「1」「*」「>」「1」「*」とプリントされます)
- 音程とダイヤル入力表の同じ列の音を続けて入力した箇所は、音の区切りに入力した [>] がプリントされます。(「ソ」の音を続けて入力した場合「5」「>5」とプリントされます)

海外にファクスを送るとき（お買い上げのとき：しない）

海外にファクスを送るときは「する」に設定してください。海外に送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。ファクスを送ったあとは「しない」に戻してください。



国際ダイヤル通話を利用して海外にファクスを送るとき

国際電話番号（001、0061、0041など）をダイヤルしたあと国番号と相手先電話番号をダイヤルしても、話中になり通信できないことがあります。このようなときは、国際電話番号のあとに[ポーズ]ボタンを2～3回押し（約6～9秒のポーズが入ります）、それから残りの電話番号をダイヤルしてください。

それでも通信できないときは、受話器を取って回線の接続具合を確認しながらダイヤルしてください。



・海外通信の設定は、ファクスを受信するときは関係ありません。

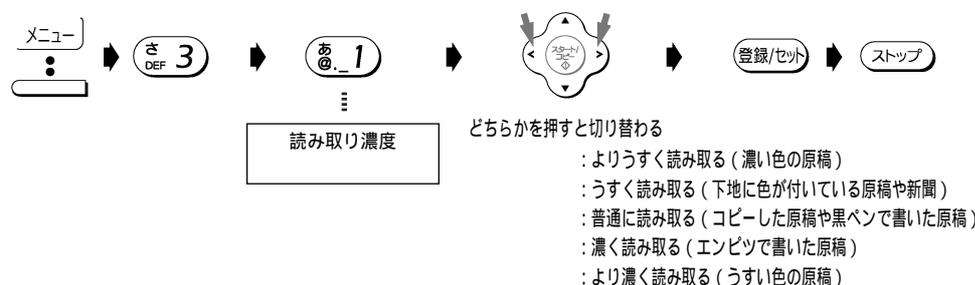
受信したファクスを縮小する<定型受信>（お買い上げのとき：する）

- ・定型受信「する」に設定すると、送信される文書が発信元記録の付加などで縦方向にA4サイズをわずかに超える場合も縦方向に約93%縮小してプリントします（縮小率約93%は固定です）。
- ・「する」に設定すると縮小（約93%）することにより、原稿によっては画質が劣化する場合があります。この画質劣化を解消したいときは、定型受信「しない」に設定してください。
- ・「しない」に設定すると、受信した原稿を等倍（原寸大）でプリントします。
- ・「する」「しない」いずれの場合でも、印字範囲を縦方向にはみ出した部分は次の記録紙にプリントされます。



ファクスやコピーの読み取り濃度を変える（お買い上げのとき：普通）

用紙に色がついているときや原稿の文字がうすいときなどは、相手を読みやすいように読み取り濃度を調整してください。必ず、ファクス送信やコピーの前に設定してください。ファクス送信やコピーが終わったら「普通」（ ）に戻してください。



- ・次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。
 - － 青色のサインペンやボールペンなどで書かれた原稿（ブルーブラック、紺色に近い青は問題ありません）
 - － うすい鉛筆、蛍光マーカーで書かれた原稿
 - － 赤い紙に黒で書かれた原稿（赤色は黒色と同様に読み取るため、まっ黒になってしまいます）
- ・受信したファクスが不鮮明なときは、相手側で調整し、送信し直してもらってください。

読み取りの具合を確認したい

ファクス送信をする前にコピーを取って確認してください。コピーを取る ▶ p46

ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積する<メモリ受信>

(お買い上げのとき：する)

メモリ受信を「する」に設定すると、ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積してからプリントします。



- ・「する」に設定すると、写真などのデータ量の多い原稿は受信できないことがあります。そのときは、不要な用件を消す(▶p55)か、メモリ受信を「しない」に設定してください。
- ・「しない」に設定すると、電送速度は最高で9600bpsとなり、「する」に設定したときより、受信に時間がかかることがあります。
- ・「しない」に設定したとき、ファクス受信中に以下がおけると通信異常となり、それ以降のファクスはプリントされません(メモリ代行受信も行いません)。そのときは、以下の状態を復旧したあとに、再度ファクスを送信してもらってください。
 - 記録紙がなくなった
 - インクフィルムがなくなった
 - カバーが開いた
 - 記録紙が詰まった
 - サーマルヘッドが過熱した

記録紙モードの設定 (お買い上げのとき：普通紙)

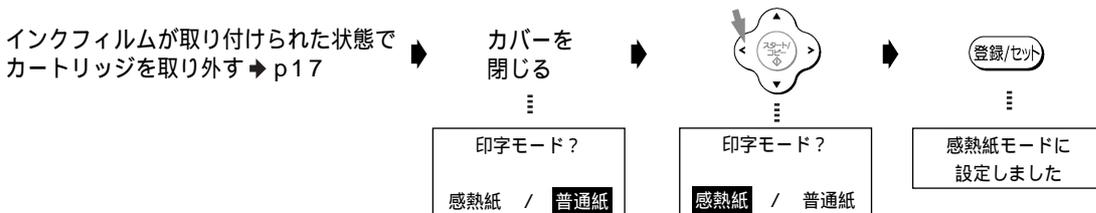
本機にセットする記録紙は、普通紙または感熱紙のうち、いずれかを選べます。

セットする記録紙	インクフィルム	記録紙モード
普通紙	必要	普通紙
感熱紙	不要	感熱紙

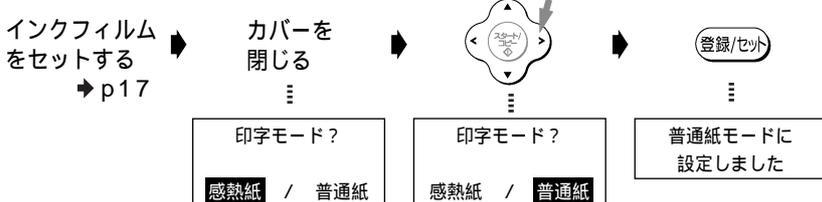
記録紙モードの設定を間違えた場合(感熱紙を使用するのに“普通紙”を選択してしまったなど)は、いったんカバーを開け、閉じると印字モード選択の手順になりますので選択し直してください。

普通紙モードから感熱紙モードに変更する

- ・感熱紙モードで使用するとき、必ず感熱紙をセットしてください。普通紙をセットすると、白紙となります。
- ・普通紙モードで使用するとき、必ず普通紙をセットしてください。感熱紙をセットすると故障の原因になることがあります。
- ・感熱紙の印字面を必ず「裏向き」にして記録紙カセットにセットしてください。裏・表を間違えると、白紙となります。
記録紙のセット▶p20
- ・感熱紙モードのときに普通紙をセットしたり、感熱紙の裏・表を間違えたりして白紙となった場合、ファクス受信した内容は再プリントできませんので注意してください。
- ・取り外したカートリッジ(インクフィルムが取り付けられた状態)は直射日光の当たらない場所に保管してください。



感熱紙モードから普通紙モードに変更する



不達レポートを出力する (お買い上げのとき：する)

ファクスが正常に送信できなかったときに、送信できなかったことをお知らせする不達レポートを出力することができます。



子機のベルを優先して鳴らす <子機優先着信>

電話がかかってくると、親機より先に子機だけベルを5回鳴らします。ベルが5回鳴ってもだれも電話に出ないときは、あらかじめ設定してある動作をします。



- 次の場合、優先着信の設定は解除されます。
 - 内線または外線から電話がかかってきた場合（電話に出なくても解除されます）
 - 子機で電話をかけた場合（内線やりモコン操作を含む）
 - 親機の電話帳を子機に転送した場合

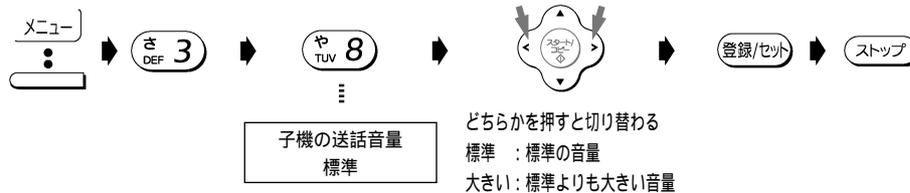
優先着信の設定を解除したい

左の操作をもう一度行ってください。「着信予約中」の表示が消え、優先着信が解除されます。

- 子機のベル音量を「OFF」に設定していると、ベルは鳴りません。
- 増設子機（別売）を使用している場合でも、設定できる子機は1台だけです。
- 優先着信を設定している子機のベルだけが鳴っているときでも、ベルの鳴っていない親機や他の子機で電話に出ることができます。

子機の送話音量を大きくする（お買い上げのとき：標準）

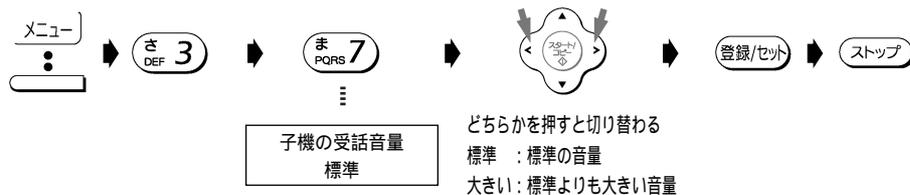
相手側でこちら側の子機の声が聞こえにくいときは、送話音量を「大きい」に設定してください。相手側で声が聞き取りやすくなります（親機で操作します）。



- ワイワイトーク時または内線通話時の送話音量は変更されません。

子機の受話音量を全体的に大きくする（お買い上げのとき：標準）

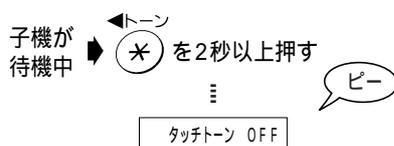
相手側の声が聞き取りにくいときは、受話音量を「大きい」に設定してください（親機で操作します）。



- ここでの設定では、ワイワイトーク時または内線通話時の受話音量は変更されません。

子機のキータッチトーンを設定する（お買い上げのとき：鳴る）

ボタンを押したときに「ピッ」と鳴る音を、キータッチトーンといいます。ボタン操作が確実に実行されていることが、この音で確認できます。子機では、このキータッチトーンを鳴らさないようにすることができます。



もう一度キータッチトーンを鳴らしたいとき

[＊]を2秒以上押してください。「ピッ」という音がして、キータッチトーンが鳴るように設定されます。

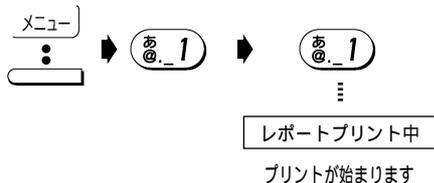
- キータッチトーンを「OFF」に設定すると、エラーを知らせる音や、設定終了を知らせる音も鳴らなくなります。ただし、ベル音量を切り替えたときの音は鳴ります。
- 親機のキータッチトーンはおやすみモードをセットすると鳴りません。おやすみモードのセット / 解除 ▶ p58

電話番号リストなどをプリントする

あなたが登録や変更した内容などをプリントできます。

親機の電話帳の登録内容（電話番号リスト）をプリントする

- 電話番号リストは、相手先の読みカナに入力された次の順にプリントされます。
空白+文字 数字 カナ（50音順） アルファベット 記号 名前を登録していない電話番号
- 電話番号リストは、1ページに50件までプリントされます。



- 子機の電話帳の登録内容はプリントされません。
- 電話帳に電話番号が登録されていない場合はプリントされません。ディスプレイに“電話番号が登録されていません”と表示されます。

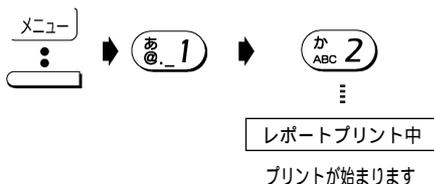
途中でプリントをやめたいとき [ストップ] ボタンを押してください。

プリント例

電話番号 リスト(1)			
2001年 1月 1日 11時56分			
日電太郎			
相手先	電話番号	着信鳴り分け	プライベートコール
伊藤	0312345678	指定なし	全て
加藤	0112223333	ベル(鳴り分け)	内線1(親機)
菊尾	0537799000	ベル(標準)	内線2(子機)

ナンバー・ディスプレイの着信データをプリントする

着信データは20件まで新しい順にプリントされます。



- 子機に記憶された着信データはプリントできません。
- ナンバー・ディスプレイを利用していないと、着信データは記憶されません。
- 着信データが記憶されていない場合はプリントされません。ディスプレイに“データはありません”と表示されます。

途中でプリントをやめたいとき [ストップ] ボタンを押してください。

プリント例

ナンバー・ディスプレイを利用している場合

着信データ リスト				
2001年 1月 1日 12時50分				
日電太郎				
No.	着信日時	着信データ	相手先	
1	1月 1日 12時47分	1234567890	日本電気	
2	1月 1日 11時47分	非通知		
3	1月 1日 10時00分	公衆電話		

オリジナル着信メロディの登録内容をプリントする



あ 1

さ 3
DEF



・オリジナル着信メロディが登録されていない場合はプリントされません。ディスプレイに“オリジナルメロディが登録されていません”と表示されます。

レポートプリント中

途中でプリントをやめたいとき [ストップ] ボタンを押してください。

プリントが始まります

プリント例

オリジナルメロディ リスト							
テンポ : 140							
1:ト 4分	2:ファ 8分	3: 8分	4:ファ 4分	5:ソ 8分	6: 8分	7:ソ 4分	
1	4*	0*	4	5*	0*	5	
8:ラ 付8分	9:ラ# 16分	10:ラ 付8分	11:ソ 16分	12:ファ 8分	13: 8分	14:ファ 4分	
699	>66**	>699	5**	4*	0*	4	

本機の設定状態（システムリスト）をプリントする



あ 1

た 4
GHI

途中でプリントをやめたいとき [ストップ] ボタンを押してください。

レポートプリント中

プリントが始まります

プリント例

システム リスト	
2001年 1月 1日 16時13分	
NEC	
項目	内容
着信モード	電話/ファクス自動切替
着信ベル回数	6回
呼出ベル回数	10回
音声メッセージ	流さない

通信管理レポートをプリントする

ファクスを送信または受信した履歴を、それぞれ最新の20件までプリントします。
ファクスを送信または受信した履歴がない場合は“データはありません”と表示されます。



あ 1

な 5
JKL

途中でプリントをやめたいとき [ストップ] ボタンを押してください。

レポートプリント中

プリントが始まります

プリント例

通信 管理 レポート						
2001年 1月 1日 13時54分						
(送信)						
日本電気						
通信開始日時	通信時間	相手先	モード	枚数	通信結果	
1月 1日 13時07分	27秒	30	ECM	1	O.K.	
1月 1日 13時43分	2分26秒	伊藤	G3	1	O.K.	
1月 1日 13時45分	1分29秒	加藤	ECM	1	O.K.	

Eメール登録リストをプリントする



途中でプリントをやめたいとき [ストップ] ボタンを押してください。

レポートプリント中

プリントが始まります



- 登録リストは3アドレス（ユーザ）共通になります。
- 本リストには各アドレス（ユーザ）の自由定型文と添付ファイル設定もプリントされます。

プリント例

Eメール登録リスト

2001年 1月 1日 19時59分

NEC

(Eメールアドレス帳)

相手先	アドレス
伊藤	ito@abc2.defg.co.jp
加藤	kato@abc3.defg.co.jp
田中	tanaka@abc4.defg.co.jp

(ユーザ登録内容)

ユーザ名	自由定型文	添付ファクス受信	送信文入力モード
0312345678aaa@ae2.dion.ne.jp	お世話になります。	する	日本語
hiroshi@ae2.dion.ne.jp	ごきげんいかがですか？	しない	英語
tanaka@ae2.dion.ne.jp	お返事ください。	する	日本語

(子機使用アドレス)

内線番号	使用アドレス
内線2	versus@ae2.dion.ne.jp
内線3	
内線4	
内線5	

準備

電話

ファックス/
コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77
セレクト
ティ

Eメール

ナンバー・
ディスプレイ

キャッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

77セレクトィ搭載!

0077市外電話へ自動接続

0077(77セレクトィ)
SELECTY

ここでは、77セレクトィのいろいろなサービスの利用のしかたなどを説明しています。

利用できるサービスについて

77セレクトィは、本機を回線につなぐだけで、下記サービスをご利用いただくことができます(登録料、基本料は無料)。

- ・0077市外電話自動選択 ▶ p74
- ・えらんでメロディ ▶ p75

利用料金の請求および支払いについて

- ・0077市外電話をご利用になった通話料金のみ、KDDIから請求されます。
- ・NTTの基本料金などは、従来通り請求されます。

他社の割引サービスなどを利用している場合

- ・市外への通話がすべてKDDI通話となることにより、割引が適用されなくなる場合がありますので、ご注意ください。
不明な点がありましたら、KDDIカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

KDDIカスタマーサービスセンター



0077-772 (無料)

受付時間 9:00~21:00 (土・日・祝日も受付)

ご利用にあたって



- ・ブランチ接続はしないでください。▶ p16
- ・時刻の設定に誤りがあると、77セレクトィを正しく利用できないことがあります。時刻を正しく設定してください。▶ p61
- ・ホームテレホン、構内交換機、ピンク電話、共同電話、着信専用電話などでは利用できません。
- ・次のようなときは、KDDIカスタマーサービスセンターにご連絡ください。
 - 他の電話会社と契約している
 - NTTや他の電話会社の料金割引サービスを利用している
 - 通話料金・サービス、お支払い方法などに関するお問い合わせ
 - 77セレクトィランプが緑色に点灯したあと、何らかの理由により消灯または赤色に点灯したとき
 - 移転などにより住所、電話番号が変わったとき
 - ダイヤルイン子番号に本機を設置したとき
 - 本機を他機種と取り替えたとき

- ・77セレクトィご利用の際にKDDIから提供されるサービスは、KDDI電話サービス契約約款によります。
- ・通話料金請求のため、KDDIはNTTから必要に応じ、お客様の電話番号、住所、氏名など情報の提供を受けることがあります。
- ・お客様の電話番号などの情報は、KDDIのご利用サービスのみに利用するもので、他の目的に利用するものではありません。

ISDN回線を利用している

- ・ターミナルアダプタの機種によっては、KDDIからのデータが受けられない場合があります。
- ・ターミナルアダプタのダイヤル桁間タイマの設定時間が短いと、電話をかけられないことがあります。
- ・データが受けられない場合や電話をかけられない場合は、ターミナルアダプタのメーカーにお問い合わせください。

77セレクトィを開始する

本機の電源を入れて回線を接続し、回線種別を設定すると、通常約1時間後に自動的に77セレクトィのご利用が可能となります。

1 本機の電源を入れる

電源の接続 ▶ p21

2 77セレクトィランプが赤点灯する

3 77セレクトィ自動選択

アナウンスが流れる 77セレクトィ

「このファクシミリは、取り付けて頂くだけでKDDIのおトクな0077市外電話を自動的に選択します。ご利用を希望されないお客様は、次の操作を行ってください。
[77セレクトィ]ボタン[#][77セレクトィ]ボタンと押し、77セレクトィランプが消灯したことを確認してください」

 ・アナウンスは約30秒間流れます。アナウンス中は本機を操作することはできません。

利用したくない方は ▶ p74

4 回線を接続する

電話回線接続コードの接続 ▶ p25

5 回線種別を設定する

回線種別の自動/手動設定 ▶ p59

6 約1時間後にオンライン

通信が始まる オンライン通信中

77セレクトィランプが緑点滅します
オンライン通信 ▶ p76

7 77セレクトィランプが緑点灯する

8 これで77セレクトィが利用できるようになりました

本操作が終了すると、KDDIより77セレクトィご利用開始をお知らせする内容の電話がかかってきます。

「こちらはKDDIです。おトクな0077市外電話の自動選択機能、77セレクトィが設定されました。77セレクトィランプが緑色に点灯していることをご確認ください」

- ・77セレクトィのご利用開始のご案内は翌日になる場合があります。
- ・話中などにより、KDDIからのご利用開始の電話によるアナウンスをお聞きにならなかった場合でも、77セレクトィランプが緑色に点灯していれば、77セレクトィが作動します。



77セレクトィランプについて

赤点灯.....77セレクトィは利用できません。

- ・本機をお買い上げのとき

緑点灯.....77セレクトィを利用できます。

緑点滅.....おトクな市外回線を利用するとき、KDDIを選ぶと約5秒間点滅します。

- ・オンライン通信中

消灯.....77セレクトィを利用しないに設定しているとき

準備

電話

ファクス/
コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77セレクトィ

Eメール

ナンバー・
ディスプレイ

キヤッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

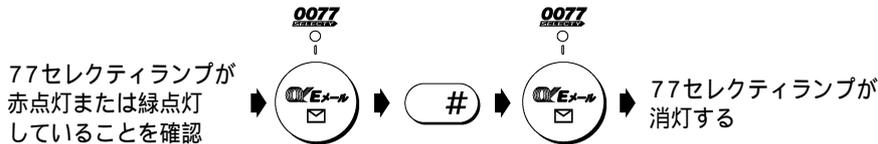
77セレクトィ利用時の設定

77セレクトィを利用する、または利用しないを設定することができます。

77セレクトィを利用しない / 再び利用する (お買い上げのとき：利用する)

利用しない

77セレクトィを利用しない場合、またはホームテレホンや構内交換機、ピンク電話、共同電話などを利用しているため、77セレクトィを利用できない場合は、次の操作を行ってください。



- 「利用する」から「利用しない」に設定を変更した場合、KDDIへの設定の変更を行ったことを知らせるため、オンライン通信が行われます。オンライン通信について → p76
- KDDIの割引サービスなどを利用している場合は、この設定の他にKDDIとの解約手続きが必要です。KDDIカスタマーサービスセンターにご連絡ください。ご連絡いただけない場合は、月額料金が引き続きかかる場合があります。KDDIカスタマーサービスセンターの連絡先 → p72

再び利用する



設定を確認したいとき システムリストをプリントしてください。本機の設定状態 (システムリスト) をプリントする → p70

その通話に限り、77セレクトィを利用しないで電話をする

一時的に77セレクトィを利用しないで、NTT回線で市外電話をかける場合は、市外局番の前に「0000」とダイヤルしてください。

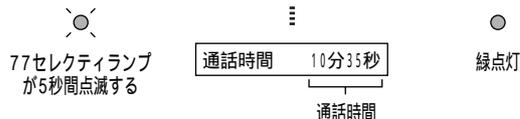
77セレクトィを利用する

おトクな市外回線を利用する

電話をかけた曜日、時間帯、相手先の場所によってKDDIとNTTの通話料金を自動で比較し、おトクな市外回線が選ばれるので、通話料金を節約できます。

- KDDIとNTTの通話料金が同額の場合は、KDDIを選択します。
- 本機に間違った日付や時刻を登録したり、日付・時刻に誤差が生じた場合は、正しく料金を判定できないことがあります。月に1度は確認し、正しい時刻を設定してください。時計を合わせる → p61

市外へ電話やファクスをする → KDDIが選ばれる → 回線が接続される → 通話やファクス



NTTの市外回線を利用したいとき 相手先の電話番号の前に「0000」をダイヤルすると、その通話に限りNTTの市外回線でかけられます。

001 国際電話を利用する

頭に「001」をつけてダイヤルしてください。

001 ▶ 国番号 ▶ 地域番号 ▶ 電話番号

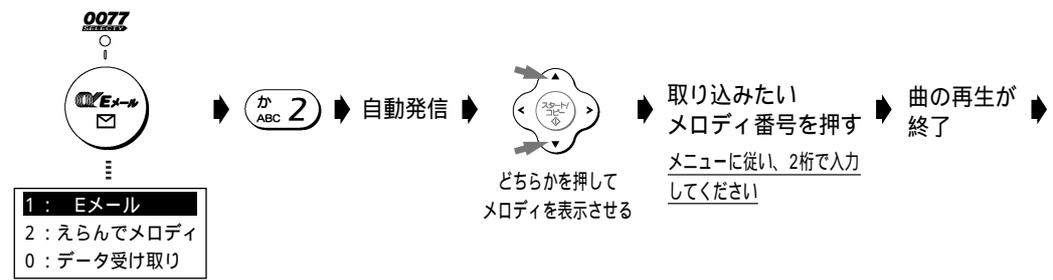
(例) アメリカのニューヨークの123-4567へかける場合



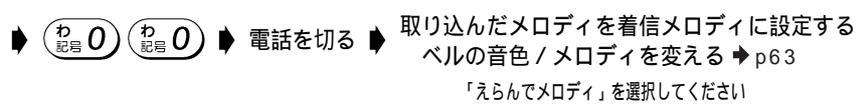
着信メロディを取り込む<えらんでメロディ>

本機の着信音に使うメロディを取り込むことができます。

- ・サービスを受けるときはKDDI通話料がかかります(2000年10月現在)。KDDIのご利用明細書には「0077-3-XXXX」と記載されます。



利用しているサービスの数によってメニュー番号が異なります



- ・曲名などは予告なく変更される場合があります。
- ・取り込める着信メロディは1曲だけです。
- ・新たに曲を取り込むと、今の着信メロディは消去され、新しい着信メロディと入れ替わります。
- ・回線が接続されてから、約3分間何も選択しないと自動的に回線を切断し、待機状態に戻ります。

電話帳に登録している人だけ、えらんでメロディを着信ベルにしたい(ナンバー・ディスプレイを利用している場合)

上記の操作を行い、メロディを取り込んだあと「ベルの音色/メロディを変える」の代わりに「かけてくる相手によって着信ベルを変える」の操作で「えらんでメロディ」を選択してください。かけてくる相手によって着信ベルを変える ▶ p99

マイラインについて

2001年5月のマイライン導入について

- ・「マイライン」(電話会社選択サービス)を利用している場合
登録している電話会社にかかわらず、77セレクトイが作動し、KDDI「0077」を選択します。
- ・「マイラインプラス」(電話会社固定サービス)を利用している場合
登録している電話会社のみ利用となります。
KDDIを「マイラインプラス」に登録していない場合、KDDI「0077」は選択されません。電話をかけるときに「ピ、ピ、ピ」という機械音がする場合、KDDIカスタマサービスセンターまでお問い合わせください。
KDDIカスタマサービスセンターの連絡先 ▶ p72
- ・「マイライン」「マイラインプラス」は、NTT東日本、NTT西日本のサービスです。

電話番号が変わったら

移転などで電話番号が変わったときや77セレクトィランプが緑色に点灯後、何らかの理由により赤色に点灯したときは、次の操作を行ってください。

- KDDIの割引サービスなどを利用している場合はKDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。
- 77セレクトィランプが緑色に点灯後、何らかの理由により赤色に点灯したときは、下記の操作を行わないと77セレクトィが正常に動作しません。
- 下記の操作により、現在、NTTのエリアプラス、テレホーダイ、テレチョイスなどの割引サービスを利用している方は、市外への通話がすべてKDDI通話となることにより割引が適用されなくなる場合があります。不明な点がありましたら、KDDIカスタマサービスセンターまでお問い合わせください。

0077
1  を押す

利用しているサービスの数によってメニュー番号が異なります

1 : Eメール
2 : えらんでメロディ
0 : データ受け取り

2  を押す

実行 / 中止

3  を押す

完了しました

77セレクトィランプが赤点灯します

4 約1分後にオンライン通信が始まる
オンライン通信 ▶ 本ページ右側

5 77セレクトィランプが緑点灯する

6 これで77セレクトィが利用できるようになりました



77セレクトィランプについて

- 赤点灯.....77セレクトィは利用できません。
 - 本機をお買い上げのとき
- 緑点灯.....77セレクトィを利用できます。
- 緑点滅.....おトクな市外回線を利用するとき、KDDIを選ぶと約5秒間点滅します。
 - オンライン通信中
- 消灯.....77セレクトィを利用しないに設定しているとき

オンライン通信について

オンライン通信とは、77セレクトィの料金データや地域データなどがKDDIから本機へ自動的に送られてくることをいいます。このときの通話料は無料です（オンライン通信中は「オンライン通信中」表示となります）。

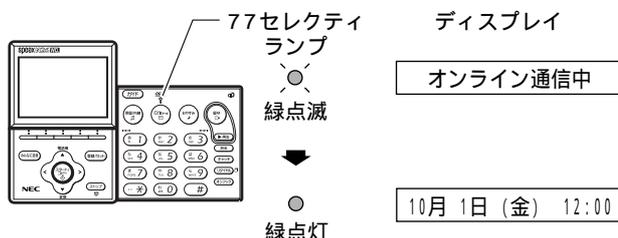
送られてくるデータには、次のようなものがあります。

- 77セレクトィをご利用いただくときの料金データ
- KDDIの標準時刻

- オンライン通信をするために、電話/ファクス自動切替の着信ベル回数を9回以下に設定してください。お買い上げのときは6回に設定されています。
- オンライン通信中に受話器を取ったり、[オンフック]ボタンや[ストップ]ボタンを押すと、オンライン通信は中断されます（「オンライン通信中」の表示が消えます）。中断後、再度自動的にデータが送られてきます。
- オンライン通信が終了するまで、親機が使用中となるため、子機は使用できません。
- 登録中やコピー中などに、オンライン通信の電話は受けられません。このときに受話器を取ると「ピボピボ...」という音が数回聞こえ、電話が切れます。このようなときは、KDDIから確認の電話が入ることがあります。
- 受話器周辺に雑音などがあると、オンライン通信できないことがあります。

オンライン通信は次のようなときに行われます

- 料金改定など、KDDIから情報を提供するとき
- 停電が36時間以上続いた場合などで、時計情報が初期状態に戻ったとき
- 77セレクトィを利用しない、または再び利用するに設定したとき
- データ受け取りを選択したとき
- お買い上げ後、はじめて電源を入れ回線を接続したとき



- 上記のオンライン通信の際、本機は自動的にKDDIのセンターに電話をかけます。これにより、NTTのナンバー・ディスプレイによって、お客様の利用している電話番号がKDDIに通知されます。この場合「通常非通知（回線ごと非通知）」でNTTと契約されているお客様の電話番号も「186」が付加されKDDIへ通知されますので、ご了承ください。
- 「オンライン通信」はお客様がお使いになる地域の料金データなどをKDDIからお客様にお送りするために必要です。
- お客様の電話番号などの情報は、KDDIのご利用サービスのみを利用するもので、他の目的に利用するものではありません。
- お買い上げ時に電源を入れ、電話回線接続コードを接続してすぐに「77セレクトィを利用しない」（▶ p74）の操作を行ったときには、KDDIとのオンライン通信は行われません。
- 77セレクトィご利用開始後、KDDIからご利用確認の連絡が入ることがあります。

停電について

77セレクトィランプの緑点灯時に停電が36時間以上続き、時計情報が初期状態に戻ったときは、電源が復旧したあと約1～60分後に本機が自動的にオンライン通信を行い、時刻を合わせます。

-Eメール

ここでは、-Eメールのいろいろな利用のしかたなどを説明しています。

利用できるサービスについて

77セレクトィと -Eメールを申し込むと、パソコンがなくても、本機からインターネットを介してEメールの送受信ができます（登録料は無料、月額基本料・接続料は有料）。（2000年09月現在）

- ・メール送信 → p79
- ・メール受信 → p83
- ・着信通知 → p96
- ・メール自動受信 → p96
- ・複数メールアドレス → p78
- ・ユーザ設定機能 → p96
- ・メールアドレスの変更 → p91

利用申し込みにあたって

-Eメールを利用するには、以下の2点を確認してから申し込んでください

- ・77セレクトィを利用している
- ・77セレクトィランプが緑点灯している

利用料金の請求および支払いについて

- ・-Eメールの申込者名と、その電話番号ですでにKDDI電話サービスを契約済みの契約者名が異なる場合には、-Eメールの利用料金はKDDI電話サービスの契約者に請求されます。
- ・-Eメールの利用料金は、KDDI電話サービスの利用料金と合算して請求されます。ただし、支払い方法などにより合算請求とならない場合があります。
- ・毎月の利用料金のしめ切り日は、KDDI電話サービスと異なる場合があります。

利用料金について

（2000年09月現在）

- ・登録料 0 円
- ・月額基本料 100 円 / 1メールアドレス
- ・接続料 10 円 / 30秒ごと

ご利用にあたって



- ・77セレクトィを「利用しない」にすると、-Eメールも利用できなくなります。ただし、-Eメールの解約には別途KDDIカスタマサービスセンター【-Eメール係】への連絡が必要です。
- ・-Eメールを利用中（メールの送受信中など）は、本機から電話をかけることはできません。
- ・ダイヤルインサービスや二重電話番号サービスを利用する場合は、本機を主番号（契約者回線番号）に接続してください。
- ・次のようなときは、KDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。
 - すでにKDDI電話サービスを利用している
 - 移転などにより電話番号が変わったとき
 - ダイヤルイン子番号に本機を設置したとき
 - 本機を取り外したり他機種と取り替えたとき
 - 本サービスを解約するとき
 - 複数のメールアドレスを利用して、アドレスを一部変更 / 削除するとき
 - 本機を譲渡・貸与・処分するとき
 - 本機を紛失したとき、本機が盗難などにあったとき

KDDIカスタマサービスセンター【-Eメール係】



0077-23-110096（無料）

受付時間 9:00~21:00（土・日・祝日も受付）

お客様サポートアドレス

e-mail support@ae2.dion.ne.jp

- ・-Eメールご利用の際にKDDIから提供されるサービスは、KDDIの「総合オープン通信網サービス契約約款」によります。なお、約款の内容は予告なく変更されることがあります。
- ・-Eメールは、KDDIと77セレクトィをご契約している電話番号でのみ利用できます。移転などにより電話番号が変わる場合、KDDI側のデータ変更などが必要となります。このデータ変更を行わないと、-Eメールが利用できなくなりますので、必ずKDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。

-Eメールの利用を中止するとき

- ・必ず、KDDIカスタマサービスセンター【-Eメール係】に連絡してください。
- ・本機を操作して解約することはできません。
- ・KDDIへの連絡をしないと、引き続き月額料がかかってしまう場合がありますのでご注意ください。



Eメールボタンについて

Eメールボタンは、ボタンがそのままランプになっています。

点滅 新着メールの着信通知があったとき

（-Eメールの受信、送信操作をすると、ランプは点灯または消灯します）

点灯 未読メールがあるとき

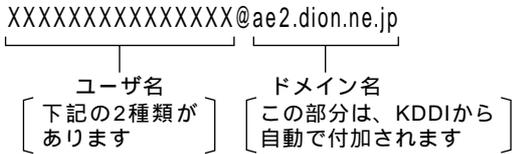
消灯 上記以外のとき

メールアドレスについて

郵便物の宛名と同じように、Eメールにも宛名（メールアドレス）が必要です。

-Eメールに申し込むと、あなただけのメールアドレスが提供されます。

Eメールアドレスの例

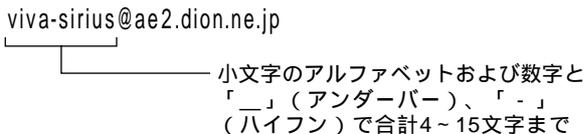


ユーザ名の種類

- KDDIから自動で提供された電話番号アドレス
-Eメールに申し込むと、あなたの電話番号にアルファベット3文字を付加した電話番号アドレスが提供されます。



- 自分で設定したニックネームアドレス
KDDIから自動で提供された電話番号アドレスは、1回に限り変更することができます。
メールアドレスを変更する ▶ p91



複数のメールアドレスを使い分けたい

- 本機1台（-Eメールに申し込んだ電話番号1つ）につき、3つまでのメールアドレスを使うことができます。ただし、この場合には、メールアドレスごとに月額基本料がかかります。
- 2つめ以降のメールアドレスについては、本機からセンターに電話をかけ、オンラインで追加登録（サインアップ）することができます。メールアドレスを追加登録する ▶ p95

添付ファイルの受信について

以下のファイル形式であれば、添付ファイルを受信することができます。ただし、ファイルのデータサイズやメールボックスの空き容量、回線の状態によっては受信できないことがあります。

- ビットマップイメージファイル（*.bmp）
- JPEGイメージファイル（*.jpg または *.jpeg）
- TIFFイメージファイル（*.tif または *.tiff）
非圧縮タイプに限ります。LZW圧縮タイプは利用できません。
- MS-WORD文書ファイル（*.doc）
「Microsoft® Word for Windows® 98」で読込 / 印刷可能なものに限ります。
- MS-EXCELワークシートファイル（*.xls）
「Microsoft® Excel for Windows® 97」で読込 / 印刷可能なものに限ります。
- PDFファイル（*.pdf）
「Adobe® Acrobat® Reader3.0J」で読込 / 印刷可能なものに限ります。
- テキストファイル（*.txt）
添付ファイル内の文字もメール本文として受信します。
上記のファイル形式以外の添付ファイルは受信できません。

メールに添付ファイルが付いていたときは、自動的にその添付ファイルをメモリ受信します。そのあと、すべてのメールを受信し、検索画面を終了させたあと添付ファイルだけがプリントされます。プリント後、添付ファイルのデータは自動的に消去されます。添付ファイルを自動的に受信しないように設定することもできます。

添付ファイルを自動で受信する / しない ▶ p94

添付ファイルがA4サイズより大きい用紙サイズで作成されている場合、印刷イメージが異なってプリントされることがあります。

- * Microsoft®, Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- * Adobe®, Acrobat®は、Adobe System Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。

申し込みと登録のしかた

- オンライン通信をするために、電話 / ファクス自動代替の着信ベル回数を9回以下に設定してください。お買い上げのときは6回に設定されています。
- 「-Eメールご利用申込書」を送付後オンライン通信があるまでに約2~3週間かかることがあります。

- 1 77セレクトランプが緑点灯していることを確認する
- 2 「-Eメールご利用申込書」に必要事項を記入し、送付する
- 3 -Eメールの申し込みが完了すると、オンライン通信が行われ、メールアドレスが本機に自動登録される
オンライン通信時には、本機の着信ベルが鳴ります
オンライン通信について ▶ p76
登録されたメールアドレスは、-Eメールメニューから“送信”または“受信メール検索”を選んだときに表示されます ▶ p79、p83

- 4 開通メールが届く ☑ 1件
開通メールが自動で届くときの接続料は無料です

- メールアドレスが自動登録されても、回線の状況などにより開通メールが届かないことがあります。この場合、ディスプレイには“☑ 0件”が表示されます。このときは、メールアドレスが登録されていることをEメール登録リストで確認の上、開通メールを受信してください（この場合は接続料がかかります）。
-Eメールを受信する ▶ p83

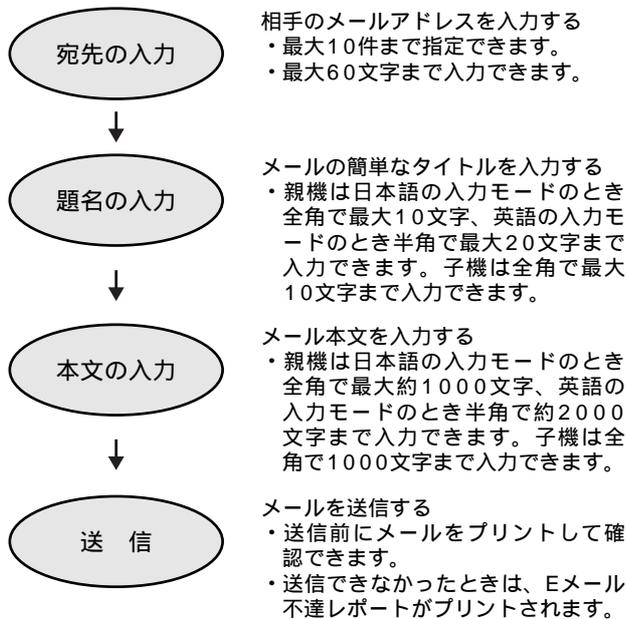
- 5 開通メールを確認する
受信メールを見る ▶ 親機で：p83、子機で：p84
受信メールをプリントする ▶ 親機で：p84、子機で：p85

-Eメールを送信する

相手先のメールアドレスを指定して、Eメールを送ることができます（接続料がかかります）。また、ファクスを添付ファイルとして送ることができます。

・メールアドレスの先頭、または「@」（アットマーク）の前に「.」（ドット）が付いている相手には、Eメールを送信できません。

メールの送信は、次の手順で行います。



親機で送信する

1 を押す

1 : Eメール
2 : えらんでメロディ
0 : データ受け取り

2 を押す

1 : 受信メール検索
2 : 受信
3 : 送信

3 を押す

宛先(To:)?

本機に複数のメールアドレスを登録している場合、そのメールアドレスがディスプレイに表示されます。メールの送信元になるメールアドレスの番号を押してください。

4 宛先のメールアドレスを入力する

最大60文字まで入力できます
-Eメールでの文字入力一覧表▶p93

アドレス帳を使って宛先を選びたい 宛先のメールアドレスを入力するかわりに [] または [] を押して選びます。

5 を押す

宛先件数
(To:) 01
abcde@ae2.dion.ne.jp

複数の宛先へ一度に送信したいときは 手順4、5をくり返します。最大10件まで指定できます。

6 を押す

題名(Subject:)?

手順5に戻りたいときは [戻る] ボタンを押します。

7 題名(メールのタイトル)を入力する

日本語の入力モードのとき全角で最大10文字、英語の入力モードのとき半角で最大20文字まで入力できます
-Eメールでの文字入力一覧表▶p93
文字入力のしかた▶本書の最終ページ

手順5に戻りたいときは [戻る] ボタンを押します。

8 を押す

本文を入力して下さい

手順6に戻りたいときは [戻る] ボタンを押します。

9 本文を入力する

-Eメールでの文字入力一覧表▶p93
文字入力のしかた▶本書の最終ページ

1 : 送信開始
2 : プリント
3 : 修正

10 を押す

11 を押す

接続中

メールをプリントして確認したい [2] を押します。

メールの内容を修正したい ▶p81

メールの送信をとりやめたい [4] を押します。

12 メールが送信される

メールの書き出しや終わりをいつも同じにしたい

メールの書き出しのあいさつや自分の名前などをあらかじめ登録しておく、本文の入力時に自動で挿入されます。
自由定型文を登録する▶p91

メールに手書き原稿を付けたい

ファクスとして読み込んだ内容を、メールに添付して送信することができます（最大10枚まで）。この場合は、手順1の前に原稿をセットしておく、手順12でファクスの読み込みが始まります。メールかんたん送信について▶p80

送信できなかった（Eメール不達レポート）

回線の状態などでセンターに接続できなかったときは、オートリダイヤルが働き、1分間隔で5回まで自動的に送信し直します。それでも送信できなかったときは、Eメール不達レポートがプリントされます。

プリント例

Eメール不達レポート	
2001年 1月 1日	
NEC	
以下の文書が送信できませんでした。	
文書作成日時	題名
1月 1日 13時35分	パーティーのお知らせ

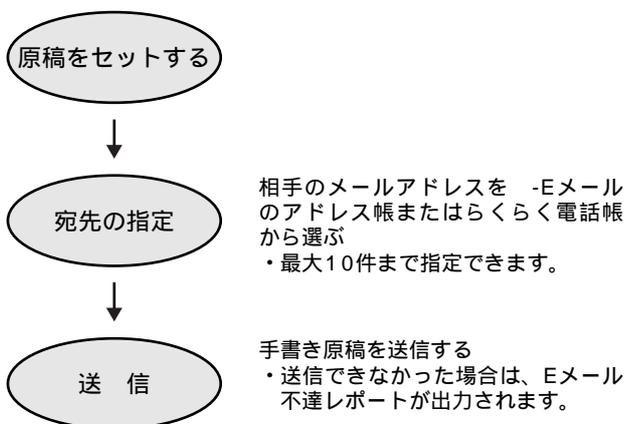
手書き原稿をかんたんに送信する

メールかんたん送信

相手先をアドレス帳から指定し、題名も本文も入力しないで、手書き原稿だけを送ることができます。また、らくらく電話帳に登録してある相手へのファクス送信と、アドレス帳に登録してある相手への添付ファイル送信をまとめて1度に行うことができます。

- 指定できるのは、-Eメールのアドレス帳およびらくらく電話帳に登録している相手先だけです。
- Eメールのアドレス帳に登録(▶p86)している相手先にはメールとして、らくらく電話帳に登録している相手先にはファクスとして送付されます。
- 親機だけの操作です。子機では操作できません。

メールの送信は、次の手順で行います。



1 送りたい原稿をセットする

2 原稿に合わせて画質を選ぶ

[画質] ボタンを押して画質を選びます
画質モードを選ぶ ▶ p42 手順2

3 を押し、らくらく電話帳に登録されている相手を表示させる

- らくらく電話帳に何も登録されていないときは手順7に進みます
- Eメールのアドレス帳に登録されている相手に送信したいときは手順6に進みます

4 を押し | | | |--------|---| | みんなに送信 | 1 | |--------|---| 相手先件数

相手先を間違えた [<] または [>] を押し、取り消したい相手を表示させ [消去] ボタンを押してください。

5 手順3~4をくり返し、送りたい相手をすべて選ぶ

6 を押し -Eメールのアドレス帳を表示させる

7 で相手先を表示させる

8 を押し | | | |--------|---| | みんなに送信 | 1 | |--------|---| 相手先件数

相手先を間違えた [<] または [>] を押し、取り消したい相手を表示させ [消去] ボタンを押してください。

9 手順7~8をくり返し、送りたい相手をすべて選ぶ

10 を押し

本機に複数のメールアドレスに登録している場合、そのメールアドレスがディスプレイに表示されます。メールの送信元になるメールアドレスの番号を押してください

11 原稿が送信される

みんなに送信したい相手を確認したい

手順3、7で相手先を選んでいるときに [戻る] ボタンを押してください。

手順3でらくらく電話帳に登録した相手にも送信したとき

- 原稿をいったんメモリに蓄積します。
- みんなに送信レポートが出力されます。送信できなかった場合でも、Eメール不達レポートは出力されません。みんなに送信レポート ▶ p43

“通信できませんでした”と表示された

“通信できませんでした”と表示された相手先への送信をやめ、次の相手先へ送信を開始します。

“メモリ フル”と表示された

原稿を読み取り中にメモリがいっぱいになると「ピー・ピー...」と音がして“メモリ フル”と、読み取り中のページが表示されます。読み取りが終わったページまでを送信するときは [スタート/コピー] ボタンを押してください。何もしないまま60秒経過すると自動で送信します。送信をやめるときは [ストップ] ボタンを押してください。1枚目の原稿を読み取り中に“メモリ フル”となった場合は、送信できません。



メールかんたん送信での手書き原稿について

ファクスで読み込んだ内容をメールに添付して送ることができます。このときは、あらかじめ原稿をセットしてからメール送信の操作をしてください。

- 最大10枚まで添付できます。
- メールかんたん送信での題名 (Subject) は自動的に FAX mail となります。
- 本文は送信文入力モードが日本語に設定されているときは自由定型文、送信文入力モードが英語に設定または自由定型文が登録されていない場合は本文なしとなります。
- 添付ファイルはTIFFイメージファイル (非圧縮タイプ) として送られます。
- パソコン側でTIFFイメージファイルを見るにはイメージビューアソフトなどが必要です。詳しくは、KDDIカスタマサービスセンター【 -Eメール係 】にお問い合わせください。▶ p77

親機で送信する -Eメールを修正する

-Eメールを送信する前に、宛先や題名、本文を修正することができます。

1 「親機で送信する」(→p79)

の手順11で  を押す

(To:) 01
abcde@ae2.dion.ne.jp

宛先を追加したいとき 手順4に進んでください。

宛先を修正しないとき 手順6に進んでください。

2  を押し、修正したい宛先を表示させる3  を押す

表示させた宛先が削除されます

4 新しい宛先のメールアドレスを入力する

5  を押す

複数の宛先を指定したいとき 手順4、5をくり返します。最大10件まで指定できます。

6  を押す

題名(Subject:)?

7  を押す

パーティーのお知らせ
>
かな

題名を修正しないとき 手順10に進んでください。

8  を押し、修正したい文字を反転させる

9 題名を入力し直す

[消去] ボタンを押すと、反転している文字が1文字消えます

10  を押す

本文を入力して下さい

11  を押す

パーティー参加希望者
>
かな

本文を修正しないとき 手順14に進んでください。

12  を押し、変更したい文字にカーソルを合わせる

13 文字を入力し直す

[消去] ボタンを押すと、反転している文字が1文字消えます

14  を押す

1:送信開始
2:プリント
3:修正

15  を押す

接続中

メールをプリントして確認したい [2] を押します。

メールの内容を修正したい [3] を押すと手順1に戻ります。

メールの送信をとりやめたい [4] を押します。

16 メールが送信される

子機で送信する

全角で1000文字まで送信できます。

- 子機で -Eメールを送信するには、ユーザアドレスを設定する必要があります。→p95
- 子機で -Eメールを送信する場合、添付ファイルは送れません。

1  を押す

子機に設定されたユーザアドレスが表示されたあと、“受信メール検索”が表示されます

Eメール
接続中

Eメール
v-sirius@ae2

Eメール
受信メール検索

2  を押し、“送信”を表示させる

Eメール
送信

3  を押す

Eメール
新規作成

“送信メール変更”が表示された 作成済みのメールを変更できます。(→p82) 新たにメールを作成したいときは、[] または [] を押して“新規作成”を表示させてください。

4  を押す

宛先To:01?

5 宛先のメールアドレスを入力する

最大60文字まで入力できます
-Eメールでの文字入力一覧表→p93

アドレス帳を使って宛先を選びたい [音量] ボタンを押すと、アドレス帳の表示に切り替わります。[] または [] を押して宛先を選びます。

6  を押す

宛先To:02?

複数の宛先を指定したいとき 手順5、6をくり返します。最大10件まで指定できます。

(次ページへ続く)

7  を押す 题名Subject?
>
かな

8 题名(メールのタイトル)を入力する
全角で最大10文字まで入力できます
-Eメールでの文字入力一覧表▶p93
文字入力のしかた▶本書の最終ページ

9  を押す **本文** ?
>
かな

10 本文を入力する
-Eメールでの文字入力一覧表▶p93
文字入力のしかた▶本書の最終ページ

11  を押す Eメール
送信開始

メールをプリントして確認したい [] または [] を押して
“プリント”を表示させ [機能] ボタンを押します。

送信を中断したいとき [] または [] を押して“送信キ
ャンセル”を表示させたあと [機能] ボタンを押すか [Eメ
ール/キャッチ] ボタンを押します。

12  を押す Eメール
送信開始
親機送信中

13 親機側で送信開始します Eメール
送信開始
送信準備完了

子機で送信する -Eメールを修正する

 ・最後に作成した送信メールは子機に保存されますが、送
信メールを作成したあと「子機で受信メールを見る」ま
たは「子機で受信する」を実行すると、保存されていた
送信メールは消去されるため、修正できません。

1 「子機で送信する」の手順11で  を
押す
待機中の状態に戻ります

2  を押す Eメール
受信メール検索

3  を押し、“送信”を
表示させる Eメール
送信

4  を押す Eメール
送信メール変更

5  を押す 宛先To:01?
abcde@ae2.ne
.jp

宛先を修正しないとき 手順9に進んでください。

6  または  を押し、修正したい文字
にカーソルを合わせる

7 宛先を入力し直す(挿入)
[削除/保留] ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字
消えます

8  を押す

複数の宛先を指定したいとき 手順7、8をくり返します。最
大10件まで指定できます。

9  を押す パーティーの
>
かな

题名を修正しないとき 手順12に進んでください。

10  または  を押し、修正したい文字
にカーソルを合わせる

11 题名を入力し直す(挿入)
[削除/保留] ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字
消えます

12  を押す パーティー参
>
かな

本文を修正しないとき 手順15に進んでください。

13  または  を押し、修正したい文字
にカーソルを合わせる

14 本文を入力し直す(挿入)
[削除/保留] ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字
消えます

15  を押す Eメール
送信開始

メールをプリントして確認したい [] または [] を押して
“プリント”を表示させ [機能] ボタンを押します。

送信を中断したいとき [] または [] を押して“送信キ
ャンセル”を表示させたあと [機能] ボタンを押すか [Eメ
ール/キャッチ] ボタンを押します。

16  を押す Eメール
送信開始
親機送信中

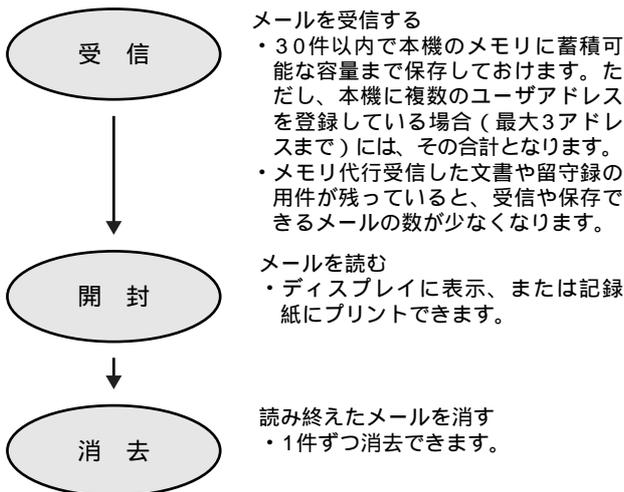
17 親機側で送信開始します

-Eメールを受信する

相手が送ったメールは、センター側にあるあなたのメールボックスに保存されています。本機からセンターに接続し、メールを本機に受信することができます。

- センターのメールボックスの容量がいっぱいになると、新規のメールを受信できないことがあります。こまめにメールを受信してください。
- 本機に受信した時点で、センターのメールボックスから、そのメールは削除されます。
- センターのメールボックスに保存されているメールは、30日を経過すると、本機に受信しなくても自動的に消去されます。
- 次のような場合は、本機のメモリが不足して正常に受信できないことがあります。
 - メモリ代行受信した文書がある
 - 留守録の用件が残っている
 - 本機に保存されているメールがある
 - 届いたメールの容量が、本機のメモリの空き容量を超えている
- 送信相手の状況（海外からのメールなど）によっては正しく表示できないことがあります。
- センターに接続した際に受信メールがなかったときも、センターまでの接続料がかかります。

メールの受信は、次の手順で行います。



親機で受信する

センターから着信通知（▶p96）があると -Eメールランプが点滅します。センターにメールが届いていますので次の操作でメールを受信してください。

- を押す

1 : Eメール
2 : えらんでメロディ
0 : データ受け取り
- を押す

1 : 受信メール検索
2 : 受信
3 : 送信

本機に複数のメールアドレスを登録している場合、そのメールアドレスがディスプレイに表示されます。メールを受信するメールアドレスの番号を押してください。メールアドレスのあとにある “ ” マークは着信通知があることを表します
- を押す

接続中

01) Mon. 1. Jan
abcdefg@sdut.ne.jp
利用開始のご案内

4 メールが受信される

受信したメールをそのまま読みたいときは「親機で受信メールを見る」（▶本ページ下）手順4に進んでください。メールに添付ファイルがあるときは、受信後にプリントされます。添付ファイルの受信について▶p78

“メモリがいっぱいです”と表示された

本機に保存されているメールが30件になっています。不要なメールを削除してから、もう一度受信し直してください。
不要なメールを消す▶p84、85
留守録の用件などがある場合には、不要な用件を削除してから、もう一度受信し直してください。
不要な用件を消す▶p55

メールが届いたら、すぐ知りたい

本機からの「ユーザ設定」で、次のどちらかを利用できます。
・着信通知（無料）
・メール自動受信（接続料がかかります）
-Eメールの各種機能を設定する▶p96

“受信メールありません”と表示された

メールは届いていません。なお、受信メールがないときでも接続料がかかります。

親機で受信メールを見る

- を押す

1 : Eメール
2 : えらんでメロディ
0 : データ受け取り
- を押す

1 : 受信メール検索
2 : 受信
3 : 送信
- を押す

01) Mon. 1. Jan abcdefg@sdut.ne.jp 利用開始のご案内

 - メールの件数と届いた曜日、日、月、発信元メールアドレス、メールのタイトルが表示され、未読メールには右上に “ ” マークが表示されます
 - 本機に複数のメールアドレスを登録している場合、そのメールアドレスがディスプレイに表示されます
 - メールアドレスのあとにある “ ” マークは着信通知があることを表しています

次のメールタイトルを見たいとき [] または [] を押すと、表示が切り替わります。

4 を押す

こんにちは。

メールが3行以上あるとき [] または [] を押して表示を切り替えると、続きを読むことができます。

メールが2000行以上あるとき [] ディスプレイに表示して読めるのは、2000行までです。それ以上長いメールや重要なメールなどは、プリントして読んでください。メールの最終行が表示されている場合、メールの最後に “ (END) ” が表示されます。

メールをプリントしたいとき ▶p84、85

別のメールを見たいとき [戻る] ボタンを押したあと、別のメールタイトルを [] または [] で表示させ、[登録/セット] ボタンを押してください。

(次ページへ続く)

準備

電話

ファクス/コピー

ハンズキャナ

留守電

便利に使う

77セレクトイ

Eメール

ナンバー・ディスプレイ

キヤッチホン/ダイヤルイン

こんなときは

半角記号、半角カタカナ、特殊数字などの表示

- 一部の半角記号 (<, >, \$, %, ¥, ", +, =, [,] など) は全角で表示されます。
- 半角カタカナの小文字 (ッ, ヤ, ヨ など) は大文字 (ツ, ヤ, ヨ など) で表示されます。
- 表示できない特殊文字は、空きスペースとなります。

親機で受信メールをプリントする

- 1 メール本文を表示中に
[登録/セット] を押す

1: 返信
2: プリント
3: 消去

メールのタイトル表示に戻りたい [戻る] ボタンを押してください。

- 2 [ABC] を押す

Eメールプリント中

親機で受信メールを消去する

- 1 メール本文を表示中に
[登録/セット] を押す

1: 返信
2: プリント
3: 消去

メールのタイトル表示に戻りたい [戻る] ボタンを押してください。

- 2 [DEF] を押す

題名 (Subject)
利用開始のご案内
消去 / 中止

- 3 [戻る] を押し、“消去”を選ぶ

- 4 [登録/セット] を押す

消去しました

- 5 手順1で表示させていたメールが消去される

- 消去後、別のメールがあるときは、メールのタイトル表示に戻ります
- 別のメールがないときは、待機状態に戻ります

途中で消去をやめたい

手順3で [<] または [>] を押し、“中止”を選んでから [登録/セット] ボタンを押してください。

子機で受信する

- 子機で Eメールを受信するには、ユーザアドレスを設定する必要があります。▶ p95

- 1 [Eメール] を押す

Eメール
受信メール検索

センターから着信通知があるときは、ユーザアドレスを表示したあと“着信通知有り”と約1秒間表示され、“受信メール検索”が表示されます

- 2 [戻る] を押す

Eメール
受信

- 3 [戻る] を押す

Eメール
センターメール受信
センター接続中

- 4 メールが受信される

- メールの件数と届いた曜日・日・月、発信元メールアドレス、メールのタイトルが表示されます
- 受信したメールをそのままディスプレイで読みたいときは「子機で受信メールを見る」手順2の「次のメールタイトルを見たいとき」を行い、そのあと手順3、4を行ってください
- すべてのメールを受信したあとに、回線は自動的に切断されます

Eメール
センターメール受信
受信 10/10件

01Mon.01 Jan
abcdefg@sdut
利用開始のご

- 5 操作を終了するには、[Eメール] を押す

メールに添付ファイルがあるときは、操作終了後にプリントされます

“ありません”と表示された

メールは届いていません。“ありません”のあと“Eメール受信”と表示されます。なお、受信メールがないときでも接続料がかかります。

子機で受信メールを見る

- 1 [Eメール] を押す

Eメール
受信メール検索

子機に設定されたユーザアドレスが表示されたあと、“受信メール検索”が表示されます

- 2 [戻る] を押す

Eメール
受信メール検索
通信中

- 受信メールのリストを読み出します
- メールの件数と届いた曜日・日・月、発信元メールアドレス、メールのタイトルが表示されます

Eメール
受信メール検索
受信 10/10件

01Mon.01 Jan
abcdefg@sdut
利用開始のご

次のメールタイトルを見たいとき [] または [] を押しと、表示が切り替わります。

- 3 [戻る] を押す

本文
こんにちは。

メールが3行以上あるとき [] または [] を押して表示を1行ずつ切り替え、続きを読んでください。

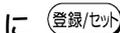
メールが全角250 (半角500) 文字以上あるとき ディスプレイに表示して読めるのは全角250 (半角500) 文字までです。それ以上長いメールや重要なメールなどは、プリントして読んでください。メールの最終行が表示されている場合、メールの最後に“(END)”が表示されます。

-Eメールを返信する

届いたメールへの返事を送る（メール返信）ときは、相手のメールアドレスを引用することができますので、宛先の指定が簡単にできます。

 返信時に引用されるのは、発信元アドレスだけです。題名や本文は引用されません。

親機で返信する

- 1 メール本文を表示中に  を押す

1:返信
2:プリント
3:消去
- 2  を押す

題名(Subject:)?

- 3 以降の操作は「親機で送信する」（▶p79）の手順7からと同じです

“アドレスが取り出せません”と表示された

相手先（発信元）のアドレスに、本機で入力できない特殊な文字が含まれているため返信できません。

子機で返信する

- 1 メール本文を表示中に  を押す

Eメール リストに戻る

- 2  を押し、“返信”を表示させる

Eメール 返信

- 3  を押す

(To:) 01 abcde@ae2.ne

- 4 以降の操作は「子機で送信する -Eメールを修正する」（▶p82）の手順1からと同じです

別のメールを見たいとき [機能] ボタンを2回押して、別のメールタイトルを [] または [] で表示させ、もう一度 [機能] ボタンを押してください。

- 4 操作を終了するには、 を押す
メールに添付ファイルがあるときは、操作終了後にプリントされます

子機で受信メールをプリントする

子機で受信したメールを、子機からの操作でプリントすることができます。

- 1 メール本文を表示中に  を押す

Eメール リストに戻る

- 2  を押し、“プリント”を表示させる

Eメール プリント

- 3  を押す
メールがプリントされます

Eメール プリント プリント中
⋮
Eメール プリント プリント完了

“印刷不可”と表示された

記録紙が入っているかどうかなどを確認し、もう一度やり直してください。

子機で受信メールを消去する

- 1 メール本文を表示中に  を押す

Eメール リストに戻る

- 2  を押し、“消去”を表示させる

Eメール 消去

- 3  を押す

Eメール 消去しますか 利用開始のご

- 4  を押す

Eメール 消去しました

- 5 手順1で表示させていたメールが消去される

途中で消去をやめたい

手順3で [] または [] を押し“中止しますか”を表示させたあと、[機能] ボタンを押してください。

-Eメールのアドレス帳に登録する

よくメールを送る相手先の名前やメールアドレスを登録できます。

親機で登録する

登録できる件数は20件までです。本機に複数のユーザアドレス（最大3つまで）を登録している場合、アドレス帳は共通で使用します（3アドレス個別に20件ずつではありません）。

1  を押す

登録先は？

電話帳 / アドレス帳

2  を押し、
“アドレス帳”を
選ぶ

登録先は？

電話帳 / **アドレス帳**

3  を押す

アドレス帳登録
> 名前？
かな

メールアドレスだけ入力したい [登録/セット] ボタンを2回押し、手順8に進んでください。

4 相手の名前を入力する

-Eメールでの文字入力一覧表 ▶ p93
文字入力のしかた ▶ 本書の最終ページ

5  を押す

読みカナ？
 ズキマサユキ
カナ

6 相手の名前の読みカナを入力する

-Eメールでの文字入力一覧表 ▶ p93
文字入力のしかた ▶ 本書の最終ページ

7  を押す

鈴木正幸
アドレス？

8 相手のメールアドレスを入力する

-Eメールでの文字入力一覧表 ▶ p93
文字入力のしかた ▶ 本書の最終ページ

9  を押す

鈴木正幸
nihon@abcd.slk.co.jp
登録しました

10 登録を終了するときは  を押す

“全て登録済みです”と表示された

すでにアドレス帳に20件登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。
親機のアドレス帳の登録内容を消去する ▶ p87

受信メールの発信元アドレスを親機で登録する

かんたん登録

1 登録したい相手先からのメールを表示させる
親機で受信したメールを見る ▶ p83

2  を押す

3  を押す

アドレス帳登録
> 名前？
かな

メールアドレスだけ入力したい [登録/セット] ボタンを2回押し、手順8に進んでください。

4 相手の名前を入力する

-Eメールでの文字入力一覧表 ▶ p93
文字入力のしかた ▶ 本書の最終ページ

5  を押す

読みカナ？
 ズキマサユキ
カナ

6 相手の名前の読みカナを入力する

-Eメールでの文字入力一覧表 ▶ p93
文字入力のしかた ▶ 本書の最終ページ

7  を押す

鈴木正幸
nihon@abcd.slk.co.jp

8  を押す

鈴木正幸
nihon@abcd.slk.co.jp
登録しました

9 登録を終了するときは  を2回押す

“アドレスが取り出せません”と表示された

相手先（発信元）のアドレスに、本機で入力できない特殊な文字が含まれているため登録できません。

“全て登録済みです”と表示された

すでにアドレス帳に20件登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。
親機のアドレス帳の登録内容を消去する ▶ p87

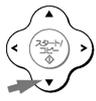
登録した内容を確認したい

Eメール登録リストをプリントする ▶ p71

親機のアドレス帳を子機で使いたい

親機のアドレス帳を子機に転送する ▶ p90

親機のアドレス帳の登録内容を変更する

1  を押す

電話帳の登録内容が表示されます

電話帳

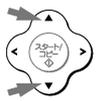
鈴木正幸
0120200940
< >

2  を押す

アドレス帳の登録内容が表示されます

Eメール

鈴木正幸
nihon@abcd.slk.co.jp
< >

3  を押し、変更したい相手を表示させる

4  を押す

登録/セット

鈴木正幸
nihon@abcd.slk.co.jp
消去 / 変更

5  を押し、“変更”を選ぶ

6  を押す

登録/セット

鈴木正幸
>
かな

名前を変更しないとき 手順8に進んでください。

7 名前を入力し直す

[<] または [>] を押し、変更したい文字を反転させてから [消去] ボタンを押すと、その1文字が消えます

8  を押す

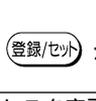
登録/セット

読みカナ?
 ズキマサユキ
カナ

読みカナを変更しないとき 手順10に進んでください。

9 読みカナを入力し直す

[<] または [>] を押し、変更したい文字を反転させてから [消去] ボタンを押すと、その1文字が消えます

10  を押す

登録/セット

鈴木正幸
nihon@abcd.slk.co.jp

アドレスを変更しないとき 手順12に進んでください。

11 アドレスを入力し直す

[<] または [>] を押し、変更したい文字を反転させてから [消去] ボタンを押すと、その1文字が消えます

12  を押す

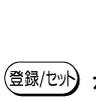
登録/セット

変更しました

親機のアドレス帳の登録内容を消去する

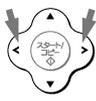
1 消去したい相手を表示させる

親機のアドレス帳の登録内容を変更する (手順1~3)
→ 本ページ左側

2  を押す

登録/セット

鈴木正幸
nihon@abcd.slk.co.jp
消去 / 変更

3  を押し、“消去”を選ぶ

4  を押す

登録/セット

鈴木正幸
nihon@abcd.slk.co.jp
消去 / 中止

5  を押し、“消去”を選ぶ

6  を押す

登録/セット

消去しました

途中で消去をやめたい

手順5で“中止”を選び、[登録/セット] ボタンを押してください。

子機で登録する

登録できる件数は20件までです。相手先名などの文字数は次のとおりです。

- ・相手先名 : 全角6文字まで
- ・相手先名(読み) : 半角12文字まで
- ・アドレス : 半角60文字まで

 各ボタンは60秒以内に操作してください。60秒経過すると「ピーピーピー」という音がして登録が中断されます。中断されたときは、手順1からやり直してください。

1  を押す

電話帳 登録
残り 160件

2  を押し、“Eメール登録”を表示させる

Eメール 登録

3  を押す

Eメール
アドレス帳登録
残り 20件

4  を押す

名前?
>
かな

メールアドレスだけ入力したい [機能] ボタンを1回押し、手順9に進んでください。

(次ページへ続く)

5 相手の名前を入力する
 -Eメールでの文字入力一覧表 ▶ p93
 文字入力のしかた ▶ 本書の最終ページ

6  を押す

読みか?
 スルキマカ
 カ

表示された読みカナを変更しないとき 手順8に進んでください。

7 相手の名前の読みカナを入力する
 -Eメールでの文字入力一覧表 ▶ p93
 文字入力のしかた ▶ 本書の最終ページ

8  を押す

アドレス?

9 相手のメールアドレスを入力する
 -Eメールでの文字入力一覧表 ▶ p93
 文字入力のしかた ▶ 本書の最終ページ

10  を押す

アドレス帳
 登録しました
 鈴木正幸

ひとつ前の手順に戻りたい

[機能] ボタンを2秒以上押し続けてください。

“登録不可”と表示された

相手先が20件登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。
 子機のアドレス帳の登録内容を消去する ▶ p89

途中で登録をやめたい

充電器に戻るか、または[外線] ボタンを押してください。

受信メールの発信元アドレスを子機で登録する

かんたん登録

1 登録したい相手先からのメールを表示させる
 子機で受信したメールを見る ▶ p84

2  を押す

3  を押し、“Eメール カンタン登録”
 を表示させる

4  を押す

漢
 鈴木正幸
 >
 かな

メールアドレスだけ入力したい 相手先の発信元アドレスがメールアドレスのみの場合は、メールアドレスのみを登録することができます。[機能] ボタンを押し、手順8に進んでください。

5 相手の名前を入力する
 -Eメールでの文字入力一覧表 ▶ p93
 文字入力のしかた ▶ 本書の最終ページ

6  を押す

カナ
 読みか?
 一カ

7 相手の名前の読みカナを入力する
 -Eメールでの文字入力一覧表 ▶ p93
 文字入力のしかた ▶ 本書の最終ページ

8  を押す

英
 アドレス?
 nihon@abcde

9  を押す

アドレス帳
 登録しました
 鈴木正幸

10 登録を終了するときは  を押す

“Eメール アドレス帳登録 登録不可”と表示された

すでにアドレス帳に20件登録されています。不要な相手先を消去してから新しい相手先を登録してください。
 子機のアドレス帳の登録内容を消去する ▶ p89

子機のアドレス帳の登録内容を変更する

1 「子機で登録する」(▶p87)の手順1～手順3を行う

Eメール アドレス帳登録 残り 10 件

2  を押し、“アドレス帳変更”を表示させる

Eメール アドレス帳変更 現在 10 件

3  を押す

アドレス帳 鈴木正幸 nihon@abcde

4  を押し、変更したい相手を表示させる

5  を押す

名前? > かな

名前を変更しないとき 手順7に進んでください。

6 名前を入力し直す(挿入)
[#] または [*] を押し、変更したい文字にカーソルを合わせてから [削除 / 保留] ボタンを押すと、その1文字が消えます

7  を押す

読みか? ス'キマユキ か

表示された読みカナを変更しないとき 手順9に進んでください。

8 相手の名前の読みカナを変更する
[#] または [*] を押し、変更したい文字にカーソルを合わせてから [削除 / 保留] ボタンを押すと、その1文字が消えます

9  を押す

アドレス? nihon@abcde

メールアドレスを変更しないとき 手順11に進んでください。

10 アドレスを入力し直す
[#] または [*] を押し、変更したい文字にカーソルを合わせてから [削除 / 保留] ボタンを押すと、その1文字が消えます

11  を押す

アドレス帳 登録しました 鈴木正幸

子機のアドレス帳の登録内容を消去する

1 「子機で登録する」(▶p87)の手順1～手順3を行う

Eメール アドレス帳登録 残り 10 件

2  を押し、“アドレス帳消去”を表示させる

Eメール アドレス帳消去 現在 10 件

3  を押す

アドレス帳 鈴木正幸 nihon@abcde

4  を押し、消去したい相手を表示させる

5  を押す

阿部太郎 消去しますか

6  を押す

阿部太郎 消去しました

途中で消去をやめたい

手順5で [] または [] を押し、“中止しますか”を表示させたあと [機能] ボタンを押してください。

親機のアドレス帳を子機に転送する

アドレス帳転送

アドレス帳の転送のしかたには、次の2つがあります。

- ・アドレス帳の内容を一度に全部転送する 一斉転送
- ・1件ずつ転送する 個別転送

転送した内容は、子機のアドレス帳に追加されます。



- ・子機と同じ相手先名とアドレスが登録されているときは転送されません。
- ・子機のアドレス帳がすでに20件登録されていると、転送できません。また登録数が20件になった時点で転送は終了します。
- ・転送中に着信があったり、エラーが発生したときは、その時点で転送を終了します。
- ・転送中、相手の子機は使用できません。ディスプレイに“アドレス転送中”と表示されます。

一度に転送する 一斉転送

1  を押す

2  を押す

3  を押す

転送方法
一斉 / 個別

4  を押し、“一斉”を選ぶ

5  を押す

転送を開始します
スタートを
押して下さい

子機が2台以上あるとき “転送内線番号 内線2 <>で選択” と表示されたら [<] または [>] を押し、転送したい子機の内線番号を表示させ [登録 / セット] ボタンを押してください。内線番号について ▶ p30

6  を押す

「転送件数 / 登録件数」が数字で表示されます

内線2
アドレス帳転送中
1 / 20件

アドレス帳転送
転送終了しました

7 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する

「子機で送信する」(▶ p81) の手順4で [音量] ボタンを押すと表示されます

一件ずつ転送する 個別転送

1 「一度に転送する」の手順1～手順3を行う

転送方法
一斉 / 個別

2  を押し、“個別”を選ぶ

3  を押す

鈴木正幸
nihon@abcd.slk.co.jp
で選択

子機が2台以上あるとき “転送内線番号 内線2 <>で選択” と表示されたら [<] または [>] を押し、転送したい子機の内線番号を表示させ [登録 / セット] ボタンを押してください。内線番号について ▶ p30

4  を押し、転送したい登録内容を表示させる

5  を押す

転送を開始します
スタートを
押して下さい

6  を押す

内線2
アドレス帳転送中

アドレス帳転送
転送終了しました

鈴木正幸
nihon@abcd.slk.co.jp
で選択

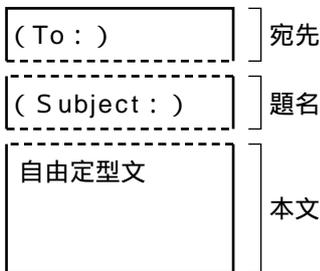
続けて転送したい 手順4からくり返してください。

7 終了するときは  を押す

8 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する

自由定型文を登録する

自由定型文は、メールの本文を作成時、自動的に先頭に挿入される文です。自分のメールアドレスや住所、電話番号などを登録しておけば、毎回入力する手間がかからなくなります。
自由定型文は最大20文字まで登録できます。



自由定型文は、自動的に本文の先頭に挿入されます

親機で登録する

1 を押す

1 : Eメール
2 : えらんでメロディ
0 : データ受け取り

2 を押す

1 : 受信メール検索
2 : 受信
3 : 送信

3 を押す

1 : 自由定型文
2 : 添付ファク受信
3 : 送信文入力モード

本機に複数のメールアドレスを登録している場合、そのメールアドレスがディスプレイに表示されます。自由定型文を登録したいメールアドレスの番号を押してください

4 を押す

>
かな

5 定型文を入力する

-Eメールでの文字入力一覧表▶p93
文字入力のしかた▶本書の最終ページ

6 を押す

登録しました
⋮

1 : 自由定型文
2 : 添付ファク受信
3 : 送信文入力モード

7 登録を終了するときは を押す

子機で登録する

1 を押す

電話帳 登録
残り 160件

2 を押し、“Eメール登録”を表示させる

Eメール 登録

3 を押す

Eメール
アドレス帳登録
残り 10 件

4 を押し、“自由定型文”を表示させる

Eメール
自由定型文

5 を押す

Eメール
自由定型文
接続中

⋮

自由定型文?
> _
かな

6 定型文を入力する

-Eメールでの文字入力一覧表▶p93
文字入力のしかた▶本書の最終ページ

7 を押す

自由定型文
登録しました
日本 電気

メールアドレスを変更する

-Eメールを申し込んだ際にKDDIから自動で提供された「電話番号アドレス」を、自分で設定した「ニックネームアドレス」に1回だけ変更することができます。メールアドレスについて▶p78
この操作には、KDDIのセンターまでの接続料がかかります。

- ニックネームアドレスを変更することはできません。
- 他人が使っているニックネームアドレスは登録できません。
- 複数のメールアドレスを利用して、アドレスを一部変更/削除する場合はKDDIのカスタマーサービスセンターへ連絡してください。▶p77

1 を押す

1 : Eメール
2 : えらんでメロディ
0 : データ受け取り

2 を押す

1 : 受信メール検索
2 : 受信
3 : 送信

準備

電話

ファクス/
コピー

ハン
ドスキャナ

留守電

便利に使う

77
セレクト
ティ

Eメール

ナンバー・
ディスプレイ

キヤッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

3 た GH 4 を押す

1 : (アドレス)
2 : サインアップ

4 変更したい電話番号 アドレスのメニュー 番号を押す

接続中

利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります
ここでは [1] を押します

- センターに接続されたあとは、ディスプレイに操作の説明が表示されます。
点線枠内の文は、[] または [] を押すと見ることができます。
- これ以降の操作では、各手順の表示が出る前に「検索中しばらくお待ちください」と表示されます。
- センターに接続されたあとの各手順の表示は、予告なくセンター側で変更されることがあります。

センターに接続されました
オンラインユーザ設定を行います。
オンラインユーザ設定には接続料がかかります。
ご確認のうえ、番号を選択してください。
1 : ユーザ設定を行う
0 : 中止する

5 “ユーザ設定を行う” のメニュー番号を押す ここでは [1] を押します

パスワードを入力してください。
(設定していない場合は0000です。)

6 4桁のパスワード(お 買い上げのときは [0000])をダイヤ ルボタンで入力します パスワードは、[ユーザ設定] により変更することができます ▶ p96

設定するサービス番号を
選択してください。
1 : 着信通知
2 : メール自動受信
3 : メールアドレス変更
4 : パスワード変更
5 : 拒否メールアドレス
6 : メール転送
7 : 着信拒否時間設定

7 “メールアドレス変更” のメニュー番号を押す ここでは [3] を押します

メールアドレスの変更を行います。
メールアドレスの変更は1度
だけです。既にアドレス変
更している場合は、変
更できません。ご確認
のうえ、番号を選択し
てください。
1 : 変更する
0 : メニューに戻る

8 “変更する”の メニュー番号を押す ここでは [1] を押します

ニックネームアドレスの登録を
行います。
希望するニックネームを入力
してください。

9 お好みのニックネーム アドレスを入力する

文字入力
viva-sirius
[セツ]で入力確定

ここではviva-siriusというニックネームアドレスを入力した例を表示しています

- 文字、数字を入力する際には、p93の文字入力表にしたがってダイヤルボタンを押してください。
- ニックネームアドレスは、アルファベット小文字(数字を含む)で、4~15文字としてください。記号は「_ (アンダーバー)」または「- (ハイフン)」のみ、合計2回まで使用できます。ニックネームの1文字目は必ずアルファベット(小文字)としてください。

10 登録/セツ を押す

表示により、入力したニックネームアドレスを確認してください

あなたのメールアドレスは
viva-sirius@ae2.dion
.ne.jpとなります。登
録すると、電話番号7
は利用できなくな
ります。登録による
しいですか?
1 : 登録する
2 : 訂正する
0 : メニューに戻る

11 “登録する”の メニュー番号を押す ここでは [1] を押します

ニックネームアドレスが登録さ
れました
0 : 確認

12 “確認”のメニュー 番号を押す ここでは [0] を押します

設定するサービス番号を
選択してください。
1 : 着信通知
2 : メール自動受信
3 : メールアドレス変更
4 : パスワード変更
5 : 拒否メールアドレス
6 : メール転送
7 : 着信拒否時間設定
8 : 現在の設定確認
0 : 終了

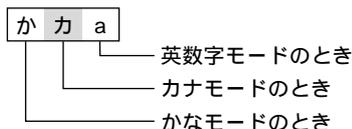
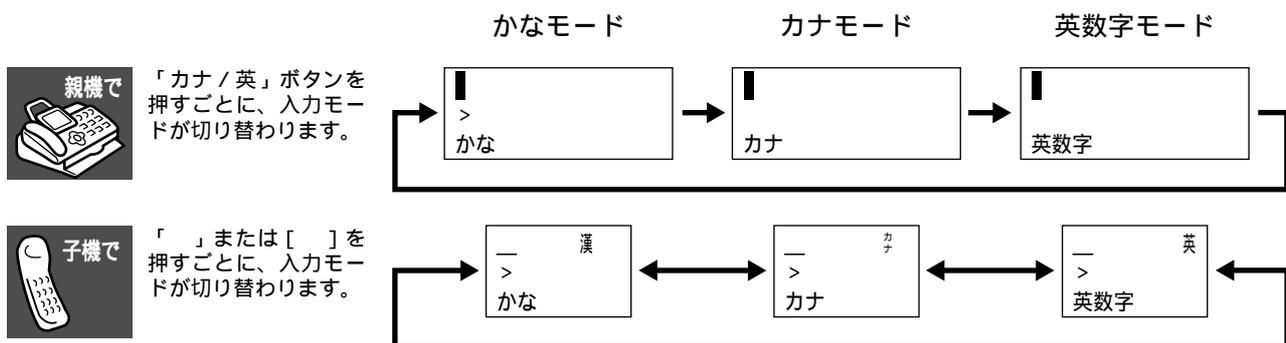
13 “終了”のメニュー 番号を押す ここでは [0] を押します

登録が完了しました。
オンラインユーザ設定を終了
します。ご利用ありが
とうございました。
1 : 確認

14 “確認”のメニュー番号を押す ここでは [1] を押します

-Eメールでの文字入力一覧表

-Eメールでのアドレスや題名、本文などの入力時には、ダイヤルボタンを押したときに入力される文字が電話帳登録時と一部異なります。下表を見ながら入力してください。漢字への変換のしかたは、電話帳登録時と同じです。文字入力のしかた → 本書の最終ページ



子機入力および親機の送信文入力モードが「日本語」のとき

押す回数	ダイヤルボタン										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	** *
1回	あ ア 1	か カ a	さ サ d	た タ g	な ナ j	は ハ m	ま マ p	や ヤ t	ら ラ w	わ ワ 0	° °
2回	い イ @	き キ b	し シ e	ち チ h	に ニ k	ひ ヒ n	み ミ q	ゆ ユ u	り リ x	を ワ 1	° °
3回	う ウ .	く ク c	す ス f	つ ツ i	ぬ ヌ l	ふ フ o	む ム r	よ ヨ v	る ル y	ん ン (
4回	え エ ,	け ケ A	せ セ D	て テ G	ね ネ J	へ ヘ M	め メ s	ゃ ャ T	れ レ z	。 。)	
5回	お オ _	こ コ B	そ ソ E	と ト H	の ノ K	ほ ホ N	も モ P	ゅ ュ U	ろ ロ W	、 、 *	
6回	ぁ ぁ -		C	F	っ ッ l		L	O	Q	よ ヨ V	X - - #
7回	い イ &		2	3	4	5	6	R	8	Y	((;
8回	う ウ ^							S		Z)) :
9回	え エ \$							7		9	? ? /
10回	お オ %										! ! ?
11回											「 「 !
12回											」 」 ¥
13回										2 2 +	
14回											=
15回											
16回											[
17回]
18回											"
19回											,
20回											<
21回											>
22回											{
23回											}

- 1: スペース (空白)
アドレス入力時には使えません
- 2: スペース (空白)
子機のみ

準備
電話
ファクス/コピー
ハンドスキャナ
留守電
便利に使う
77セレクトイ
Eメール
ナンバーディスプレイ
キヤッチホン/ダイヤルイン
こんなときは

親機の送信文入力モードが「英語」のとき、および -Eメールのアドレス入力時

押す回数	ダイヤルボタン									
	あ 1	か ABC 2	さ DEF 3	た GHI 4	な JKL 5	は MNO 6	ま PQRS 7	や TUV 8	ら WXYZ 9	わ 0
1回	1	a	d	g	j	m	p	t	w	0
2回	@	b	e	h	k	n	q	u	x	1
3回	.	c	f	i	l	o	r	v	y	(
4回	,	A	D	G	J	M	s	T	z)
5回	_	B	E	H	K	N	P	U	W	*
6回	-	C	F	I	L	O	Q	V	X	#
7回	&	2	3	4	5	6	R	8	Y	;
8回	^						S		Z	:
9回							7		9	/
10回										?
11回										!

1：スペース（空白） アドレス入力時には使えません

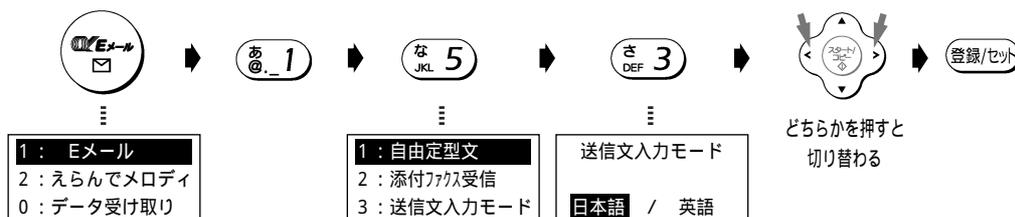
-Eメール利用時の設定

-Eメールを作成する際の文字入力モードや添付ファイルの自動受信の設定、追加登録などを行うことができます。

-Eメールを作成する際の文字入力モードを設定する <送信文入力モード>

（お買い上げのとき：日本語）

- -Eメールの題名や本文の入力時、最初の入力モードを「日本語」か「英語」に設定できます。
- 「日本語」での入力は、かなモード、カナモード、英数字モードの全角で、また「英語」での入力は、英数字モードの半角での入力となります。 -Eメールでの文字入力一覧表 ▶ p93、本ページ上



本機に複数のメールアドレスを登録している場合、そのメールアドレスがディスプレイに表示されます。文字入力モードを設定したいメールアドレスの番号を押してください。

-Eメールの本文入力時、自由定型文が自動で挿入されるようにしたい

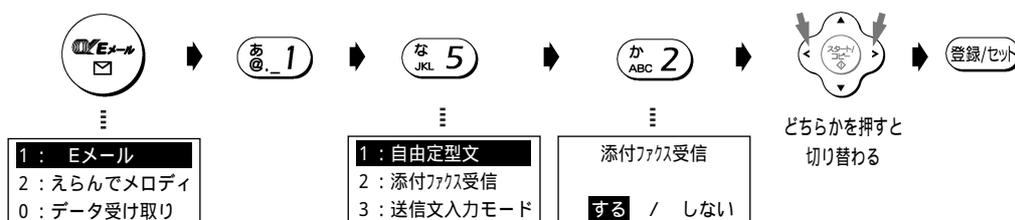
「日本語」に設定してください。「英語」に設定すると、自由定型文が自動で挿入されません。

添付ファイルを自動で受信する / しない <添付ファイル自動受信>

（お買い上げのとき：する）

送られてきたメールに添付ファイルがあったとき、自動的に受信する / しないを設定できます。

添付ファイルの受信について ▶ p78

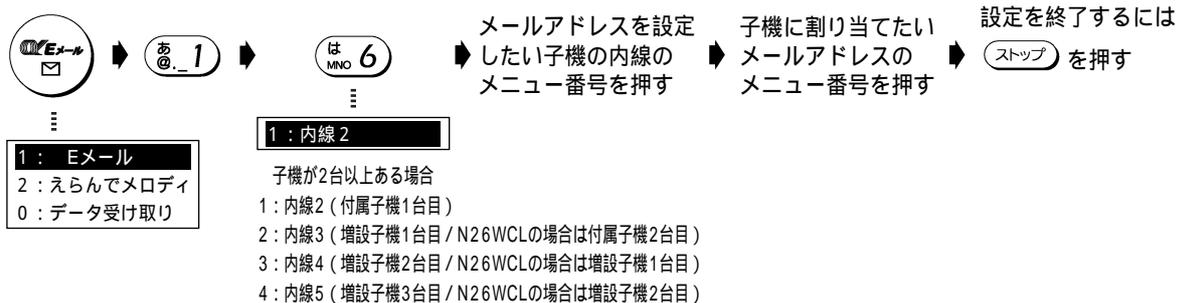


本機に複数のメールアドレスを登録している場合、そのメールアドレスがディスプレイに表示されます。添付ファイル自動受信を設定したいメールアドレスの番号を押してください。

- 添付ファイルの自動受信を「する」に設定した場合、メールを受信した時点でセンター側の添付ファイルは削除されます。
- 添付ファイルは、いったんメモリ受信したあと自動的にプリントされ、プリント後は本機のメモリから削除されます。
- 「しない」を設定すると、添付ファイルを見ることはできません。この場合、メールを受信した時点で添付ファイルはセンターから削除されます。

子機にメールアドレスを設定する

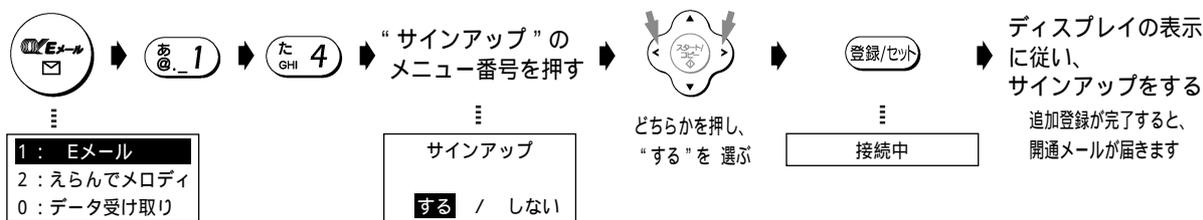
子機から Eメールの送受信をする場合には、子機に対してメールアドレスを親機で設定しておく必要があります。メールアドレスは、子機1台に対し1つだけ設定できます。



メールアドレスを追加登録する<サインアップ>

本機には、メールアドレスを3つまで登録することができます。1つ目のメールアドレスは申し込み書の送付 (→ p78) が必要ですが、2つ目以降はKDDIのセンターに通信で接続して登録することができます (サインアップといいます)。

この操作 (サインアップ) には、接続料はかかりません。



“サインアップ”が表示されない メールアドレスが3つ登録されているときは“サインアップ”は表示されません。また、メールアドレスの追加登録はできません。

- ・メールアドレスを追加登録すると、メールアドレスごとに月額基本料がかかります。
- ・追加登録したメールアドレスは変更できません。
- ・メールアドレスには右の太枠内の文字が使用できます。アルファベットの小文字で始まる4~15文字で好きな言葉を設定してください。_ (アンダーバー) と - (ハイフン) は合計2回だけ使えます。
- ・登録できるのは「ユーザ名」です。「ドメイン名」はセンターから提供されます。メールアドレスについて → p78

文字入力表

押す回数	ダイヤルボタン									
	あ 1	か 2	さ 3	た 4	な 5	は 6	ま 7	や 8	ら 9	わ 0
1回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
2回	ア	a	d	g	j	m	p	t	w	ワ
3回	イ	b	e	h	k	n	q	u	x	ヲ
4回	ウ	c	f	i	l	o	r	v	y	ン
5回	エ	A	D	G	J	M	s	T	Z	(※)
6回	オ	B	E	H	K	N	P	U	W	(
7回	@	C	F	I	L	O	Q	V	X)
8回	.	カ	サ	タ	ナ	ハ	R	ヤ	Y	*
9回	,	キ	シ	チ	ニ	ヒ	S	ユ	Z	#
10回	_	ク	ス	ツ	ヌ	フ	マ	ヨ	ラ	;
11回	-	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	ミ		リ	:
12回	&	コ	ソ	ト	ノ	ホ	ム		ル	/
13回	^						メ		レ	?
14回							モ		ロ	!

-Eメールの各種機能を設定する

本機からKDDIのセンターに通信を接続して、-Eメールの各種機能を設定できます（「ユーザ設定」といいます）。
「ユーザ設定」では、次のようなことができます（2000年09月現在）。

機能名	内容
どちらか一方のみ	着信通知 KDDIのセンターにメールが届いたことをお知らせします（無料）。 -Eメール利用開始時は、「着信通知を利用」となっています。 センター側にメールが残っていない状態から、新たにメールが届いたときだけ通知されます。
	メール自動受信 KDDIのセンターに届いたメールを、本機が自動的に受信します。
着信拒否時間設定	「着信通知」または「メール自動受信」を利用する場合、着信通知や自動受信のときに着信ベルが鳴ります。夜間などで着信通知や自動受信を拒否したいときは、その時間帯を設定できます。「着信拒否時間」に着信したメールは、次回センターにメールが着信したときに、着信通知または自動受信されます。
メール転送	KDDIのセンターに届いたメールを、別のメールアドレスに自動で転送できます。転送先は、ユーザアドレス1つに対し、1ヵ所だけです。
メールアドレス変更	▶ p91
パスワード変更	4桁の数字（-Eメール利用開始時：0000）のパスワードを変更できます。
拒否メールアドレス	メールを受信したくない相手のメールアドレスを10件まで指定できます。指定した相手からメールが来たときは、そのメールを受信できないことを告げるメールをセンターから自動で返します。 ・特定の相手を指定するとき...例えばfunky-yamamoto@ae2.dion.ne.jpなどメールアドレスすべてを指定する ・ドメイン名で指定するとき...例えば*@ae2.dion.ne.jpなど*とドメイン名を指定する
現在の設定確認	ユーザ設定の現在の内容をディスプレイに一覧表示して確認できます。

- ・「着信通知」または「メール自動受信」は、本機が話し中やファクス中などの場合には受けられません。このような場合、次回のメール着信時に着信通知または自動受信されます。
- ・「ユーザ設定」の機能は、予告なく追加・変更されることがあります。
- ・「ユーザ設定」には接続料がかかります。利用料金について▶p77



本機に複数のメールアドレスを登録している場合、そのメールアドレスがディスプレイに表示されます。ユーザ設定をしたいメールアドレスの番号を押してください。

ナンバー・ディスプレイ

ここでは、ナンバー・ディスプレイの
いろいろな使いかたを説明しています。

利用できる機能について

ナンバー・ディスプレイを利用すると、次のようなことができます。

- ・かかってきた相手の電話番号を、電話に出る前にディスプレイに表示させる
- ・電話帳に登録されている相手だけ、特別な受けかたをする
 - とくていコール ▶ p98
 - 自作メッセージで応答 ▶ p98
 - 着信鳴り分けとプライベートコール ▶ p99
- ・番号リクエスト ▶ p99
- ・着信拒否 ▶ p100
- ・着信データの活用 ▶ p101
- ・キャッチホン・ディスプレイ ▶ p103



- ・次の場合は電話番号が表示されません。
 - 国際電話
 - オペレーター扱いの通話（100番・106番）
 - 相手が番号非通知のとき
 - 相手が公衆電話からかけてきたとき
 - 相手が圏外からかけてきたとき
 - 電話回線の雑音などで、データを正常に受信できなかったとき

利用申し込みにあたって

ナンバー・ディスプレイを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です（有料）。



- ・本機でナンバー・ディスプレイを契約すると、次のサービスが利用できなくなります。
 - 転送でんわ（ボイスワープを除く）
 - ダイアルQ2（情報提供側）
 - テレドーム（情報提供側）
 - ノーリング通信サービス（センター回線）
- ・ブランチ接続では使えません。（▶ p16）

<お問い合わせ先>

NTT東日本・NTT西日本
ナンバー・ディスプレイ カスタマーセンター



フリーダイヤル：0120 - 848521
受付時間：9：00～17：00（月曜～土曜）

ダイヤルインサービスを同時に利用するとき

必ずモデムダイヤルインサービスを契約してください。通常のダイヤルインサービスを契約している場合は、モデムダイヤルインサービスに変更する必要があります。ナンバー・ディスプレイ カスタマーセンターに連絡してください。

ISDN回線を利用しているとき

ターミナルアダプタの機種によっては、ナンバー・ディスプレイを利用できないことがあります。ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタをご使用ください。

表示の見かた

電話がかかってくると、相手の番号が次のように表示されます。

親機	子機
0312345678	0312345678

- ・電話帳に登録されている相手のとき

親機	子機
日本電気 0312345678	日本電気 0312345678

親機と子機で同じ電話番号に違う名前を登録している 親機と子機、それぞれに登録した名前が表示されます。

- ・相手が番号非通知のとき
- ・相手が公衆電話のとき
- ・相手が海外など、圏外からかけてきたとき
- ・一時的な電話回線の雑音などにより正常に受信できなかったときや、ドアホン通話中に電話がかかってきたとき

自分の電話番号の通知・非通知について

ナンバー・ディスプレイを利用している相手に、自分の電話番号を通知するかどうかを、電話をかけるごとに指定できます。



- ・電話番号を通知すると、電話勧誘など思わぬ使いかたをされることがあります。

	契約の内容	
	通話ごと非通知	回線ごと非通知
相手に電話番号を通知する	普通にダイヤルする	[1][8][6]のあと相手の番号をダイヤル
相手に電話番号を通知しない	[1][8][4]のあと相手の番号をダイヤル	普通にダイヤルする

自分がどちらで契約しているかわからない

NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにお問い合わせください。

準備

電話

ファックス/
コピー

ハンズキャナ

留守電

便利に使う

77セレクトイ

・Eメール

ナンバー・
ディスプレイ

キャッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

必要な設定

ナンバー・ディスプレイの設定 (お買い上げのとき：利用する)

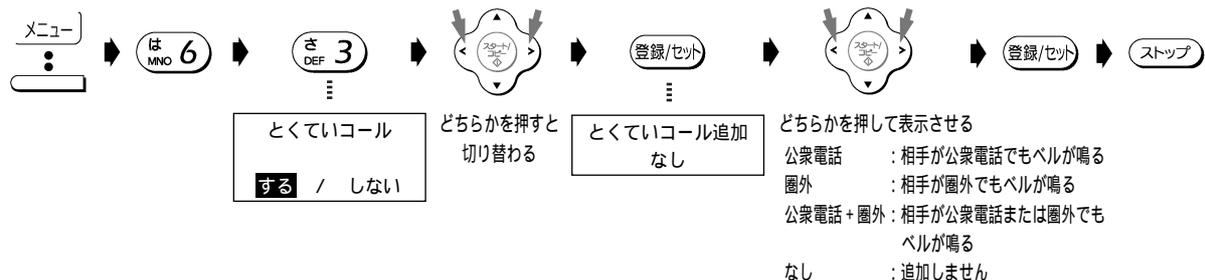
 ナンバー・ディスプレイを契約している場合は「利用する」に必ず設定してください。



いろいろな設定

おやすみモード中にベルを鳴らす相手を選ぶ<とくていコール> (お買い上げのとき：「する」「追加なし」)

らくらく電話帳に登録してある人からの電話だけを受けたいとき、とくていコール「する」に設定してください。とくていコールを「する」のとき、知らない人からの電話は、着信ベルを鳴らさず留守番電話で応答します。また公衆電話や圏外からかかってきた電話もベルが鳴るように設定することができます。



 子機は親機より遅れてベルが鳴り始めるため「トールセイバする」に設定して留守番電話の用件が録音されている場合、子機のベルが鳴らないことがあります。トールセイバ▶p60

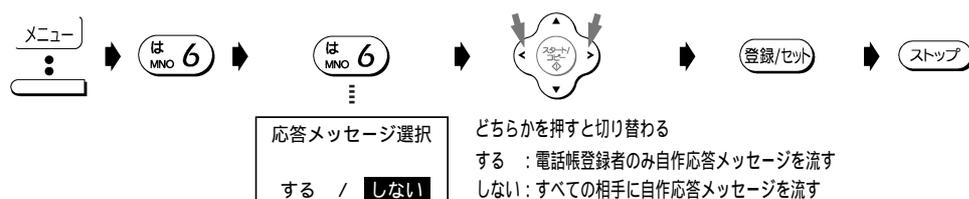
とくていコールによって鳴るベルの音色

- 電話帳に登録されている相手の場合は「ベルの音色/メロディを変える」(▶p63)または「着信鳴り分け」(▶p99)で設定した音色で鳴ります。
- 公衆電話や圏外の場合は「ベル(標準)」の音色で鳴ります。

電話帳に登録している相手にだけ自作応答メッセージを流す

(お買い上げのとき：すべての相手に自作応答メッセージを流す)

留守設定中に電話がかかってきたとき、電話帳に登録してある相手にだけ自分の声で、登録していない相手には機械の声で応答メッセージを流すことができます。

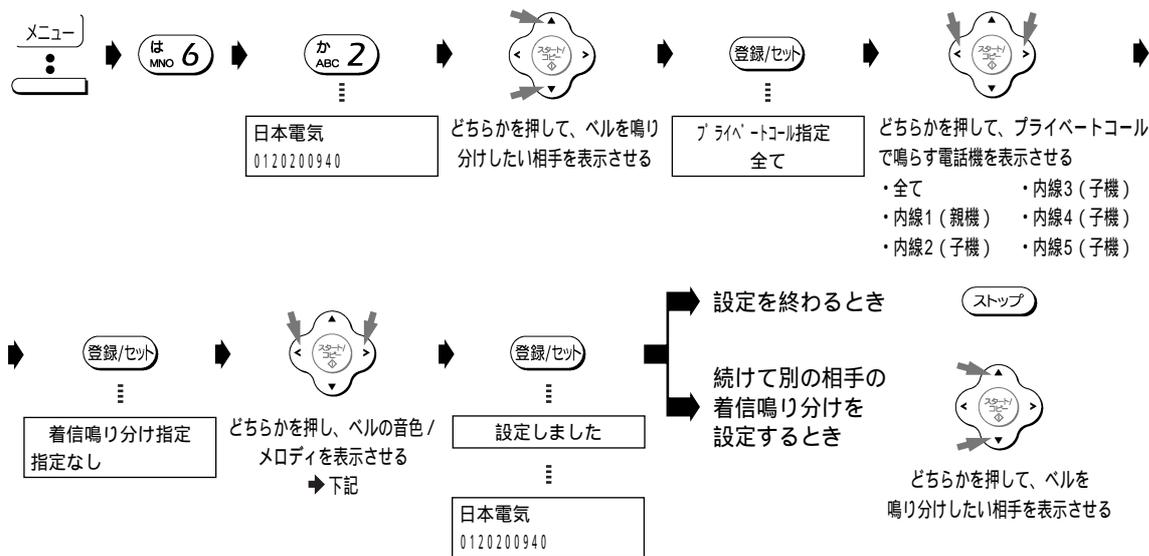


 相手に流す応答メッセージは、留守設定のときと同じメッセージです。
 ・自作応答メッセージを録音していない、または留守設定の応答メッセージを固定応答メッセージにしている場合は、すべて固定応答メッセージになります。自作応答メッセージを録音/消去する▶p55

かけてくる相手によって着信ベルを変える<着信鳴り分けとプライベートコール>

(お買い上げのとき: 着信鳴り分け「指定なし」、プライベートコール「全て」)

電話帳に登録してある相手からかかってきたときは、ベルの音色やメロディを変えたり(着信鳴り分け)、親機だけのベルまたは子機だけのベルを鳴らすことができます(プライベートコール)。
ベルの鳴っていない親機や子機でも電話に出ることができます。



ベルの音色/メロディの種類について

- ・指定なし : 「ベルの音色/メロディを変える」で指定したベル → p63
- ・ベル(標準) : 通常の音色
- ・ベル(鳴り分け) : 「標準」とは違う音色
- ・アイネ クライネ ナハト ムジーク
- ・春
- ・トルコ行進曲
- ・オリジナルメロディ : オリジナル着信メロディで入力した曲 → p64
- ・(KDDIの「えらんでメロディ」で取り込んだ曲) → p75

☛ 電話帳に登録されている番号に[*][#][ー](ポーズ)が含まれていたり、市外局番が登録されていないと、ナンバー・ディスプレイの機能が正常に動きません。電話帳に登録するときにはご注意ください。

“電話番号が登録されていません”と表示された 電話帳に何も登録されていません。

電話番号を通知してこない相手にメッセージを流す<番号リクエスト>

(お買い上げのとき: しない)

非通知の相手からかかってきたとき、ベルを鳴らさずメッセージを流してから自動的に電話を切ることができます。

- ・非通知の相手に流すメッセージ...「番号を通知しておかけ直してください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけ直してください」(固定)



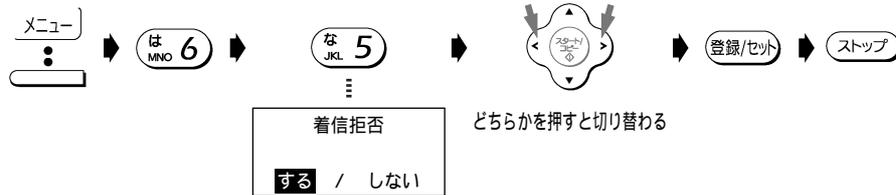
- ☛ 番号リクエストを「する」に設定すると、留守設定中も、非通知の相手からの電話は留守録音やファクス受信ができません。
- ・公衆電話や表示圏外からの電話は通常どおり着信します。

電話を受けたくない相手を設定する <着信拒否> (お買い上げのとき: する)

着信拒否に登録してある相手からかかってきたときに、ベルを鳴らさずにメッセージを流して電話を切ることができます。

- ・着信拒否の相手に流すメッセージ: 「申し訳ありませんがお取り次ぎできません」(固定)

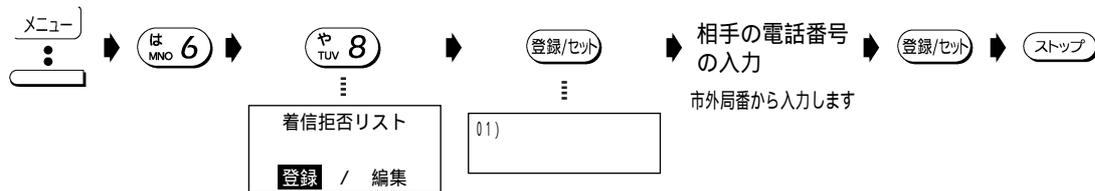
着信拒否機能を利用する / しないを設定する



- ・着信拒否を「する」に設定すると、留守設定中も、着信拒否に登録されている相手からの電話は留守録音やファクス受信ができません。

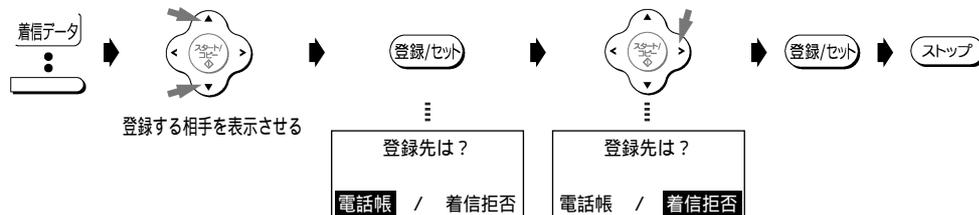
着信拒否する相手を登録する

受けたくない相手の電話番号(10件まで)を、あらかじめ着信拒否に登録しておきます。着信拒否に登録する場合、すでに登録されているリストの番号の次の番号に登録されます。



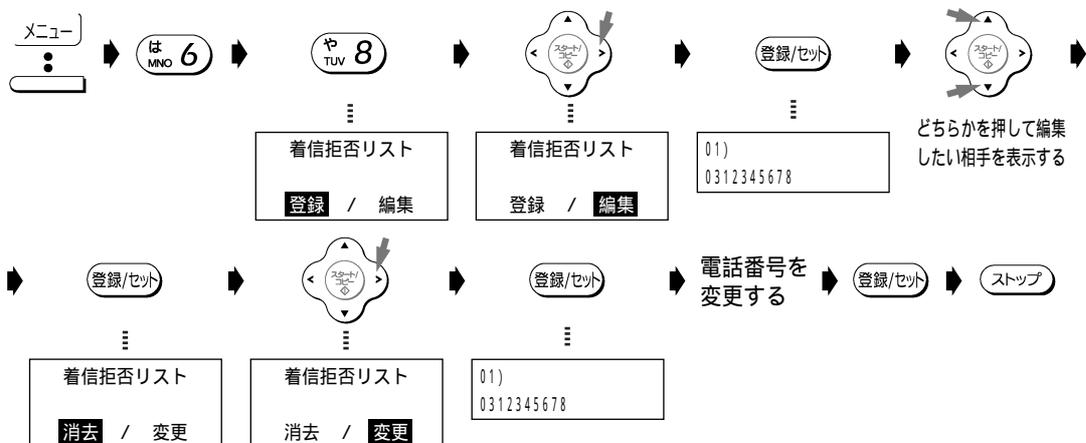
着信データの番号を着信拒否に登録したい

- ・子機の着信データは着信拒否に登録できません。



“全て登録済みです”と表示されたら 着信拒否に登録できるのは10件までです。リストから不要な電話番号を消去してください。

登録内容を編集する



“着信拒否リスト未登録”と表示されたら 着信拒否する相手が1件も登録されていません。

着信拒否リストから消去する

上記の操作で消去したい相手の電話番号を表示させる

登録/セッ 登録/セッ ストップ

着信データの活用

電話がかかってきた日時と相手の情報が、親機と子機それぞれに着信データとして自動的に記憶されます。着信データは親機に20件、子機に10件まで記憶され、これらの件数を超えると古いものから順に消去されます。

 電話やファクスを使用しているときは、着信データを見ることはできません。

着信データをプリントしたい

ナンバー・ディスプレイの着信データをプリントする ▶ p69

過去にかかってきた相手を確認する <着信データの表示>

親機で



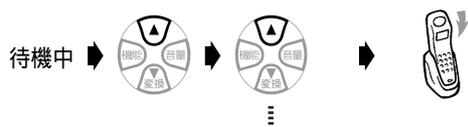
他の着信データを見る
押し続けると早送りされます

“データはありません”と表示されたら 着信データが記憶されていません。
ナンバー・ディスプレイサービス(▶ p97)に加入していない場合、着信データは残りません。

ディスプレイには、最新の着信データから順に表示されます

電話帳に登録している相手	電話帳に登録していない相手
着信した順番 (新しい順) 着信した日時	着信した順番 (新しい順) 着信した日時
01) 8月 1日 21:44 日本電気	01) 8月 1日 21:44 0312345678
相手の名前が表示されます	相手の電話番号が表示されます

子機で



着信データ 1
日本電気
0312345678

[]を押すごとに
前の着信データが
表示されます
押し続けると早送り
されます

 子機にかかってきた場合は、相手の電話番号などがディスプレイに表示されたときに着信データとして記憶されます。電波の届かないところに置くとも記憶されません。

・ []を押すと、リダイヤル、着信データの新しい順、電話帳に登録されている末尾からの順で、相手が表示されます。
リダイヤル ▶ p28
らくらく電話帳で電話をかける ▶ p34

“ピーピーピー”と音がしたら 操作を始めてから20秒間何もしないと「ピーピーピー」という音のあと、待機状態に戻ります。

着信データを消す

親機で

この操作で親機の着信データが1件ずつ消去されます。



消したい着信データ
を表示させる

消去 / 中止

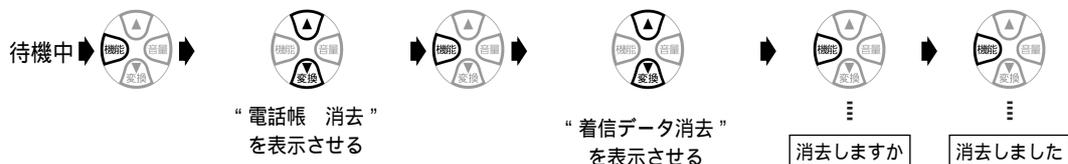
消去しました

2秒後に次の着信データ
が表示されます

途中で消去をやめたいとき “中止”を選んで[登録/セット]ボタンを押すか、または[ストップ]ボタンを押してください。

子機で

この操作で子機の着信データがすべて消去されます。1件ずつ消去することはできません。



“電話帳 消去”
を表示させる

“着信データ消去”
を表示させる

消去しますか

消去しました

途中で消去をやめたいとき “消去しますか”と表示されたところで [] []を押して “中止しますか”と表示されたら [機能]ボタンを押すか、子機を充電器に戻してください。

着信データを使って電話をかける<コールバック>

着信データの電話番号へかんたんに電話をかけることができます。

親機で



子機で



“データはありません”と表示された 着信データが記憶されていないので、コールバックできません。

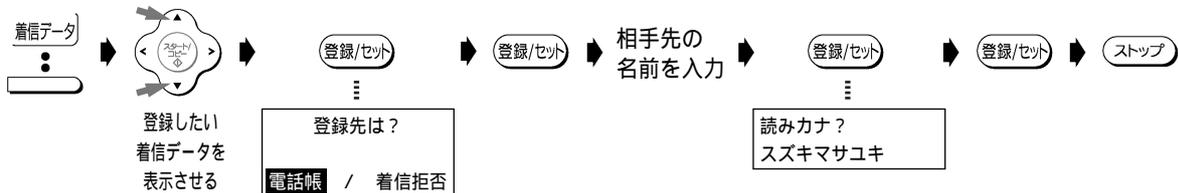
ファクスを送信したい

原稿をセットしてから、送信したい相手を表示させ [スタート/コピー] ボタンを押してください。

着信データを電話帳に登録する<かんたん登録>

着信データの電話番号を電話帳に登録できます。子機の着信データは、子機の電話帳に登録できます。

親機で



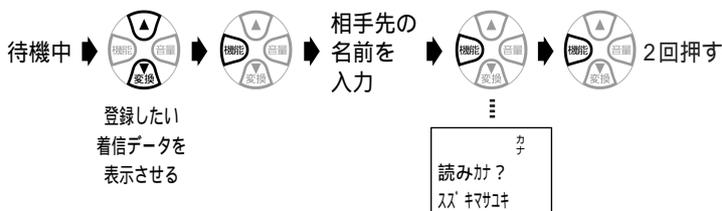
“データはありません”と表示された 着信データが記憶されていないので、登録できません。

“全て登録済みです”と表示された 電話帳から不要な電話番号を消去してください。

親機の電話帳の登録内容を消去する → p36

文字入力のしかたがわからない 文字入力一覧表 → p136

子機で



文字入力のしかたがわからない

文字入力一覧表 → p136

“登録不可”と表示された 電話帳から不要な電話番号を消去してください。

子機の電話帳の登録内容を消去する → p37

留守中にかけてきた相手を確認する<留守録着信データ>

留守設定中に電話がかかってくると、着信データと同時に留守録着信データが記憶されます。これにより、親機や子機で用件を再生しながら相手番号を確認することができます。外線リモートで用件を聞いたときは、電話番号が音声で聞こえます。留守録着信データは、いったん回線が繋がった相手であれば、応答メッセージが流れている間に相手が電話を切っても記憶されます。



- 留守録着信データには次のような制限があります。
 - 用件が消去されると留守録着信データも同時に消去されます。
 - 留守録着信データを使って電話をかけたりファクスを送ることはできません。
 - 電話帳や着信拒否に登録することはできません。

親機で

留守録の用件を再生すると、ディスプレイに留守録着信データが表示されます。

電話帳に登録している相手

日本電気

再生中 1 / 5

相手の名前が表示されます

電話帳に登録していない相手

0312345678

再生中 1 / 5

相手の電話番号が表示されます

子機で

ディスプレイに留守録着信データは表示されません。留守録の用件を再生すると、用件のあと時間と相手の電話番号が音声で聞こえます。

- 相手が用件を録音していないと、用件かわりにビジートーン（話中音）が聞こえ、そのあと時間と相手の電話番号が聞こえます。
- 相手の電話番号が通知されないときは、その理由が音声で聞こえます。

キャッチホン・ディスプレイについて

準備

電話

ファクス/
コピー

ハン
ドス
キャ
ナ

留守
電

便利
に使
う

77
セ
レ
ク
テ
イ

E
メ
ー
ル

ナ
ン
バ
ー
・
デ
ィ
ス
プ
レ
ィ

キ
ャ
ッ
チ
ホ
ン
/
ダ
ィ
ヤ
ル
ィ
ン

こ
ん
な
と
き
は

通話中にキャッチホンが入ったとき、かけてきた相手の電話番号を約30秒間表示します。表示の見かたはナンバー・ディスプレイの表示と同じです。キャッチホン・ディスプレイを利用するためには、キャッチホンとナンバー・ディスプレイを契約（有料）した上で、キャッチホン・ディスプレイの契約（有料）をしてください。

ダイヤルインサービスも同時に利用したい

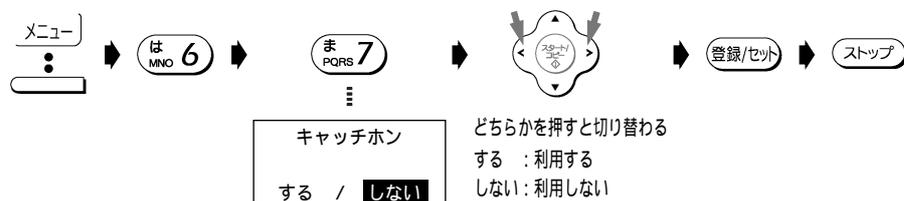
モデムダイヤルインサービスに変更してください。「ナンバー・ディスプレイ カスタマーセンター」（▶p97）または最寄りのNTT窓口にご相談ください。

ISDN回線を利用している

キャッチホン・ディスプレイはアナログ回線用のサービスです。ISDN回線の方は、最寄りのNTT窓口にご相談ください。

キャッチホン・ディスプレイを設定する（お買い上げのとき：利用しない）

NTT東日本またはNTT西日本のキャッチホン・ディスプレイを契約したときに設定します。



キャッチホン・ディスプレイのご利用にあたって

- ・キャッチホンが着信すると、キャッチホン着信音「プルルー・プップ」のあとに「ピポ」という音が聞こえ、相手の電話番号を受信する間（約1秒間）通話が途切れます。
- ・子機で通話中の場合、親機から電話番号情報を転送する間「ザッ」というノイズが聞こえます。
- ・次の場合、キャッチホンが着信しても、相手の電話番号が表示されないことがあります。
 - 通話録音中または通話再生中
 - 親機を使用中（コピー中、登録操作中）
 - 大声で通話したとき
 - 周囲の雑音が大きいとき
 - NTT東日本またはNTT西日本の交換機とお客様宅との距離が遠いとき

キャッチホン・ディスプレイの表示について

- ・着信拒否リストに登録されている電話番号の場合でも、キャッチホン着信してその番号が表示されます。
- ・番号リクエストの設定が「する」になっていても、非通知の相手もキャッチホン着信して“非通知”と表示されます。
- ・プライベートコールに指定されている番号も表示されます。
- ・キャッチホンに応答する前に相手が電話を切っても、約30秒間表示されます。
- ・キャッチホンに応答したときは、その時点で通話時間表示に戻ります。応答しなくても約30秒経過したときは通話時間表示に戻ります。

キャッチホン / ダイヤルイン

ここでは、NTT のいろいろなサービスの利用のしかたを説明しています。

キャッチホンを利用する

キャッチホンを利用すると、相手と話し中、別の方からかかってきた電話に出ることができます。

ご利用にあたって

キャッチホンを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

- ・ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。

ナンバー・ディスプレイも利用している

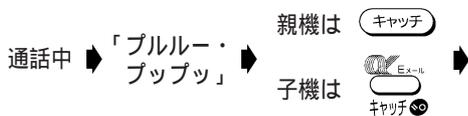
キャッチホン・ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかけてきた相手の番号を表示できます。

キャッチホン・ディスプレイについて ▶ p103

キャッチホンを受ける

通話中にキャッチホンが入ると「プルルル・プップ」という音（キャッチホンの着信音）が聞こえます。

- ・キャッチホンが入っていないときに、親機の [キャッチ] ボタンや子機の [Eメール/キャッチ] ボタンを押さないでください。電話が切れてしまいます。



あとから ▶ [キャッチ] ボタン（親機）または [Eメール/キャッチ] ボタン（子機）を押すごと ▶ 相手と通話 ▶ に通話の相手を切り替えられます

一方と通話中、もう一方の相手は 自動的に保留されます。

キャッチホンで入った相手がファクスだったとき

いったん最初の相手に切り替え、電話を切ってもらってください。その後、あとから入ったファクスに切り替え、手動受信の操作をしてください。手動で受ける ▶ p44
ただし、手動受信するタイミングによっては、ファクスを受信できないことがあります。

ダイヤルインサービスを利用する

ダイヤルインサービスを利用すると、1本の電話回線で、2つ以上の電話番号を使えます。

利用申し込みにあたって

ダイヤルインサービスを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

- ・本機でダイヤルインサービスを契約すると、次のサービスが利用できなくなります。
 - キャッチホン
 - トリオホン
 - 転送でんわ
 - 電話会議
 - トーカー案内
 - ボイスワープ
- ・いままで使っていた電話番号が変わることがあります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスが利用できないことがあります。詳しくは、NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにお問い合わせください。
- ・ランチ（並列）接続では使えません。▶ p16
- ・電話番号が複数になっても電話回線は1本のままです。同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
- ・停電中は、電話もファクスも使えません。
- ・ダイヤルインサービスが始まっていないときにダイヤルインの登録操作をすると電話が使えなくなることがあります。

ナンバー・ディスプレイを同時に利用するとき

モデムダイヤルインサービスを契約してください。また、ナンバー・ディスプレイの設定を「利用する」（お買い上げ時）にしてください。

通常のダイヤルインサービスは、ナンバー・ディスプレイと同時に利用できません。ナンバー・ディスプレイの設定を「利用しない」に変更してください。

ナンバー・ディスプレイの設定 ▶ p98

- ・ダイヤルインの登録よりもナンバー・ディスプレイのプライベートコールが優先されます。このため、電話帳に登録してある相手からかかってきたときは、ベルが鳴る電話機が変わることがあります。

ISDN回線を利用している

ターミナルアダプタの機種または設定によっては、本機のダイヤルイン登録が使えない場合があります。このときは、ダイヤルインを「利用しない」（お買い上げ時）のままにしてください。

ダイヤルインの登録 ▶ p106
INSネット64を利用するには ▶ p107

契約のしかた

契約の際、次の内容をNTT東日本またはNTT西日本に連絡してください。

- 電話番号（送出番号）は「下4桁」
「下4桁」を指定しないと、現在使用している電話番号が変わることがあります。
- ダイヤルインサービスの利用開始日時を確認

窓口：116（無料）

受付時間：9：00～17：00

ダイヤルインの動作

電話番号（契約者回線番号）とダイヤルイン追加番号を使い分け、電話用とファクス用の番号として利用できます。

- 電話用の番号に電話がかかってくると、ベルが鳴り、電話/ファクス自動切替が働きます。自動切替にたくないときは、電話モードに設定してください。▶p62
- ファクス用の番号にファクスが送られてくると、ベルは鳴らず、自動でファクスを受信します。

電話用の番号にファクスが送られたとき

電話用の番号にファクスが送られてくると、ベルが鳴ります。電話に出ると「ポー、ポー、ポー…」という音が聞こえたり、または無音になっていますので、ファクスの手動受信の操作をしてください。手動で受ける▶p44

ファクス用の番号に電話がかかってきたとき

ファクス用の番号に電話がかかってくると、ベルは鳴らず、電話に出ることもできません。

留守設定をしているとき

- 電話用の番号にかかってくると、留守電の動作をします。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。
- ファクス用の番号にかかってきたときは、ファクスの受信だけできます。用件の録音はできません。
- 子機用の番号にかかってきたときは、子機もベルが鳴ります。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。

ダイヤルインの利用例

AさんとBさんの場合を例として、契約および登録例を説明します。

- Aさんの場合
 - 電話用とファクス用の番号を分けたい
 - 電話がかかってくると、親機も子機も鳴らしたい
- Bさんの場合
 - 子機を1台増設したい▶p115
 - 親機と子機2台とで3つの電話番号を使い分けたい
 - ファクス専用の番号は必要ない

1 NTT東日本またはNTT西日本と契約する

契約内容	Aさんの場合	Bさんの場合
契約者回線番号	x x x aaaa (電話用)	x x x cccc (親機用)
ダイヤルイン追加番号	x x x bbbb (ファクス用)	1. x x x dddd (付属子機用) 2. x x x eeee (増設子機用)

2 ダイヤルインサービス開始後に、本機の登録を行う

必要な登録設定 (次ページ参照)	Aさんの場合	Bさんの場合
ダイヤルイン		
ファクス専用		x
ファクス	bbbb	登録なし
内線1	aaaa	cccc
共通鳴動	*	x
内線2	登録なし	dddd
内線3	登録なし	eeee

* 親機に電話がかかってくる時、子機のベルも鳴らします。

3 以上で、次のように利用できるようになりました

- Aさんに電話するときは、必ず電話用の番号をダイヤルしてもらってください。ファクス用の番号ではベルが鳴らず、電話に出られません。

動作	ダイヤルする番号	親機の状態	子機の状態
Aさんに電話	x x x aaaa	ベルが鳴る	ベルが鳴る
Aさんにファクス	x x x bbbb	ベルが鳴らずに、自動受信	ベルが鳴らない
Bさんの親機に電話	x x x cccc	ベルが鳴る	ベルが鳴らない
Bさんの付属子機に電話	x x x dddd	ベルが鳴らない	付属子機のベルだけが鳴る
Bさんの増設子機に電話	x x x eeee	ベルが鳴らない	増設子機のベルだけが鳴る
Bさんにファクス	x x x cccc	ベルが鳴り、自動受信	ベルが鳴らない

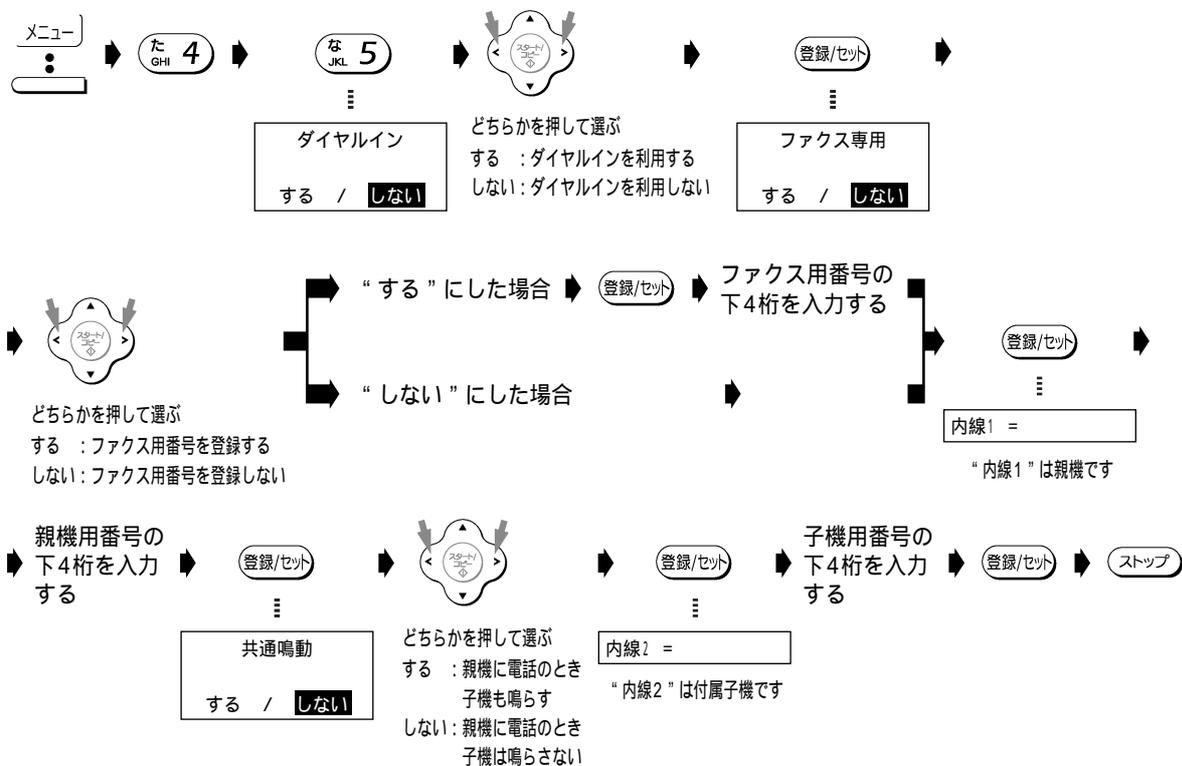
ベルが鳴っていない親機や子機で電話に出た

ベルが鳴っているときと同じように電話に出ることができます。

必要な設定

ダイヤルインの登録 (お買い上げのとき：利用しない)

 ・ダイヤルインサービスが開始されたことを確認してから行ってください。サービス開始前に行くと、電話が繋がらなくなることがあります。



増設子機があるとき

“内線2” (付属子機) 用の番号を入力し、[登録/セット] ボタンを押すと、“内線3 = ”が表示されます。

電話番号を変更したいとき

同じ手順で最初から登録し直してください。

ダイヤルインの利用を解除したいとき

上記操作でダイヤルインを「利用しない」「しない」を選び [登録/セット] ボタンを押します。

こんなときは

ここでは、必要に応じて見るための
いろいろな情報が記載されています。

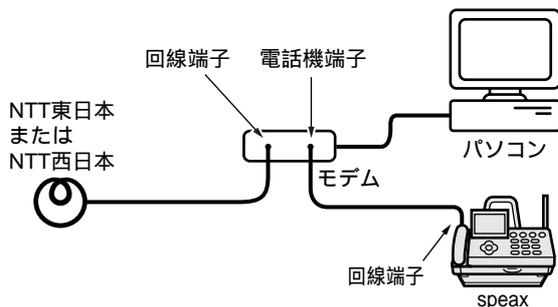
パソコンやモデムにつなぐには

INSネット64を利用しないでインターネットやパソコン通信する場合、モデム内蔵パソコンやモデムに本機をつなぎます。



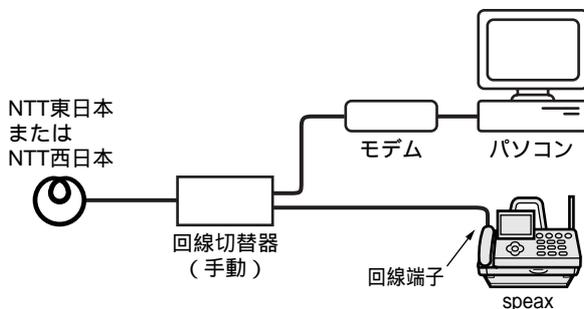
- ・モデムやモデム内蔵パソコンで電話を受けるときは、本機の「電話/ファクス自動切替」が働く前に着信するようにしてください。詳しくは、モデムやパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・モデムやモデム内蔵パソコンで通信中は、本機を操作しないでください。
- ・本機で通話中やファクス中には、モデムやモデム内蔵パソコンの通信操作はしないでください。本機での通話や通信が切れます。
- ・モデムやモデム内蔵のパソコンと接続した場合、回線種別は手動で設定してください。

回線種別の自動/手動設定 ▶ p59



回線切替器を使いたい

下図のようにつなぎます。



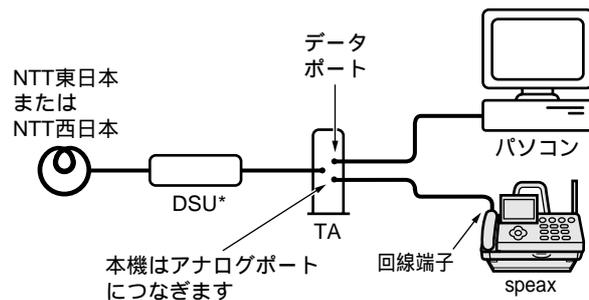
INSネット64を利用するには

INSネット64を利用すると、インターネットやパソコン通信しながら電話が使えます。

ご利用にあたって

INSネット64を利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です（有料）。また、本機のほかに、次の機器が必要となります。

- ・ISDNターミナルアダプタ（TA）
- ・デジタルサービスユニット（DSU）



*：TAの機種によっては、DSUが内蔵されています。詳しくは、TAの取扱説明書をご覧ください。

ナンバー・ディスプレイを利用したい

INSナンバー・ディスプレイ対応のTAを使用してください。

ダイヤルインサービスを利用したい

TAの取扱説明書に従い、設定してください。TAの機種または設定によって、本機のダイヤルイン機能が使えないことがあります。この場合は「ダイヤルインを利用しない」に設定してください。ダイヤルインの登録 ▶ p106

相手の番号の前に「0077」などの番号を付けるとき

TAの設定（ダイヤル桁間タイムなど）によっては、かけられないことがあります。

電話帳登録で「ポーズ」を入力する際のご注意

TAの設定（ダイヤル桁間タイムなど）によっては、電話をかけられないことがあります。

必要な設定

回線種別はプッシュ回線（PB）に設定してください
回線種別の自動/手動設定 ▶ p59

準備

電話

ファクス/
コピー

ハンズキャナ

留守電

便利に使う

77セレクトイ

・Eメール

ナンバー・
ディスプレイ

キヤッチホン/
ダイヤルイン

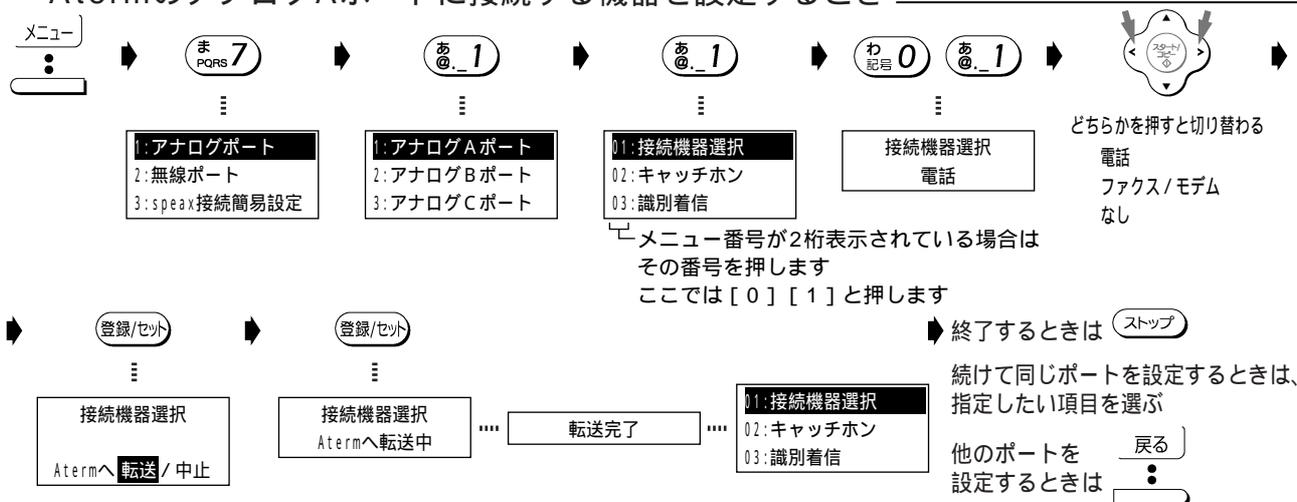
こんなときは

NECのAtermシリーズと接続するときの設定

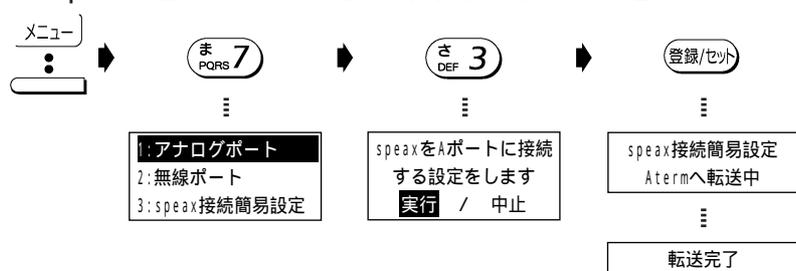
NEC製のターミナルアダプタ Atermシリーズと接続すると、Atermの設定を本機から行うことができます。

- いろいろ設定メニューの設定項目については、お手持ちのAtermの取扱説明書を確認してください。
- 接続できるAtermシリーズは、以下の機種です。
Aterm ITX72、ITX62、IT42、WL50T、IWX70、IW50/D*、IT75*、IT75/D*、IT60/D*、IT60/D[S]*、IT40/D*、IT60L/D、IT60L/D(S)、ITX80、ITX80/D、ITX70/D、IT21L（データポートに関する設定はできません）
注意：*の機種は、アナログポート設定中の「13：情報通知サービス」は設定できません。間違った設定がされる場合がありますので、この設定は行わないでください。
- 無線ポートを持たない装置やアナログCポートを持たない装置に、本機からこれらのポートの設定を行った場合、操作はできませんが、Aterm側の設定は無効になります。
- iナンバー3の設定はAtermのファームウェアバージョンアップが必要となります。
- 本機からAtermの設定を行うことはできますが、Atermに設定された内容を本機から確認することはできません。Aterm添付のらくらくユーティリティなどで設定内容を確認してください。

AtermのアナログAポートに接続する機器を設定するとき



speaxをアナログAポートに接続するとき



Aterm設定メニュー一覧

• このメニュー一覧はAterm IWX70の例です。設定内容については、各Atermの取扱説明書をご覧ください。

メインメニュー	サブメニュー	ポート選択	機能	設定内容
Aterm 設定	1: アナログ ポート	1: アナログAポート 2: アナログBポート 3: アナログCポート	01: 接続機器選択	電話、ファクス/モデム、なし
			02: キャッチホン	使用しない、INSキャッチホン、疑似キャッチホン
			03: 識別着信	使用しない、INS識別着信、疑似識別着信、INSなりわけ選択 キャッチ、疑似選択キャッチ
			04: ダイヤル桁間タイマ	5秒、9秒、11秒、13秒
			05: フッキング検出タイマ	0.03～1秒、0.3～1秒、0.5～1.5秒
			06: 発信者番号通知	通知しない、通知する、申し込み通り
			07: 受話音量	小、中、大
			08: リバースパルス送出	送出しない、送出する
			09: 話中受話音量変更	変更しない、変更する
			10: キャッチホン・ディスプレイ	使用しない、使用する
			11: 着信ポート	i・ナンバー 1、i・ナンバー 2、i・ナンバー 3、i・ナンバー 1,2、 i・ナンバー 2,3、i・ナンバー 1,3、i・ナンバー 1,2,3

メインメニュー	サブメニュー	ポート選択	機能	設定内容
Aterm 設定	1: アナログ ポート	1: アナログAポート 2: アナログBポート 3: アナログCポート	12: i・ナンバー通知番号	i・ナンバー情報1、i・ナンバー情報2、i・ナンバー情報3
			13: 情報通知サービス	しない、ナンバー・ディスプレイ、モデムダイヤルイン、アナログダイヤルイン、ND+モデムダイヤルイン
			4: アナログ共通1	01: 優先着信ポート
		02: 内線通話 / 転送	使用しない、使用する	
		03: 三者通話	使用しない、三者通話、疑似三者通話	
		04: 通信中転送	使用しない、使用する	
		05: 選択着信転送	無条件転送、INS識別着信転送、疑似識別着信転送	
		06: 着信転送先 アドレス	1: 転送先(0) / i・ナンバー情報1	電話番号入力 最大32桁
			2: 転送先(1) / i・ナンバー情報2	
			3: 転送先(2) / i・ナンバー情報3	
		07: 着信転送元 アドレス	1: 転送元(0) / i・ナンバー情報1	番号入力 最大32桁 i・ナンバーを使用している場合は、1、2、3の該当する番号を入力してください。
			2: 転送元(1) / i・ナンバー情報2	
			3: 転送元(2) / i・ナンバー情報3	
		08: 累積料金表示	累積料金クリア	
	09: 発信時アドレス表示	表示しない、表示する		
	10: お出かけモード	おやすみ、電話着信転送、ボイスワープ転送、フラッシュ		
	11: ボイスワープ	無条件転送、無応答時転送、話し中転送、無応答or話し中時転送		
	12: # 発信	発信しない、#で発信する、##で発信する		
	13: i・ナンバー	使用しない、使用する		
	14: 着信転送	着信転送(転送トキあり・なし) 疑似着信転送、電話番号着信転送		
	5: アナログ共通2	01: セキュリティ+ 選択キャッチホン	300~329のどれかを選択後、電話番号を入力 最大32桁 (30件分)	
		02: i・ナンバー情報	i・ナンバー情報 1	電話番号を入力 最大32桁
			i・ナンバー情報 2	
	i・ナンバー情報 3			
	2: 無線ポート	1: 無線Aポート 2: 無線Bポート 3: 無線Cポート 4: 無線Dポート 5: 無線Eポート 6: 無線Fポート	01: 接続機器選択	リモート PHS(音声)、リモート(FAX/モデム) データ通信専用
			02: キャッチホン	使用しない、INSキャッチホン、疑似キャッチホン
			03: 識別着信	使用しない、INS識別着信、疑似識別着信、INSなりわけ選択 キャッチ、疑似選択キャッチ
			04: ダイヤル桁間タイマ	5秒、9秒、11秒、13秒
			05: 発信者番号通知	通知しない、通知する、申し込み通り
			06: 着信ポート	i・ナンバー-1、i・ナンバー-2、i・ナンバー-3、i・ナンバー-1,2、 i・ナンバー-2,3、i・ナンバー-1,3、i・ナンバー-1,2,3
			07: i・ナンバー通知番号	i・ナンバー情報1、i・ナンバー情報2、i・ナンバー情報3
	7: 無線ポート共通	01: 無線ポート呼出	全端末一斉呼出、無線Aポート、無線Bポート、無線Cポート、 無線Dポート、無線Eポート、無線Fポート、呼び出さない	
		02: 累積料金表示	累積料金クリア	
3: speax接続 簡易設定	speaxをアナログAポートに設定します(本機をアナログポートに接続してお使いください) ・アナログAポートに対する設定 接続機器選択 : FAX / モデム リバースパルス送出 : 送出する ・アナログB、Cポートに対する設定 接続機器選択 : なし ・無線AポートからFポートに対する設定 接続機器選択 : データ通信専用			

準備

電話

ファクス/
コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77セレクトイ

Eメール

ナンバー・
ディスプレイキャッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

ドアホンを使うとき

お買い上げのとき：ドアホン接続なし

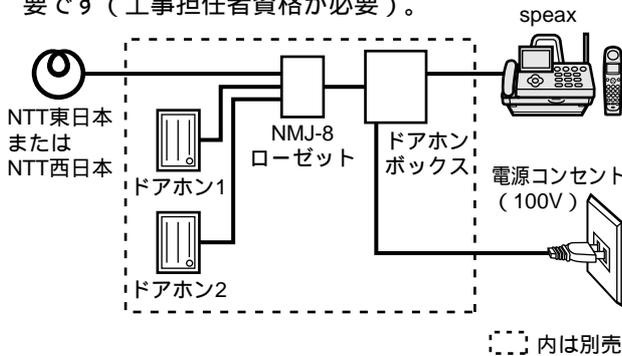
本機にドアホンを接続して、ドアホンに応答することができます。

ドアホンを接続するには、ドアホン線と電話回線の接続工事（有料）が必要です。

- ドアホンとドアホンボックスは、NTT東日本またはNTT西日本、あるいは販売店にてご購入ください。
- 接続工事には、工事担当者資格が必要です。
- 接続できるドアホンの種類と接続工事については、お近くのNEC保守サービス受付拠点（▶ p127）にご相談ください。
- ドアホンは2台まで接続できますが、2台と同時に通話することはできません。
- 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。

ドアホン接続について

ドアホンを接続するには、下記部分の工事が必要です（工事担当者資格が必要）。



接続できるドアホン・ドアホンボックス

価格には消費税は含まれておりません。サイズは、概略寸法（幅×奥行×高さ）です。

ドアホン

下記の中から好きなものをお選びいただけます。

型名	サイズ (mm)	標準価格
E-ドアホン-S (H)(露出型)	98×28×130	4,600円
E-ドアホン-PL (H)(露出型)	96×35×128	4,800円
E-ドアホンD (C)(埋込型)	100×48×140	8,500円
E-ドアホン-S (C)(露出型)	98×28×130	4,600円
E-VXドアホンA (露出型)	85×40×130	6,800円
E-VXドアホンB (埋込型)	85×39×130	6,800円

ドアホンボックスなど

ドアホンとの接続には、下記2点が必要です。

型名	サイズ (mm)	標準価格
E-ドアホンボックス (H)	100×145×32	15,000円
NMJ-8ローゼット		1,000円

ドアホン接続の設定

接続工事終了後、ドアホンを利用するための設定をします。

1 を押す

2 を押す

3 を押す

ドアホン接続
ドアホン接続なし

4 を押し、接続状態を選ぶ

- ドアホン1接続 : ドアホン1接続のとき
- ドアホン2接続 : ドアホン2接続のとき
- ドアホン1 & 2接続 : ドアホン1、2接続のとき
- ドアホン接続なし : ドアホン未接続のとき

5 を押す

設定しました

6 を押す



ドアホンの呼出音について

- 親機
 - ドアホン1：「ピンポーン、ピンポーン」
 - ドアホン2：「ピンポンピンポーン、ピンポンピンポーン」
- 子機
 - ドアホン1：「ビボビボビボビ」3回
 - ドアホン2：「ビボビボビボビボビボビ」3回

ドアホンから呼び出しがあった場合

- ドアホン通話中でも外線を受けることができます。ただし、ダイヤルインサービスを利用している場合には、ドアホンと通話中に外線を受けることはできません。
- ドアホンの呼出音が鳴ってから20秒経つと、呼び出しに回答できません。
- ドアホン通話の保留、転送、内線通話、簡易子機間通話はできません。
- ファクス通信中は、ドアホンからの呼び出しに回答できません。
- 留守設定中や、おやすみモード中でもドアホンの呼出音は鳴ります。音量は親機は「1」、子機は[大]の音量で鳴り、[切]でも鳴ります。



ドアホンの呼出音



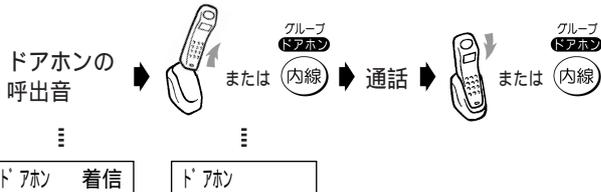
ドアホン1着信中

ドアホン1と通話中

[おやすみ] ボタンが約20秒点滅する



- ワイワイトークでドアホンと通話することはできません。



[グループ/ドアホン/内線] ボタンが約20秒点滅する

受話音量を調整したい

[音量] ボタンを押してください。

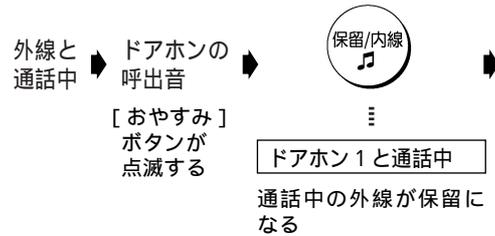
通話中にドアホンから呼び出しがあった場合

外線通話中でも、ドアホンの呼び出しに回答することができます。

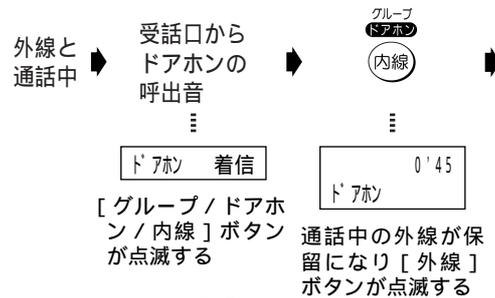
- 内線通話を保留して、ドアホンに回答することはできません。内線通話を終了してから、ドアホンに回答してください。



- 子機で外線通話中にドアホンの呼び出しがあった場合、親機の呼出音も鳴りますが、親機で回答することはできません。

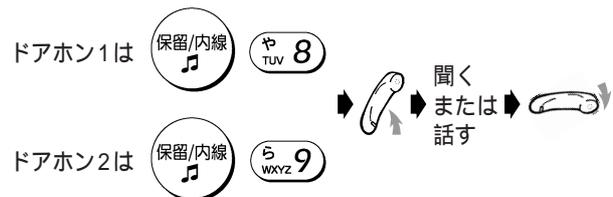


- 親機で外線通話中にドアホンの呼び出しがあった場合、子機の呼出音は鳴りません。



ドアホンでモニタする

ドアホン周辺の音を聞いたり、外の人と話したりできます。子機ではモニタすることはできません。



準備

電話

ファクス/コピー

ハンズキャナ

留守電

便利に使う

77セレクティ

Eメール

ナンバーディスプレイ

キャッチホン/ダイヤルイン

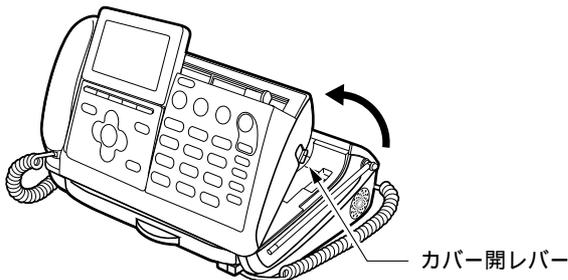
こんなときは

“記録紙が詰まりました”と表示されたとき

“記録紙が詰まりました”と“カバーを開けて下さい”が交互に表示される場合は、記録紙が詰まったか、または記録紙の給紙不良が考えられます。カバーを開け、記録紙が詰まっているかどうかを確認してください。

本体右側面にあるカバー開レバーを引き上げてカバーを開けてください。

- ・ 受話器を付けている場合は、手で支えた状態でカバーを開けてください。そのまま勢いよくカバーを開けると、受話器が落ちる場合がありますのでご注意ください。
- ・ 作業中に指をはさまないようにご注意ください。



記録紙が詰まっていなかった場合

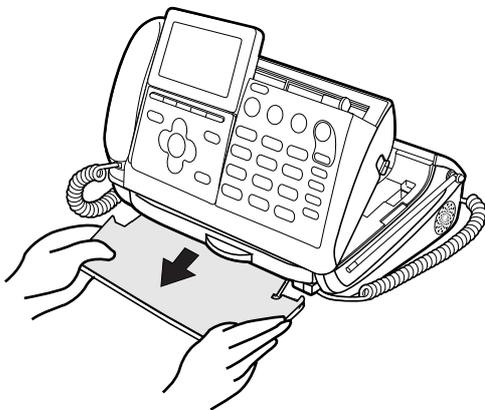
給紙不良です。記録紙カセットと記録紙給紙用ローラを清掃してください。

- 記録紙カセットの清掃 → p117
- 記録紙給紙用ローラの清掃 → p118

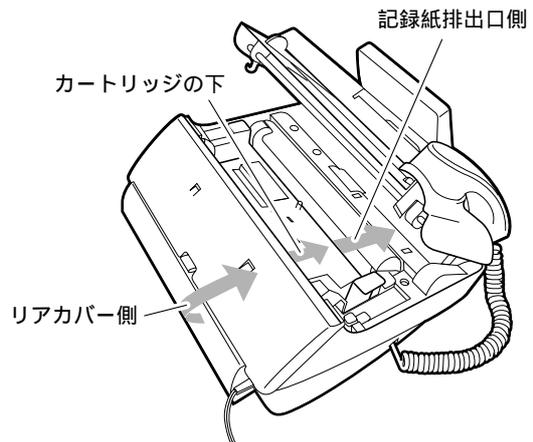
記録紙が詰まっていた場合

- ・ 記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れてしまったときは、紙片を本機の中に残さないようにすべて取り除いてください。

1 記録紙カセットを取り外す



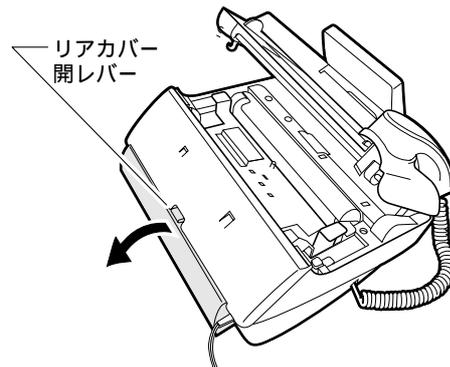
2 記録紙がどこに詰まっているかを確認する



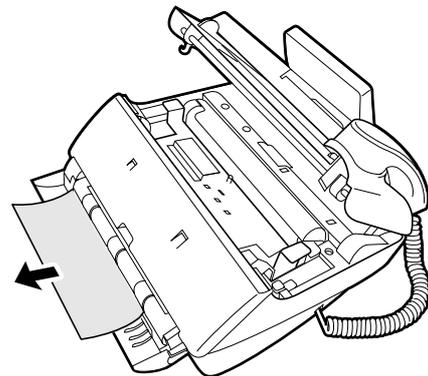
- リアカバー側で詰まっているとき → 本ページ下
- 記録紙排出口側で詰まっているとき → p113
- カートリッジの下で詰まっているとき → p113

リアカバー側で詰まっているとき

1 リアカバー開レバーを下に押し、リアカバーを開ける

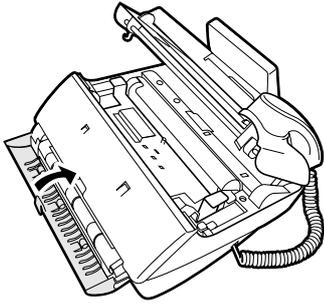


2 記録紙を取り除く



3 リアカバーを閉める

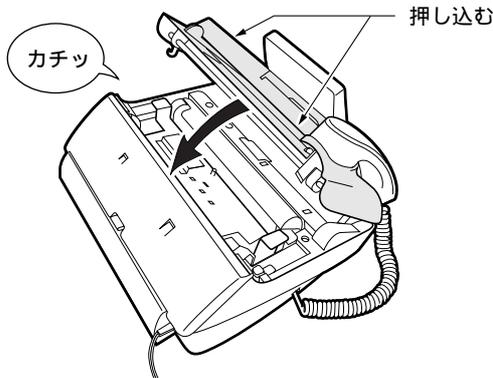
- ・リアカバーを閉めるときは、リアカバー開レバーがロックされるまで確実に押し込んでください。



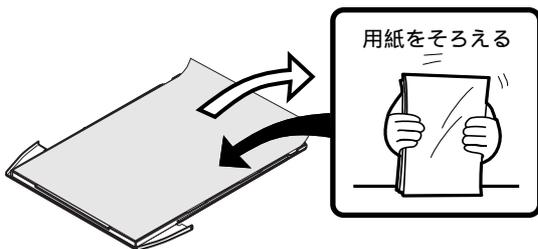
4 カバーを閉じる

カバーの両端部を、矢印の方向にカチッと音がするまで押し込みます

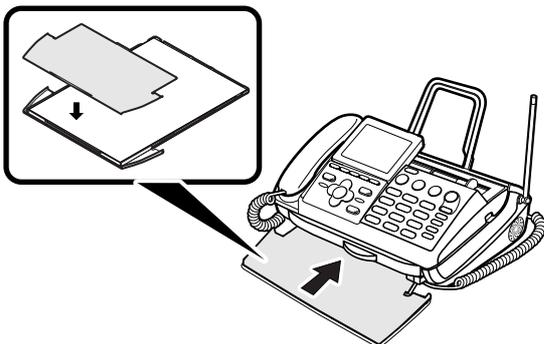
- ・カバーは確実に閉じてください。カバーを確実に閉じていないと本機を使用できません。電源が入っているときはディスプレイに“カバー確認”と表示されます。
- ・押し込んだとき、ディスプレイに無理な力がかからないようにしてください。



5 記録紙カセットのカバーを取り外したあと記録紙をいったん取り出し、揃えて入れ直す



6 記録紙カセットのカバーを取り付け、本体に取り付ける



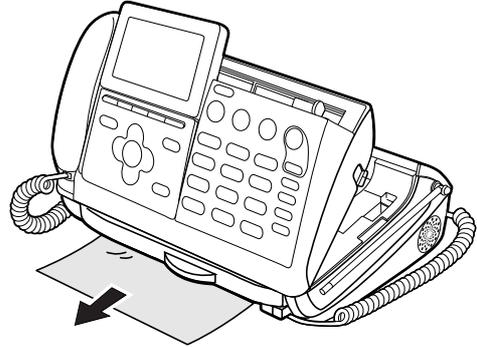
記録紙排出口側でつまっているとき —

1 カートリッジを取り外す

インクフィルムカートリッジの取り外し ▶ p17

- ・感熱紙を使用しているときは、カートリッジを取り外す必要はありません。緑色の解除レバーを手前に引いて記録カバーを開け、記録紙を取り除いたあと記録カバーを閉め (▶ p17)、手順4に進んでください。

2 記録紙を取り除く



3 カートリッジを取り付ける

カートリッジの取り付け ▶ p18

4 カバーを閉じる

5 記録紙カセットのカバーを取り外したあと記録紙をいったん取り出し、揃えて入れ直す

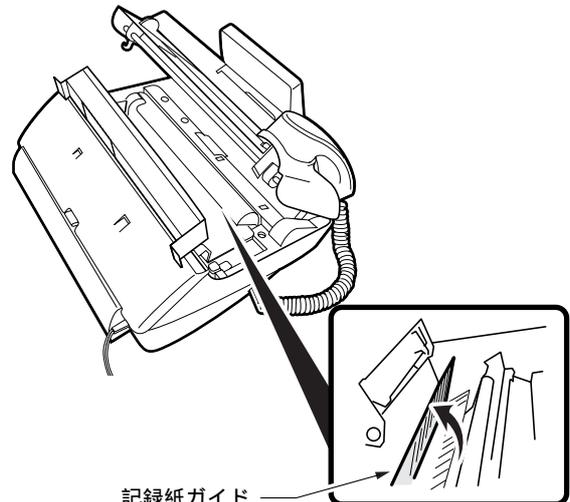
6 記録紙カセットのカバーを取り付け、本体に取り付ける

カートリッジの下でつまっているとき —

1 カートリッジを取り外す

インクフィルムカートリッジの取り外し ▶ p17

2 記録紙ガイドを矢印の方向に起こし、記録紙を取り除く



(次ページへ続く)

準備

電話

ファックス/
コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77セレクティ

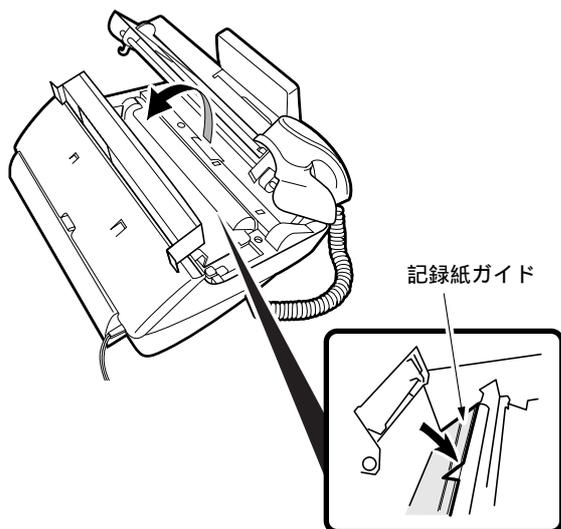
・Eメール

ナンバー・
ディスプレイ

キヤッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

3 記録紙ガイドを元に戻す



4 カートリッジを取り付ける

カートリッジの取り付け ▶ p18

5 カバーを閉じる

6 記録紙カセットのカバーを取り外したあと記録紙をいったん取り出し、揃えて入れ直す

7 記録紙カセットのカバーを取り付け、本体に取り付ける

“XXXX確認”と表示された

次のうちのいずれかが表示されたときは、そのカバーが浮いています。確実に閉めてください。

- ・ “カバー確認”
- ・ “リアカバー確認”
- ・ “記録カバー確認”

“記録紙がつまりました”とくり返し表示された

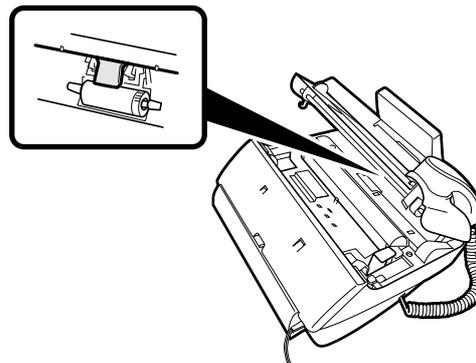
記録紙カセットの奥側斜面と、記録紙給紙用ローラを清掃してください。

記録紙カセットの清掃 ▶ p117
記録紙給紙用ローラの清掃 ▶ p118

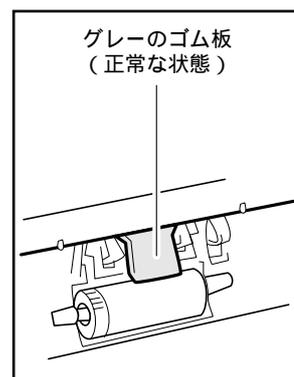
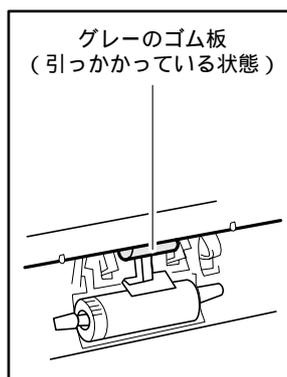
“原稿確認”と表示されたとき

コピーやファクス送信中に原稿がつまっています。

- 1 カバーを開ける
- 2 原稿を取り除く
- 3 内部のグレーのゴム板の状態を確認する



グレーのゴム板が引っかかっていたら、ゴム板に指を引っかけて戻してください。



4 カバーを閉じる

- ・ カバーはきちんと閉じてください。カバーがきちんと閉じていないと原稿づまりの原因となります。
- ・ 原稿セットガイドを合わせていない場合、原稿が小さい場合にも“原稿確認”が表示されることがあります。
原稿セットのしかた ▶ p41

“原稿確認”と“ローラを清掃して下さい”が交互に表示された

原稿送り用ローラを清掃してください。
原稿送り用ローラの清掃 ▶ p117

子機について

子機を増設するとき

増設する子機は別途、本機をお買い上げいただいた販売店で、お買い求めください。

- ・N25CLの場合、子機を増設するとトランシーバー方式での簡易子機間通話となります。双方向の通話はできません。

増設できる子機

必ず下記の型名をご指定ください。
指定以外の子機はご使用になれません。

型名	標準価格
speax-ZK10 (漢字表示)	19,000円

価格には消費税は含まれておりません。

増設できる子機の台数

speaxN25CLは最大3台まで、speaxN26WCLは最大2台まで子機を増設できます。付属の子機と合わせて、合計4台となります。

子機を使える状態にするには

増設子機を使うためには、子機への識別番号 (IDコード) の登録が必要です。登録には増設子機と親機が必要です。くわしくは販売店にお問い合わせください。

電池パックを交換する

警告

電池パックのビニールカバー (チューブ) ははがさないでください。

電池パックは、水や火の中に入れて、加熱や分解をしたりしないでください。

電池パックのコードはショートさせないように注意してください。

指定以外の電池パックを使用しないでください。

電池パックから液漏れや異臭がするときは、ただちに火気より遠ざけてください。

万一、電池パックが液漏れして、液が目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水でよく目を洗い、ただちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。また、漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。

電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発生したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

- ・電池パックにはニカド電池を使用しています。
ニカド電池は貴重な資源です。交換した電池パックはもちろん、本機を廃棄する際には電池パックを取り出し、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの「ニカド電池リサイクル協力店」へお持ちください。



Ni-Cd

子機の電池パックを交換する

電池仕様：SP-N1，2.4V，600mAh，NEC

型名	標準価格
SP-N1 ニカド電池	1,600円

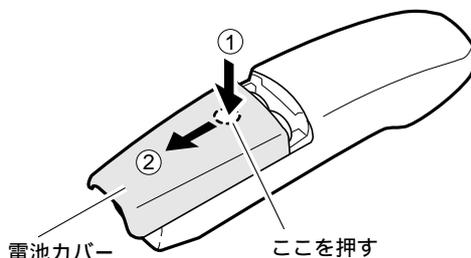
価格には消費税は含まれておりません。

- ・電池パックの寿命は通常の使用で約2年です。
- ・電池パックの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・電池パックを交換しても、電話帳に登録した電話番号は消去されません。

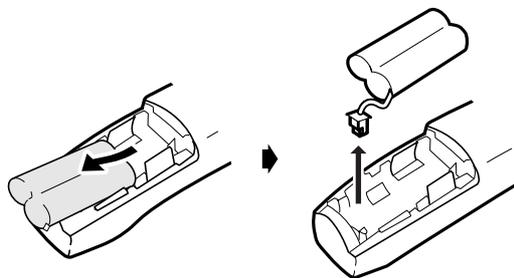
- ・電池パックを入れていない状態で、子機を充電器に置かないでください。
- ・電池パックは必ず本機専用のもの (SP-N1) を使ってください。
- ・電池パック接続用コードを、強くひっぱらないでください。故障の原因になります。

1 電池カバーを外す

電池カバーを下に押しながら手前に引くと外れます



2 古い電池パックを取り出す



3 新しい電池パックを取り付ける

電池パックの取り付け → p24

4 充電器に置いて充電する

新しい電池パックは充電されていません。9時間以上、充電してください。

準備

電話

ファクス/
コピー

ハンズキャナ

留守電

便利に使う

77セレクトイ

・Eメール

ナンバー・
ディスプレイ

キャッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

ハンズキャナの電池パックを交換する

電池仕様：NB-R72G，7.2V，300mAh，NEC

型名	標準価格
NB-R72G	2,400円

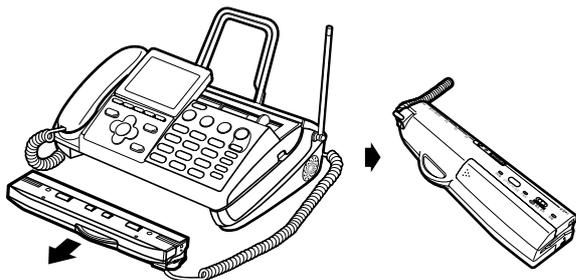
価格には消費税は含まれておりません。

- 電池パックの寿命は通常の使用で約2年です。
- 電池パック購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 電池パックを交換しても、読み取った原稿は消去されません。

- 電池パックは必ず本機専用のもの（NB-R72G）を使用してください。
- 新しい電池パックは充電されていません。ハンズキャナをコードレスで使用する場合は、ハンズキャナ用コードを取り付け、本体に取り付けた状態で6時間以上充電してください。
- 電池パック接続用のコードを強く引っぱらないでください。故障の原因となります。
- 必ず本体の電源プラグを、電源コンセントから外した状態で行ってください。

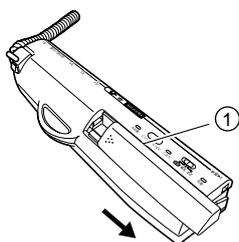
1 ハンズキャナを外して裏返す

- 原稿読み取り面にはさわらないようご注意ください。

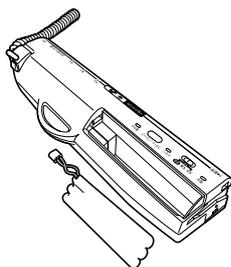


2 電池カバーを取り外す

の部分を押しながら矢印方向へスライドさせて、カバーを取り外します。



3 古い電池パックを外す



4 新しいハンズキャナ用電池パックを取り付ける

ハンズキャナ用電池パックの取り付け ▶ p19

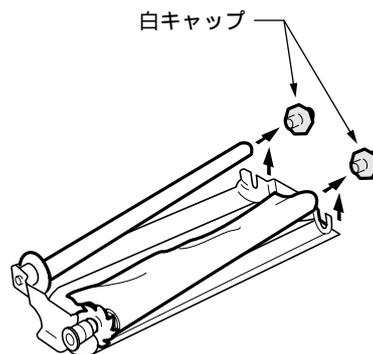
インクフィルムを交換する

- 必ず、指定（型名：SIF-A4040（A4 / 40m））のインクフィルムを使用してください。指定以外のインクフィルムを使用すると、故障や印字がすれなどの原因になることがあります。

1 カートリッジを取り外す

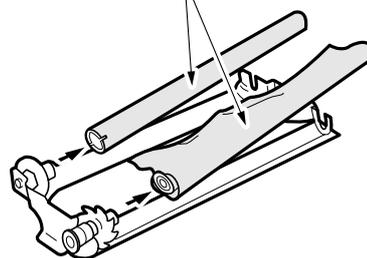
インクフィルムカートリッジの取り外し ▶ p17

2 カートリッジを裏返し、白キャップ2個を取り外す



3 使用済インクフィルムの軸2本を取り外す

使用済インクフィルムの軸



4 新しいインクフィルムをカートリッジに取り付ける

インクフィルムの取り付け ▶ p17

5 カートリッジを取り付ける

カートリッジの取り付け ▶ p18

インクフィルムの処分方法について

- 使用済のインクフィルムには、コピーや受信したときの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切ってから捨ててください。
- インクフィルムの芯は紙、フィルム部分はポリエチレン、カーボンパラフィンなどでできています。使用済のインクフィルムは、お住まいの地域で定められた分別により捨ててください。

お手入れのしかた

●ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

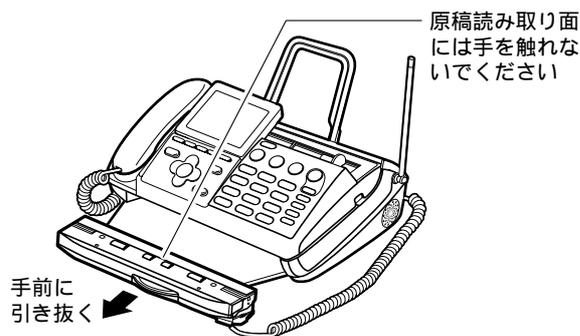
親機・子機の外装の清掃

装置表面の汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。
水拭きをするときは、布を固く絞ってから拭いてください。

ハンドスキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーや相手の記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り面は、月に1回くらいの周期で清掃し、いつもきれいにしておいてください。

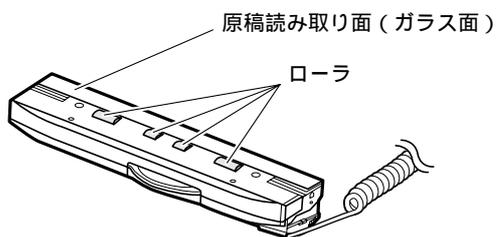
1 ハンドスキャナを外す



2 ガラス面を柔らかい布で拭く

3 ローラを拭く

水に浸した布を固く絞って、拭いてください



4 ハンドスキャナを戻す

原稿読み取り面を上に向けて、本体に押し込みます

記録紙カセットの清掃

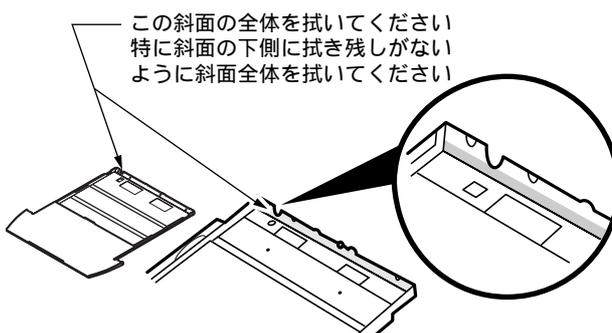
記録紙カセットが汚れると、記録紙給紙不良の原因となります。記録紙カセットは、月に1回くらいの周期で清掃してください。

1 記録紙カセットを引き抜き、カセットのカバーを外す

2 記録紙を取り出す

3 記録紙カセットの下図の部分の拭く

水に浸した布を固く絞って拭いてください
斜面に傷を付けないように、柔らかい布を使用してください



4 記録紙を入れて、記録紙カセットのカバーを取り付ける

5 記録紙カセットを取り付ける

原稿送り用ローラの清掃

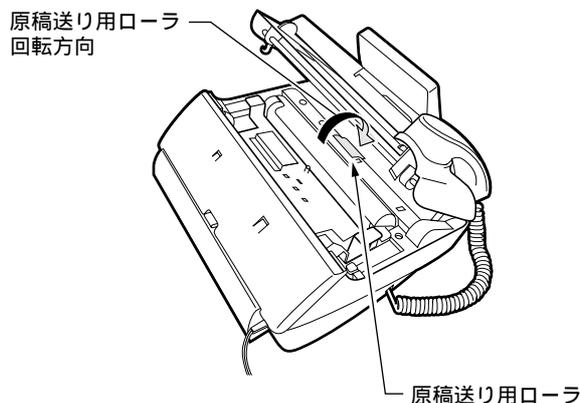
原稿送り用ローラが汚れると、原稿づまりの原因になります。月に1回くらいの周期で清掃してください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 カバーを開ける

3 原稿送り用ローラを拭く

水に浸した布を固く絞り、原稿送り用ローラを手で回しながらローラの表面全体を拭きます



4 カバーを閉じる

5 電源プラグをコンセントに差し込む

準備

電話

ファックス/
コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77セレクトイ

・Eメール

ナンバー・
ディスプレイ

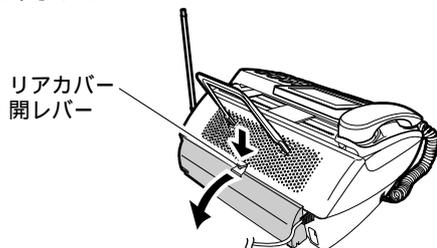
キャッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

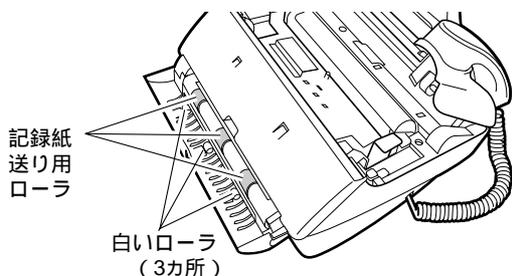
記録紙送り用ローラの清掃

長い間使用していると記録紙送り用ローラに紙の粉などが付いて、うまく送れなくなる場合があります。月に1回くらいの周期で清掃してください。

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 リアカバー開レバーを下に押し、リアカバーを開ける

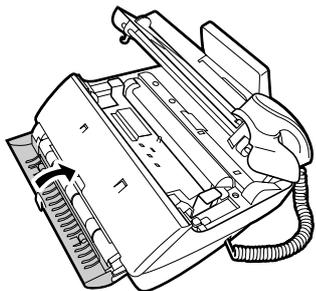


- 3 記録紙送り用ローラを拭く
水に浸した布を固く絞り、記録紙送り用ローラを手で回しながらローラの表面全体を拭きます



● 清掃の際、リアカバーの白いローラに触れないようにしてください。

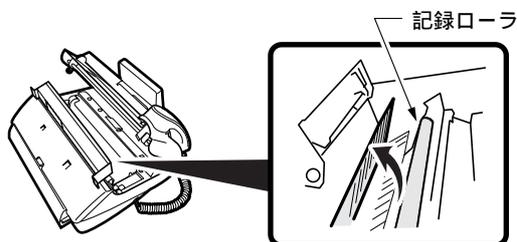
- 4 リアカバーを閉じる
リアカバー開レバーがロックされるまで確実に押し込んでください



- 5 電源プラグをコンセントに差し込む

記録ローラの清掃

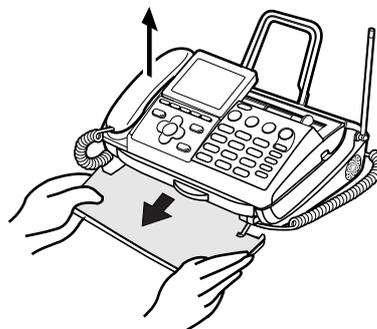
記録紙がうまく送れないときや、プリントした記録紙が汚れるときは、記録ローラを清掃してください。水に浸した布を固く絞り、記録ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭きます。



記録紙給紙用ローラの清掃

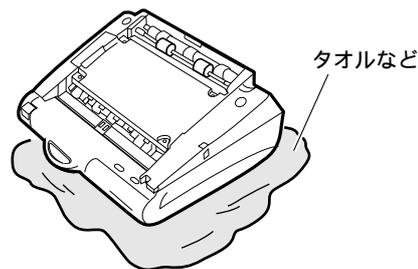
長い間使用していると記録紙給紙用ローラに紙の粉などが付いて、うまく送れなくなる場合があります。月に1回くらいの周期で清掃してください。

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 記録紙カセットと受話器を取り外す

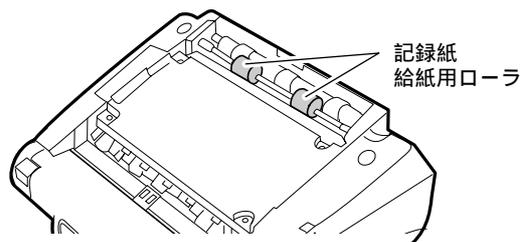


- 3 タオルなどを数枚重ねた上に、本機を裏返して置く

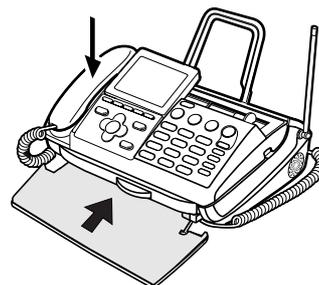
● 裏返したとき、ディスプレイが破損することがあるので、本体に無理な力をかけないでください。



- 4 記録紙給紙用ローラを拭く
水に浸した布を固く絞り、記録紙給紙用ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭きます



- 5 本機を表に戻し、記録紙カセットと受話器を取り付ける



- 6 電源プラグをコンセントに差し込む

“通信できませんでした” または “通信異常” が表示されたとき

ファクス送信中や受信中に異常があると、ディスプレイに“通信できませんでした”と表示されたり、通信結果に“通信異常”と表示された不達レポートがプリントされます。おもな“通信異常”および“通信できませんでした”の対処方法は、次のとおりです。

- ・原稿が正しくセットされていないため、送信できませんでした。
原稿を正しくセットし、もう一度送り直してください。…………… → p41
- ・記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。…………… → p20
- ・記録紙がつまりました。取り除いてください。…………… → p112
- ・原稿がつまりました。セットし直してください。…………… → p114
- ・カバーが開いています。カバーを閉めてください。

なお、上記以外にも、電話回線や相手先での異常が考えられます。再度送受信してみてください。

停電したとき

停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機・子機ともに使用できません。停電したとき、消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなに送信時のメモリに記憶されている文書…………… → p43 ・コードを付けたままのハンドスキャナ送信時のメモリに記憶されている文書…………… → p49 ・リダイヤルに記憶されている電話番号…………… → p28 ・時計のデータ（停電が36時間以上続いたとき）…………… → p21、p61 ・ナンバーディスプレイ利用時の着信データ…………… → p101 ・親機で作成したEメールの送信前の文書…………… → p79
消えない情報	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリ代行受信文書…………… → p45 ・メモリ受信文書（おやすみモード設定時に受信した文書）…………… → p58 ・留守番電話に録音した自作応答メッセージ…………… → p55 ・留守番電話に録音された用件…………… → p54 ・通話録音した内容…………… → p39 ・登録した電話番号や各種の設定値…………… ・通信管理レポート…………… → p70 ・ハンドスキャナをコードレスで使用している場合の、ハンドスキャナのメモリに記憶されている文書…………… → p50 ・Eメールの受信文書…………… → p83

停電が復旧したとき

- ・停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。
 - 消えてしまった情報があるときは、メモリクリアレポートが自動的に出力されます。
 - みんなに送信中に停電したときは、みんなに送信レポートが自動的に出力されます。
- ・停電が36時間以上続いたときは、時計が初期化され、2001年1月1日0時0分になります。この場合は、時刻を合わせてください。時計を合わせる → p61
ただし、77セレクトイを利用している場合は、復旧の1分後に本機が自動でオンライン通信を行い、時刻を自動的に合わせます。

メモリクリアレポートのプリント例

メモリクリア レポート

日本電気

以下の内容が、停電により クリアされました。

メモリ 送信文書

受け付け日時	通信時間	相手先	モード	枚数	通信結果
1月 1日 14時48分	00秒	0120200940	ECM	1	停電

困ったときは (Q&A)

	こんなときは	内 容	参照 ページ
待 機 中	ディスプレイに何も表示されない	・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？	p21
	“カバー確認”と表示が出た	・カバーが開いています。	—
	“リアカバー確認”と表示が出た	・リアカバーが開いています。	—
	“記録紙がつまりました”“カバーを開けて下さい”と交互に表示が出た	・記録紙がつまっていませんか？ ・記録紙がつまっていない場合は、記録紙の給紙不良です。記録紙カセットと記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・記録紙がつまっている場合は、カバーを開けて記録紙を取り除いてください。	p112 p117 p118 p112
	“普通紙を入れて下さい”(普通紙モード)	・記録紙がなくなっています。	p20
	“感熱紙を入れて下さい”(感熱紙モード)と表示が出た	・記録紙カセットがはずれていませんか？	
	“インクフィルム確認”と表示が出た(普通紙モード時)	・インクフィルムがなくなっています。	p116
	“記録カバー確認”と表示が出た	・記録カバーが開いています。	p18
“インクフィルムを取って下さい”と表示が出た(感熱紙モード時)	・(感熱紙モードでは不要の)インクフィルムがセットされています。 (インクフィルムが取り付けられた状態で)カートリッジを取り外してください。	p67	
電 話 (親 機 / 子 機)	受話器から何も聞こえない	・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？ ・電話回線が接続されていますか？ ・受話器のコードは接続されていますか？ ・子機を使用中ではありませんか？	p21 p25 p19 p27
	電話を受けられるが、かけることができない	・回線種別の設定が合っていますか？ ・ターミナルアダプタを使用していませんか？	p59 p107
	電話をかけることはできるが、受けることができない	・ナンバー・ディスプレイの契約をしている場合は、必ず「利用する」に設定してください。 ・ターミナルアダプタを使用していて、ターミナルアダプタ側でダイヤルインの設定をしている場合は、本機側のダイヤルインの設定を「利用しない」にしてください。	p98 p106
	ベルが鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？ ・おやすみモードになっていませんか？ ・着信ベルに、休符のみのオリジナル着信メロディを設定していませんか？	p40 p58 p64 p65
	[おやすみ]ボタンが点滅する	・電話がかかってくると[おやすみ]ボタンは点滅します。故障ではありません。	p29
	ベルの音が小さい(大きい)	・ベルの音量を調整してください。	p40
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	・相手がファクスかもしれません。[スタート/コピー]ボタン(子機では[グループ/ドアホン/内線]ボタンを押したあと[6])を押してみてください。	p44
	相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。	p40
	ダイヤルボタンを押しても“ピッ”と鳴らない	・子機のキータッチトーンをOFFに設定していませんか？ ・おやすみモードをセットしていませんか？	p68 p58
	トーン(ブッシュ)信号の送付のしかたは？	・p39をご覧ください。	—
	着信ベル/呼出ベルの意味がわからない	・p44、62、63をご覧ください。	—
	公衆電話で電話をかけた相手から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	・p44、62、63をご覧ください。	—

	こんなときは	内 容	参照 ページ
電話 (親機 /子機)	電話をかけたとき、相手に自分の電話番号が表示されるのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・相手が NTT 東日本または NTT 西日本のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。 ・ファクス送信のときは、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手機に表示されます。 	p97 p59
	海外に電話をかけるとき、ダイヤルボタンを押してダイヤルしたときはつながるが、電話帳ではつながらない	<ul style="list-style-type: none"> ・p35 をご覧ください。 	—
	親機から子機を呼び出せない 親機に“電波使用中”と表示が出た 親機に“子機応答ありません”と表示が出た 子機から、親機や他の子機が呼び出せない	<ul style="list-style-type: none"> ・子機を親機に近づけてみてください。 ・親機のアンテナを調整してみてください。 ・テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。 ・近くで他のコードレス電話機を使用していませんか？ ・子機は充電されていますか？ 	p25 p23
電話 (子機)	電話がかかけられない(「ツー」という音が聞こえない)	<ul style="list-style-type: none"> ・親機の電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？ ・子機は充電されていますか？ ・電話回線が接続されていますか？ ・他の子機が通話中ではありませんか？ ・親機から離れすぎています。親機に近づいてください。 ・親機が通話中、またはファクスの送信/受信、コピーをしていませんか？ 	p21 p25 p25 p27 p23 p27
	ベル(呼出音)が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ベルの音量調整が「OFF」になっていませんか？ ・親機に近づいてみてください。 ・親機のアンテナを調整してみてください。 ・子機は充電されていますか？ ・おやすみモードになっていませんか？ ・着信ベルに、休符のみのオリジナル着信メロディを設定していませんか？ 	p40 p23 p25 p25 p58 p64 p65
	相手の声が聞き取りにくい	<ul style="list-style-type: none"> ・音量調整をしてください。 ・いつも聞き取りにくいときは、受話音量を全体的に大きく設定してください。 	p40 p68
	相手からこちらの声が聞き取りにくいと言われる	<ul style="list-style-type: none"> ・送話音量を全体的に大きく設定してください。 	p68
	通話中に声がとぎれたり雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ・親機のアンテナを調整してみてください。 ・親機に近づいてみてください。 ・テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。 ・蛍光灯が近くにあって離れてみてください。 ・子機の近くに携帯電話などの充電器があったら離れてみてください。 	p25 p23 p23 p23 p23
	通話中に「ピッピッピッピッピッピッ」という音が鳴り出した	<ul style="list-style-type: none"> ・電池の充電残量が少なくなっています。充電をしてください。 	p25
	通話中にすぐに電池がなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ・電池パックを交換してください。 	p115
	ワイワートークで相手の声が聞き取りにくい	<ul style="list-style-type: none"> ・音量調整をしてください。 	p40
	ワイワートーク中に「ピー」、「キー」などの異常音(ハウリング音)が聞こえた	<ul style="list-style-type: none"> ・p28 をご覧ください。 	—
	充電器に置いたとき、[外線]ボタンと[グループ/ドアホン/内線]ボタンが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・AC アダプタのプラグを電源コンセントに差し込んでありますか？ ・充電器に正しく置いてください。 	p24 p25
	他のファクシミリの子機をspeaxN25CL/N26WCLの子機として使えるのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・使えません。子機を増設する場合は指定の増設コードレス電話機セットをお買い求めください。 	p115
	増設子機が使えない	<ul style="list-style-type: none"> ・増設子機に対する識別番号(IDコード)の登録が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。 	p115

準備

電話

ファクス/
コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77
セレクトイ

Eメール

ナンバー・
ディスプレイキャッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

	こんなときは	内 容	参照 ページ
フ ァ ク ス （ コ ピ ー）	コピーが白紙になる	<ul style="list-style-type: none"> ・コピーする面を裏に向けて原稿をセットしましたか？ ・感熱紙モードで普通紙をセットしていませんか？ ・感熱紙の印字面を裏に向けてセットしましたか？ 	p41 p67 p20
	コピー中に「ピー・ピー・ピー・ピー」という音が鳴った	<ul style="list-style-type: none"> ・[ストップ] ボタンを押すと、音が止まります。 ・原稿がつかまっています。 ・記録紙の給紙不良です。 ・記録紙がつかまったか、なくなっています。 	p114 p118 p112
	コピーがかすれた コピーがうすい	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーを取ってください。 	p66
	コピーが鮮明でない	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドスキャナの原稿読み取り部を清掃してください。 ・当社推奨の記録紙を使用してください。 	p117 p126
	コピー画の左端が欠ける	<ul style="list-style-type: none"> ・A4 の原稿のとき、原稿セットガイドを B4 の位置のまま、原稿をガイドの右側に合わせてコピーをすると左側約 2 ~ 3cm が欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください。 	p41
	記録紙の裏面が汚れる	<ul style="list-style-type: none"> ・記録ローラ、記録紙送り用ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。 	p118
フ ァ ク ス （ 送 信）	原稿をセットしたのに“原稿確認”の表示が出る	<ul style="list-style-type: none"> ・いったんカバーを開け、カバーを閉じてください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。 ・装置カバーの内側にあるグレーのゴム板が原稿セット台に引っかかっているか確認してください。引っかかっていたら戻してください。 	— p117 p114
	原稿をセットすると“原稿確認”の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 ・原稿が厚すぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください) ・原稿が薄すぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください) ・原稿が小さすぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください) ・装置カバーの内側にあるグレーのゴム板が原稿セット台に引っかかっているか確認してください。引っかかっていたら戻してください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。 	p41 p41、47 p41、47 p47 p114
	原稿が斜めに入った	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を取り除き、もう一度やり直してください。 ・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。 	p41 p117
	原稿の読み取り中に「ピー」という音がして止まってしまう、“原稿確認”と“ローラを清掃して下さい”という表示が交互に出た	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を取り除き、もう一度やり直してください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。 	p41 p117
	原稿が送られず、“相手先無応答”と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先の電話番号を確認してください。 ・相手先が電話に出ません。しばらくしてから、もう一度かけ直してください。 ・相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送り直してください。 	—
	原稿が送られず、“相手先話中”と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先が話中です。しばらくしてから、かけ直してください。 ・回線が混み合っています。しばらくしてから、かけ直してください。 	—
	何回送信しても“リダイヤル待ち”になる	<ul style="list-style-type: none"> ・相手が話中です。 ・電話がかけられるかを確認してください。 ・手動で送信してみてください。(手動とは、電話をかけて話をして、そのあとに双方がファクスを送る / 受ける操作をする方法です) 	p42 p26 p42
	送信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のファクスに記録紙切れなどが起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してください。 	—
	送信に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> ・画質モードの設定が「細かい」、「写真」のときは、「ふつう」や「小さい」のときに比べ、送信に時間がかかります。 ・原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 ・回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。 	p42
	海外への送信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です。(手動とは、受信信号「ピーヒョロヒョロ」と聞こえてから送る方法です) ・電話帳を使う場合、例えば 001 の後にポーズを入れて交換機の待ち時間を作ってください。 ・海外通信の設定をすると、エコキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。 	p42 p66 p35 p66 p66
	送ったファクスが縮小された	<ul style="list-style-type: none"> ・相手機(受信側)が A4 サイズの記録紙を使用している場合、B4 サイズの原稿を送ると自動的に A4 に縮小して送信されます。 ・A4 の原稿のとき、原稿セットガイドを B4 の位置のまま、原稿をガイドの左側に合わせて送信すると縮小して送信されます。 	p41

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファクス (送信)	送受信でサイズが違う	・ファクスの場合は、送受信で若干の差が出ます。原稿/記録紙の送り誤差(原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み)があります。 ・1つ上の項目も参照してください。	—
	送信した原稿が相手先で白紙になる	・原稿を表裏逆にセットしませんでしたか?送る面を「裏向き」にセットし、もう一度送り直してください。 ・相手先の記録紙の向き(表裏)が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送り直してください。	p41
	相手先で受信した記録がかすれた 相手先で受信した記録がうすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送り直してください。	p66
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	・本機でコピーを取ってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが鮮明なときは回線または相手側に原因があると思われます。もう一度送り直してください。 ・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してください。 ・画質モードを変えて送ってみてください。	p46 p117 p104 p42
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	・本機でコピーを取ってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。もう一度送り直してください。	p46 p117
	ファクス (受信)	“しばらくお待ち下さい”と表示が出たままになった	・電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。
“カバー確認”と表示が出た		・カバーが開いています。	—
“リアカバー確認”と表示が出た		・リアカバーが開いています。	—
“記録カバー確認”と表示が出た		・記録カバーが開いています。	p18
“記録紙がつまりました”と表示が出た		・記録紙の給紙不良です。 ・記録紙がつまっています。 ・普通紙モードで感熱紙を使用していませんか?	p118 p112 p67
“普通紙を入れて下さい”“感熱紙を入れて下さい”と表示が出た		・記録紙がなくなっています。	p20
ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない		・受信したファクスをプリント中は受信できません。 ・コピー中や登録中のときは、[ストップ]ボタンを押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。 ・着信ベル回数が10回以上に設定されている場合、相手が自動送信のファクスのときは受信できません。 ・電話モードに設定しているときは自動受信できません。 ・留守番電話などで、録音された要件によってメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。	p62 p62 p55
受信中に「ピーピーピー」という音が鳴り出した		・相手のファクスに原稿つまりなどが起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してもらってください。	—
受信中に「ピー」という音が鳴り続けた		・[ストップ]ボタンを押すと、音が止まります。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	p118 p112
受信した記録紙が白紙になる		・感熱紙の印字面を裏に向けてセットしましたか? ・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。 ・相手先から後端部分が白い(文字が書かれていない)原稿が送られてきた場合に記録紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります。	p20
受信した画像が鮮明でない		・通話中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してもらってください。 ・本機でコピーを取ってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送り直してもらってください。	p104 p46
受信した記録紙に黒いすじが入る		・本機でコピーを取ってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送り直してもらってください。 ・コピーに黒いすじが入るときは、NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。	p46 p127

準備

電話

ファクス/
コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

77
セレクトイ

Eメール

ナンバー・
ディスプレイキャッチホン/
ダイヤルイン

こんなときは

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファ ク ス （ 受 信 ）	記録紙がつまる 記録紙が送られない	<ul style="list-style-type: none"> ・当社推奨の記録紙を使用してください。 ・セットできる枚数は 30 枚までです。 ・記録紙は使い切ってから入れてください。 ・しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。 ・記録紙給紙用ローラ、記録紙送り用ローラを清掃してください。 ・記録紙カセットの奥側斜面を水拭きしてください。 	p126 p20 p118 p117
	プリントした記録紙が汚れるとき	<ul style="list-style-type: none"> ・記録ローラを清掃してください。 	p118
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・おやすみモードになっていて、メモリに受信していませんか？ ・同じ回線にモデムが接続されていませんか？モデムの電源を OFF にしてテストしてください。 ・メモリがいっぱいときは受信できません。 	p58 p107 p55
	相手先からファクスを送ったと言われたが、受信していない	<ul style="list-style-type: none"> ・おやすみモードでメモリに受信していませんか？ 	p58
	メモリオーバーによる通信異常が多発する	<ul style="list-style-type: none"> ・本機は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリ代行受信が働くように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。 不要な用件を消す メモリ受信「しない」に設定する 	— p55 p67
	海外からの受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順などが違う場合があります。サービス提供会社などにお問い合わせください。 	— p53
	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておく方がよいのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・海外通信の設定は、ファクスを送るときの機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。 	—
	ファクスかんたん受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・「ファクスかんたん受信をする」に設定されていますか？ ・受話器から「ファクシミリを受信します。電話を置いてお待ちください」というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断される場合があります。 ・周囲に騒音などはありませんか？ ・相手がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。[スタート/コピー]ボタンを押してください。 ・受信したファクスをプリント中は受信できません。 	p61
	A4 の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先（送信側）で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。 	—
	記録紙がなくなったときはどうなるのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・記録紙がなくなったページからメモリ代行受信します。 	p45
ファクス情報サービスの取り出しかたは？	<ul style="list-style-type: none"> ・p45 をご覧ください。 	—	
子機で出たときのファクスの受信方法は？	<ul style="list-style-type: none"> ・p45 をご覧ください。 	—	
留 守 番 電 話	留守設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。 	p55
	「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」と聞こえた	<ul style="list-style-type: none"> ・用件がすぐいっぱいになります。不要な用件を消去してください。 	p55
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	<ul style="list-style-type: none"> ・「トールセイバしない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります（着信モードを電話専用にしている場合の着信ベルは 5 回です）。 	p60 p62
	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまう（用件件数は表示されている）	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタスピーカ音量が「切」になっています。 	p40
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ・着信ベル回数を 10 回以下に設定してください。 	p62
	留守設定にしているとファクスがメモリに入ってしまう	<ul style="list-style-type: none"> ・記録紙がなくなっていますか？ ・おやすみモードになっていませんか？ 	p20 p58
	外出先から操作(リモート操作)できない	<ul style="list-style-type: none"> ・留守設定にしてありますか？ ・パスワードは登録しましたか？ ・プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ ・「リモート操作する」に設定してありますか？ 	p54 p56 p56 p56

	こんなときは	内 容	参照 ページ
留守 番 電 話	用件転送は 6 秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか？	・転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	p57
	おやすみモードがタイマ切替で解除されても、留守設定の状態となる	・おやすみモードの間に用件を録音したときは、このことをお知らせするために [留守] ボタンを点滅させています。 ・留守設定にしてからおやすみモードにしていますか？	— p58
	おやすみモードのタイマ切替を使用したときにいったメモリの内容と用件はいつプリントまたは再生されるのか？	・メモリされた受信文書は、おやすみモードを解除した時にプリントされます。録音された用件は、[再生] ボタンを押した時、または留守設定を解除した時に再生されます。	p58 p54
ハン ド ス キ ャ ナ	“ ハンドスキャナ確認 ” と表示が出た	・ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。	p47
	ハンドスキャナでコピーできない	・普通に原稿をセットしてコピーできますか？ ・凹凸のある原稿を読み取っていませんか？	p46 p48
	読み取り中に「ピピピピ」という音がした	・読み取りが速すぎます。ゆっくり動かしてください。	p48
	記録位置がズレる	・原稿を基準線と読み取りマークに合わせてください。	p48
	ハンドスキャナで読みとると、拡大または縮小コピーになる	・拡大 / 縮小の設定を確認してください。	p52
	“ スキャナのコードを 接続して下さい ” と表示が出た	・ハンドスキャナ用コードを接続してから、ハンドスキャナをセットしてください。	p47
	コードレスで使用時、電池ランプが点灯しない	・電池が正しく入っていますか？電池が正しく入っているか確認してください。 ・電池の残量がありません。ハンドスキャナ用コードを接続してください。	p19 p20、47
コードレスで使用時、メモリランプが点滅している	・ハンドスキャナのメモリがいっぱいです。メモリに記憶されている原稿を消去してください。	p51	
コードレスで使用時、長時間充電してもすぐに電池ランプが点滅する	・ハンドスキャナの電池パックを新しいものと交換してください。	p116	
い ろ い ろ な サ ー ビ ス	ポケベル呼び出しができない	・用件転送がセットされていますか？	p57
	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	・p104 をご覧ください。	—
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	・使えません。	p104
	ダイヤルインサービスを利用しているが、用件転送はできるか？	・用件転送はできます。	—
	NTT 東日本または NTT 西日本のボイスワープ(転送サービス)に加入したが、電話への転送ができるか？	・着信ベル回数を、ボイスワープ(転送)するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ(転送)するようにしなければなりません。 ・ボイスワープに加入すると、相手が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	p62
	ナンバー・ディスプレイに加入し、使用しているが、子機にかかってきた電話が子機の着信データとして記憶されない	・子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？子機を親機に近づけてみてください。	p23
接 続 方 法	ホームテレホンまたはビジネスホンにファクスを接続できるか？	・接続できません。	—
	パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	・p107 をご覧ください。	—
	パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない	・パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。装置を離して置いてみてください。 ・パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。切替器により装置を分離してください。	p107
そ の 他	“ 原稿確認 ” と表示されるが、原稿が取れない	・カバーを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	p114
	発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	・数字は文字入力一覧表に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	p136
	スピークスのどのボタンを押しても何も反応しない	・親機の場合は、電源プラグを電源コンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。 ・子機の場合は、電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度取り付けてください。	p21 p115
	操作を間違えた	・p26 をご覧ください。	—

準
備電
話フ
ァ
ク
ス
/
コ
ピ
ーハ
ン
ド
ス
キ
ャ
ナ留
守
電便
利
に
使
う7
7
セ
レ
ク
テ
ィE
メ
ー
ルナ
ン
バ
ー
・
デ
ィ
ス
プ
レ
ィキ
ャ
ッ
チ
ホ
ン
/
ダ
ィ
ヤ
ル
イ
ンこ
ん
な
と
き
は

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

仕様

ファクシミリ

原稿サイズ	最大：257(幅)×1000(長さ)mm 最小：128(幅)×128(長さ)mm
記録紙サイズ	普通紙、感熱紙 ・A4サイズ(210×297mm) ・厚さ0.07～0.09mm
記憶容量*1	A4(700文字程度)の原稿で約20枚(最大30文書)
有効読取幅	B4のとき：250mm A4のとき：208mm
有効記録幅	205mm
走査方法	CCDによる原稿移動型平面走査、または、 ハンドスキャナ移動による平面走査
走査線密度	主走査 8ドット/mm 副走査 細かい：15.4 line/mm 小さい：7.7 line/mm 普通：3.85 line/mm
通信モード	G3/ECM
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/ 2400 bps
電送時間*2	ECM：約6秒
記録方式	・熱転写記録方式 ・感熱記録方式
適用回線	・一般電話回線 ・ダイヤルイン回線 ・NCC回線
自動受信	有(ファクス/電話自動切替機能内蔵)
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	待機時*3：speax N25CLの場合 約1.5W speax N26WCLの場合 約1.6W 送信時：約15W(標準的原稿) 受信時：約16W(標準的原稿) コピー時：約23W(標準的原稿) 最大時：約85W
直流抵抗	89 (20mA)
外形寸法	約333(横幅)×343(奥行き)×171(高さ)mm (突起部を除く)
質量	約4.8kg(記録紙、インクフィルムを除く)
使用環境	温度：5～35 湿度：35～85%
推奨環境	温度：15～30 湿度：35～70%



- ・本機の外觀・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本機を設置する場所が、NTT東日本またはNTT西日本の支店・営業所(交換機)から離れていると、使用できないことがあります。NEC保守サービス受付拠点にご相談ください。▶ p127

コードレス電話

使用可能距離	見通し距離：約100m
使用周波数帯	250MHz / 380MHz帯
送信出力	10mW(FM)
子機	
電源	DC 2.4V(専用ニカド電池使用)
電池充電時間	約9時間
電池持続時間	連続待受時：約200時間*4 連続通話時：約7時間
外形寸法	約48(横幅)×44(奥行き)×180(高さ)mm (突起部を除く)
質量	約180g(電池パックを含む)

子機充電器

外形寸法	約68(横幅)×100(奥行き)×83(高さ)mm
質量	約110g(子機充電器用ACアダプタを除く)
消費電力	約1.0W(充電時)
電源	AC 100V 50/60Hz (子機充電器用ACアダプタを使用)
・充電端子のない無接点充電方式です。	

留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約15分(標準音声)
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：2 固定：1

- *1：記憶容量は、留守電の応答メッセージや用件、通話録音、メモリ代行受信などを含むすべての記憶容量となります。
- *2：電送時間は、A4判700字程度の原稿を標準的画質(8×3.85line/mm)で高速モード(14400bps)で送ったときの速さです。これは、画像情報の電送時間のみを示しており、通信の制御時間は含まれません。実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線の状態により変化します。
- *3：待機中、しばらくしたときの消費電力です。
- *4：待受時とは、充電が完了したあと子機を充電器から外し、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信ベルが鳴ったりした場合には、待受時の電池持続時間が短くなります。

操作早わかりガイド



受話器を取る



受話器を戻す

オンフック : ボタンを押す

電話	
電話をかける	→ 相手先番号 → 通話 → → 相手先番号 → → 通話 →
リダイヤルする	→ リダイヤル → 通話 →
電話を受ける	着信音 (ベル) → → 通話 →
保留する	通話中 → →
通話に戻る	保留中 → → 通話
子機で話す	保留中 → または → 子機で通話
転送子機へ	外線と通話中 → → 内線番号* → 子機と通話 →
子機	子機が出ないときは [内線] ボタンを押します。 親機からの呼出 → または → 親機と通話 → 外線と通話
内線通話	→ 内線番号* → →
子機	親機からの呼出 → または → 親機と通話 →
電話帳でかける	→ 相手を選ぶ → → 通話
通話録音	外線と通話中 → → 録音 →
録音内容を聞く	→ 再生 →
	外線と通話中に [再生] ボタンを押すと、録音内容や留守電の用件を相手と一緒に聞けます。
音量調整	ベル音量 待機中 → : 切 ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 5 ↔ 6
	モニタスピーカー音量 → : 1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 5 ↔ 6
	受話音量 通話中 → : 小 ↔ 中 ↔ 大
	用件再生音量 用件再生中 → : 切 ↔ 小 ↔ 中 ↔ 大
トーン信号を送る	電話をかける → → 以後のダイヤルはトーン (プッシュ) 信号で送出される

電話	
キャッチホンの利用	外線通話中 → 「ブルー・ブップ」 → → つぎの人と通話 → 最初の人と通話 →

ファクス/コピー	
画質モード	→ → ふつう → 小さい → 細かい → 写真
自動送信	原稿セット → 相手先番号 →
電話帳で送信	原稿セット → → 相手先を選ぶ →
手動送信	原稿セット → または → 相手先番号 → 通話 → 相手が受信操作 →
みんなに送信	原稿セット → → 相手先を選ぶ → →
	最大10件までくり返し
手動受信	着信音 (ベル) → → 「ポー・ポー...」 → 「ファクシミリを受信します...」 →
	着信音 (ベル) → → 「ポー・ポー...」 → →
	通話中 → 相手が送信操作 → 「ポー・ポー...」 → →
コピー	原稿セット → → (複数部コピーするときは部数を指定) →

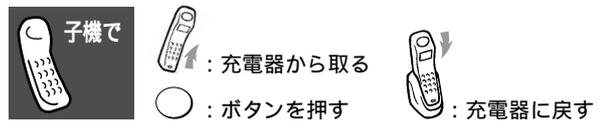
ハndsキャナ	
準備 (コードをつけたまま)	ハndsキャナを外し、原稿の上に置く → 画質選択 → コピーまたはファクス (下記へ)
コピー (コードをつけたまま)	準備 (上記から) → → → ハndsキャナを戻す
ファクス送信 (コードをつけたまま)	準備 (上記から) → 相手先番号 → →
	→ ハndsキャナを戻す
準備 (コードレス)	ハndsキャナを外したあとコードを外し、原稿の上に置く → 画質選択 → コピー (下記へ)
コピー (コードレス)	準備 (上記から) → → 読み取り →
	動作中ランプの消灯を確認する → コードを取り付けてハndsキャナを戻す
メモリに記憶されている原稿を送る	→ → → 送信したいメニュー番号 →
親機	(→) → 相手先番号 →

*内線番号 ・ 付属の子機...内線2 ・ 増設子機...1台目：内線3**、2台目：内線4、3台目：内線5 ・ すべての子機を一斉に呼ぶとき...[*]
 **speaxN26WCLでは内線3も付属の子機となります。

ハンズキャナ	
メモリに記憶されている原稿をプリントする 親機	
メモリに記憶されている原稿を消す 親機	文字 写真 消去 を消去に合わせる → スタート/ストップ → 「ピー」

留守電	
留守の設定 / 解除	
用件の再生	再生ボタン → 再生
用件の消去	消去したい用件 → 消去ボタン (再生中)
おやすみモードのセット / 解除	

聞き終えた用件を一度に消去したいときは「メッセージは以上です」のあと「消去」ボタンを押します。



クイック通話がONのとき
電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機を取ると「外線」ボタンまたは「グループ/ドアホン/内線」ボタンを押さずに相手と話ができます。

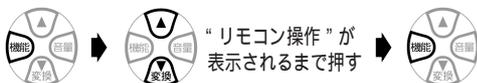
クイック通話がOFFのとき
電話がかかってきたとき、相手を確認してから、外線の場合は「外線」ボタン、内線の場合は「グループ/ドアホン/内線」ボタンを押して、相手と話することができます。

電話	
電話をかける	子機 → 外線 → 相手先番号 → 通話 → 親機 または 外線
リダイヤルする	子機 → 外線 → 通話 → 通話終了 → 外線 → 通話
電話を受ける	着信音 → 子機 → 外線 → 通話 → 親機 または 外線
保留する	通話中 → 削除ボタン → 保留ボタン → 外線 または 親機
通話に戻る	保留中 → 外線 または 削除ボタン → 通話
親機で話す	保留中 → 親機 → 親機で通話
転送	親機へ: 外線と通話中 → グループ/ドアホン/内線 → 1 あ → 親機と通話 → 親機 または 外線 親機: 子機からの呼出 → 子機 → 子機と通話 → 外線と通話 他の子機へ: 外線と通話中 → グループ/ドアホン/内線 → 内線番号* → 転送を伝える → 親機 または 外線 子機: 子機からの呼出 → 子機 → グループ/ドアホン/内線 → 相手の声を聞く → 外線と通話
内線通話	親機へ: 外線 → グループ/ドアホン/内線 → 1 あ → 親機と通話 → 親機 または グループ/ドアホン/内線 親機: 子機からの呼出 → 子機 → 子機と通話 → 子機

*内線番号 ・ 付属の子機...内線2 ・ 増設子機...1台目:内線3**、2台目:内線4、3台目:内線5 ・ 親機と他の子機を一齐に呼ぶとき...[*]
**speaxN26WCLでは内線3も付属の子機となります。

電話	
簡易子機間 通話 トランシーバー 方式 (N25CL)	<p>待機中 → グループ(ドアホン) → 内線番号* → 話す → キャッチ → 送受話の切り替え → 聞く → 送受話の切り替え → または → 内線 → 話す → キャッチ → 送受話の切り替え</p> <p>送受話を切り替えられるのは、送話側のみです。</p>
子機間通話 双方向 (N26WCL)	<p>子機からの呼出 → グループ(ドアホン) → 内線 → 子機と通話 → グループ(ドアホン) → または → 内線</p>
電話帳で かける	<p>相手先を選ぶ → 外線 → 通話</p>
グループ で探して かける	<p>グループ(ドアホン) → 内線 → グループを選ぶ → 相手先を選ぶ → 外線 → 通話</p>
素早く 探して かける	<p>相手の頭文字のダイヤルボタン → 相手先を選ぶ → 外線 → 通話</p>
通話録音	<p>外線と通話中 → 「リモコン操作」を選ぶ(下記) → 5 な → 録音 → # → 内線</p> <p>録音内容を聞く → 待機中 → 「リモコン操作」を選ぶ(下記) → 2 か → 再生 → 内線</p> <p>外線と通話中に上記の操作を行うと、録音内容や留守電の用件を相手にも聞かせることができます。このとき、再生を止めるには[#]を押します。</p>
音量調整	<p>受話音量 → 「標準」→「大」→「特大」</p> <p>ベルの鳴/切 → 待機中 → # 2秒以上押す → 「OFF」→「大」→「小」</p>
トーン 信号を送る	<p>電話をかける → * → 以後のダイヤルはトーン(プッシュ)信号で送出される</p>
キャッチ ホンの利用	<p>外線と通話中 → 「ブルル・ブツツ」 → キャッチ → つぎの人と通話 → 最初の人と通話 → キャッチ</p>

“リモコン操作”の選びかた



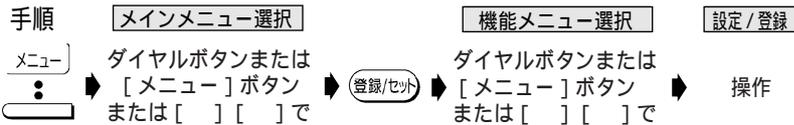
*内線番号 ・ 付属の子機...内線2 ・ 増設子機...1台目:内線3**, 2台目:内線4、3台目:内線5 ・ 親機と他の子機を一斉に呼ぶとき... [*]
**speaxN26WCLでは内線3も付属の子機となります。

ファクス	
手動受信	<p>「ポー・ポー...」 → 「ファクシミリを受信します...」 → または → 外線</p> <p>「ポー・ポー...」 → グループ(ドアホン) → 内線 → 6 は → または → 外線</p> <p>通話中 → 相手が送信操作 → 「ポー・ポー...」 → グループ(ドアホン) → 内線 → 6 は → または → 外線</p>

留守電	
設定	<p>待機中 → 「リモコン操作」を選ぶ(下記) → 20秒以内に 7 ま → 内線</p>
解除	<p>待機中 → 「リモコン操作」を選ぶ(下記) → 20秒以内に 9 ら → 内線</p>
用件の再生	<p>待機中 → 「リモコン操作」を選ぶ(下記) → 20秒以内に 2 か → 再生 → 内線</p>
再生中の用件を消去	<p>用件を再生中 → 8 や</p>
聞き終えた用件を一度に消去	<p>用件を再生 → 「用件は以上です」 → 「ビッピッピッ...」 → 8 や → 内線</p>

外出先からの操作(外線リモート)	
<p>本機に電話をかける → # [パスワード] # → 操作コード(下記)</p> <p style="text-align: center;">└────────── プッシュ信号 ─────────┘</p>	
・巻き戻し.....	# 1 #
・留守設定.....	# 7 #
・用件再生.....	# 2 #
・留守設定解除...	# 9 #
・早送り.....	# 3 #
・用件消去.....	# 8 #
・用件転送設定...	# 6 1 #
・用件転送解除...	# 6 2 #

機能設定 / 登録早見表



メインメニュー	機能メニュー は -Eメール契約者のみ	設定 / 登録内容 (<input type="checkbox"/> はお買い上げ時の状態です)	参照 ページ
① リストプリント	1: 電話番号リスト	親機の電話帳リストをプリントする	p69
	2: 着信データリスト	親機に記憶された着信データをプリントする	p69
	3: オリジナルメロディ	オリジナル着信メロディのリストをプリントする	p70
	4: システムリスト	各種設定内容をプリントする	p70
	5: 通信管理レポート	通信管理レポートをプリントする	p70
	6: Eメール登録リスト	Eメール登録リストをプリントする	p71
② 受信設定	1: 着信モード	電話 / ファクス自動切替、電話専用、ファクス専用	p62
	2: ベル音・メロディ	ベル(標準)、ベル(鳴り分け)、メロディ(3種類)、オリジナルメロディ、えらんでメロディ	p63
	3: ファクスカンたん受信	する、しない	p61
	4: 着信ベル回数	0 ~ 19回、6回	p62
	5: 呼出ベル回数	1 ~ 19回、10回	p63
	6: 音声メッセージ	する、しない	p64
③ 設定メニュー	1: 読み取り濃度	、 、 <input type="checkbox"/> 、	p66
	2: 発信元記録	する、しない	p60
	3: 海外通信	する、しない	p66
	4: 保留メロディ	聖者の行進、茶色の小瓶	p63
	5: 回線種別	PB、DP、自動回線選択	p59
	6: ドアホン接続	ドアホン1、ドアホン2、ドアホン1&2、ドアホンなし	p110
	7: 子機を受話音量	標準、大きい	p68
	8: 子機の送話音量	標準、大きい	p68
	9: 不達レポート	する、しない	p67
④ 登録メニュー	1: オリジナルメロディ	オリジナル着信メロディを登録する	p64
	2: 自分の電話番号	自分の電話番号(最大20桁)を登録する	p59
	3: 発信元	自分の名前(最大40文字)を登録する	p60
	4: おやすみタイム切替	おやすみモードの開始 / 終了時刻を設定する	p61
	5: ダイヤルイン	する、しない、FAX専用(する、しない)、ファクスと電話の番号(4桁)の登録、共通鳴動(する、しない)	p106
	6: 時刻設定	年月日と時刻の登録	p61
	7: 電話帳転送	親機の電話帳を子機に転送する(一斉転送、個別転送)	p38
	8: アドレス帳転送	親機のアドレス帳を子機に転送する(一斉転送、個別転送)	p90
⑤ 留守電機能	1: 全用件消去	消去、中止	p55
	2: 応答メッセージ録音	応答メッセージの録音(応答メッセージ1・応答メッセージ2)	p55
	3: 応答メッセージ消去	応答メッセージの消去(応答メッセージ1・応答メッセージ2)	p55
	4: トールセイバ	する、しない	p60
	5: リモート操作	する、しない、リモートパスワード(4桁)の登録	p56
	6: 用件転送	する、しない、用件転送先電話番号(最大40桁)の登録、転送回数の設定(1~10回)	p57
⑥ ナンバーディスプレイ	1: ナンバーディスプレイ利用	する、しない	p98
	以下はナンバーディスプレイを「する」に設定した場合のみ		
	2: プライベートコール指定	着信鳴り分け指定(指定なし、ベル(標準)、ベル(鳴り分け)、メロディ(3種類)、オリジナルメロディ、(えらんでメロディ)、プライベートコール指定(全て、内線番号)	p99
	3: とくていコール	する、しない、(公衆電話、圏外、公衆電話+圏外、なし)	p98
	4: 番号リクエスト	する、しない	p99
	5: 着信拒否	する、しない	p100
	6: 応答メッセージ選択	する、しない	p98
	7: キャッチホン	する、しない	p103
8: 着信拒否リスト編集	着信拒否リストの登録 / 確認 / 削除	p100	
⑦ Aterm設定	p108参照		
⑧ ハンドスキャナ	1: メモリ送信	全ページ、指定ページ、新規ページ	p50
	2: メモリプリント	全ページ、指定ページ、新規ページ	p51
	3: メモリ消去	消去、中止	p51
	4: メロディスクャナ	する、しない	p52
	5: 読み取り記録幅	B4 A4、A4 A4、B5 A4、A5 A4	p52
⑨ プリント設定	1: 定型受信	する、しない	p66
	2: メモリ受信	する、しない	p67
⑩ ファクス情報サービス	ファクス情報サービスの利用(ポーリング受信)		p45

索引

ア行

アース接続	2、21
アース端子	10、21
ISDN ターミナルアダプタ (TA) との接続 < INS ネット 64 >	107
INS ネット 64	107
ID コード (識別番号)	115
-E メール	77
アドレス帳	86
子機にメールアドレスを設定する	95
自由定型文	91
受信	83
送信	79
添付ファイル	78
添付ファイル自動受信	94
返信	85
メールアドレスについて	78
メールアドレスを追加登録する	95
メールアドレスを変更する	91
文字入力モードの設定	94
ユーザ設定	96
アドレス帳 < -E メール >	86
安全に正しくご使用いただくために	1
アンテナの調整	25
インクフィルムカートリッジ	
取り付け	18
取り外し	17
インクフィルムの交換	116
インクフィルムのセット	17
インフォメーションサービス	126
Aterm 設定	108
NEC 保守サービス受付拠点	127
絵表示 (ディスプレイ表示)	14
えらんでメロディ < 77 セレクティ >	75
オートリダイヤル	42
お手入れのしかた	117
親機・子機の外装の清掃	117
記録紙送り用ローラの清掃	118
記録紙カセットの清掃	117
記録紙給紙用ローラの清掃	118
記録ローラの清掃	118
原稿送り用ローラの清掃	117
ハンズキャナの清掃	117
オプション品	126
おやすみモード	58
おやすみモードのタイマ切替	61
オリジナル着信メロディ	64
音声メッセージ	64
オンフックダイヤル	27
オンライン通信 < 77 セレクティ >	76
音量調整	40

カ行

海外にファクスを送る	66
外出先から用件を聞く	57
外出先から「留守」を設定する	56
外出先から留守番電話を操作する	56
回線種別の自動/手動設定	59
回線端子	10、25
外線リモート	56
外装の清掃	117
ガイダンス方式	45
画質モード	42
簡易子機間通話	33
かんたん時刻セット	21
かんたん登録 < ナンバー・ディスプレイ >	102
キータッチトーン < 子機 >	68
機能設定 / 登録早見表	132
キャッチホン	104
キャッチホン・ディスプレイ	103
Q&A	120
共通鳴動 < ダイヤルイン >	106

記録紙

“記録紙がまりました”と表示されたとき	112
記録紙について	15
記録紙のセット	20
記録紙の保管について	15
記録紙モードの設定	67
記録紙送り用ローラの清掃	118
記録紙カセット	10
記録紙カセットの清掃	117
記録紙給紙用ローラの清掃	118
記録紙スタッカ	10
記録紙排出口	10
記録ローラの清掃	118
クイック通話とは	27
グループ	36
原稿	
色がついた原稿や文字がうすい原稿	66
画質モードの設定	42
“原稿確認”と表示されたとき	114
原稿セットのしかた	41
写真や小さい文字の原稿	42
読み取り濃度の設定	66
読み取れる原稿サイズ < ハンズキャナで >	48
読み取れる原稿のサイズと厚さ < 親機で >	41
読み取れる範囲 < 親機で >	41
原稿送り用ローラの清掃	117
原稿セットガイド	10
原稿挿入口	10
原稿排出口	10
原稿を拡大/縮小する	52
ご案内機能について	26
コールバック < ナンバー・ディスプレイ >	102
子機	12
キータッチトーンの設定	68
子機のベルを優先して鳴らす	68
子機優先着信	68
充電	25
充電器	12
充電器用 AC アダプタ	9、12、24
受話音量	40、68
使用上のご注意	23
送話音量	68
通話範囲について	23
電池パックの取り付け	24
電池パックを交換する	115
電話帳の登録	36
ベル音量	40
子機間通話	33
子機を増設する	115
国際ダイヤル通話	66
固定応答メッセージの種類	53
コピー	46
コピーしてはいけないもの	46
ハンズキャナでコピーする	48、49

サ行

再生中のボタン操作	55
再ダイヤル (リダイヤル)	28
識別番号 (ID コード)	115
時刻セット	61
自作応答メッセージ	
選択設定 < ナンバー・ディスプレイ >	98
録音 / 消去	55、56
自動送信	42
自由定型文 < -E メール >	91
充電	
子機の充電	25
ハンズキャナの充電	20
充電器の組み立て	24
充電器を壁掛けにしたい	25
修理・保守などのご相談は	126
受信	
-E メール	83
定型受信	66
ファクスかんたん受信	61
ポーリング受信	45
メモリ受信	67

メモリ代行受信	45
手動送信	42
受話音量	40
受話器	
受話器の取り付け	19
受話器用コード	10
仕様	128
消耗品	126
スピーカ	10
接続	
アース接続	2、21
ISDNターミナルアダプタ(TA)との接続<INSネット64>	107
電源の接続	21
電話回線接続コードの接続	25
パソコンやモデムとの接続	107
設置スペース	16
設定	
Aterm設定	108
応答メッセージの選択	98
おやすみモード	58
おやすみモードのタイマ切替	61
音声メッセージ	64
海外通信	66
回線種別の自動/手動設定	59
画質モード	42
キータッチトーン	68
キャッチホン・ディスプレイ	103
記録紙モード	67
原稿を拡大/縮小する	52
子機にメールアドレスを設定する<-Eメール>	95
子機の受話音量	40、68
子機の送話音量	68
子機優先着信	68
時刻セット	61
着信拒否<ナンバー・ディスプレイ>	100
着信鳴り分け<ナンバー・ディスプレイ>	99
着信ベル回数	62
定型受信	66
添付ファイル自動受信<-Eメール>	94
電話モード	62
トールセイバ	60
とくていコール<ナンバー・ディスプレイ>	98
ナンバー・ディスプレイ	98
発信元記録	60
番号リクエスト<ナンバー・ディスプレイ>	99
ファクスかんたん受信	61
ファクス専用モード	62
不達レポート	67
プライベートコール<ナンバー・ディスプレイ>	99
ベルの音色/メロディ	63
保留メロディ	63
メールアドレスの追加登録	95
メールアドレスの変更	91
メモリ受信	67
文字入力モード<-Eメール>	94
ユーザ設定<-Eメール>	96
呼出ベル回数	63
読み取り時のメロディを流す/止める	52
読み取り濃度	66
リモート操作	56
留守設定	54
0077市外電話自動選択	74
操作パネル	11
操作早わかりガイド	129
送信	
-Eメール	79
海外にファクスを送る	66
自動送信	42
手動送信	42
ハンズキャナでファクスを送る	49、50
みんなに送信	43
相談窓口	126

夕行

待機中の状態	12
ダイヤルイン	104

ダイヤル回線	59
端子	
アース端子	10、21
回線端子	10、25
着信拒否<ナンバー・ディスプレイ>	100
設定/登録/編集/消去	100
着信データ<ナンバー・ディスプレイ>	101
コールバック	102
着信データを使って電話をかける	102
登録/確認	102
表示/消去	101
着信鳴り分け<ナンバー・ディスプレイ>	99
着信ベル	44、53、62
着信メロディ	63、64、75
直接配線	16
通信異常	43、119
通知先の登録	57
通風孔	10
通話圏外	23
通話時間表示	14
通話範囲	23
通話録音	39
定型受信	66
ディスプレイ表示(絵表示)	14
停電したとき	119
電源コード	10
電源の接続	21
転送	30
電池バックの取り付け	
子機	24
ハンズキャナ	19
電池バックを交換する	
子機	115
ハンズキャナ	116
添付ファイル<-Eメール>	78
添付ファイルだけを送信する<-Eメール>	80
電話回線	
電話回線接続コード	9
電話回線接続コードの接続	25
電話コンセント	16
電話帳転送	38
電話帳登録	35、36
[電話帳]ボタンの使いかた	34
電話番号の登録	59
電話/ファクス自動切替	44
電話モード	62
登録	
親機のアドレス帳<-Eメール>	86
親機の電話帳	35
子機のアドレス帳<-Eメール>	87
子機の電話帳	36
ダイヤルイン	106
着信拒否<ナンバー・ディスプレイ>	100
着信データ<ナンバー・ディスプレイ>	101
通知先	57
電話番号	59
発信元	60
リモートパスワード	56
トールセイバ	60
トーン信号(プッシュ信号)	39
とくていコール<ナンバー・ディスプレイ>	98
トランシーバ方式	33

ナ行

内線通話	32
内線番号について	30
内線呼出音の鳴りかた	31
77セレクトィ	72
えらんでメロディ	75
オンライン通信	76
開始する	73
001国際電話を利用する	75
0077市外電話自動選択	74
マイラインについて	75
利用しない/再び利用する	74
ナンバー・ディスプレイ	97

キャッチホン・ディスプレイ	103
コールバック	102
自作メッセージで応答	98
着信拒否の設定 / 登録 / 編集 / 消去	100
着信データの表示 / 消去	101
着信データを電話帳に登録する	102
着信鳴り分けとプライベートコール	99
電話番号の通知・非通知について	97
とくていコール	98
番号リクエスト	99
表示の見かた	97
留守録着信データ	102

八 行

パソコンやモデムとの接続	107
発信元記録	60
番号リクエスト<ナンバー・ディスプレイ>	99
ハントスカナ	
コードレスで使うとき	47
清掃	117
使いかた	48
電池パックを交換する	116
取り付け / 取り外し	47
読み取れる原稿サイズ	48
ピクト (ディスプレイ表示)	14
ファクスかんたん受信	44、61
ファクス情報サービス	45、126
ファクス専用モード	62
不達レポート	43、67
プッシュ回線	59
プッシュ信号 (トーン信号)	39
プライベートコール<ナンバー・ディスプレイ>	99
プラグ式	16
ランチ接続	16
プリント	
Eメール登録リスト<-Eメール>	71
Eメール不達レポート<-Eメール>	79
オリジナルメロディリスト	70
システムリスト	70
着信データリスト<ナンバー・ディスプレイ>	69
通信管理レポート	70
電話番号リスト	69
不達レポート	43、67
みんなに送信レポート	43
メモリクリアレポート	119
並列接続	16
ベル	
親機のベル音量	40
子機のベル音量	40
子機のベルを優先して鳴らす	68
着信ベル	44、53、62
ベルの音色 / メロディ	63
呼出ベル	44、63
返信<-Eメール>	85
ポーリング方式	45
ポケベルにメッセージを表示させる	57
補修性能部品について	126
保証書について	126
保留	29
保留メロディ	63

マ 行

みんなに送信	43
メールアドレスについて<-Eメール>	78
追加登録	95
変更	91
メールかんたん送信	80
メッセージ	
応答メッセージ	53
音声メッセージ	64
固定応答メッセージ	53
自作応答メッセージ	55
メモリ	
メモリクリアレポート	119
メモリ受信	67

メモリ代行受信	45
メモリ容量 (記憶容量)	128
メロディ	
えらんでメロディ<77セレクト>	75
オリジナル着信メロディ	64
着信メロディ	63、64、75
入力のしかた	65
保留メロディ	63
読み取り時のメロディを流す / 止める	52
メロディ入力のしかた	65
文字入力一覧表	
-Eメール用	93
電話帳、発信元登録用	136
文字入力のしかた	本書の最終ページ
モジュラ式	16
モデムとの接続	107
モニタ	
モニタスピーカ	10
モニタスピーカ音量	40
モニタスピーカと留守電の再生音量	40

ヤ 行

ユーザ設定<-Eメール>	96
用件が録音されたら外出先に通知する	57
用件転送	57
用件を消す	55
読み取り	
画質モード	42
原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになった	43
読み取り時のメロディを流す / 止める	52
読み取り濃度	66
読み取り幅マーク	48
読み取りマーク	48
読み取れない原稿	41
読み取れる原稿サイズ<ハントスカナで>	48
読み取れる原稿のサイズと厚さ<親機で>	41
読み取れる範囲<親機で>	41

ラ 行

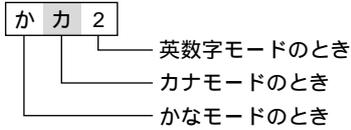
らくらく電話帳	
登録	35、36
リアカバー	10
リダイヤル (再ダイヤル)	28
オートリダイヤル	42
リモート	
外線リモート	56
リモート操作コード	57、131
リモート操作の設定	56
リモートパスワードの登録	56
留守解除	54
留守設定	53、54
留守番電話	53
外出先から用件を聞く	57
外出先から「留守」を設定する	56
通話中の相手に録音内容を聞かせる	39
用件が録音されたら外出先に通知する	57
留守録着信データ<ナンバー・ディスプレイ>	102
レポート	
Eメール不達レポート<-Eメール>	79
通信管理レポート	70
不達レポート	43、67
みんなに送信レポート	43
メモリクリアレポート	119
録音	
応答メッセージの録音	55、56
通話録音	39
録音された用件を聞く	54

ワ 行

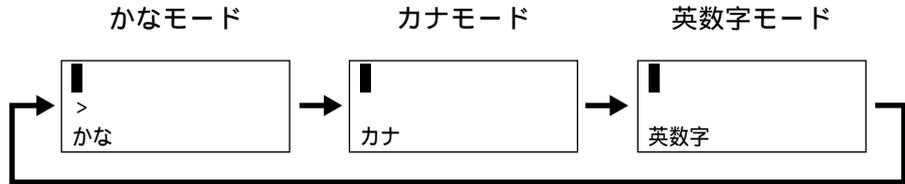
ワイワートーク<子機>	28
ワイワートーク音量	40

文字入力一覧表

電話帳 (→ p35) や発信元 (→ p60) の登録用です。 -Eメールのアドレスや本文を入力するときは、ダイヤルボタンを押したときに入力される文字が一部異なります。 -Eメールでの文字入力一覧表 → p93



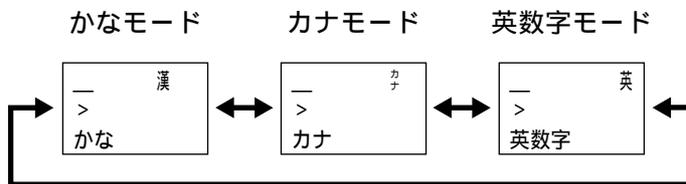
「カナ/英」ボタンを押すごとに、入力モードが切り替わります。



押す回数	ダイヤルボタン										
	あ @ 1	か ABC 2	さ DEF 3	た GHI 4	な JKL 5	は MNO 6	ま PQRS 7	や TUV 8	ら WXYZ 9	わ 0	＊ *
1回	あ ア 1	か カ A	さ サ D	た タ G	な ナ J	は ハ M	ま マ P	や ヤ T	ら ラ W	わ ワ 0	＊ *
2回	い イ -	き キ B	し シ E	ち チ H	に ニ K	ひ ヒ N	み ミ Q	ゆ ユ U	り リ X	を ワ (ｽ-ｽ)	° °
3回	う ウ .	く ク C	す ス F	つ ツ I	ぬ ヌ L	ふ フ O	む ム R	よ ヨ V	る ル Y	ん ン (
4回	え エ &	け ケ 2	せ セ 3	て テ 4	ね ネ 5	へ ヘ 6	め メ S	や ヤ 8	れ レ Z	。 。)	
5回	お オ	こ コ	そ ソ	と ト	の ノ	ほ ホ	も モ 7	ゆ ユ	ろ ロ 9	、 、 ' *	
6回	あ ア			っ ッ				よ ヨ		- - *	
7回	い イ										
8回	う ウ										
9回	え エ										
10回	お オ										



「 」または[]を押すごとに、入力モードが切り替わります。



押す回数	ダイヤルボタン										
	1 あ @	2 か ABC	3 さ DEF	4 た GHI	5 な JKL	6 は MNO	7 ま PQRS	8 や TUV	9 ら WXYZ	0 わ 記号	ダイヤル キヤリチ Eメール
1回	あ ア 1	か カ A	さ サ D	た タ G	な ナ J	は ハ M	ま マ P	や ヤ T	ら ラ W	わ ワ 0	＊ *
2回	い イ	き キ B	し シ E	ち チ H	に ニ K	ひ ヒ N	み ミ Q	ゆ ユ U	り リ X	を ワ -	° °
3回	う ウ	く ク C	す ス F	つ ツ I	ぬ ヌ L	ふ フ O	む ム R	よ ヨ V	る ル Y	ん ン .	
4回	え エ	け ケ 2	せ セ 3	て テ 4	ね ネ 5	へ ヘ 6	め メ S	や ヤ 8	れ レ Z	。 。 (
5回	お オ	こ コ	そ ソ	と ト	の ノ	ほ ホ	も モ 7	ゆ ユ	ろ ロ 9	、 、)	
6回	あ ア			っ ッ				よ ヨ		- - .	
7回	い イ									(ｽ-ｽ) (ｽ-ｽ) ' *	
8回	う ウ										*
9回	え エ										
10回	お オ										&
11回											(ｽ-ｽ)

文字入力のしかた

電話帳の登録時、親機と子機では、使用している変換用の辞書が異なるため、親機で変換できても、子機では変換できない(またはその逆)文字があります。



・「か」「き」のように同じ列の文字を続けて入力するときは「か」を入力したあとに[>] を押し、反転表示を1つ右に移動してから次の文字を入力してください。
・「う」「う」は入力できません。

入力例：「鈴木マサK」と入力するとき

- 1  を3回押す >す
かな
- 2  を押す >す
かな
- 3  を3回押す >す
かな
- 4  を押す >す
かな
- 5  を2回押す >す
かな
- 6  を押す >鈴木
かな 1 / 4
漢字に変換されます
表示されている漢字の候補番号
変換の全候補数

他の変換候補を表示するとき [] または [] ボタンを押し、目的の漢字を表示させてください。

該当する漢字がない 変換されません。

- 7  を押す 鈴木
>
かな
- 8  を押す 鈴木
カナ
カナモードになります
- 9  を押す 鈴木
カナ
- 10  を押す 鈴木マサ
カナ
- 11  を押す 鈴木マサ
英数字
英数字モードになります
- 12  を2回押す 鈴木マサ
英数字

入力を間違えた

[<] または [>] で反転表示を移動し [消去] ボタンを押すと、反転されている文字が削除されます。

メールの本文で「改行」を入れたい

[#] を押してください。



・「か」「き」のように同じ列の文字を続けて入力するときは「か」を入力したあとに[#] を押し、カーソルを1つ右に移動してから次の文字を入力してください。
・「う」「う」は入力できません。

入力例：「鈴木マサK」と入力するとき

- 1  を3回押す >す
かな
- 2  を押す >す
かな
- 3  を3回押す >す
かな
- 4  を押す >す
かな
- 5  を2回押す >す
かな
- 6  を押す >鈴木
かな 001/004
漢字に変換されます
表示されている漢字の候補番号
変換の全候補数

他の変換候補を表示するとき [] または [] ボタンを押し、目的の漢字を表示させてください。

該当する漢字がない 変換されません。

- 7  を押す 鈴木
>
かな
- 8  を押す 鈴木
>
カナ
カナモードになります
- 9  を押す 鈴木
>
カナ
- 10  を押す 鈴木マサ
>
カナ
- 11  を押す 鈴木マサ
>
英数字
英数字モードになります
- 12  を2回押す 鈴木マサ
>
英数字

入力を間違えた

[削除 / 保留] ボタンを押して入力し直してください。 [削除 / 保留] ボタンを2秒以上押すと、1行すべて消えます。

メールの本文で「改行」を入れたい

[音量] ボタンを押してください。

